

むつ市総合経営計画進行管理結果
(令和3年度)

令和4年3月

目次

第1部 むつ市総合経営計画の進行管理概要

1. むつ市総合経営計画の進行管理について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
2. 進行管理の内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
3. 進行管理スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |

第2部 基本方針及び施策内容の達成状況

1. 前期基本計画注目指標の達成度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
2. 令和3年度施策内容毎のKPI達成状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 外部・内部評価の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

第3部 むつ市総合経営計画施策評価調書（令和3年度）

1. 施策評価調書の見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
2. 施策評価一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
3. 施策評価調書
 1. 元気の向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
 2. 暮らしの向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
 3. 教育の向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 124
 4. 安全の向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 144
 5. 魅力の向上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 160

第1部 むつ市総合経営計画の進行管理概要

1. むつ市総合経営計画の進行管理について

むつ市総合経営計画（以下、「経営計画」という。）の進行管理は、基本計画に示す55の施策について、進捗状況や達成状況を評価することで、取組の成果や課題を整理し、次年度の取組につなげ、「笑顔かがやく 希望のまち むつ」の実現を図るものです。

2. 進行管理の内容

基本計画に示す55の施策について、「施策評価調書」を作成し、市民アンケート、市各部局による内部評価、むつ市総合開発審議会による外部評価を通じて、施策の進捗状況を総合的に評価します。

3. 進行管理スケジュール

- 4月 令和2年度経営計画・実施計画の達成状況報告
- 6月 市民アンケート調査実施
- 10月 令和3年度経営計画・実施計画
各部局による内部評価
- 12月 第1回むつ市総合開発審議会開催（外部評価）
- 2月 第2回むつ市総合開発審議会開催（書面により開催）
- 11月～2月 次年度予算編成
- 3月 次年度予算成立及び進行管理結果の報告（公表）

第2部 基本方針及び施策内容の達成状況

1. むつ市総合経営計画前期基本計画注目指標の達成度

5つの基本方針「1. 元気の向上」「2. 暮らしの向上」「3. 教育の向上」「4. 安全の向上」「5. 魅力の向上」の注目指標の達成度を示すもので、結果は以下のとおりです。

- 基本方針の注目指標（全15指標）のうち、達成したものは6指標であった。
- 設定した注目指標を全て達成した基本方針はなく、また、「1. 元気の向上」及び「4. 安全の向上」は、全ての注目指標を達成できなかった。

表1 前期計画基本方針毎の注目指標達成度

基本方針	指標名	基準値 (平成27年)	目標値 (令和3年)	実績値 (令和3年)	達成度
1. 元気の向上	人口減少の抑制 (上段:国勢調査)	58,493人	55,569人	54,103人(R2)	×
	(下段:住基台帳)	60,880人	57,836人	55,354人(R2)	
	人口一人当たりの 市民所得	2,297千円	2,412千円	2,362千円(H30)	×
2. 暮らしの向上	合計特殊出生率	1.67人	1.80人	1.60人(H27直近値)	×
	平均寿命 (上段:男性)	76.7歳	77.7歳	78.1歳(H27直近値)	○
	(下段:女性)	84.8歳	85.8歳	86.0歳(H27直近値)	○
3. 教育の向上	夢や目標の肯定的 回答率 (全国学力・学習 状況調査)	-	全国平均5割 上回る	小学生:11.6割 上回る(R3)	○
				中学生:7.2割 上回る(R3)	○
3. 教育の向上	教科に関する調査 (全国学力・学習 状況調査)	-	全ての教科において、 全国平均値を3割 上回る	小学生(国語): 3.55割上回る(R3)	○
				小学生(算数): 0.8割上回る(R3)	×
				中学生(国語): 2.4割上回る(R3)	×
				中学生(数学): 0.2割下回る(R3)	×
4. 安全の向上	自主防災組織にお ける世帯カバー率	15.8%	46.5%	27.0%(R2)	×
	消防団充足率	81.7%	81.7%	74.3%(R2)	×
5. 魅力の向上	観光入込客数	886,026人	1,000,000人	825,055人(R1)※	×
	年間宿泊者数	168,330人	190,000人	210,776(R1)※	○

※新型コロナウイルスの影響が大きいいため、令和元年または令和元年度の数値を実績としております。

2. 令和3年度施策内容毎のKPIの達成度

基本方針に紐づく「55の施策内容」の評価及びKPIの達成度を示すもので、結果は以下のとおりです。

- 基本計画に示す 55 の施策に設定した評価指標は、117 指標あり、そのうち令和 2 年度末時点で「A 目標値以上」は 22 指標（18.8%）、「B 目標値に達していないが前年度より進捗がある」は 26 指標（22.2%）、「C 目標値に達していない及び基準値より進捗がない」が 48 指標（41.0%）、複数年の一度の調査などで実績が出ないが 21 指標（17.9%）となりました。

注 KPI=Key Performance Indicator=重要業績評価指標

表 2 基本計画の基本方針の区分別 評価指標（K P I）進捗状況内訳

基本方針の区分	1.元気の向上	2.暮らしの向上	3.教育の向上	4.安全の向上	5.魅力の向上	件数	構成比
A(目標値以上)	4	10	1	3	4	22	18.8%
B(目標値に達していないが基準値より進捗があるもの)	5	16	1	2	2	26	22.2%
C(目標値に達していない及び基準値より進捗がないもの)	19	16	5	3	5	48	41.0%
-(実績が出ないもの)	0	15	6	0	0	21	17.9%
合計	28	57	13	8	11	117	100.0%

3. 外部・内部評価の概要

- 基本計画に示す 55 の施策内容のうち、外部評価において「A:順調に推移」「B:一定の進捗がある」としたものは、48 施策内容であり、内部評価では 52 施策内容となった。
- 外部評価において「C:進捗は遅れている」「D:進捗は大幅に遅れている」としたものは、7 施策内容であり、内部評価の 3 施策内容と比べ、4 施策内容が外部評価と乖離があった。

<内部評価について>

各部局による内部評価を行った結果、「A 順調に推移」が 7 施策（12.7%）、「B 一定の進捗がある」が 45 施策（81.8%）、「C 進捗は遅れている」が 3 施策（5.5%）、「D 進捗は大幅に遅れている」はありませんでした。

表 3 内部評価による基本方針の区分別 施策進捗状況内訳

基本方針の区分	1.元気の向上	2.暮らしの向上	3.教育の向上	4.安全の向上	5.魅力の向上	件数	構成比
A・・・順調に推移	0	5	0	1	1	7	12.7%
B・・・一定の進捗がある	12	17	6	4	6	45	81.8%
C・・・進捗は遅れている	0	2	1	0	0	3	5.5%
D・・・進捗は大幅に遅れている	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	12	24	7	5	7	55	100.0%

<外部評価について>

むつ市総合開発審議会委員から施策評価調書による施策評価を実施し、その中で、評価の割合が高い区分（A～D）を総合的な外部評価としています。

評価を行った結果、「A順調に推移」が3施策(5.5%)、「B一定の進捗がある」が45施策(81.8%)、「C進捗は遅れている」が7施策(12.7%)、「D進捗は大幅に遅れている」はありませんでした。

表4 外部評価による基本方針の区分別 施策進捗状況内訳

基本方針の区分	1.元気の向上	2.暮らしの向上	3.教育の向上	4.安全の向上	5.魅力の向上	件数	構成比
A・・・順調に推移	1	0	0	1	1	3	5.5%
B・・・一定の進捗がある	7	21	7	4	6	45	81.8%
C・・・進捗は遅れている	4	3	0	0	0	7	12.7%
D・・・進捗は大幅に遅れている	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計	12	24	7	5	7	55	100.0%

● 外部評価における主な意見

全体的な施策または施策評価方法への意見

- ・人口減少の原因である若年者の流出の対策の強化が必要と思われる。
- ・施策評価という「複合的」かつ「包括的」視点からの評価であり、短絡的に補綴できません。会議の場でオプティミスティックに発言したいと思います。「むつ市」の「施策評価調査」の組み立ては見やすく素晴らしいです。
- ・総じて、施策への取組が順調に推移しており、高く評価できる。
- ・コロナ禍の中にあって計画通り進められない事業も多くあったと思われませんが、事業方法を工夫することで事業を実施し、計画を進めようとしてきたことがよくわかりました。その成果は大いに評価でき、計画を概ね一定の進捗が見られると判断できました。
- ・全体的に内部評価の基準に甘さを感じます。
- ・コロナによる影響を考慮し、再評価する項目があると思います。(例：ホームページの閲覧数など)
- ・評価内容には「・・・文化祭が中止となったため不良と判断した」記されておりますが、文化祭は中止となりましたが、文化団体協議会に所属している各団体はコロナ禍にもかかわらずそれぞれ感染拡大を考慮した活動をしており、今回の調書での評価については疑問を感じます。なお、評価を見直してほしいということではなく、令和3年も文化祭は中止でしたので、来年同時期に同様の書類を作成されるときにご考慮いただければ。

1.元気の向上(2) 産業・雇用 ④新たな産業の創出

- ・地元企業の人材不足が顕著化している中で、誘致企業の新たな人材確保が可能なものの精査は必要と思料する。雇用機会の拡大には期待するが、別途域外からの人材誘致も検討が必要と考える。

(回答) むつ市への進出を検討している企業から問合せをいただいた際、企業の業種及び希望する雇用人数等を聴取し、むつ公共職業安定所と相談のうえ人材が確保できるのかという点も事前に確認しており、企業及び市のニーズに合致した企業誘致が実現できるよう取り組んでおります。

また、現在、市誘致企業から人材不足についてご相談を受けてはおりませんが、人材

の安定的な確保は企業にとって重要な課題であると認識しております。「1元気の向上/ (2)産業・雇用/⑤若者の地元就職の支援」にもありますが、大学生等に対し、市内企業の業務内容や魅力等を知る機会を提出し、地元就職を促進することや、域外からの人材確保に繋がるU・I・Jターンを促進するため、移住に関する情報を広く発信するとともに、相談体制の充実等も図ります。

1.元気の向上(2) 産業・雇用 ⑤若者の地元就職

(意見) インターンシップなどの参加者が増えているものの、実際の就職につながっていない点をふまえ、今後は企業の受け入れ体制の整備も併せて検討する必要だと思われる。

(回答) KPIとして、本施策を通じた市内への就職者数を設定しておりましたが、計画策定時に存在した雇用創出のための推進機構（青森県内の教育機関や企業と共に本市も参画）の終了や、就職先が学生本人の個人情報にあたることから、参加学生のその後の就職先を知ることが困難な状況となっております。しかしながら、一部連携大学から取得できた情報により、むつ下北地区への就職者数については一定数を保ち、計画初期と比較すると増加している状況を把握しています。

インターンシップ事業は、貴重な職業体験の機会を得ることができる学生側のための事業であると同時に、企業側にとっても効果的であることを広く周知し、新規参加企業の開拓、学生募集説明会の開催、学生とのマッチング等を通じて、学生が希望する勤務先と出会い、体験し就職することで就職率が向上していく理想の形を目指し、さらなる改善を重ねながら事業を継続していきます。

2.暮らしの向上(5) 行財政基盤 ①効率的な行政運営

(意見) 職員提案の提案件数が伸び悩んでいる点を踏まえ、職員の提案力の向上や、仕事を自分ごととするためにも、もっと職員から積極的に提案が出るような環境づくりも必要だと思われる。

(回答) 職員提案制度につきましては、従前からその拡充のための方策を実施しており、提案方法の簡素化や匿名提案制度の導入、過去の採用案件の周知、職員提案月間を設定しての提案募集を行うなどのほか、定期的に啓発を行っておりますが伸び悩んでいる状況であります。

職員提案の活性化が職場の活性化にもつながると考えておりますので、引き続き職員提案精度の拡充のための方策を検討の上、実施していきたいと考えております。

その他(市民アンケート)

・施策評価では順調に進んでいると評価されたものの、市民アンケートの結果で「不満」「やや不満」の割合が大きいものが見られます。このことについて、今後の施策や事業の遂行にあたっては不満の原因を探るとともに、それらを解消することをより強く意識していくことが必要だと考えます。

<比較的「不満」「やや不満」が大きかった項目（5点満点中、3点以下の施策を抽出）>

p.36 若者の地元就職の促進

- p.103 道路基盤の整備
- p.106 公共交通の確保
- p.109 広域交通ネットワークの形成

● おつ市総合開発審議会について

外部評価において、進捗が遅れている（C評価以下）とされた評価の割合が高い施策を抽出し、おつ市総合開発審議会を開催し、それぞれの施策に対して委員の皆様から御意見や御提言をいただいております。

- (1) 開催日時 : 令和4年1月31日～2月14日
- (2) 開催方法 : 書面開催
- (3) 抽出した施策数 : 7施策

基本方針	施策項目	施策内容
1. 元気の向上	(2) 産業・雇用	②商工業の振興
	(3) 市民協働・コミュニティ	①市民協働の施策展開等 ②多様な市民活動の支援
	(4) 男女共同参画・女性活躍	②市民一人ひとりのワーク・ライフ・バランス
2. 暮らしの向上	(1) 健康・福祉	④医療体制の充実
	(3) 環境	②自然環境の保全
	(5) 効率的な行政運営	④公共施設マネジメントの推進

(4) 主な意見等

全施策に関連する意見

(意見①)

全般にコロナ対策に伴う事業中止、延期により進捗が遅れているものと認識しているが、個別施策について、コロナ禍でも実現可能な見直しをしながら取り組んでいただきたい。

(回答①)

ご指摘のとおり、コロナ禍にあって、必要な事業を選択し、実行することが重要であると認識しております。このため、施策または事業担当課において、さまざまな関係機関と連携しながら、さらなる施策の推進・改善を図ってまいります。

また、現在、おつ市総合経営計画後期基本計画の策定作業を進めておりますが、その中で、「新たな生活様式（デジタル化）」も踏まえた上で、新たな施策または事業を推進することとしておりますことから、コロナ禍であっても、また、今後不測の事態にあっては市の施策を滞りなく進めてまいりたいと考えております。

1. 元気の向上 (2) 産業・雇用 ②商工業の振興

(意見①)

新しいビジネスが生まれたとは言いがたいが、このコロナ禍の折り、やむを得ないと考えます。むしろ、この間に、当地を事業立地する企業側の必然性は何か？（製造業は運送

コスト・時間の問題から、人件費の安さ以外、当地は魅力に乏しい) など、マーケティングに注力すべきではないでしょうか？私は観光業とソフト産業に芽があるのではないかと考えています。

(回答①)

今後の企業誘致に関する方針として、市場規模が拡大し成長著しい情報通信業やコールセンター業（どちらもソフト産業）の企業誘致に注力することを検討しております。観光業においては、全国展開する大手ホテル等の誘致となれば雇用の創出となりますが、地元の旅館・ホテルの圧迫とならないよう関係団体の状況も踏まえながら検討する必要があるものと認識しております。また、観光産業の新たな試みとして、国によるテレワークの推進やコロナ禍による旅行マインドの変化に対応し、コミュニティへの関わりを重視した地域課題を共に解決する「むつモデルワーケーション事業」の展開を計画しております。

ご意見にもありました地理的な条件や、地元企業への影響及び社会環境の変化を見極めながら、企業誘致及び産業の発展に取り組んでまいりたいと考えております。

(意見②)

クラウドファンディング活用件数について、目標値が過去5年間上昇しているが実績は5年間同水準のままである。目標値の修正は必要ないのか。進歩が見られない、外部評価が妥当と思われる。

(回答②)

クラウドファンディングの成功率の低さや意識的な敷居の高さに加え、アグリビジネスに特化した支援であることがKPIの未達成に繋がっていると考えられます。事業内容やKPIについて、後期計画で見直しを検討します。

(意見③)

アツギ東北の解雇者の中で起業意欲のある方を探し出し、空き店舗を利用し、クラウドファンディングで資金調達するスモールスタートなビジネスを勧めてみてはどうでしょうか？

(回答③)

アツギ東北（株）の国内生産業務終了に係る市の対応については、再就職を希望する方のニーズを把握し、国や県、近隣自治体、経済団体等との連携による地元企業の雇用拡充と企業誘致による雇用の創出が重要になると考えております。その取組の中で、再就職ではなく創業を希望する方に対しては支援制度の周知を図ってまいります。

(意見④)

コロナの影響が大きい今だからこそ、やれるカタチで事業展開していくことが必要と思います。

指標（KPI）の達成率がはかばかしくないことも起因しているが、アグリビジネス「クラウドファンディング」活用件数の伸びや田名部地区2商店街の路面店空き店舗数の解消策が効果を発揮すれば「商工業振興」は向上におかうと考える。「まちゼミ」に関して「コロナ」問題が大きく関わっており、この点は考慮する必要がある。

コロナ禍という状況を考慮すれば、講座に参加しようという市民のマインドが低調であるということは致し方ないと言うべきであろう。現下の社会状況の回復を祈るばかりである。

(回答④)

まちゼミについて、令和3年度では、参加店があんしん飲食店等認定制度の認定を取得したり、オンライン講座を取り入れる等工夫しながら実施しました。参加店や受講者は例年よりも減少したものの、コロナ禍でも安全に開催できたことは、中止となった前年度からの大きな前進と考えます。今回の実績を基に改善・発展させ、今後も継続して取り組んでまいりたいと考えております。

(意見⑤)

クラウドファンディングの活用にも、より一層力を入れて取り組んでほしい。

(回答⑤)

関係機関との情報共有を図り、制度の周知活動に努めるとともに、事業者が利用しやすくなるよう事業内容の見直しを検討します。

1. 元気の向上 (3) 市民協働・コミュニティ ①市民協働の施策展開等

(意見①)

現実的に見えてこない。

(回答①)

目標設定としていた内容について、わかりづらい面を考慮し後期計画においては指標の見直しを検討しております。

(意見②)

町内会加入率について、目標値は5年間上昇を続けているが、令和元年度に0.4パーセントの上昇を示しているが、他は現状維持か下降をたどっている。目標値との差が大きすぎると思われる。外部評価が妥当と思われる。

(回答②)

目標値設定については、後期計画で見直しを検討しております。町内会は、安心して暮らせるまちづくりにのために、欠かすことができない市の最大のパートナーと認識しておりますことから、快適で住みよいまちづくりのため今後も継続して活動を支援してまいります。

(意見③)

感染拡大の波の間に実施しましょう。

コロナの影響が大きい今だからこそ、やれるカタチで事業展開していくことが必要だと思います。

(回答③)

会場設営の工夫、オンラインでの実施等、講師や事業内容に合わせた開催方法を検討し実施に向け取り組んでまいります。

(意見④)

内部評価にもあるように評価指標の見直しを進め、施策の成果がわかるようにしてほしい。

(回答④)

現状に則した評価指標への見直しを進め、施策の成果がわかりやすくなるよう検討してまいります。

(意見⑤)

新型コロナウイルスの影響によって令和3年度の各施策・事業等が滞ったことは十分理解できる。市民協働推進に向けてファシリテーターの活動は大変大きなエレメントとして機能していることから、施策評価の観点に立脚した場合、その評価は低くならざるを得ないものとする。

(回答⑤)

この度のご意見を踏まえ、コロナ禍での事業実施に向け検討を継続し、市民協働の推進を図ってまいります。

(意見⑥)

市民協働のプレイヤーを増やすことも大事だが、今後のまちづくりのキーププレイヤーとして、いかに活用していくかも重要と考える。

(回答⑥)

委員のご意見のとおり、市民が主体となって市民協働を推進していけるよう、キーププレイヤーの活用について研究してまいります。

1.元気の向上 (3) 市民協働・コミュニティ ②多様な市民活動への支援

(意見①)

現実的に見えてこない。

(回答①)

コロナ禍で下北全体において様々な活動が停滞した期間であるが、こんな時にこそ、こちらの施策を活用した団体もあったことから、事業の意義はあるものと認識しております。今後においても、新たなチャレンジを希望される方々の資金調達方法の選択肢として知ってもらうため、関係市町村で連携し周知広報に努めます。

(意見②)

FAAVO しもきたがなくなりましたが、この施策はどのように扱いますか？

(回答②)

平成28年度運用をスタートした「FAAVO しもきた」が、株式会社 CAMPFIRE へ統合されたことにより、令和2年度より「クラウドファンディングしもきた」へ名称を変更しておりますが、引き続き事業は継続しております。

(意見③)

以前に比べてPRを目にする機会が減少した。

(回答③)

各種SNSを通じた広報に加え、市民の方々の目にとまりやすいポスターやチラシ設置等を通じ、PR活動に積極的に取り組んでまいります。

(意見④)

FAAVOは、市民活動を個別に地域に告知していくのに有効な手立てです。コロナ禍があるものの、まだまだ敷居が高いので、2、3件で推移しているものと思われます。活動団体の大小にかかわらず、チャレンジできることを広く知ってもらう工夫がより必要です。そうして、是非、下北の市民活動を育てて下さい。

(回答④)

クラウドファンディング活用のハードルを下げ、広域でのサポート体制を拡充するため、令和3年度には下北5市町村で構成する運営協議会の制度改正を行っております。コロナ終息後を見据え、より活発な利用を促せるよう、PR活動及びサポート体制の強化に取り組んでまいります。

(意見④)

内部評価にあるように、FAAVOしもきたの活用が進むよう、取組を強化するだけでなく成功事例をアピールし、活用の機運を高めることに努めてほしい。

「多様な市民活動」を行政が助勢する施策・事業はそのアウトカムも含め大変難しい側面があることは理解できるが、下北5市町村がエリアオーナーとなって運営展開している「FAAVOしもきたチャレンジ」件数が伸びていない。

(回答④)

いただいたご意見や他機関の取組を参考に、より活発な利用を促せるよう、さらなるPR活動及びサポート体制の強化に取り組んでまいります。

1. 元気の向上 (4) 男女共同参画 ②市民一人ひとりのワークライフバランス

(意見①)

「市民一人ひとりのワークライフバランス」に市政がコミットすることに無理があるのでは？(法的拘束力を具備していない) 条例などで私企業を拘束可能なのでしょうか？

行政の領域で女性の管理職を増やすというところから始めてはどうでしょうか？

現実的に見えてこない。

(回答①)

ご意見のとおり法的拘束力はないため、啓発等にとどまっております。条例等で私企業を拘束するのは難しいと考えますので、今後も意識改革を醸成するような啓発活動を継続してまいります。

行政の領域で女性の管理職を増やすことについては、既に別の施策内容のなかで行っているため、ワークライフバランスに係る代替の施策については今後研究してまいります。

(意見②)

実績値がゼロであるが、目標値が伸びている。

KPIが市職員のワークライフバランスになっているような気がします。

(回答②)

現状に即した目標設定を検討してまいります。

後期計画においては、市民の皆様の意識調査についても指標にくわえることを検討しております。

(意見③)

女性の社会的地位の向上、能力評価における男尊女卑の撤廃等、この地域の遅れを取り戻す取組を望みます。

(回答③)

性別にかかわらず一人ひとりが能力を発揮できるよう各種事業について研究してまいります。

(意見④)

ワークライフバランスの市民意識向上に率先して、取り組んでほしいものの、コロナや災害関連など市民サービスを優先しての職員の働き方だと予想する。それでも、出産がらみの休暇は、事前に計画できる訳だから、是非、職場の直接の上司が推奨するなど、当事者よりも、上司、管理者が意識改革を進めてほしい。

コロナ禍で業務が増加しているとはいえ、男性職員の育児休業取得率など基本的なところは着実に実施できるよう体制を作ってほしい。

(回答④)

いただいたご意見を参考に、休暇を取得しやすい環境づくりについて市担当部署とも連携した取組になるよう努めてまいります。

(意見⑤)

男性職員育児休業取得率及び出産に伴う特休取得率等、指標値そのものが鈍化傾向にあることが危惧される。「女性活躍推進企業認定制度」の創設は、リメイクも含め、リコンストラクトすべき事業と考えるがどうか。

(回答⑤)

「女性活躍推進企業認定制度」については、既に国による類似制度があること、事業者にとってのメリットが少ないと考えられることから、抜本的な方針転換を検討しております。

(意見⑥)

主要事業である「女性活躍推進企業認定事業」に係る研究の進捗状況が”評価の理由”から読み取れないことから”C”が妥当と思われる。

(回答⑥)

いただいたご意見のとおり、実情に即した評価内容となるよう見直しを検討しております。

(意見⑦)

ワークライフバランスの実現に本気で取り組む企業等を増やすためには、現在の事業の枠組を変えてみるのも良いと考える。

(回答⑦)

企業への働きかけについては、今後研究していく必要があると考えております。

2.暮らしの向上 (1) 健康・福祉 ④医療体制の充実

(意見①)

当地のような遠隔地に優秀な医者呼び寄せるのは、かなり困難だと思われます。むつ病院の現在のリソースをより効率的に動かす措置を講じるべきではないかと。診てもらいに行くと、半日以上をムダにするなど、都市の病院では考えられない運用面のマズさです。

(回答①)

ご指摘のとおり、医師の確保は、むつ市を含む下北圏域の積年の課題であり、令和2年3月に策定された「青森県医師確保計画」においても、下北圏域の医師偏在指標が151.8人と、全国平均239.8人、青森県173.6人を下回っている状況であり、医師一人当たりの診察患者数が多いことが一番の要因としております。

このため、むつ総合病院では、臨床研修医指定病院としているほか、弘前大学を中心とした医師の確保に努めており、医師の確保以外においても、診察の進行状況を確認できるお呼び出し番号モニター制度の導入等により、待ち時間の短縮改善を図っております。今後においても、地域からの人材育成と他の病院からの医師確保に努め、むつ総合病院をはじめとした病院機能の改善を図りながら、医療体制の充実について調査研究を重ねてまいります。

(意見②)

医療体制の充実＝地元から医者を！ではないように思いますが。

取組として医師を目指す人材の育成しか記載されていないため、評価する材料に欠けていた。おそらく他にも様々な取組を行っていると思うので、それも記載してほしい。

(回答②)

ご指摘のとおり、取組内容のひとつとして、地元からの人材育成に取り組んでおり、当該施策には、基本的に一部事務組合下北医療センターへの負担金等の支援を中心とした医療体制の充実を図っております。下北圏域が慢性的な医師不足であることから、独自の取組として、引き続き、地元人材の育成に努めながら、総合的な医療体制の充実を図ってまいります。

現在、むつ市総合経営計画後期基本計画の策定作業を進めておりますが、当該施策については、他の指標も設定する予定であるほか、今後評価いただく際に、他の主要事業の掲載についても検討してまいります。

(意見③)

修学助成金については、大学卒業後、むつ市に戻ってくることを条件に市外の高校に進学した生徒も対象にしてはどうか。長期的な視点で医療体制を考え、そのための投資と考

え、制度の利用向上を図ってはどうか。夏期講習会についてはオンラインでも効果が出せるような取り組みを検討してほしい。

(回答③)

大学卒業後にむつ市に戻ることを条件化することは、大学入学（申請）時点において生徒の進路や可能性に制限を与えることに繋がりがねないことから難しいものとする。

また、まさかり高校講習会の開催方法については、対面方式による実施を目指しながらも、感染症を取り巻く状況を踏まえ、より高い効果を得られるよう研究を続けてまいりたい。

(意見④)

日本の医療体制の現状等を鑑みた場合、「市内高等学校からの医学部医学科入学者数」の指標目標は難しい側面もあるとは考えるが、行政体として成すべき重要施策のひとつであり、重層的な方策を進めるべきと考える。

(回答④)

ご指摘のとおり、当該指標の達成及び医師不足の解消を含む当該地域の医療体制の充実を図るためには、学力の向上や助成金の交付といった人材育成策のみならず、例えば現有医師の待遇改善や地域定着策などといった、さまざまな分野による施策の研究が必要であると考えている。

(意見⑤)

「助成金の交付」と「講習会の開催」の2つの事業で医学科入学者を増やすということは極めて難しい。市が市内の高校教育を支援するという視点から、目標・指標を設定した方が現実的であろう。

(回答⑤)

ご指摘のとおり、上記2事業のみをもって当該指標を達成することは難しいものと認識している。引き続き、さまざまな分野による施策の可能性について研究していくとともに、真の人材育成に資する、数値化が可能でかつ適切な目標及び指標のあり方についてもあわせて研究していく必要があると考えている。

2.暮らしの向上 (3) 環境 ②自然環境の保全

(意見①)

自然よりもまず人間とインフラです。

(回答①)

ご意見のとおり、インフラ整備は重要な施策と認識しております。このため、各施策において、建物・道路のインフラ整備を推進するほか、適正な施設マネジメントに努めているとことです。

一方で、むつ下北地域の特徴でもある自然環境の保全についても重要な施策と認識しておりますので、引き続き施策を推進してまいりたいと考えております。

(意見②)

昨今の経済情勢等を考慮すれば、資材・労務費などの値上がりが事業進捗に大きな影響をあたえていることは十分理解できる。ハード部門は外部ファクターで左右されるケースが多く、より効率的な施策実行が求められる。

(回答②)

今後も厳しい財政状況の下で進めていかなければならないが、集合住宅等を考慮しながら整備地区の優先順位を設定したり、低コスト技術の工法導入など効率的・経済的な整備を行っていききたい。また、下水道事業経営戦略の財政計画目標へフィードバックしつつ目標達成に向けて取り組んでいきたい。

2.暮らしの向上 (5) 行財政基盤 ④公共施設マネジメントの推進

(意見①)

当地のような遠隔地に優秀な医者呼び寄せるのは、かなり困難だと思います。むつ病院の現在のリソースをより効率的に動かす措置を講じるべきではないかと。診てもらいに行くと、半日以上をムダにするなど、都市の病院では考えられない運用面のマズさです。

(回答①)

ご指摘のとおり、医師の確保は、むつ市を含む下北圏域の積年の課題であり、令和2年3月に策定された「青森県医師確保計画」においても、下北圏域の医師偏在指標が151.8人と、全国平均239.8人、青森県173.6人を下回っている状況であり、医師一人当たりの診察患者数が多いことが一番の要因としております。

このため、むつ総合病院では、臨床研修医指定病院としているほか、弘前大学を中心とした医師の確保に努めており、医師の確保以外においても、診察の進行状況を確認できるお呼び出し番号モニター制度の導入等により、待ち時間の短縮改善を図っております。今後においても、地域からの人材育成と他の病院からの医師確保に努め、むつ総合病院をはじめとした病院機能の改善を図りながら、医療体制の充実について調査研究を重ねてまいります。

(意見①)

次年度に向けた計画策定が進んでいるということであり、次年度の事業実施に期待したい。

(回答①)

施設の修繕や解体費用の予算化は、予算編成全体の中で判断されることとなりますが、施設の現状を把握し、適切な対応が図られるよう関係課と連携して現地調査を継続していきたいと考えております。

第3部 むつ市総合経営計画施策評価調書
(令和3年度)

【施策評価調書の見方】

1. 施策体系と施策関係部局

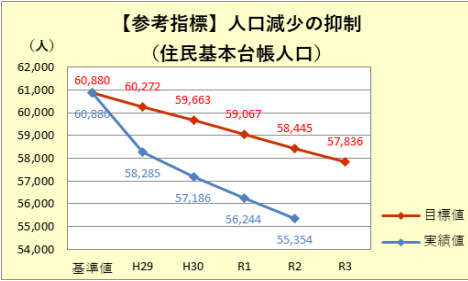
基本方針	1. 元気の向上	関係部局
施策項目	(I)地方創生	企画政策部
施策内容	①まち・ひと・しごと創生の推進	

2. 基本計画における指標 (KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
人口減少の抑制(国勢調査)	58,493 H27年度	57,909	57,324	56,739 54,103	56,154	55,569
【参考指標】人口減少の抑制(住民基本台帳人口)	60,880 H27年度	60,272 58,285	59,663 57,186	59,067 56,244	58,445 55,354	57,836

施策の指標(KPI)の各年度の目標値と実績値を記載。
「-」となっているものは、数値が把握できないもの(複数年に一回の調査など)



施策の指標(KPI)の各年度の目標値と実績値を記載にグラフ化にして記載。

3. 年次目標(令和2年次)

目標	実績	評価区分	評価内容
住民基本台帳人口 58,445人以上	55,354人	B 概ね良好	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、地方創生関連事業の一部延期・中止などが発生したものの、概ね計画通りに実施できたものと判断する。また、令和3年度事業についても、全事業が満額の採択を得ており、引き続き地方創生関連事業を推進していくこととしたことから、概ね良好とする。

各部局で設定した令和2年次目標と評価区分・内容を記載。
【評価区分】
A良好
B概ね良好
Cやや不良
D不良

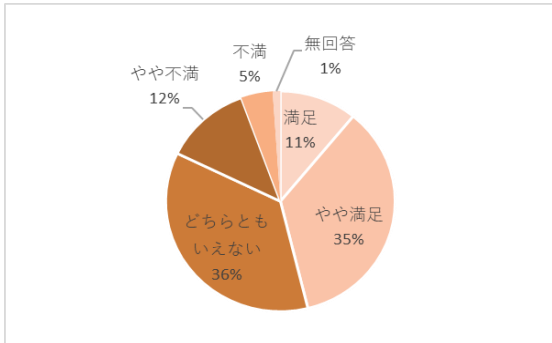
4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
総合戦略推進事業	まち・ひと・しごと創生に向け、地域社会の維持・発展につながる施策を総合的かつ計画的に展開するため、地方創生関連交付金の活用はもとより、産学官金労官の連携強化による効果的な施策の展開を図る。また、総合経営計画との一体的なPDCAサイクルの運用により、効果的な事業実施を図る。		883	85	358	596	596
	【人口減少の抑制(国勢調査)(人)】	58,493	57,909	57,324	56,739	56,154	55,569
	【人口減少の抑制(住民基本台帳)(人)】	60,880	60,272	59,663	59,067	58,445	57,836
			58,285	57,186	56,244	55,354	
大学×若者×創業による将来を担う人材育成・確保推進事業 ～H30 創業×女性×移住による挑戦の地「むつ」創生事業	下北圏域において、「地域の人材は地域で育てる」という意識の醸成、人材の好循環を目指し学力向上、スポーツ振興、起業創業者支援という政策連携を図る。人手不足が顕在化している市内企業の人材確保を目的に、首都圏等に在籍する大学生等や転職希望者のUIターン就職の推進や外国人技能実習制度の活用を促進する。		4,757	5,303	23,063	29,894	28,402
	【市内企業訪問(職場見学)参加者数(人)】	-	-	120	120	120	120
	【Uターン就職支援セミナー参加事業者(者)】	-	-	30	30	30	30
	【創業相談件数(件)】	77	81	81	81	74	74
		平成27年度	88	74	80	69	
	【創業件数(件)】	7	20	20	20	10	10
		平成27年度	14	8	11	8	
	【滞在型指導者(大学生等)の受入数(人)】	-	-	-	60	80	110
					89	19	
	<陸・海・空>むつうまブランドによる「稼げる」農林水産業推進事業 ～H30 「むつ市のうまい三本の矢」による地域ブランド化推進事業	ご当地グルメや伝統食文化、ブランド野菜など地域が誇る食資源を活用し、PR、活動団体及び事業者の支援を行い、地域経済の活性化を図る。(大津海軍コロッケ、大津海自カレー、大津Sora空っ!、べこもち、夏秋イチョ) 下北圏域のスケールメリットを活かし、地場産品の更なる販路開拓・拡大を推進し、地域経済の成長を目指す。		11,016	12,881	10,008	14,797
【べこもち講座参加人数(人)】		-	-	-	50	50	50
					49	0	
【大津海自カレー提供食数(食)】		-	15,000	30,000	45,000	60,000	75,000
			17,629	32,312	45,498	52,313	
【sora空っ!提供食数(食)】		-	-	-	30,000	50,000	70,000
					33,875	40,441	
【にんにくブランドカアップ補助金額(千円)】		-	-	-	1,000	1,000	1,000
					1,000	1,000	
【新規取引件数(件)】		-	-	-	10	10	10
				4	0		

施策内容に紐づく事務事業のうち主要な取組(主要事業)を記載。
各事業には、平成29年度、平成30年度、令和元年度決算額、令和2年度、令和3年度予算額、評価指標の目標値と実績値を掲載しており、R3.5(前期基本計画効果検証資料の作成)で報告いただいた数値等を把握できた範囲で記入している。

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



令和3年度市民アンケート結果	
満足	10.96%
やや満足	35.18%
どちらともいえない	36.02%
やや不満	12.29%
不満	4.46%
無回答	1.08%

令和3年6月に実施した「むつ市総合経営計画に関する調査票」に基づくアンケート結果を記載予定。
対象者数 2,000人
回答者数 832人
回収率 41.6%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	20位
-----------------------	-----

55の施策内容毎の順位
(※アンケート項目により、重複する施策内容を含む。)

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【評価の理由】 新型コロナウイルス接種業務、豪雨災害対応等の影響により、評価に係るスケジュールが多少ずれ込んでいる部分もあるが、事業の進捗は図られている。 【今後の取組の方向性】 PDCAサイクルの運用を継続しながら、地方創生関連交付金に係る令和4年度実施事業の取りまとめ、交付申請に向けた準備を進める。

令和3年10月に実施した各部署の内部評価による施策の進捗状況の評価・評価の理由・課題を記載。
【評価区分】
A順調に推移
B一定の進捗がある
C進捗は遅れている
D進捗は大幅に遅れている

令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【評価の理由(1月)】 評価に係るスケジュールが多少ずれ込んでいる部分もあったが、12月に評価に係る会議を開催することができた。それをもって本年度実施事業や来年度実施予定の事業の内容へ反映させていくことができるため、本事業は一定程度進捗していると判断した。 【今後の取組の方向性(1月)】 PDCAサイクルの運用を継続しながら、地方創生関連交付金に係る令和4年度実施事業の取りまとめ、交付申請を進める。 また、企業版ふるさと納税制度に関しては、企業体から当市の事業に対し理解を得られるよう、継続して周知活動を実施し、より多くの寄附が集められるよう努める。

令和4年1月に実施した各部署の内部評価による施策の進捗状況の評価・評価の理由・課題を記載。
【評価区分】
A順調に推移
B一定の進捗がある
C進捗は遅れている
D進捗は大幅に遅れている

7. 施策の進捗状況(外部評価)

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	B	B	A	4.5%	/
			B	68.2%	
			C	22.7%	
			D	4.5%	
			-	0.0%	

むつ市総合開発審議会委員の施策の進捗状況の評価と評価割合を記載。
評価割合が多いものを全体評価として記載する。

施策評価一覧

基本方針 施策項目 施策内容	担当部局	担当課	内部評価	外部評価	該当ページ
1. 元気の向上					
(1) 地方創生					
①まち・ひと・しごと創生の推進	企画政策部	企画調整課	B	B	20
(2) 産業・雇用					
①農林水産業の振興	経済部	生産者支援課	B	B	23
②商工業の振興	経済部	産業雇用政策課	B	C	27
③エネルギー関連産業の育成	企画政策部、経済部	エネルギー戦略課、産業雇用政策課	B	B	30
④新たな産業の創出	経済部	産業雇用政策課	B	B	33
⑤若者の地元就職の促進	企画政策部、経済部	市民連携課、産業雇用政策課	B	B	36
(3) 市民協働・コミュニティ					
①市民協働の施策展開	企画政策部	市民連携課	B	C	39
②多様な市民活動の支援	企画政策部	市民連携課	B	C	42
③広報広聴の充実	企画政策部	市民連携課	B	A	45
④コミュニティ自治の実現	企画政策部	市民連携課	B	B	48
(4) 男女共同参画・女性活躍					
①男女共同参画社会づくりに向けた意識改革	企画政策部	市民連携課	B	B	51
②市民一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの実現	企画政策部	市民連携課	B	C	53
2. 暮らしの向上					
(1) 健康・福祉					
①子どもすこやか母子保健の充実	子どもみらい部	子育て支援課	A	B	57
②一人ひとりの健康づくりの推進	健康づくり推進部	健康づくり推進課、国保年金課	B	B	61
③健康まちづくりの推進	健康づくり推進部	健康づくり推進課	B	B	64
④医療体制の充実	教育委員会	教委総務課	B	C	67
⑤児童福祉の充実	子どもみらい部	子ども家庭課、子育て支援課	A	B	69
⑥高齢者福祉の充実	福祉部	高齢者福祉課	B	B	72
⑦障害者福祉の充実	福祉部	障がい福祉課	B	B	75
⑧地域福祉の充実	福祉部	福祉政策課	B	B	78
⑨社会保障の充実	福祉部、健康づくり推進部	高齢者福祉課、国保年金課、健康づくり推進課	B	B	81
(2) スポーツ					
①スポーツ活動の充実	民生部	市民スポーツ課	B	B	84
(3) 環境					
①循環型社会の推進	民生部	環境政策課	B	B	87
②自然環境の保全	上下水道局	下水道課	C	C	90
③公害対策の充実	民生部	環境政策課	A	B	93
④環境衛生対策、廃棄物対策の充実	民生部	環境政策課	B	B	95
(4) コンパクト・プラス・ネットワーク					
①暮らしやすいまちの構築	都市整備部、上下水道局	都市計画課、下水道課	B	B	98
②計画的な土地の管理及び利用の促進	企画政策部	企画調整課	B	B	101
③道路基盤の整備	都市整備部	土木維持課、都市計画課	B	B	103
④公共交通の確保	企画政策部	交通政策課	B	B	106
⑤広域交通ネットワークの形成	企画政策部	交通政策課	A	B	109
(5) 行財政基盤					
①効率的な行政運営	総務部	行政改革推進課	B	B	112
②財政の健全化	財務部	財務課、税務課	B	B	115
③広域行政の推進	企画政策部	企画調整課	B	B	118
④公共施設マネジメントの推進	財務部	施設経営戦略課	C	C	120
⑤情報ネットワークの利活用の推進	総務部	総合情報課	A	B	122
3. 教育の向上					
(1) 教育					
①学力の向上	教育委員会	学校教育課	C	B	125
②体育・健康教育の充実	教育委員会	学校教育課	B	B	128
③夢を育む教育	教育委員会	学校教育課	B	B	131
④地域とともにある学校	教育委員会	学校教育課	B	B	134
⑤社会教育の充実	教育委員会	生涯学習課、図書館	B	B	137
⑥文化の充実・文化財の保存活用	教育委員会	生涯学習課	B	B	140
⑦むつサテライトキャンパスの推進	企画政策部	市民連携課	B	B	142
4. 安全の向上					
(1) 安全・安心					
①防災対策の充実	総務部	防災安全課	B	B	145
②消防・救急体制の充実	総務部	防災安全課	B	B	149
③水道の安全・安定供給の確保	上下水道局	水道課	A	A	152
④交通安全の確保	民生部	環境政策課	B	B	155
⑤防犯対策の充実	福祉部	福祉政策課	B	B	158
5. 魅力の向上					
(1) ジオパーク					
①ジオツーリズムによる交流人口の拡大	企画政策部	ジオパーク推進課	B	B	161
②資源価値の保全と教育	企画政策部	ジオパーク推進課	B	B	164
(2) 観光・物産					
①広域連携による観光プロモーション	経済部	観光戦略課	B	B	167
②移れる物産プロモーション	経済部	シティプロモーション推進課	B	B	170
(3) 景観					
①景観の向上と保全	都市整備部	都市計画課	A	A	173
(4) 国際・都市間交流					
①諸地域との親善・友好	企画政策部	企画調整課	B	B	175
(5) 海洋科学研究拠点					
①研究活動環境の充実	企画政策部	企画調整課	B	B	177

A 評価合計	7	3
B 評価合計	45	45
C 評価合計	3	7
D 評価合計	0	0

1. 元気の向上

施策評価調書（令和3年度）

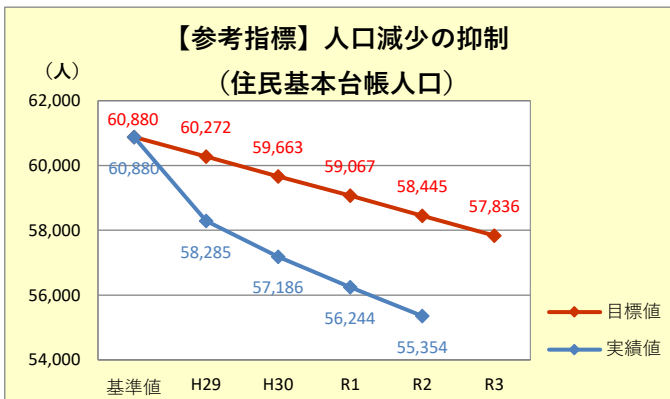
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 元気の向上	関係部局
施策項目	(1) 地方創生	企画政策部
施策内容	① まち・ひと・しごと創生の推進	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
人口減少の抑制（国勢調査）	58,493 H27年度	57,909	57,324	56,739	56,154 54,103	55,569
【参考指標】人口減少の抑制〔住民基本台帳人口〕	60,880 H27年度	60,272 58,285	59,663 57,186	59,067 56,244	58,445 55,354	57,836



3. 年次目標（令和2年次）

目標	実績	評価区分	評価内容
住民基本台帳人口 58,445人以上	55,354人	B 概ね良好	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、地方創生関連事業の一部延期・中止などが発生したものの、概ね計画通りに実施できたものと判断する。また、令和3年度事業についても、全事業が満額の採択を得ており、引き続き地方創生関連事業を推進していくこととしたことから、概ね良好とする。

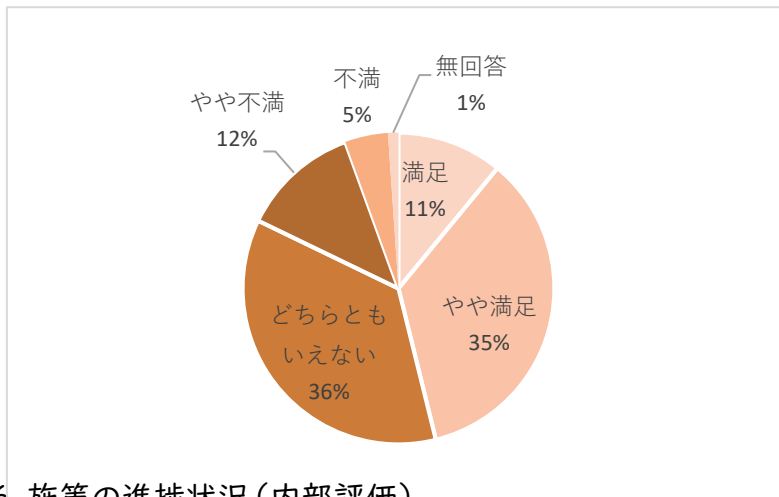
4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
			決算額	決算額	決算額	予算額	予算額	
	業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
総合戦略推進事業	まち・ひと・しごと創生に向け、地域社会の維持・発展につながる施策を総合的かつ計画的に展開するため、地方創生関連交付金の活用はもとより、産学官金労言の連携強化による効果的な施策の展開を図る。また、総合経営計画との一体的なPDCAサイクルの運用により、効果的な事業実施を図る。		883	85	358	596	596	
		【人口減少の抑制（国勢調査）（人）】	58,493	57,909	57,324	56,739	56,154	55,569
			平成27年度	-	-	-	-	-
		【人口減少の抑制（住民基本台帳）（人）】	60,880	60,272	59,663	59,067	58,445	57,836
		平成27年度	58,285	57,186	56,244	55,354		

大学×若者×創業による将来を担う人材育成・確保推進事業 ～H30 創業×女性×移住による挑戦の地「むつ」創生事業	下北圏域において、「地域の人材は地域で育てる」という意識のをもち、人材の好循環を目指し学力向上、スポーツ振興、起業創業支援という政策連携を図る。 人手不足が顕在化している市内企業の人材確保を目的に、首都圏等に在住する大学生等や転職希望者のUターン就職の推進や外国人技能実習制度の活用を促進する。	4,757	5,303	23,063	29,894	28,402	
	【市内企業訪問(職場見学)参加者数(人)】	-	-	120	120	120	120
	【Uターン就職支援セミナー参加事業者(者)】	-	-	30	30	30	30
	【創業相談件数(件)】	77	81	81	81	74	74
	【創業件数(件)】	7	20	20	20	10	10
	【滞在型指導者(大学生等)の受入数(人)】	-	-	-	60	80	110
		-	-	-	89	19	-
<陸・海・空>むつうまブランドによる「稼げる」農林水産業推進事業 ～H30 「むつ市のうまい三本の矢」による地域ブランド化推進事業	ご当地グルメや伝統食文化、ブランド野菜など地域が誇る食資源を活用し、PR、活動団体及び事業者の支援を行い、地域経済の活性化を図る。(大湊海軍コロッケ、大湊海自カレー、大湊Sora空っ!、べこもち、夏秋イチゴ) 下北圏域のスケールメリットを活かし、地場産品の更なる販路開拓・拡大を推進し、地域経済の成長を目指す。	11,016	12,881	10,008	14,797	15,705	
	【べこもち講座参加人数(人)】	-	-	-	50	50	50
	【大湊海自カレー提供食数(食)】	-	15,000	30,000	45,000	60,000	75,000
	【sora空っ!提供食数(食)】	-	-	-	30,000	50,000	70,000
	【にんにくブランドカアアップ補助金額(千円)】	-	-	-	1,000	1,000	1,000
	【新規取引件数(件)】	-	-	-	10	10	10
		-	-	-	4	0	-
未来創生キャンパス整備事業	令和4年度に開設を計画している青森大学むつキャンパスとしての機能の外、地域内外の大学連携、学びの拠点、市民交流の機能を併せ持ち、地域とともに学生が学び、学生の成長とともに地域も成長する「むつ市モデル」の核となる「むつ下北未来創生キャンパス」を整備するため、地域最大の収容能力を持つ下北文化会館をキャンパスとして活用可能な形に改修する。 なお、改修に当たり、安心・安全な学び、コワーキングスペース、リモート会議等の場を提供できるwithコロナ時代に適応した施設とするため、喚起空調設備、LAN・wi-fi等のインターネット環境、間仕切り壁等を併せて整備する。	-	-	-	-	-	697,982
		-	-	-	-	-	-
キョウイク(教育・共育・今日行く!)拠点によるまちづくり事業 ～R1 次代を担うプラチナ人材育成プロジェクト事業	むつ市初の高等教育機関である「青森明の星短期大学下北キャンパス」を拠点とした「学び」「地元就職・雇用」を推進するため、プラットフォームと連携しながら人材が地域で定着、還流する仕組みづくりを行う。	5,742	5,589	1,629	13,557	13,661	
	【インターンシップ受入者数(人)】	1	20	20	20	20	20
	【大学への企業紹介件数(件)】	19	20	22	24	26	28
	【「社会教育の充実」における満足度の向上(点)】	2.94	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
	【地域研修の誘致(大学生の受入)(人)】	296	300	300	300	300	300
	【社会人、主婦、高校生向けの講座数(講座)】	5	10	10	10	10	10
	【本事業による市内就職者数(人)】	-	-	-	-	-	-
むつ市まち・ひと・しごと創生推進事業	雇用創出、観光戦略、人材育成・人材定着、結婚・出産・子育て、生活環境整備など、むつ市が抱える課題に対し多方面からアプローチし、魅力あるまちづくりの実現を図る。						「第2期むつ市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲載されている全てのパッケージ事業が該当 ※掲載事業112事業

5. 総合経営計画に関する調査結果（市民アンケート）



評価	割合
満足	10.96%
やや満足	35.18%
どちらともいえない	36.02%
やや不満	12.29%
不満	4.46%
無回答	1.08%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	20位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている		B

令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている		B

7. 施策の進捗状況（外部評価）

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
			A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	B	
	B	B	68.2%		
	B	C	22.7%		
	B	D	4.5%		
	B	-	0.0%		

施策評価調書（令和3年度）

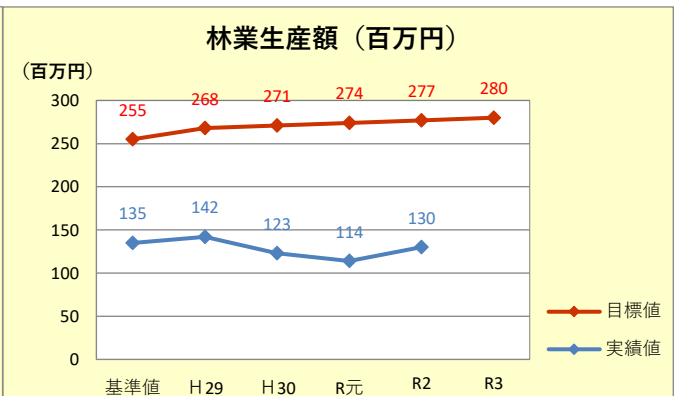
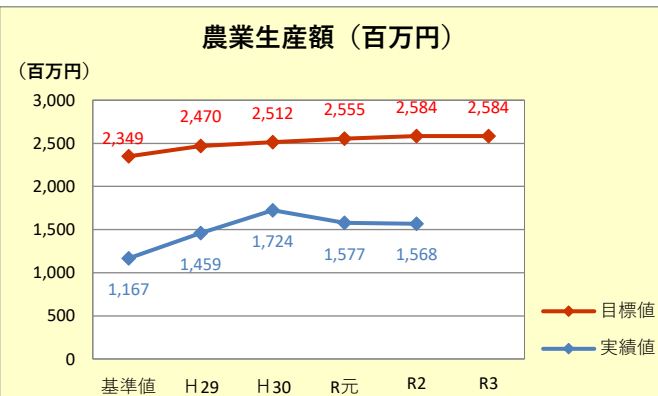
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 元気の向上	関係部局
施策項目	(2)産業・雇用	経済部
施策内容	①農林水産業の振興	

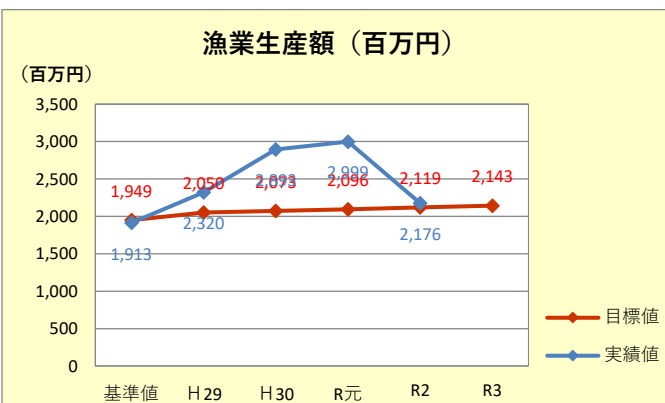
2. 基本計画における指標（KPI）

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
農業生産額(百万円)	2,349 H25年度	2,470 1,459	2,512 1,724	2,555 1,577	2,584 1,568	2,584
林業生産額(百万円)	255 H25年度	268 142	271 123	274 114	277 130	280
漁業生産額(百万円)	1,949 H25年度	2,050 2,320	2,073 2,893	2,096 2,999	2,119 2,176	2,143



【出展 青森県市町村民経済計算】



3. 年次目標（令和2年次）

目標	実績	評価区分	評価内容
農業生産額 農業生産額 2,584百万円	1,568百万円	B 概ね良好	新型コロナウイルスの影響を受け、延期や中止が発生した事業があるものの、各生産分野における応援給付金の給付と、その他の事業は順調に遂行されており、概ね良好と判断した。
林業生産額 277百万円	130百万円		
漁業生産額 2,119百万円	2,176百万円		

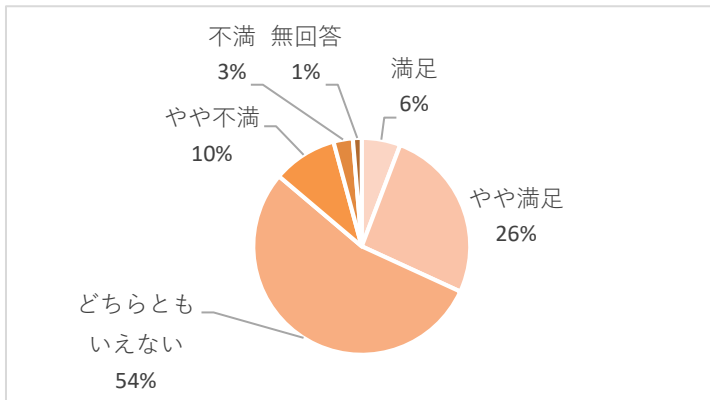
4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
			決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
	業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
<陸・海・空>むつまブランドによる「稼げる」農林水産業推進事業(むつ市産にんにくブランドカアップ事業)	にんにくは当市の新規就農者においても、畜産業を除く大半の者が栽培に取り組むなど高収益作物として注目されており、にんにく産地かつブランド化を目指すため作付者に支援をする。		-	-	1,000	1,000	1,000
	【にんにくブランドカアップ補助金額(千円)】	-	-	-	1,000	1,000	1,000
		-	-	-	1,000	1,000	
<陸・海・空>むつまブランドによる「稼げる」農林水産業推進事業(陸上養殖IoT推進事業)	漁業者の安定的な所得向上や担い手不足解消のため、先端技術(IoT)を活用したウニ・ナマコ等の陸上養殖事業の確立を図る。		-	-	-	5,000	5,000
	【AIやIoTの導入件数(件)】	-	-	-	-	1	1
アニマルキャプチャー事業(鳥獣被害対策事業)	ニホンザルの保護と食害防止のため、むつ市全域に鳥獣被害対策実施隊を配置し、遊動域の早期発見、モンキー・ドッグを活用した追い上げと生態調査の実施、第2次第二種特定鳥獣保護管理計画に基づく捕獲を実施し、生息数の減少に努め、農作物・人的被害を防ぐ。		6,334	6,924	3,065	3,285	3,533
	【クマによる農作物等被害額(千円)】	179	128	126	124	122	120
		平成26年度	754	329	583	275	
天然記念物ニホンザル・カモシカ食害対策事業	ニホンザルの群れ及び頭数の増加に伴い遊動域が拡大し、依然として農作物被害が発生しており、農家にとって、経済的・精神的に大きな負担となるだけではなく、生産意欲の低下や耕作放棄地の増加につながっていることから、被害防止に効果のある電気柵を設置する。		7,165	6,858	8,058	8,455	17,981
	【新規電気柵設置距離(m)】	1,700	2,000	1,800	1,800	1,800	1,800
		平成26年度	1,954	1,851	1,854	1,358	
市有牛貸付事業	市有牛の貸付及び譲渡により、有畜農家の普及を図り、畜産の振興及び農業経営の安定を図る。		1,700	1,448	1,744	1,800	1,800
	【市場導入牛頭数(頭)】	2	2	2	2	3	3
		平成28年度	2	2	2	2	
むつ市漁業共済掛金補助事業	漁業者の生産金額や漁獲金額が、不作・不漁により減少した場合の損失を補填する漁業共済への加入を促進し、漁業経営の安定に資することを目的に漁業共済掛金の一部を補助する。		6,369	5,795	5,733	6,013	6,637
	【漁業共済加入継続率(%)】	98	100	100	100	100	100
		平成27年度	100	98	97	88	
新日韓漁業協定共済加入推進事業	韓国漁船との漁場競合激化等の影響を受ける中型イカ釣り漁業が、不漁や自然災害などの損害を受けた場合にその損失を補填する共済制度への加入を推進し、漁業経営の安定に資することを目的に漁業共済掛金の一部を補助する。		626	721	779	802	773
	【漁業共済加入継続率(%)】	85	100	100	100	100	100
		平成27年度	100	100	88	71	
各種種苗放流支援事業	川内町内水面漁協が行うサクラマス幼魚放流事業に補助し、むつ市沿岸域の資源増大を図る。大畑町漁協が実施するヤマメ、アユ、サクラマス、アワビ種苗放流に要する経費の一部を補助し、水産資源の維持増大と漁業生産の安定を図る。		1,945	1,975	1,965	1,975	1,975
	【むつ市全体サクラマス漁獲量(t)】	38	58	58	58	58	58
		平成27年度	16	33	51	42	
	【大畑町漁協アワビ漁獲量(kg)】	2,987	1,481	1,481	1,481	1,481	1,481
		平成27年度	1,348	1,526	939	1,017	
	【大畑町漁協遊魚券販売数(年券/1日券)(枚)】	79-112	73/109	73/109	73/109	73/109	73/109
		平成27年度	56/72	94/127	91/91	57/57	
ナマコ資源増殖推進事業	ホタテガイを活用したナマコ増殖場造成や稚ナマコ購入・放流など、漁協が実施するナマコ資源の増殖を目的とする各種事業に係る経費の一部を補助する。		3,100	3,100	2,575	3,380	3,380
	【湾内ナマコ漁獲計画達成率(%)】	89	100	100	100	100	100
		平成28年度	110	90	86	79	

関根浜沿岸漁業振興対策事業(アワビ稚貝放流事業)	関根浜漁協が実施するアワビ稚貝放流を補助し、資源の維持増大を図る。	1,118	1,118	1,117	1,072	1,072
	【関根浜漁協アワビ漁獲量(kg)】	2,739	2,183	2,183	2,183	2,183
	平成28年度	1,624	2,047	1,247	844	
大畑町沿岸漁業振興対策事業	水産物鮮度保持施設、水産物簡易加工処理施設などの改修に要する費用について、基金を活用して実施する。	0	11,924	5,889	2,679	0
	【(-)】	-	-	-	-	-

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



満足	5.77%
やや満足	26.08%
どちらともいえない	54.33%
やや不満	9.62%
不満	2.88%
無回答	1.32%

55施策中	38位
※アンケート重複項目含む	

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】 各事業において、少しずつではあるが目標に近づいていると感じている。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【今後の取組の方向性(10月)】 今後も生産者の要望に対応しつつ、それぞれの事業が目標を達成できるよう支援していきたい。

令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】 各事業とも予定どおり遂行されており、概ね良好と判断した。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【今後の取組の方向性(1月)】 各事業とも引き続き今年度内の達成を目指す。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
施策の進捗状況 （基本計画の指標（KPI）の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価）	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる - わからない	B	A	0.0%	/
			B	68.2%	
			C	22.7%	
			D	4.5%	
			-	4.5%	

施策評価調書（令和3年度）

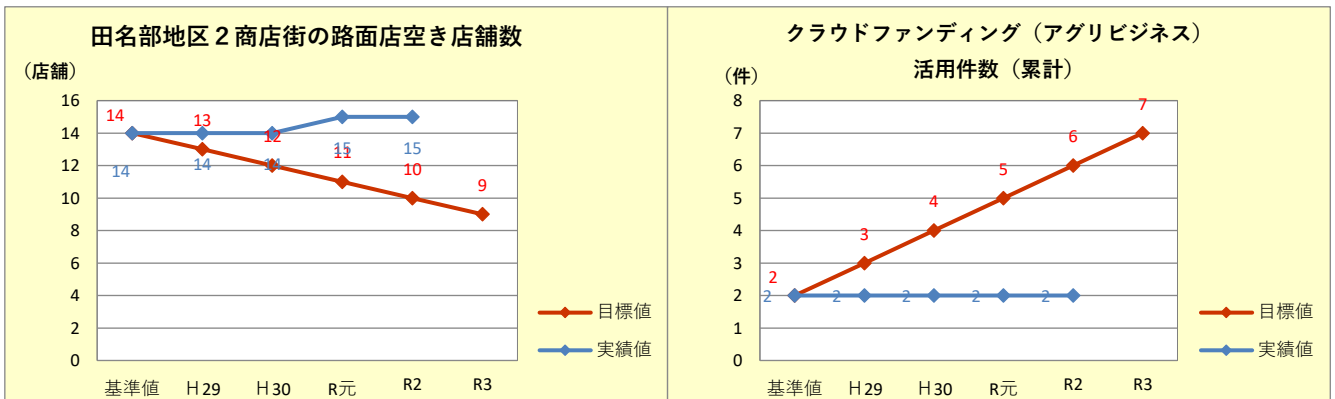
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 元気の向上	関係部局
施策項目	(2)産業・雇用	経済部
施策内容	②商工業の振興	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
田名部地区2商店街の路面店空き店舗数	14 H27年度	13 14	12 14	11 15	10 15	9 7
クラウドファンディング（アグリビジネス）活用件数（累計）	2 H27年度	3 2	4 2	5 2	6 2	7 2



【平成27年度空き店舗調査（実施：青森県商工政策課）】

3. 年次目標（令和2年次）

目標	実績	評価区分	評価内容
①まちゼミ参加者数 800人	0人	C やや不良	①当初、むつでは11～1月開催、大畑は11～12月開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により参加店舗がまちゼミ実施可能数に達せず開催中止。 ②新型コロナウイルス感染症の影響による説明会等の中止により、広報の機会が減少している。説明会等の参加者は昨年と同規模だが、クラウドファンディング活用にはまだ結びついていない。
②セミナー等の参加者数 10人	18人		

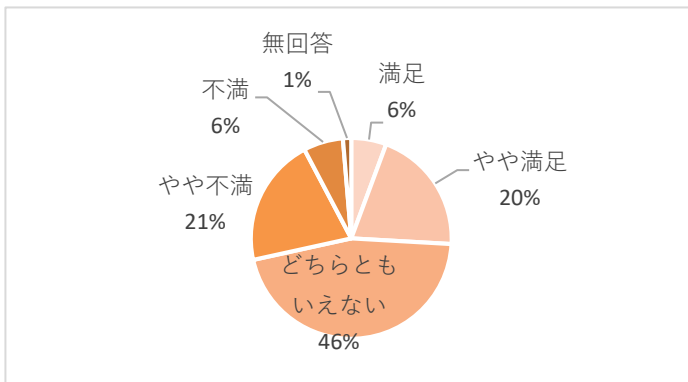
4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
大学×若者×創業による将来を担う人材育成・確保推進事業（創業支援事業） H29～30創業×女性×移住による挑戦の地「むつ」創生事業（創業支援事業）			2,893	2,351	559	1,201	1,094
	【創業相談件数（件）】	77	81	81	81	74	74
		平成27年度	88	74	80	69	
	【創業件数（件）】	7	20	20	20	10	10
		平成27年度	14	8	11	8	

中小企業経営安定化支援事業	市内中小企業の活性化と経営安定に資するため、運転資金及び設備資金に係る特別補償融資制度を設け、県内4金融機関に対して原資預託及び融資を受けた事業者への信用保証料補給事業を行う。	392,530	389,302	228,544	228,667	228,687
	【制度融資利用件数(件)】	172	132	132	132	132
	平成27年度	172	148	137	169	
むつ商工会議所補助金	商工業者の振興と地域の活性化の推進、社会一般の福祉の増進に資するため、同所が行う各種事業に対し、予算の範囲内で補助を行う。	7,718	7,718	7,718	7,718	7,718
	【相談指導件数(件)】	2,162	2,600	2,600	2,600	2,600
	平成28年度	2,135	2,141	2,043	2,038	
【金融の斡旋または推薦件数(件)】	73	75	75	75	75	75
	平成28年度	63	75	74	70	
むつ市商工会補助金	商工業者の振興と地域の活性化の推進、社会一般の福祉の増進に資するため、川内町商工会及び大畑町商工会が行う各種事業に対し補助する。	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600
	【経営相談指導件数(件)】	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	平成27年度	2,174	2,196	2,125	2,014	
【金融の斡旋または推薦件数(件)】	42	40	40	40	40	40
	平成27年度	46	41	46	59	
アグリビジネス推進事業 H29～30「むつ市のうまい三本の矢」による地域ブランド化推進事業(アグリビジネス事業)	市経済の基幹をなす農林水産業の持続的発展に向け、商品開発や販路開拓、6次産業化へとつなげるため、クラウドファンディングの活用促進を図る。	0	0	0	500	500
	【活用事業者数(事業者)】	-	1	1	1	1
	-	0	0	0	0	
商店街活性化事業(まちゼミ) H29～30創業×女性×移住による挑戦の地「むつ」創生事業	商店街の衰退が激しい中、「商店街活性化の3種の神器(まちゼミ・100円商店街・街パレ)」と呼ばれる事業を展開することで商業の活性化を支援する。	1,594	1,494	616	500	400
	【まちゼミ参加者数(人)】	726	1,822	1,822	800	850
	平成27年度	1,929	1,634	796	0	900
【まちゼミ講座数(件)】	49	150	150	80	80	80
	平成27年度	156	148	66	0	

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



満足	5.66%
やや満足	20.24%
どちらともいえない	45.66%
やや不満	20.72%
不満	6.39%
無回答	1.33%

55施策中	50位
※アンケート重複項目含む	

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	①まちゼミについて、コロナ禍でも安心して参加できる体制を整備しながら9～11月で開催中。 ②クラウドファンディング(アグリビジネス)について、市ホームページやセミナー等で周知しているものの、活用には結びついていない。 【今後の取組の方向性(10月)】 ①参加店や講座参加者が減少しているため、開催方法等を検討し集客率向上に結びつけたい。 ②セミナー等で説明予定。関係機関との情報共有や広報誌等の活用により制度の周知に努めたい。

令和3年度施策の 進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての事務事 業の業績評価指標等から総 合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる	B	①あんしん飲食店等認定やオンライン講座等コロナ禍でも市民が 安心して参加できる体制を整備しながら開催中。 ②市ホームページやセミナー等で周知しているものの、活用には 結びついていない。 【今後の取組の方向性(1月)】 ①コロナ禍により参加店や講座参加者が減少しているため、開催 方法や時期等を検討し集客率向上に結びつける取組をしたい。 ②2月に創業支援セミナーで説明予定。また、関係機関との情報 共有や広報紙等の活用により制度の周知に努める。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価)	区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる - わからない	選択区分 C	評価割合		【主な意見】 新しいビジネスが生まれたとは言いが たいが、このコロナ禍の折り、やむを得 ないと考えます。むしろ、この間に、当地 を事業立地する企業側の必然性は何か？(製造業は運送コスト・時間の問題 から、人件費の安さ以外、当地は魅力 に乏しい)など、マーケティングに注力 すべきではないでしょうか？私は観光 業とソフト産業に芽があるのではない かと考えています。 ※その他「概要」参照のこと
			A	0.0%	
			B	27.3%	
			C	54.5%	
			D	13.6%	
			-	4.5%	

施策評価調書（令和3年度）

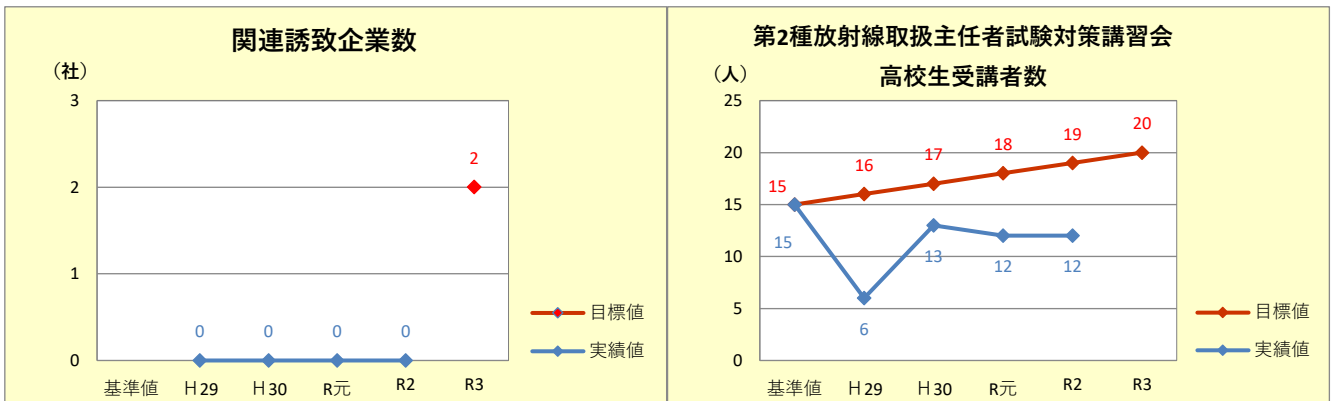
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 元気の向上	関係部局
施策項目	(2)産業・雇用	企画政策部
施策内容	③エネルギー関連産業の育成	経済部

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
関連誘致企業数	-	0	0	0	0	2
第2種放射線取扱主任者試験対策講習会高校生受講者数	15 H28年度	16 6	17 13	18 12	19 12	20



3. 年次目標（令和2年次）

目標	実績	評価区分	評価内容
①公共施設等への再生可能エネルギー等の導入状況等の把握と導入の推進	計画事業完了	B 概ね良好	①次年度事業として当初予算要求には至らなかったものの、再エネ導入について、経常経費節減の観点からターゲットとなる施設を一定程度抽出しており、具体の事業案についても検討を進めている。 ②試験が12月に延期されたため、講習会の日程もそれに合わせ変更となったが、12月上旬に講習会の全行程が滞りなく完了。当該試験の受験助成金の1月申請受付、2月に支給済み。第12回の講習会の受講生の募集を3月に開始した。
②第2種放射線取扱主任者試験対策講習会高校生受講者数 19人	12人		

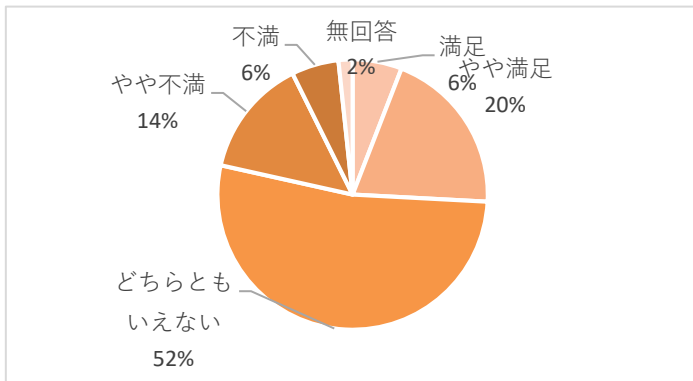
4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
地域企業連携強化事業	第2種放射線取扱主任者の資格取得について講習会を開催するとともに、講習会に参加した地元高校生に対してテキストを支給する。		2,331	2,434	2,392	2,437	2,367
	【高校生受講者数(人)】	6	16	17	18	19	20
		平成28年度	7	13	12	12	
	【国家資格(第2種放射線取扱主任者)試験合格率(%)】	34.8	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3
平成28年度		26.7	35.3	10.0	50.0		

太陽の恵み基金事業	公共施設に太陽光発電システムを導入することで得られる電気料金の節減分を、「太陽の恵み基金」として積み立てることにより、住宅用太陽光のパネルを導入する家庭に対し、むつ市住宅用太陽光発電システム導入支援事業として助成を行う。	917	818	1,137	351	351
	【交付実績数(交付額/予算額)(%)】	43	100	100	100	100
	平成28年度	29	0	43	86	
広報・調査等交付金事業	「使用済燃料中間貯蔵施設」及び周辺に建設及び計画されている原子力発電施設について、広報・調査等交付金を活用し、施設見学会や職員研修などの広報活動等を実施することで、市民の原子力発電に関する知識の普及を図る。	10,048	10,689	11,151	14,410	14,429
	【市民の見学会参加者数(人)】	209	200	200	200	200
	平成28年度	197	207	231	24	
	【研修参加職員数(人)】	50	40	40	40	40
平成28年度	38	51	25	0		
燧岳周辺地域地熱開発事業	燧岳における地熱資源開発について、風間浦村下風呂地区を含めた周辺住民等の理解の深耕を図る。地元住民等が地熱開発や熱水の利活用に対してこれまで以上に積極的に関心を持てるよう、先遣地視察等を実施する。	526	1,235	1,229	1,830	4,010
	【燧岳地熱座談会参加者理解度(%)】	88.9	70	70	70	70
	平成29年度	88.9	100	92.3	-	
	【燧岳地熱座談会参加者数(参加回数/回)】	13.5	30.0	15.0	16.0	16.0
平成29年度	13.5	14.5	14.0	-		

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



回答内容	割合
満足	5.89%
やや満足	19.95%
どちらともいえない	52.64%
やや不満	14.18%
不満	5.65%
無回答	1.68%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	49位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の 進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての事務事 業の業績評価指標等から総 合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れてい る	B	新型コロナウイルス感染拡大の影響がある中、可能な限り 事業を実施し、エネルギー関連施設が集積しているという 当地域の特性を活かしたエネルギー関連産業の活性化及 び人材育成に寄与する取組を推進することができた。 【今後の取組の方向性(10月)】 今後も、継続的かつ発展的に当地域の特性を活かしたエ ネルギー関連産業の活性化及び人材育成に寄与する取組 を推進していく。

令和3年度施策の 進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての事務事 業の業績評価指標等から総 合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる	B	見学会参加者に実施したアンケートにおいて「知りたかったこと が理解できた」という回答が100%を占め、年次目標達成に向け て順調に進んでいる。 第12回の講習会は新型コロナウイルス感染症の影響により、講 習会の期間が短く受講者全体が減少したが、第13回講習会は2 0名の受講者の内、高校生は14名となった。 【今後の取組の方向性(1月)】 今年度の実施内容を検証し、来年度の実施に向けた評価や改 善策の検討を行う。 第13回講習会の受講者20名の試験合格を目指し、講師である 原子力エンジニアリングと授業内容等について連携を図る。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れてい る - わからない	B	A	0.0%	
			B	50.0%	
			C	40.9%	
			D	0.0%	
			-	9.1%	

施策評価調書（令和3年度）

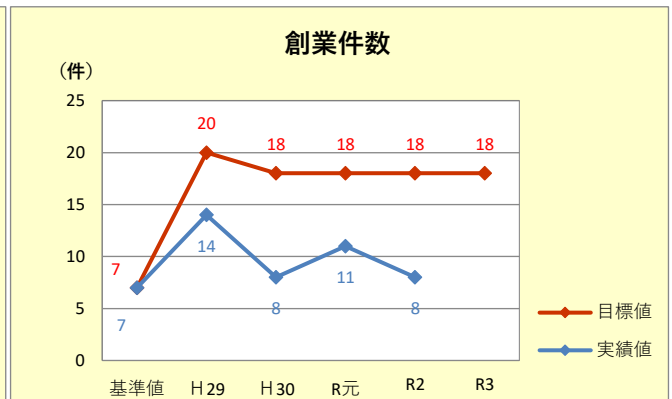
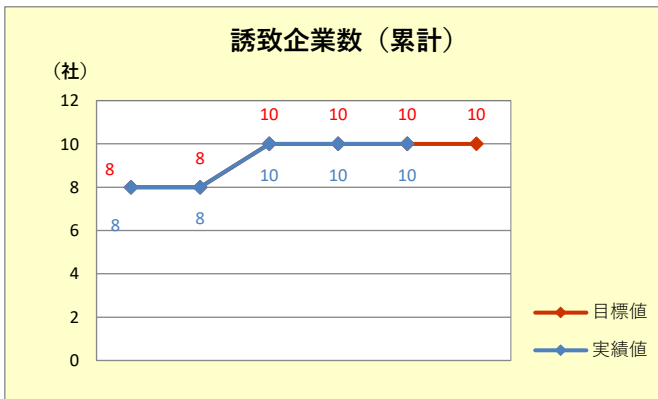
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 元気の向上	関係部局
施策項目	(2) 産業・雇用	経済部
施策内容	④ 新たな産業の創出	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
誘致企業数（累計）	8 H27年度	8	10	10	10	10
創業件数	7 H27年度	20	18	18	18	18
		14	8	11	8	



3. 年次目標（令和2年次）

目標	実績	評価区分	評価内容
① 企業誘致相談件数 5件	2件	B 概ね 良好	① 企業からの相談は前年度より1件減。電源地域振興センターによる調査では、むつ市を事業所等の新設・増設・移転の対象とした企業が21社あったため、企業ニーズを満たすよう情報発信に努めた。 ② 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により相談数が減少し、それに伴い創業時期が遅れ、創業件数の減少に繋がったと考えられる。
② 創業支援対象件数 74件	68件		

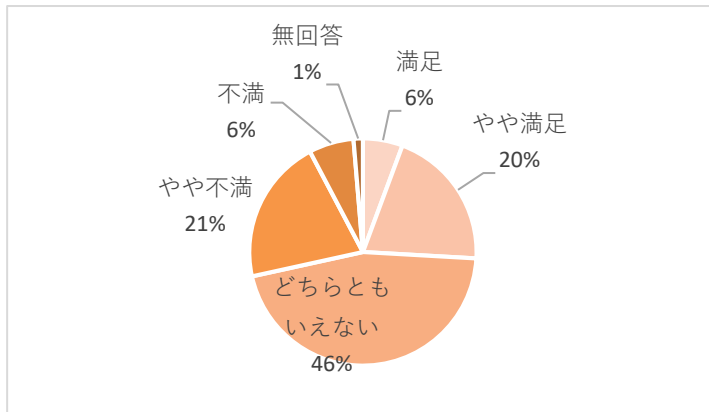
4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
			決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
	業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
企業誘致推進事業	既存誘致企業に対する優遇制度を実施しながら、企業誘致支援サービス事業を活用し、県協議会等と連携を図りながら、新たな企業を誘致する。		2,684	1,497	1,282	1,766	1,023
	【新規誘致企業数(件)】						
		平成27年度	0	2	0	0	

大学×若者×創業による将来を担う人材育成・確保推進事業(創業支援事業) H29~30創業×女性×移住による挑戦の地「むつ」創生事業(創業支援事業)	下北地域広域創業支援事業計画に基づき、商工会議所等の支援機関や周辺町村と連携しながら、ワンストップ相談窓口や創業塾、創業セミナー、創業相談ルーム等の事業を展開することで、創業希望者に対して、創業に必要な情報やノウハウ等を提供するとともに、創業後の事業継続に関する支援を実施する。 併せて、金融機関と連携し、下北地域ビジネスプランコンテストを開催することで、新たなビジネスの創出を支援する。		2,893	2,351	559	1,201	1,094
	【創業相談件数(件)】	77	81	81	81	74	74
		平成27年度	88	74	80	73	
	【創業件数(件)】	7	20	20	20	10	10
	平成27年度	14	8	11	8		

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



回答	割合
満足	5.66%
やや満足	20.24%
どちらともいえない	45.66%
やや不満	20.72%
不満	6.39%
無回答	1.33%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	50位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】 ①企業誘致相談は前年度同期より1件増の計3件である。 ②創業支援対象件数及び創業件数は前年度同期と同規模である。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【今後の取組の方向性(10月)】 ①今後も企業ニーズを満たすよう情報発信していきたい。 ②引き続き関係機関と連携し、創業希望者のニーズに沿った支援を実施する。

令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】 ①企業誘致相談は前年度同期と同数である。今後も企業ニーズを満たすよう情報発信していきたい。 ②創業支援対象件数及び創業件数は前年度同期と同規模である。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【今後の取組の方向性(1月)】 ①電源地域振興センター発行の「企業立地ガイド」、市作成の「むつ市企業誘致ガイド」などの資料を用い情報発信に努め、今後の企業相談に繋げたい。 ②引き続き関係機関と連携し、創業希望者のニーズに沿った支援を継続して実施する。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
<p>施策の進捗状況 （基本計画の指標（KPI）の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価）</p>	<p>A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる - わからない</p>	<p>B</p>	A	4.5%	<p>地元企業の人材不足が顕著化し ている中で、誘致企業の新たな人 材確保が可能なのかの精査は必 要と思料する。雇用機会の拡大に は期待するが、別途域外からの人 材誘致も検討が必要と考える。</p>
			B	68.2%	
			C	22.7%	
			D	4.5%	
			-	0.0%	

施策評価調書（令和3年度）

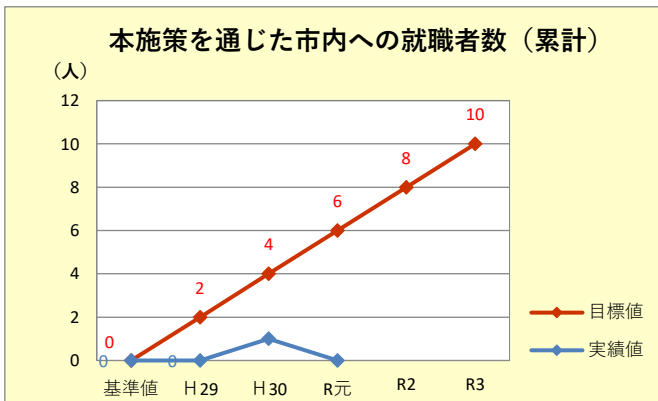
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 元気の向上	関係部局
施策項目	(2)産業・雇用	企画政策部
施策内容	⑤若者の地元就職の促進	経済部

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
本施策を通じた市内への就職者数(累計)	-	2	4	6	8	10
	-	0	1	0	R3年度中公表	



3. 年次目標（令和2年次）

目標	実績	評価区分	評価内容
①インターンシップ受入者数 20人	16人	B 概ね良好	①感染症感染拡大防止のため、各大学において課外活動の実施が制限される中、オンラインインターンシップという新たな方法を用いたことで、参加者数が減少することなく、実施出来ている。 ②オンライン実施のため移動の制限が無いことから、昨年までは行程に組入れることが難しかった川内地区・大畑地区に事業所を持つ企業を紹介することができた。 ③優良企業見学会が好評であり、来年度以降も継続して開催することを望まれている。特に大湊高校の参加者数は54名と昨年度と比較して12名増の結果となっている。ガイドブックについても高校から好評を博している。
②大学への企業紹介件数 24件	8件		
③職場見学会参加者数 60名	76人		

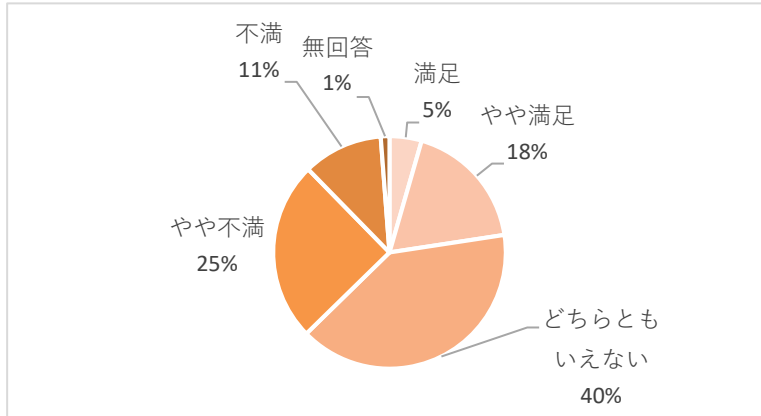
4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
大学×若者×創業による将来を担う人材育成・確保推進事業（新規高卒者市内定着支援事業）	高校卒業後の地元定着を支援し、若者の市外流出を防ぐため、高校生を対象とした企業見学会やむつ市で働く魅力を伝えるガイドブックの作成・配布を行う。		0	1,041	2,312	1,239	1,197
	【市内企業訪問（職場見学）参加者数（人）】	-	-	120	120	120	120
		-	-	59	104	76	

キョウイク(教育・共育・今日行く!)拠点によるまちづくり事業(オール青森雇用創出連携プロジェクト事)	県内大学・県内自治体・県内企業等がオール青森体制で産学官民協働の広域ネットワークを形成し、卒業生の地元就職率の向上及び雇用創出に取り組む。	139	887	738	1,157	1,337
	【インターンシップ受入者数(人)】	1	20	20	20	20
		平成28年度	4	17	16	16
	【大学への企業紹介件数(件)】	19	20	22	24	26
	平成28年度	16	16	7	8	

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



満足	4.47%
やや満足	18.12%
どちらともいえない	40.10%
やや不満	25.00%
不満	11.11%
無回答	1.21%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	53位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】 県内大学等との連携を深め、事業を継続しており、「オンライン企業見学会」を実施方法の一つとして確立したことで、コロナ禍において参加を諦めざるを得なかった学生の参加を促すことができた。 企業見学会は昨年度より開催校が増となり、市内外3校にて実施予定。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【今後の取組の方向性(10月)】 今後も「オンライン企業見学会・インターンシップ」を選択肢の一つとし、市内企業とのマッチングに繋がられるような展開に加え、県内学生に関わらず、遠方の学生の参画を促し、オフライン実施に繋がられるよう調整していく。 コロナ禍により、就労意識の変化が見られ、地元就職希望者が増加傾向にあるため、引き続き関係機関と連携しながら事業を展開する。

令和3年度施策の 進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての事務事 業の業績評価指標等から総 合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる	B	①共育型・従来型インターンシップについては、新規事業者の受入の拡大、遠方の学生の参加等、将来市内企業への就職に繋がる事業として効果的であると評価できるため。 ②昨年度に引き続き、オンラインで実施したことで、コロナ禍において参加を諦めざるを得なかった学生の参加を促すことができたため。 ③引き続きコロナの感染状況を注視しながら、市外の高校を含めた企業見学会を実施予定。参加人数は昨年と同規模を見込んでいる。 【今後の取組の方向性(1月)】 ①②今後も「オンライン企業見学会・インターンシップ」を選択肢の一つとし、市内企業とのマッチングに繋げられるような展開に加え、県内学生に関わらず、遠方の学生の参画を促し、オフライン実施に繋げられるよう調整していく。 ③コロナ禍により、就労に関する意識に変化がみられ、新規高卒者のうち地元就職希望者が増加傾向にあることから、引き続き関係機関と連携し、事業を展開していく。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる - わからない	B		A	0.0%
			B	50.0%	
			C	36.4%	
			D	9.1%	
			-	4.5%	

施策評価調書(令和3年度)

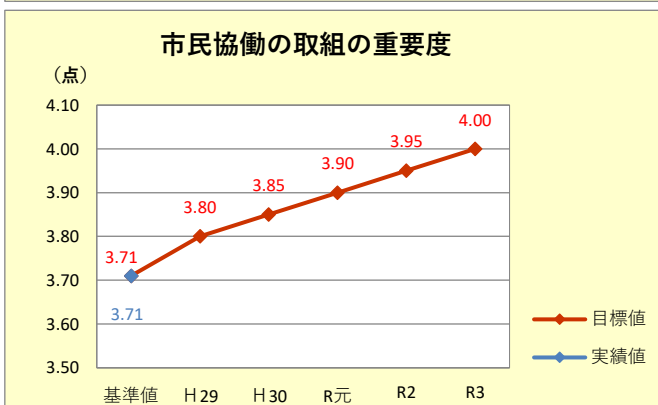
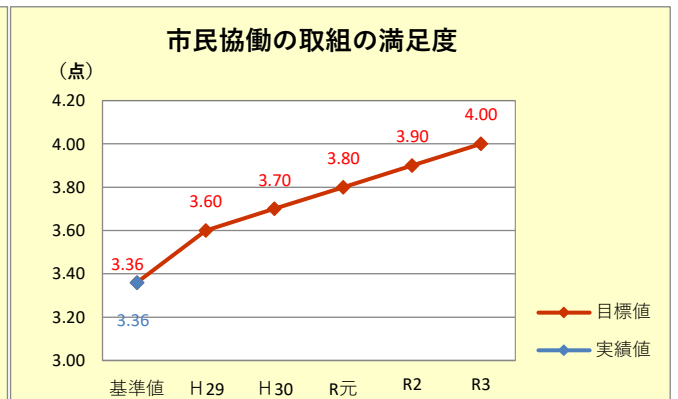
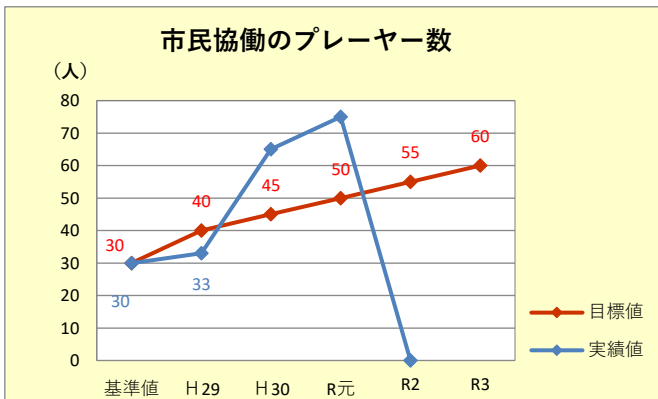
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 元気の向上	関係部局
施策項目	(3)市民協働・コミュニティ	企画政策部
施策内容	①市民協働の施策展開	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
市民協働のプレーヤー数	30 H28年度	40 33	45 65	50 75	55 0	60
市民協働の取組の満足度	3.36 H26年度	3.60 未実施	3.70 未実施	3.80 未実施	3.90 未実施	4.00
市民協働の取組の重要度	3.71 H26年度	3.80 未実施	3.85 未実施	3.90 未実施	3.95 未実施	4.00



3. 年次目標(令和2年次)

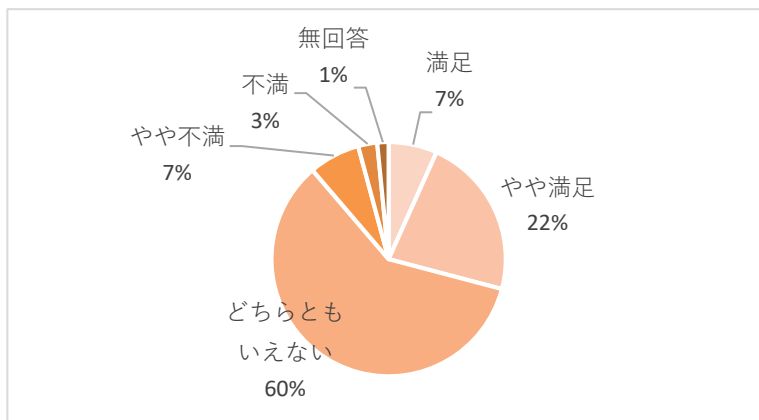
目標	実績	評価区分	評価内容
①市民協働のプレーヤー数 55人 (各種WSにおけるファンリテーター)	0人	C やや 不良	新型コロナウイルス感染症の影響により計画していた事業を全て見送ったが、新年度の事業実施に向けて講師等との連絡調整を行っている。
②会議参加者数 200人	0人		

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
			決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
	業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
市民協働まちづくり事業	市民や各種コミュニティのつながりを生み出し、市民協働のまちづくりを推進するため、先進事例を紹介する講演会や「ご近所知恵だし会議」などの地域課題解決に向けたワークショップを開催する。		278	283	118	242	214
	【市民協働のプレイヤー数(人)】	30	40	45	50	55	60
		平成28年度	33	65	75	0	
	【市民協働の取組の満足度(点)】	3.36	3.60	3.70	3.80	3.90	4.00
		平成26年度	-	-	-	-	-
ご近所知恵だし会議プロモーション事業	地域の問題について、地域住民自らが考え、取り組む気運を醸成するため、町内会等の地縁団体を主体にワークショップを開催する。		299	330	282	287	287
	【会議開催回数(件)】	2	2	2	2	2	2
		平成28年度	2	2	2	0	
	【会議開催人数(人)】	78	80	85	90	95	100
		平成28年度	71	62	71	0	

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



回答内容	割合
満足	6.71%
やや満足	22.40%
どちらともいえない	59.64%
やや不満	7.07%
不満	2.63%
無回答	1.56%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	32位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の 進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての事務事 業の業績評価指標等から総 合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】 新型コロナウイルス感染症の影響により今年度は実施を見送るが、次年度に向けた事業の検討は行っている。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【今後の取組の方向性(10月)】 多様な市民意見を引き出す事を目的に事業を展開しているが、目標設定当初から数年経過し、各担当課における市民意見聴取の方法も多様化しそれぞれ実施されていることから、評価指標の見直しについて検討が必要な時期と考える。

令和3年度施策の 進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての事務事 業の業績評価指標等から総 合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】 新型コロナウイルス感染症の影響により今年度は実施を見送ったが、次年度に向けた事業の検討を行い予算計上した。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【今後の取組の方向性(1月)】 多様な市民意見を引き出す事を目的に事業を展開しているが、目標設定当初から数年経過し、各担当課における市民意見聴取の方法も多様化しそれぞれ実施されていることから、評価指標の見直しについて検討が必要な時期と考える。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】 感染拡大の波の間に実施しまし よう。 コロナの影響が大きい今だからこ そ、やれるカタチで事業展開してい くことが必要と思います。 ※その他「概要」参照のこと。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	C	A	0.0%	
			B	18.2%	
			C	50.0%	
			D	18.2%	
			-	13.6%	

施策評価調書(令和3年度)

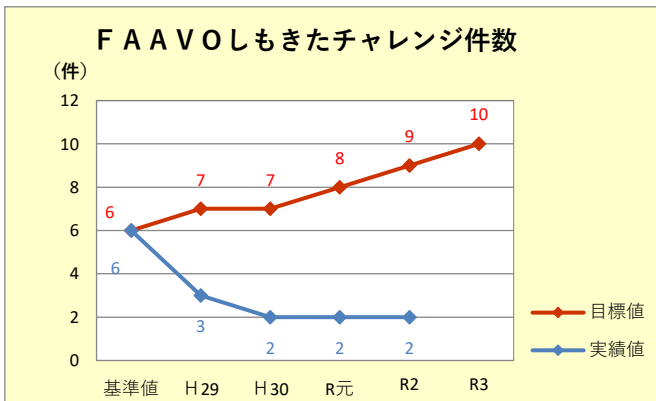
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1.元気の向上	関係部局
施策項目	(3)市民協働・コミュニティ	企画政策部
施策内容	②多様な市民活動の支援	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
FAAVOLもきたチャレンジ件数	6 H28年度	7 3	7 2	8 2	9 2	10



3. 年次目標(令和2年次)

目標	実績	評価区分	評価内容
まさかり高校SMILEProject参加高校生数 100人	0人	C やや不良	まさかり高校SMILEProjectについては、新年度の事業実施に向けて検討を継続した。FAAVOLもきたについては、2件の活用があり延べ140人から1,012,000円の支援が得られた。
FAAVOLもきたチャレンジ件数 9件	2件		

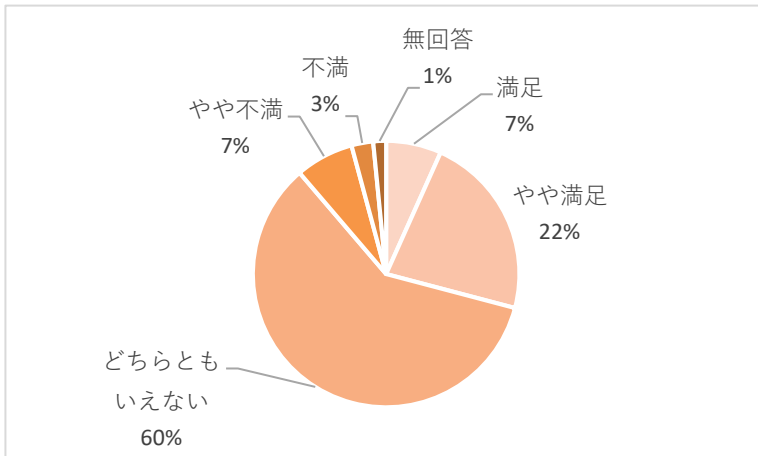
4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
			決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
	業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
FAAVOLもきた運営事業	株式会社CAMPFIRE(キャンプファイヤー)提供の地域振興・地域活性化に特化したクラウドファンディング「FAAVOLもきた」(ファーボバイキャンプファイヤー)を下北5市町村で構成する連絡協議会が「エリアオーナー」となって「FAAVOLもきた」として運営する。 5市町村が連携し、地域を盛り上げる新しいアイデアや夢を持つ人々が、資金面で諦めることなくチャレンジすることができるよう、新たな資金調達場の提供することで夢の実現を応援する。		270	270	140	140	0
			【FAAVOLもきたチャレンジ件数(件/年)】	6 平成28年度	7 3	7 2	8 2

まさかり高校Smile Project 補助事業	「まさかり高校Smile Project」として県立大間高校を含む下北地域内高校生による実行委員会が行う地域活動に係る経費。	75	100	100	73	73
	【参加高校生数(人)】	93	100	100	100	100
	(平成28年度)	40	21	18	0	

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



満足	6.71%
やや満足	22.40%
どちらともいえない	59.64%
やや不満	7.07%
不満	2.63%
無回答	1.56%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	32位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の 進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての事務事 業の業績評価指標等から総 合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる	B	<p>昨年度から相談があった案件について、相談者と打ち合わせを重ね、申請に結びつけることができたため。</p> <p>【今後の取組の方向性(10月)】</p> <p>引き続き、事業のPRを下北5市町村で連携して行い、クラウドファンディング開始まで足踏みをしている相談者の背中を押せるよう、事業計画やページ作成に協力するなどサポートを強化していく。また、プロジェクトに対するスピード感を重視した体制の構築を図る。</p>

令和3年度施策の 進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての事務事 業の業績評価指標等から総 合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる	B	昨年度から相談があった案件について、8月に申請に結びつけ、プロジェクト自体も無事成功を収めることができた。また、関係市町村において書面協議を開催し、プロジェクトに対するスピード感を重視した次年度以降の体制構築について決議された。 【今後の取組の方向性(1月)】 引き続き、事業のPRを下北5市町村で連携して行い、クラウドファンディング開始まで足踏みをしている相談者の背中を押せるよう、事業計画やページ作成に協力するなどサポートを強化していく。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合	【主な意見】	
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる - わからない	C	A	4.5%	FAAVOは、市民活動を個別に地域に告知していくのに有効な手立てです。コロナ禍があるものの、まだまだ敷居が高いので、2、3件で推移しているものと思われます。活動団体の大小にかかわらず、チャレンジできることを広く知ってもらう工夫がより必要です。そうして、是非、下北の市民活動を育てて下さい。 ※その他「概要」参照のこと。
			B	18.2%	
			C	54.5%	
			D	13.6%	
			-	9.1%	

施策評価調書（令和3年度）

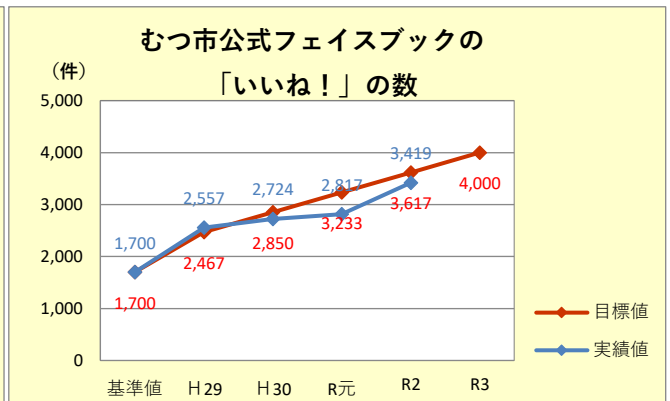
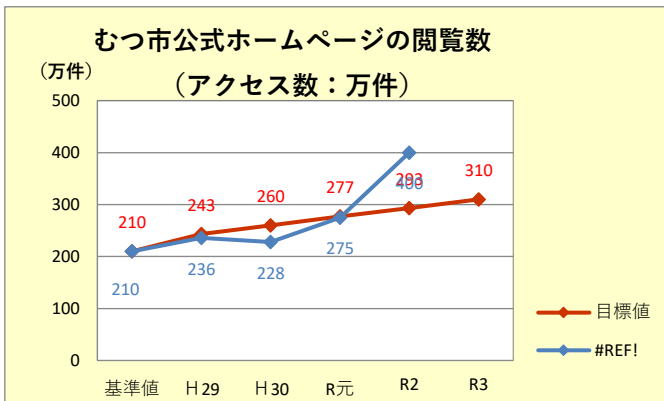
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 元気の向上	関係部局
施策項目	(3)市民協働・コミュニティ	企画政策部
施策内容	③広報広聴の充実	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
むつ市公式ホームページの閲覧数(アクセス数:万件)	210 H27年度	243 236	260 228	277 275	293 400	310
むつ市公式フェイスブックの「いいね!」の数	1,700 H27年度	2,467 2,557	2,850 2,724	3,233 2,817	3,617 3,419	4,000



3. 年次目標（令和2年次）

目標	実績	評価区分	評価内容
公式ホームページの年間アクセス数 293 万件	4,062,072件	A 良好	全庁あげて取り組んでいる新型コロナウイルス感染症対策を中心に市の様々な情報を広報紙・ホームページ・SNS・YouTube・FMアジュールといった様々なツールを活用して迅速かつ正確に発信を行った。ホームページのアクセス数やフェイスブックの「いいね!」が増加していることから、日々心がけている「伝わる」広報活動をしっかり取り組むことができているのではないかと自己評価している。
公式フェイスブックの「いいね!」の数 3,617件	3,419件		

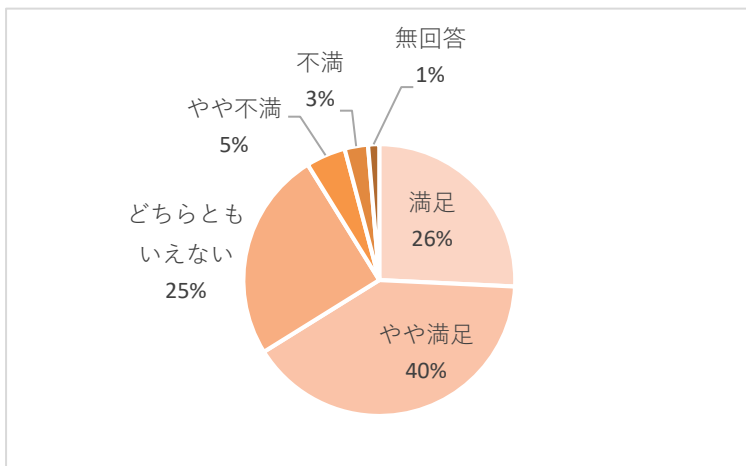
4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
			決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
	業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
広報紙発行事業	「みんながつながるむつ市の総合情報誌」として、市政情報のみならず、市民及び各種団体の取組を紹介する「広報むつ」を年12回発行し、市政への参画を図り、協働のまちづくりの実現に結びつける。		21,691	22,528	23,029	25,155	25,125
	【発行部数(部/月)】	23,500	23,500	23,500	23,000	23,000	22,000
		平成28年度	23,500	23,500	23,000	23,000	

むつ市ホームページシステム 保守業務委託事業	国内のみならず世界中から容易にアクセス可能なホームページの充実を市内全体で図り、市政情報や本市が誇る様々な魅力を迅速かつ正確に発信する。また、即時性やメッセージ性に優れた「twitter」「Facebook」「YouTube」といったSNSとの連動を図り、情報量の多いホームページへ誘導させることで、閲覧者に必要な情報をしっかりと伝達する環境を整備する。	551	551	1,312	598	598	
	【アクセス件数(万件)】	226	243	260	276	293	310
	平成28年度		236	228	275	400	
プレスリリース	市民のみならず市外に住む多くの方々へ最小の費用で効果的に各種情報を発信する上で有効である新聞やテレビなどの報道機関に本市の取組等を取り上げていただくため、むつ市政記者会等へのプレスリリースを積極的に実施する。	0	0	0	0	0	
	【プレスリリース件数(件)】	226	226	226	226	226	226
	平成28年度		219	254	201	185	
コミュニティエフエムによる 広報事業	県内最大の面積を誇る本市において、最新の行政情報を即座に発信していくため、コミュニティエフエムの活用及びインターネット配信によるラジオ放送を行い、各種広報媒体を連動させた広報活動を実施する。	12,990	13,475	13,529	13,647	13,687	
	【放送時間(時間)】	140	140	140	140	140	140
	平成28年度		145	142	124	103	
市民の声データベースシステム保守事業	市内各部署窓口へ寄せられる意見や提言、要望等を担当する職員の業務の効率化及び負担軽減と情報の集約による全庁的な情報共有を図ることを目的に、「市民の声データベースシステム」を運用する。	412	3,665	423	427	434	
	【市民相談件数(件)】	446	450	450	450	450	450
	平成28年度		486	424	376	721	

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



令和3年度市民アンケート結果	
満足	25.76%
やや満足	40.39%
どちらともいえない	25.03%
やや不満	4.72%
不満	2.78%
無回答	1.33%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	1位
-----------------------	----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の 進捗状況(10月報告) (基本計画の指標 (KPI)の目標達成に 向けての事務事業の 業績評価指標等から 総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】 各種媒体を活用して情報発信を行っており、ホームページについては頻繁なページ更新や新型コロナウイルス感染症対策の情報をしっかりと発信したことで目標値に近づいている。フェイスブックについても投稿数を増加し、「いいね!」が増加傾向にあることから、引き続き目標達成に向けて各課と連携して取り組んでいく。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【今後の取組の方向性(10月)】 新型コロナウイルス感染症関連や豪雨災害での情報発信を機に、市民の「市からの情報発信」への関心がこれまで以上に高まっているため、今後はコロナや災害以外の情報についても、引き続き発信の頻度を高めていく。

<p>令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)</p>	区分	<p>選択区分</p> <p style="text-align: center;">A</p>	【評価の理由(1月)】
	<p>A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている</p>		<p>昨年度から相談があった案件について、8月に申請に結びつけ、プロジェクト自体も無事成功を収めることができた。また、関係市町村において書面協議を開催し、プロジェクトに対するスピード感を重視した次年度以降の体制構築について決議された。</p> <p>【今後の取組の方向性(1月)】</p> <p>引き続き、事業のPRを下北5市町村で連携して行い、クラウドファンディング開始まで足踏みをしている相談者の背中を押せるよう、事業計画やページ作成に協力するなどサポートを強化していく。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
<p>施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)</p> <p>A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない</p>		<p style="text-align: center;">A</p>	A	54.5%	/
			B	45.5%	
			C	0.0%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和3年度)

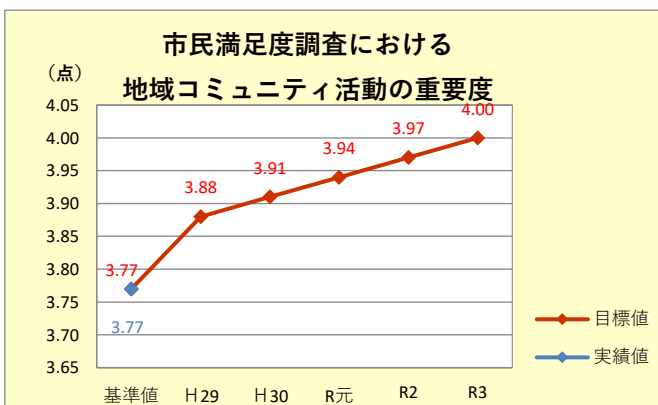
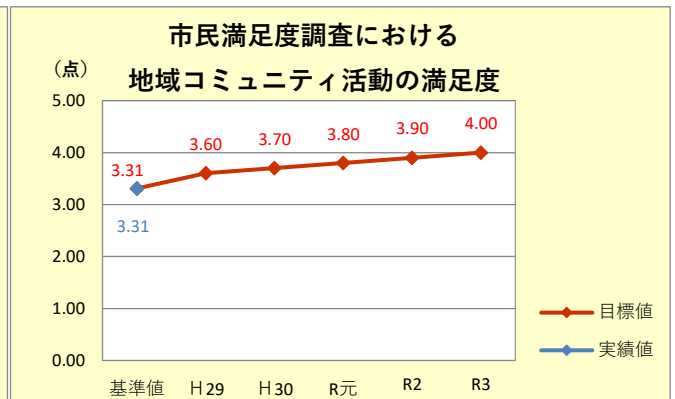
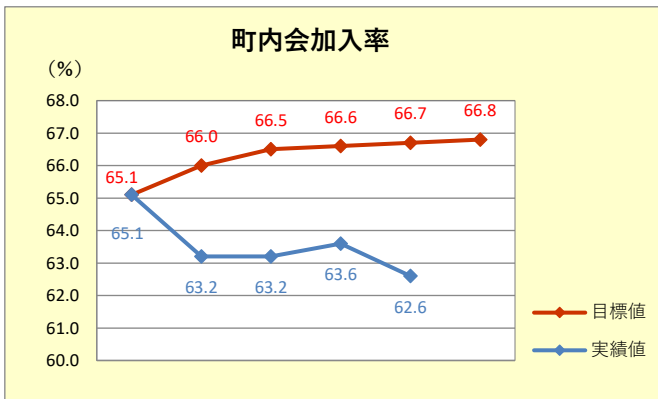
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 元気の向上	関係部局
施策項目	(3)市民協働・コミュニティ	企画政策部
施策内容	④コミュニティ自治の実現	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
町内会加入率	65.1 H27年度	66.0 63.2	66.5 63.2	66.6 63.6	66.7 62.6	66.8
市民満足度調査における地域コミュニティ活動の満足度	3.31 H26年度	3.60 未実施	3.70 未実施	3.80 未実施	3.90 未実施	4.00
市民満足度調査における地域コミュニティ活動の重要度	3.77 H26年度	3.88 未実施	3.91 未実施	3.94 未実施	3.97 未実施	4.00



3. 年次目標(令和2年次)

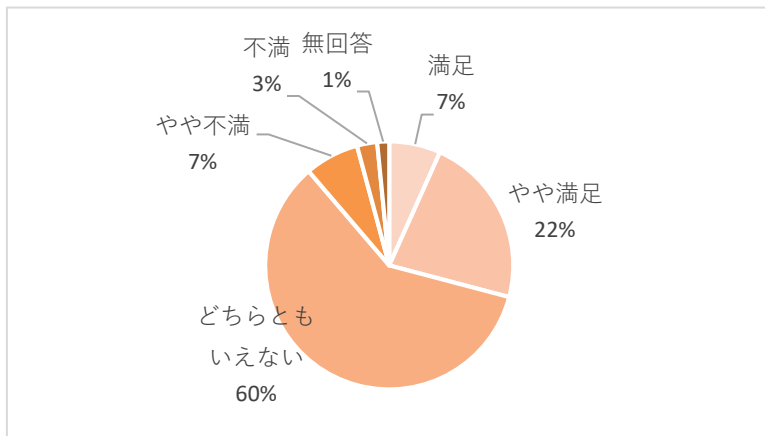
目標	実績	評価区分	評価内容
町内会加入率 66.7%	62.6%	B 概ね良好	各取組は、計画どおりに進捗しており、引き続き進行管理する。 地域の明るい未来づくり応援補助金の活動補助について、計画どおりに手続きを進める。また、これも含め、引き続き、地域コミュニティの発展と維持に資する施策の周知に努める。

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
			決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
	業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
地域コミュニティ保全事業	地域社会の維持及び形成に資する地域的な共同活動を支援し、もって住民福祉の向上を図り市民協働及び市民自治のまちづくりを推進するため、町内会等が行う自主的な市民活動の実施及び活動拠点の整備に要する経費について、町内会等に対し、補助金を交付する。また、活力のあるコミュニティづくりを実現するため、多岐にわたる市民団体の様々な活動に、市民が安心して参加できるよう市民活動保険制度の周知を図る。		6,063	12,820	12,156	10,731	10,731
	【町内会加入率(%)】	65.1	66.0	66.5	66.6	66.7	66.8
		平成27年度	63.2	63.2	63.6	62.6	
	【市民満足度調査における地域コミュニティ活動の満足度(5点満点)(点)】	3.31	3.60	3.70	3.80	3.90	4.00
		平成26年度	-	-	-	-	
コミュニティ助成事業	コミュニティ組織(自治会、町内会等)が活動するための備品や集会施設の整備を行うことで、地域におけるコミュニティ活動を推進し、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を図る。		6,100	2,900	3,800	12,400	5,700
	【コミュニティ助成事業採択件数(件)】	3	3	5	5	5	5
		平成27年度	3	2	2	3	

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



回答内容	割合
満足	6.71%
やや満足	22.40%
どちらともいえない	59.64%
やや不満	7.07%
不満	2.63%
無回答	1.56%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	32位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている		B
令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている		B
			【今後の取組の方向性(10月)】
			【今後の取組の方向性(1月)】

7. 施策の進捗状況(外部評価)

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	B	A	0.0%	/
			B	59.1%	
			C	36.4%	
			D	4.5%	
			-	0.0%	

施策評価調書（令和3年度）

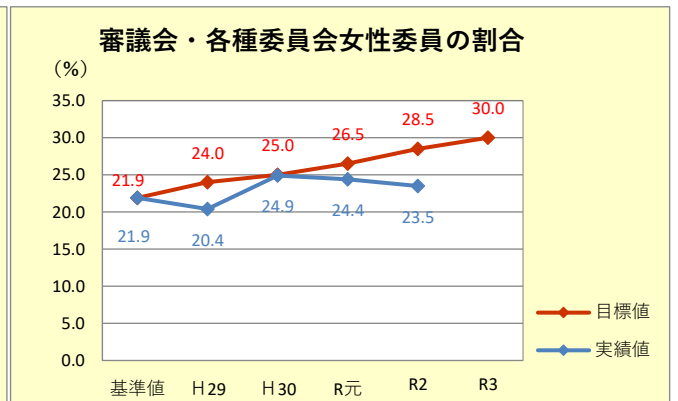
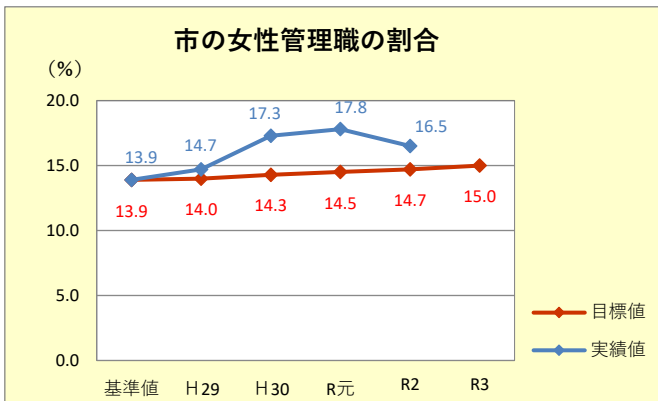
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 元気の向上	関係部局
施策項目	(4)男女共同参画・女性活躍	企画政策部
施策内容	①男女共同参画社会づくりに向けた意識改革	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
市の女性管理職の割合	13.9 H27年度	14.0 14.7	14.3 17.3	14.5 17.8	14.7 16.5	15.0
審議会・各種委員会女性委員の割合	21.9 H27年度	24.0 20.4	25.0 24.9	26.5 24.4	28.5 23.5	30.0



3. 年次目標（令和2年次）

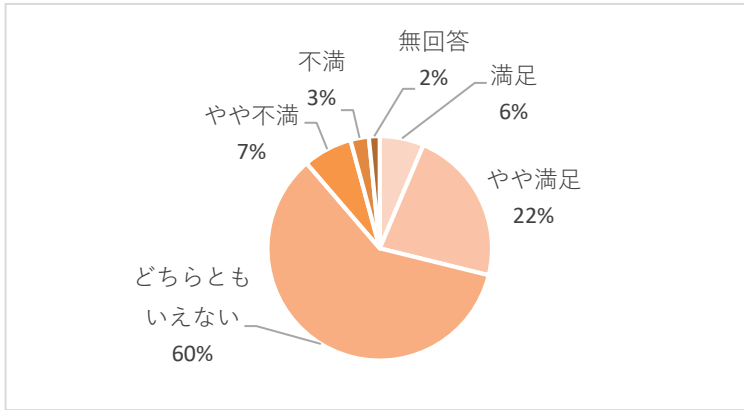
目標	実績	評価区分	評価内容
市の女性管理職の割合 14.7%	16.5%	B 概ね良好	令和2年4月1日現在の女性管理職の比率は16.5%であり、すでに目標値を超えている。令和元年12月1日現在の審議会の女性委員比率は24.7%、各種委員会の女性委員比率は9.7%、合わせて23.5%となっている。 「第2次男女共同参画推進後期実施計画」を策定し、市の様々な施策の中に男女共同参画の視点を取り入れ、男女共同参画意識の浸透を目指した啓発活動を継続していく。
審議会・各種委員会における女性委員の割合 28.5%	23.5%		

4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
男女共同参画推進事業			54	128	71	196	140
	【市の女性の管理職の割合(%)】	13.9	14.0	14.3	14.5	14.7	15.0
		平成27年度	14.7	17.3	17.8	16.5	
	【審議会・各種委員における女性委員の割合(%)】	21.9	24.0	25.0	26.5	28.5	30.0
		平成27年度	20.4	24.9	24.4	23.5	

5. 総合経営計画に関する調査結果（市民アンケート）



評価	割合
満足	6.37%
やや満足	22.48%
どちらともいえない	59.86%
やや不満	7.09%
不満	2.64%
無回答	1.56%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	39位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>令和3年4月1日現在で、女性管理職の比率は17.9%であり、目標値を超えている。</p> <p>令和2年12月1日現在の審議会及び委員会における女性委員比率は23.1%であるが、男女共同参画週間にて、職員向けに女性委員の積極的な登用推進について周知を行うなど、啓発活動を継続している。</p> <p>【今後の取組の方向性(10月)】</p> <p>令和4年度末に現行の男女共同参画推進基本計画が終了するため、次期計画の策定に向けて、内容の方向性等検討していく。</p>

令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>令和3年4月1日現在で、女性管理職の比率は17.9%であり、目標値を超えている。令和2年12月1日現在の審議会及び委員会における女性委員比率は23.1%であるが、男女共同参画週間にて、職員向けに女性委員の積極的な登用推進について周知を行うなど、啓発活動を継続している。</p> <p>【今後の取組の方向性(1月)】</p> <p>令和4年度末に現行の男女共同参画推進基本計画が終了するため、次期計画の策定に向けて、内容の方向性等検討していく。</p>

7. 施策の進捗状況（外部評価）

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
			区分	割合	
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	B	A	9.1%	/	
	B	72.7%			
	C	18.2%			
	D	0.0%			
	-	0.0%			

施策評価調書（令和3年度）

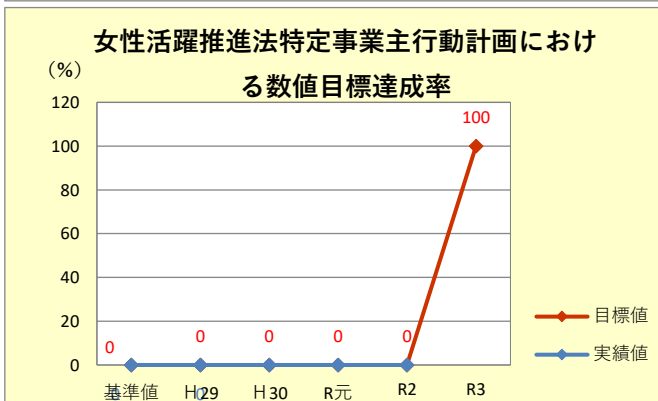
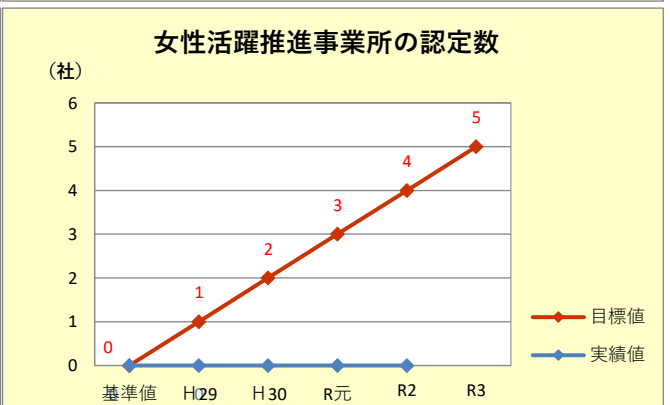
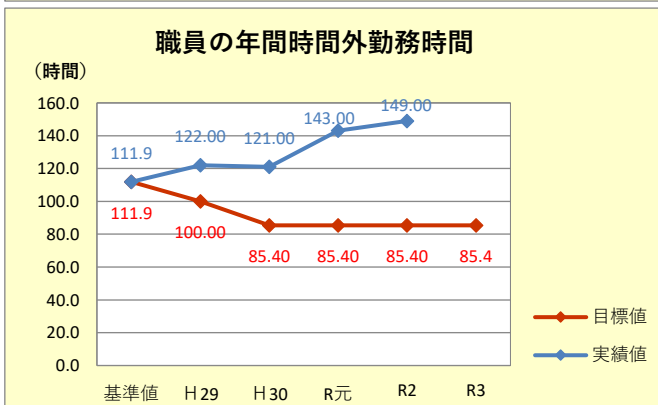
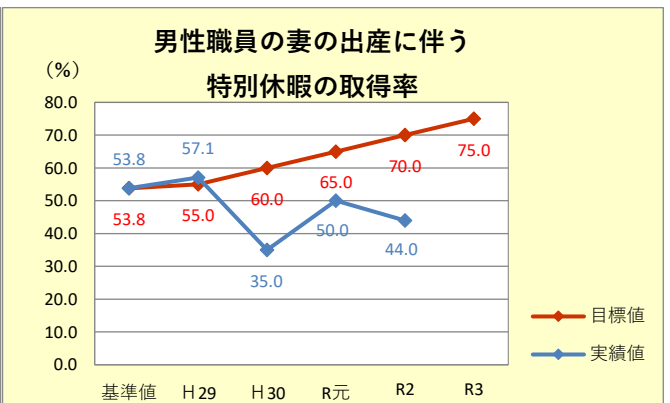
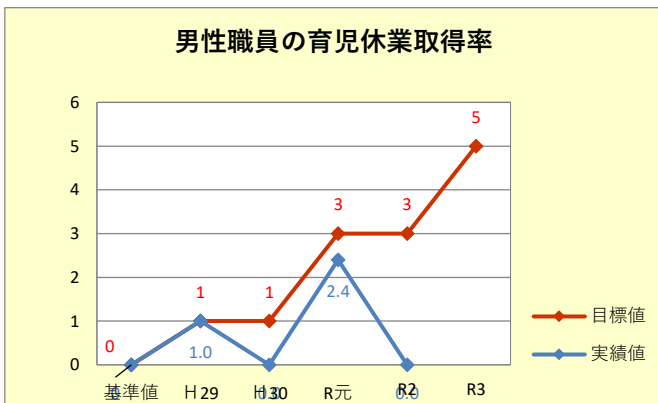
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	1. 元気の向上	関係部局
施策項目	(4)男女共同参画・女性活躍	企画政策部
施策内容	②市民一人ひとりのワーク・ライフ・バランスの実現	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
男性職員の育児休業取得率	0 H27年度	1 1.0	1 0.0	3 2.4	3 0.0	5
男性職員の妻の出産に伴う特別休暇の取得率	53.8 H27年度	55.0 57.1	60.0 35.0	65.0 50.0	70.0 44.0	75.0
職員の年間時間外勤務時間	111.9 H27年度	100.0 122.0	85.4 121.0	85.4 143.0	85.4 149.0	85.4
女性活躍推進事業所の認定数	- -	1 0	2 0	3 0	4 0	5
女性活躍推進法特定事業主行動計画における数値目標達成率	- -	- -	- -	- -	- -	100



3. 年次目標(令和2年次)

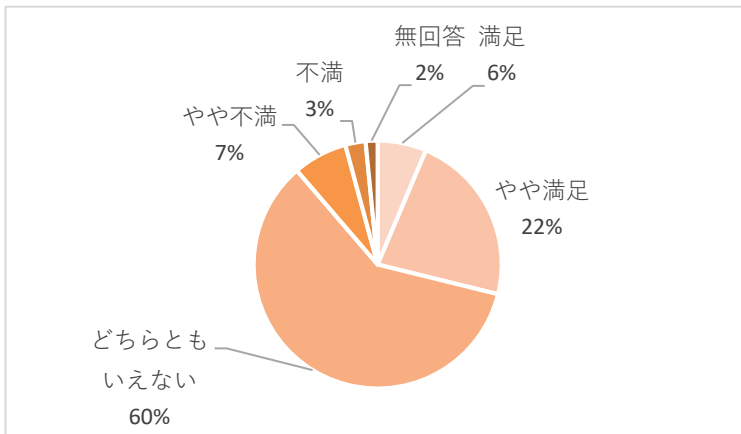
目標	実績	評価区分	評価内容
女性活躍推進企業認定制度の創設	未達成	C やや不良	女性活躍推進企業認定制度の創設には至っておらず、先進事例の情報収集にとどまった。 令和2年度の男性職員の育児休業取得率0%、男性職員の妻の出産に伴う特別休暇の取得率44%、職員の年間時間外勤務時間149.0時間/人となっている。

4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
女性活躍推進企業認定事業	女性活躍推進企業認定制度を創設し、女性活躍やワーク・ライフ・バランスの実現に向けて積極的に取り組む企業・事業所を認定する。		0	0	0	0	0
	【女性活躍推進事業所認定数(事業所)】	-	1	2	3	4	5
		-	0	0	0	0	

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



回答内容	割合
満足	6.37%
やや満足	22.48%
どちらともいえない	59.86%
やや不満	7.09%
不満	2.64%
無回答	1.56%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	39位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の 進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての事務事 業の業績評価指標等から総 合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】 女性活躍推進企業認定制度の創設には至っておらず、類 似した制度の研究を実施。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる	B	【今後の取組の方向性(10月)】 各種休暇及び時間外勤務時間については、総務課及び行 政改革推進課と連携を図る必要がある。 女性活躍推進企業認定制度については、他の認定制度と 重複する部分があり事業者にとってメリットが少ないと考 えられるため、女性活躍推進法にかかる代替の事業を行うな ど抜本的な方針転換も視野に入れて継続的に検討を進め ていきたい。

令和3年度施策の 進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての事務事 業の業績評価指標等から総 合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】 女性活躍推進企業認定制度の創設には至っておらず、類 似した制度の研究を実施。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる	B	【今後の取組の方向性(1月)】 各種休暇及び時間外勤務時間については、総務課及び行 政改革推進課と連携を図る必要がある。 女性活躍推進企業認定制度については、他の認定制度と 重複する部分があり事業者にとってメリットが少ないと考 えられるため、女性活躍推進法にかかる代替の事業を行うな ど抜本的な方針転換も視野に入れて継続的に検討を進め ていきたい。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】 実績値がゼロであるが、目標値 が伸びている。 KPIが市職員のワークライフバラ ンスになっているような気がします。 女性の社会的地位の向上、能力 評価における男尊女卑の撤廃等、 この地域の遅れを取り戻す取組を 望みます。 ※その他「概要」参照のこと。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる - わからない	C	A	0.0%	
			B	27.3%	
			C	59.1%	
			D	9.1%	
			-	4.5%	

2. 暮らしの向上

施策評価調書（令和3年度）

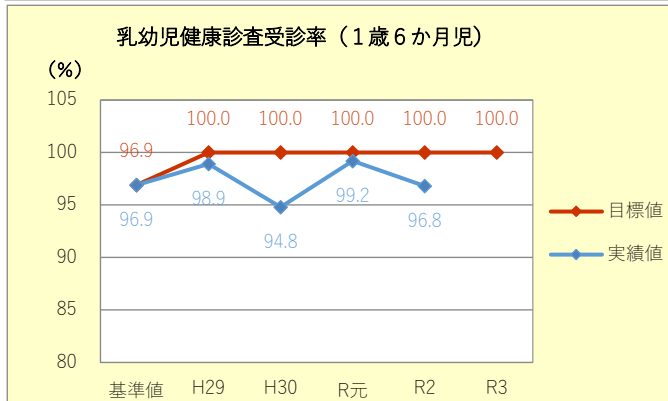
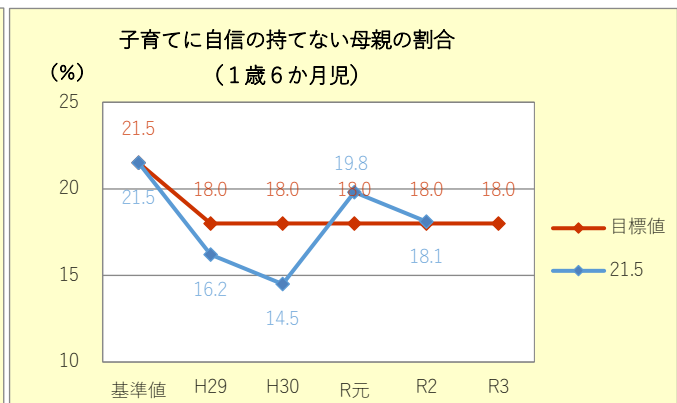
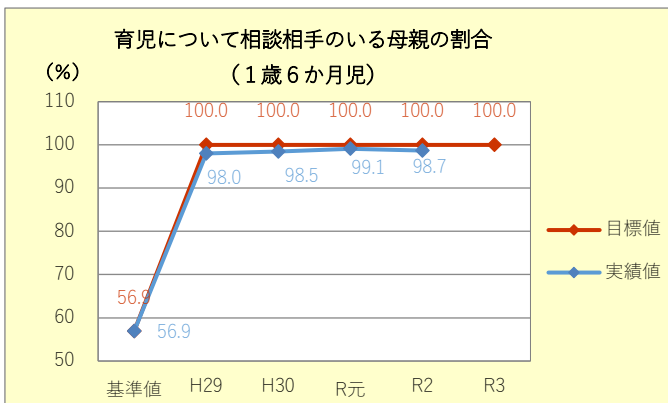
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(I)健康・福祉	子どもみらい部
施策内容	①子どもすこやか母子保健の充実	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
育児について相談相手のいる母親の割合（1歳6か月児）	56.9 H24年度	100 98.0	100 98.5	100 99.1	100 98.7	100
子育てに自信の持てない母親の割合（1歳6か月児）	21.5 H24年度	18.0 16.2	18.0 14.5	18.0 19.8	18.0 18.1	18.0
乳幼児健康診査受診率（1歳6か月児）	96.9 H26年度	100 98.9	100 94.8	100 99.2	100 96.8	100



3. 年次目標（令和2年次）

目標	実績	評価区分	評価内容
①育児について相談相手のいる母親の割合（1歳6か月児）100%	98.7%	B 概ね良好	①②育児について相談相手のいる母親の割合は、98.7%。昨年度と比較すると0.4%下回る結果だった。一方、子育てに自信の持てない母親の割合は、18.1%。昨年度と比較すると1.7%減少した。コロナウイルス感染症の影響により、様々な行動制限や、これまでもとは違った環境の中での生活が強いられたことによる影響もあるものと推察する。その中で母子保健事業の実施方法においても、感染予防対策を講じて実施することはできた。今後もコロナ禍で親が疲労と孤立感を強めないように、より一層“にっこりこ”をPRすると共に相談しやすい工夫や体制づくりが必要。また、子育て支援アプリのオンライン相談がもっと活用されて、定着するようなアプローチが必要。 ③健診未受診者に対しては、その状況把握（未受診理由等）に努めるとともに、乳幼児健診未受診者対応マニュアルに沿った電話、個別通知及び訪問等の受診勧奨を継続し、受診率100%を目指したい。
②子育てに自信の持てない母親の割合（1歳6か月児）14.5%以下	18.1%		
③乳幼児健康診査受診率（1歳6か月児）100%	96.8%		

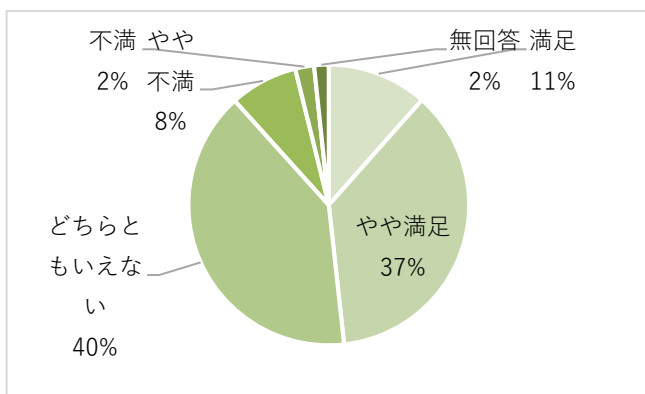
4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
			決算額	決算額	決算額	予算額	予算額	
	業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	
にっこりっこ運営事業 (にっこりっこスタート事業)	妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに対応し、安心して過ごせるように切れ目のない支援を提供する「にっこりっこ」を開設し、母子保健施策と子育て支援施策の一体的な提供により、妊産婦や乳幼児に関する包括的な支援を行う。		0	0	0	4,448	4,689	
	【子育てに自信をもてない母親の割合(1歳6か月児)(%)】	16.2 令和元年度	-	-	-	14.5	14.5	
	【子育てに自信をもてない母親の割合(3歳児)(%)】	14.1 令和元年度	-	-	-	11.0	11.0	
			-	-	-	16.6		
母子健康手帳交付	母子保健法に基づき、妊娠届時に母子健康手帳を交付し、医療機関との連携によりハイリスク妊婦の把握と適切な支援を行う。また、窓口の保健指導により、制度の活用や妊婦健診の受診勧奨、各種母子保健事業の説明をするなど、安全で安心な妊娠・出産・育児ができるように支援する。		110	121	120	138	128	
	【母子手帳交付時の保健指導実施率(%)】	100 平成27年度	100	100	100	100	100	
妊婦委託健康診査	母子の疾病予防、早期発見等を目的に、妊婦の経済的な負担を軽減することで、適切な健診受診を促進し、妊娠期間を安全に過ごし、出産を迎えられるよう支援する。		42,552	36,580	29,846	44,555	39,931	
	【妊婦健診受診件数(件)】	5,022 平成28年度	4,239	4,794	4,164	3,613	3,613	
	【妊娠12週以降の妊婦委託健康診査受診票発行件数(件)】	35 平成29年度	0	0	0	0	0	
乳幼児健康診査	運動機能、視聴覚などの障がい、精神発達の遅滞などの障がいをもつ幼児を早期に発見し、心身障害の進行を未然に防止するとともに、個々の生活習慣の確立、むし歯の予防、栄養、育児に関する支援を行い、幼児の健康保持及び増進を図るため、小児科医及び歯科医師の診察、耳鼻科医師による総合的な健康診査を実施や保健師などによる保健相談を実施する。		4,417	4,418	4,313	5,747	6,308	
	【健診受診率10か月児(%)】	94.2 平成27年度	100	100	100	100	100	
	【健診受診率1歳6か月児(%)】	94.9 平成27年度	100	100	100	100	100	
	【健診受診率2歳児(%)】	97.4 平成27年度	100	100	100	100	100	
	【健診受診率3歳児(%)】	97.4 平成27年度	100	100	100	100	100	
	【精密検査受診率10か月児(%)】	90.9 平成27年度	100	100	100	100	100	
	【精密検査受診率1歳6か月児(%)】	86.0 平成27年度	100	100	100	100	100	
	【精密検査受診率2歳児(%)】	100.0 平成27年度	100	100	100	100	100	
	【精密検査受診率3歳児(%)】	82.0 平成27年度	100	100	100	100	100	
	【乳幼児健診(1歳6か月児)に満足している者(信頼がおけて安心してきたと回答した者)(%)】	21.2 平成27年度	48	48	48	48	48	
	【乳幼児健診(3歳児)に満足している者(信頼がおけて安心してきたと回答した者)(%)】	24.0 平成27年度	40	40	40	40	40	
	ハローベビー教室(両親学級)	夫婦が妊娠・出産・育児について不安解消のため知識を深めるだけでなく、身体的・心理的・環境面も含めた様々な変化を家族で共有し、家庭を築けるきっかけづくりを支援する。		193	248	223	306	181
		【参加者の満足度(%)】	96.0 平成27年度	100	100	100	100	100

離乳食教室・赤ちゃん相談	乳児と保護者を対象に、離乳食の知識や調理方法などの情報を提供し、スムーズに離乳食を進めているよう、栄養士講話、保健師講話、歯科衛生士による個別ブラッシング指導、絵本の読み聞かせ、希望者への身体計測などを実施し、育児不安や悩みの軽減を図り、自信を持って楽しく育児できるように支援する。	490	525	509	617	479	
	【対象者参加率(%)】	37.9	50.0	50.0	53.0	53.0	53.0
		平成26年度	47.6	51.5	45.5	8.6	
	【参加者満足度(%)】	81.8	100	100	100	100	100
	平成26年度	99.5	99.6	100	88.9		
乳幼児発達支援事業(未就学児ことばの教室)	第二田名部小学校に開設されている「ことばの教室」に未就学児指導のための療育指導員を派遣し、ことばの遅れを主訴とした幼児とその保護者を対象に療育的指導を実施する。	3,422	3,913	3,961	4,298	4,493	
	【保護者の児の成長の実感度(%)】	77.4	100	100	100	100	100
		平成27年度	87.5	100	100	100	
	【保護者が子の良い面を見つげられた(%)】	51.6	100	100	100	100	100
	平成27年度	-	100	100	100		
乳幼児発達支援事業(遊びの教室、ひよこ教室)	<遊びの教室> 乳幼児健診のフォローの一環として、発育・発達の遅れが疑われる児と家族に対し、関係機関との連携による早期療育と就学に向けた助言や支援を行う。 <ひよこ教室> 地域の子育て支援の場として、支援が必要な親子に対し、発達チャートを用いて個別支援を実施する。	1,306	1,271	1,012	1,843	1,198	
	【事業参加家庭の満足度(%)】	100	100	100	100	100	100
		平成27年度	100	100	100	100	
元気教室	保育施設と連携して、子どもが楽しくわかりやすく健全な食習慣・歯の健康・生活リズム・受動喫煙防止について学ぶことを支援する。	143	141	142	190	204	
	【小学生のむし歯のない子の割合(%)】	25.2	40.0	40.0	40.0	45.0	45.0
		平成23年度	35.5	33.3	38.2	46.0	
	【男子児童の肥満の割合(%)】	16.2	13.0	10.0	10.0	10.0	10.0
		平成27年度	15.1	16.7	16.2	19.4	
【女子児童の肥満の割合(%)】	13.4	11.0	10.0	10.0	10.0	10.0	
	平成27年度	12.8	12.7	11.9	13.1		
妊産婦・新生児訪問指導事業	安心して妊娠・出産できるように、妊産婦対象に電話相談や訪問指導を実施する。	361	630	551	657	854	
	【妊産婦・新生児訪問(第1子)の訪問率(%)】	100	100	100	100	100	100
	平成27年度	100	100	98	92		
子育て支援アプリ運営事業	妊娠期から子育て期まで、細やかなサポートを実現するため、「むつ市子育て支援アプリ」を運営する。	-	-	-	660	528	
	【利用者数(人)】	-	-	-	500	700	
		-	-	-	604		

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



満足	11.55%
やや満足	36.70%
どちらともいえない	40.07%
やや不満	7.82%
不満	2.17%
無回答	1.68%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	8位
-----------------------	----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】 新型コロナウイルスの感染状況の動向にあわせて、感染症対策を行いながら、各種母子保健事業を実施している。保護者の気持ちに寄り添い、育児不安の軽減や子育て中の保護者が孤立しないよう支援している。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	【今後の取組の方向性(10月)】 誰もが相談しやすい窓口を目指し、“にっこりっこ”の周知、相談・支援体制の充実を図っていく。

令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】 相談相手のいる母親の割合は昨年度同時期より1.3%上昇している。相談窓口”にっこりっこ”のPRをさらに進めていくことが必要。 自信の持てない母親の割合は昨年度同時期より0.1%上昇している。また、子育て支援アプリのダウンロード数は緩やかに増加している。取組を継続し、子育てに関する悩みや不安の軽減に努めていくことが必要。 昨年度同時期より5.5%上昇。今後も継続して未受診者の動向をしっかりと把握し、受診につなげていくことが必要
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【今後の取組の方向性(1月)】 総合相談窓口として”にっこりっこ”の周知を図るとともに、母子保健事業等での支援に当たっては、保護者の気持ちに寄り添い、育児不安の軽減に努めることで子育ての孤立化の防止につなげたい。 様々なニーズへの対応(包括的な支援)と地域で子育てをサポートしていく環境を整えるため、関係機関との連携を図っていく。また、あらゆる機会を通して子育て支援アプリの積極的な活用を進めていく。 未受診の方には、未受診者対応マニュアルに沿った受診勧奨を実施し、受診率アップに繋げていく。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	B	A	31.8%	/
			B	63.6%	
			C	4.5%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書(令和3年度)

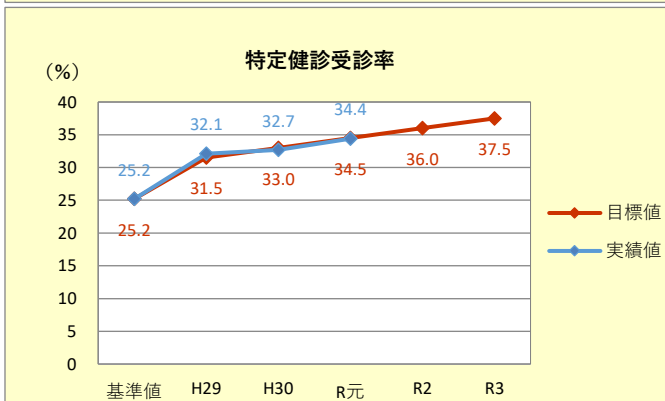
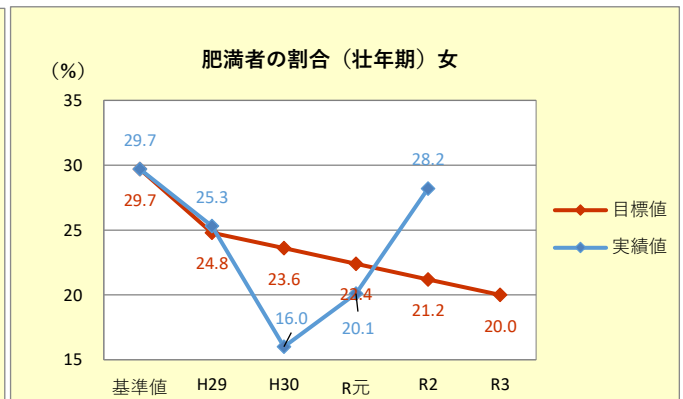
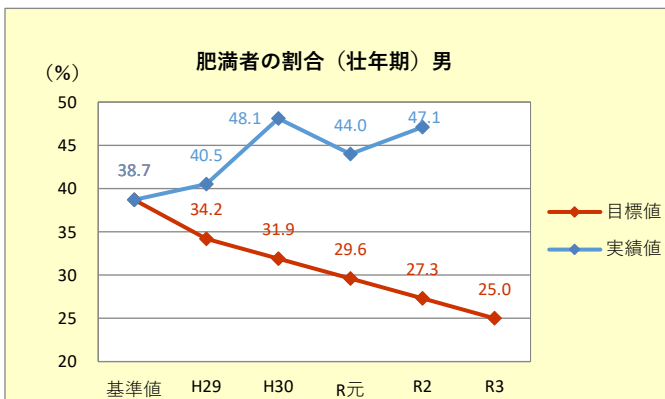
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(1)健康・福祉	健康づくり推進部
施策内容	②一人ひとりの健康づくりの推進	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
肥満者の割合(壮年期)男	38.7 H23年度	34.2 40.5	31.9 48.1	29.6 44.0	27.3 47.1	25.0
肥満者の割合(壮年期)女	29.7 H23年度	24.8 25.3	23.6 16.0	22.4 20.1	21.2 28.2	20.0
特定健診受診率	25.2 H26年度	31.5 32.1	33.0 32.7	34.5 34.4	36.0 -	37.5



3. 年次目標(令和2年次)

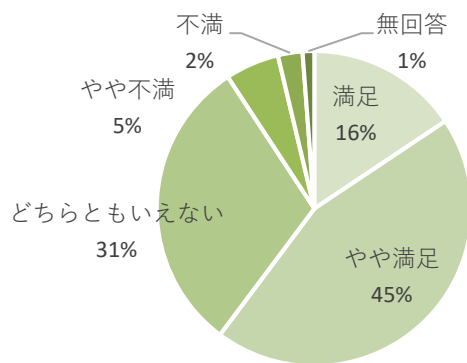
目標	実績	評価区分	評価内容
①ヘルシーバランス弁当の普及 3,600食	2,840食	B 概ね 良好	①新型コロナウイルス感染症の影響や販売店との日程調整の都合上販売日が減ったが、2つの新作を開発したり注文方法やチラシ、レシピの見直しを行った。 ②新たに意識調査を行ったことにより若年層の健康意識を確認でき、受診勧奨へもつながった。 ③新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、単なる受診率だけでの評価がしがたい。
②特定健診受診率 38.0% (※第2期データヘルス計画設定値)	-		
③がん検診受診率(胃 15%、大腸 13%、 肺 12%、乳 22%、子宮 20%)	胃 12.7% 大腸 9.1% 肺 7.6% 乳 18.8% 子宮 16.3%		

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
			決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
	業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
食の健康づくり事業	生活習慣病発症のリスク軽減のため、栄養バランスや減塩の大切さを学び行動に移せるよう「ベジタブル350事業」「ちょこっと減塩事業」など、野菜摂取・減塩についての意識づけの普及活動を引き続き実施する。		0	243	795	1,203	507
	【ヘルシーバランス弁当販売数(食)】	3,541	2,500	3,000	3,500	3,500	3,500
		平成30年度	3,112	3,541	3,670	2,840	
	【1日2回以上、主食・主菜・副菜をそろえて食事をとる人の割合(%)】	76.4	-	75	75	75	75
		令和元年度	-	-	76.4	68.2	
健診事業	生活習慣病の早期発見・早期治療を目的に、各種がん検診、一般健康診査、肝炎ウイルス検診、骨密度健診および歯周病検診を実施する。		67,402	83,535	73,216	77,808	86,750
	【大腸がん検診受診率(%)】	11.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
		平成30年度	11.8	11.0	12.3	9.1	
	【子宮頸がん検診受診率(%)】	17.3	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		平成30年度	17.3	17.3	16.7	16.3	
【乳がん検診受診率(%)】	21.4	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	
	平成30年度	20.9	21.4	20.3	18.8		

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



令和3年度市民アンケート結果	
満足	15.63%
やや満足	44.59%
どちらともいえない	30.53%
やや不満	5.53%
不満	2.52%
無回答	1.20%
55施策中 ※アンケート重複項目含む	2位

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分 B	【評価の理由(10月)】 6月の食育月間に合わせてすこやかサポート事業所へ、当課で行っている健康教育やイベントに合わせて市民の方へPRを行った。また、弁当に配布するチラシにはアレルギー表示を加えた。昨年度並みの受診率を維持しているため。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている		【今後の取組の方向性(10月)】 ヘルシーバランス弁当、引き続き普及活動を行い、おかずパックの開発に努めていく。 集団検診の日程が全て消化されるため、今後は個別検診の受診勧奨に努める。

令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分 B	【評価の理由(1月)】 弁当販売店の都合上、12月は通常より販売日が2日少なく個数が目標に達成できなかったがPRの成果もでてきているため、普及活動は今後も行っていく。 特定健診の予約状況を勘案しながら通知内容を常に検討し、発送後の健診予約に一定の増が見られたことから概ね良好。 がん検診の受診勧奨・検診は概ね計画通り実施。昨年度より若干の受診率UPが見込まれる。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている		【今後の取組の方向性(1月)】 引き続きヘルシーバランス弁当の普及活動を行い、新たに「おかずパック」の開発に努めていく。 年度末に向けて個別健診を中心とした受診勧奨に努めながら、今後の受診勧奨へ向けた実績の検討を行う。 個別検診の勧奨勧奨に努める。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)	区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	選択区分 B	評価割合		【主な意見】
			A	18.2%	/
			B	54.5%	
			C	18.2%	
			D	9.1%	
			-	0.0%	

施策評価調書（令和3年度）

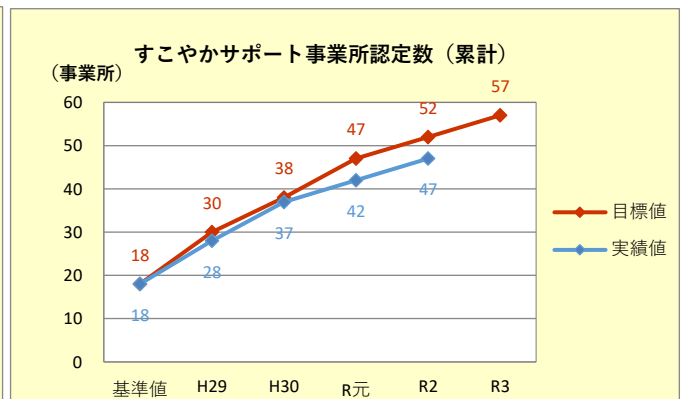
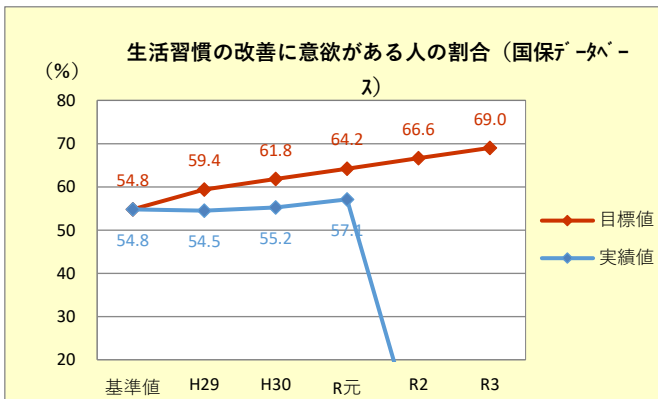
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(1)健康・福祉	健康づくり推進部
施策内容	③健康まちづくりの推進	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
生活習慣の改善に意欲がある人の割合（国保受給者）	54.8 H27年度	59.4 54.5	61.8 55.2	64.2 57.1	66.6 -	69.0
すこやかサポート事業所認定数（累計）	18 H28年度	30 28	38 37	47 42	52 47	57



3. 年次目標（令和2年次）

目標	実績	評価区分	評価内容
①健康マイレージ事業（おつ☆健康マイレージ及びおつ☆Walker）達成者合計500人	288人	B 概ね良好	①新型コロナウイルスの影響で前年度よりシート達成者数は減少したが、アプリ達成者数は増加した。 ②令和2年度目標50事業所としているところ現在47事業所の認定となり、目標達成までは3事業所。 ③新規の健やか隊員の育成を一時休止し、既存の健やか隊員の活動支援を実施し、職域での健康づくりを推進していく。
②すこやかサポート事業所認定数 新規8事業所	5事業所		
③「健やか隊員」の育成	61名		

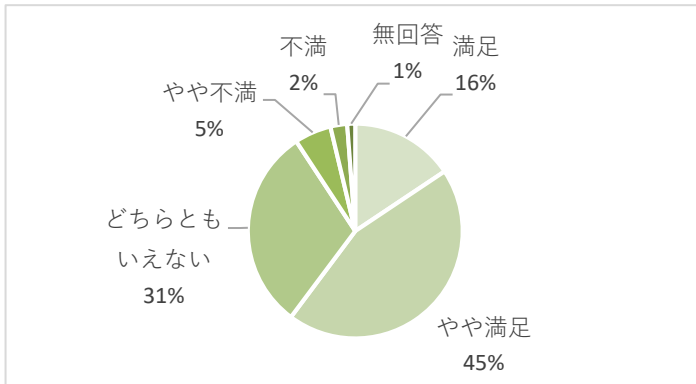
4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
健康マイレージ事業	生活習慣病の予防と健康を取り戻すため、一定の健康プランのチャレンジ達成者に対し、インセンティブとして、協賛施設・店舗で特典を享受できる「健康マイレージカード」を発行するほか、地域特産品等や地域商品券を進呈する。		3,093	2,623	3,291	2,362	1,561
	【健康マイレージ達成者数(人)】	537	800	800	600	600	600
		平成28年度	577	416	401	288	-
	【ウォーキングアプリ登録者数(人)】	3,994	4,200	5,400	6,200	6,600	7,000
平成28年度		4,924	5,712	6,578	7,198	-	-

すこやかサポート事業所認定事業	積極的に健康づくりに取り組んでいる事業所を認定することにより、働き盛り世代の健康づくりを推進するとともに、その取組を広く市民に公表することで、市全体の健康づくりに取り組む機運を醸成し、健康寿命の延伸を図る。	101	74	83	83	84
	【認定事業所数(事業所)】	9.0	15	10	5	5
		平成30年度	10	9	5	5
健やか隊員育成事業	30~50代の現役世代に対し、健やか隊員育成プログラムに基づき、「自分の健康に目を向けること」及び「職場の健康づくりに反映させること」を目的に健康教室を実施する。	248	300	419	2,362	599
	【参加者人数(人)】	30	50	50	50	0
		平成30年度	33	38	41	61

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



回答内容	割合
満足	15.63%
やや満足	44.59%
どちらともいえない	30.53%
やや不満	5.53%
不満	2.52%
無回答	1.20%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	2位
-----------------------	----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】 むつ☆Walkerでチームチャレンジを定期的で開催したことでアプリダウンロード数が増加し、特典チャレンジ挑戦者数も増加した。 すこやかサポート事業所新規認定は10月までに2事業所を認定し、現在49事業所認定。 新型コロナウイルスの影響を受け、集合形式からオンライン研修会へ切り替えを行ったことで新規の隊員を目標を上回って養成できた。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【今後の取組の方向性(10月)】 むつ☆Walker利用者へ定期的なウォーキングを促し、特典チャレンジをクリアしてもらえよう働きかけていく。 事業所訪問を重ね事業PRを継続していく。 既存の健やか隊員の活動を支援し、職場での健康づくりを推進していく。
令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】 むつ☆Walkerのチームチャレンジ定期開催によりアプリのダウンロード数が増加し、今後特典チャレンジ達成者数に反映されることが期待される。 令和3年度の目標認定は3事業所。現在、2事業所を認定。 新型コロナウイルス感染症の影響により活動回数は少なかったが、10月以降の活動は増加傾向となっている。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【今後の取組の方向性(1月)】 各種SNSで事業をPRし、健康づくりのためのきっかけとしていただけるよう働きかけていく。 新たな事業所に事業の周知を直接図り、健康づくりをサポートしている事業所の認定に努める。 活動支援の依頼が増加してきているため、日程調整の上積極的に支援を行っていく。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
<p>施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価)</p>	A 順調に推移	B	A	9.1%	/
	B 一定の進捗がある		B	77.3%	
	C 進捗は遅れている		C	9.1%	
	D 進捗は大幅に遅れて いる		D	4.5%	
	- わからない		-	0.0%	

施策評価調書(令和3年度)

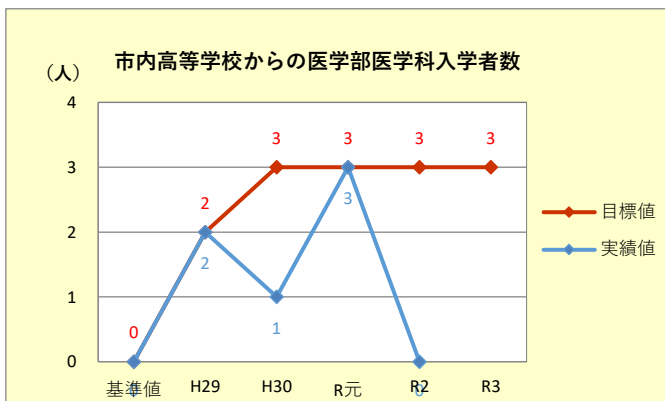
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(1)健康・福祉	教育委員会事務局
施策内容	④医療体制の充実	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
市内高等学校からの医学部医学科入学者数	-	2	3	3	3	3
	-	2	1	3	0	



3. 年次目標(令和2年次)

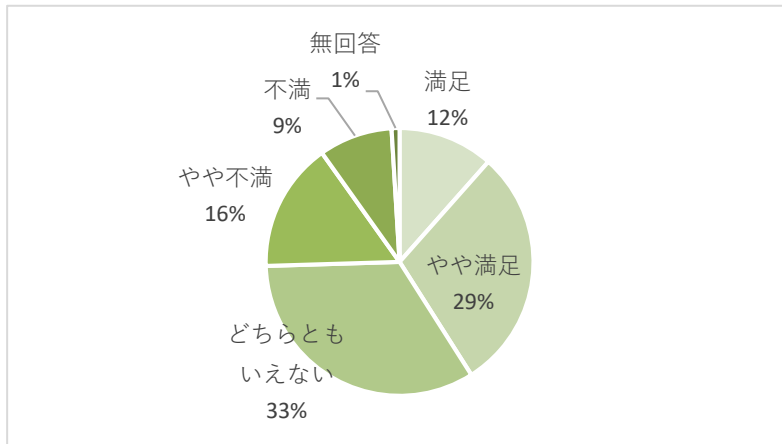
目標	実績	評価区分	評価内容
①医学部修学助成金交付対象者 3人	0人	C やや不良	①募集から継続者4名への決定通知及び交付について、滞りなく実施した。新規交付対象者は0名であった。 ②当初は新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況に見通しが立たなかったことから、リモート環境の一定の準備が整う春期講習会まで計画内容を実施できなかった。また、今年度の卒業生(在学中受講者33名)のうち、国公立大に計18名が合格したものの、東京大学及び医学部医学科の合格実績はなかった。
②東大生 1人 医学部生 3人	東大生 0人 医学部生 0人		

4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
むつ市大学医学部修学助成金	地元から医師を目指す人材の育成を図るため、市内高等学校から医学部医学科へ進学した者に対して一定額の助成金を交付する。		0	500	2,000	2,500	2,500
	【助成対象者(人)】	-	2	3	3	3	3
		-	0	1	3	0	
まさかり高校医学部進学・特進コース運営事業	難関大学や医学部の進学を希望する子供たちの夢や志を叶えるため、予備校の講師を招き、夏休み等の長期休業中に講習会を開催(夏期、冬期及び春期の年度内に3回を予定)する。		593	2,641	3,827	5,419	5,784
	【東大生、医学部生合格者数(人)】	-	4	4	4	4	4
		-	-	3	1	0	

5. 総合経営計画に関する調査結果（市民アンケート）



評価	割合
満足	11.54%
やや満足	29.45%
どちらともいえない	33.53%
やや不満	15.63%
不満	8.89%
無回答	0.96%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	42位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況（内部評価）

	区分	選択区分	【評価の理由（10月）】
令和3年度施策の進捗状況（10月報告） （基本計画の指標（KPI）の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価）	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	助成金については、継続者4名に加え新規1名から交付申請があったが、交付要件を満たさなかったため、継続者4名のみへの交付となった。 まさかり高校医学部進学・特進コースについては、夏期講習会をリモート形式により実施し、2・3年計35名が参加した。アンケートによると、約83%が実力養成に効果的であった、また、約80%が次回（12月）の講習会に参加したいとの回答を得るなど高い評価を受けている。
			【今後の取組の方向性（10月）】 引き続き、感染症を取り巻く状況等を注視しながら、継続して実施してまいりたい。

	区分	選択区分	【評価の理由（1月）】
令和3年度施策の進捗状況（1月報告） （基本計画の指標（KPI）の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価）	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	①継続者への交付は滞りなく実施できたが、新規交付は0件であった。年間を通じて問い合わせは何件もあったが、交付要件を満たす申請希望者はいなかった。 ②夏期講習会の開催時期における感染状況は、未だ予断を許さない状況であったものの、春期講習会におけるリモート形式により開催したノウハウを生かし、考え得る感染症対策を講じながら無事実施することができた。
			【今後の取組の方向性（1月）】 ①交付要件を満たさない問い合わせについては、制度の名称と合わせて交付要件についても理解していただけるよう、効果的な周知を行っていききたい。 ②引き続き、感染症を取り巻く状況等を注視しながら、継続して実施してまいりたい。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

施策の進捗状況 （基本計画の指標（KPI）の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価）	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
			区分	割合	
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	C	A	0.0%	医療体制の充実＝地元から医師を!ではないように思いますが、取組として医師を目指す人材の育成しか記載されていないため、評価する材料に欠けていた。おそらく他にも様々な取組を行っていると思うので、それも記載してほしい。 ※その他「概要」参照のこと。
			B	36.4%	
			C	45.5%	
			D	13.6%	
			-	4.5%	

施策評価調書(令和3年度)

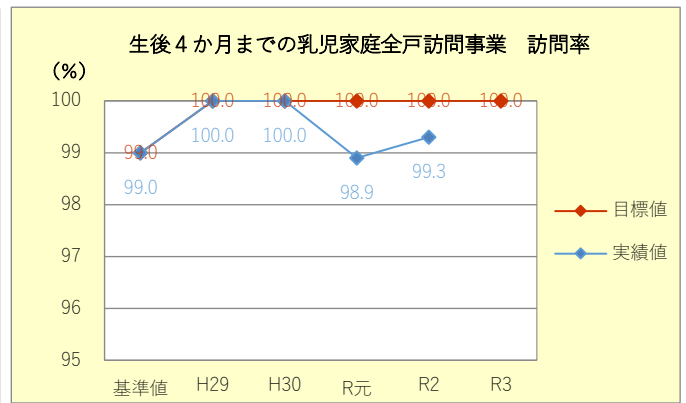
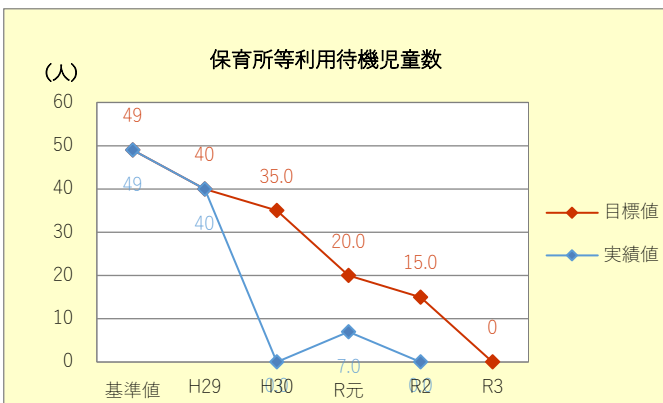
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(1)健康・福祉	子どもみらい部
施策内容	⑤児童福祉の充実	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
保育所等利用待機児童数	49 H27年度	40 40	35 0	20 7	15 0	0
生後4か月までの乳児家庭全戸訪問事業 訪問率	99.0 H23年度	100 100	100 100	100 98.9	100 99.3	100



3. 年次目標(令和2年次)

評価区分

目標	実績	評価区分	評価内容
①保育施設の増改築への補助金交付 保育施設 1箇所	1施設	B 概ね 良好	①本体工事の請負契約は金谷公園の整備作業のため延期となり1月の締結となったが、2月に着工し、その後は予定どおり進んでいる。 ②訪問実施率は昨年度実績を0.5%上回った。今後も感染防止対策をとりながらの訪問を継続し、対象者全員への訪問を目指していく。 ③コロナ禍の影響により、子育て世帯の利用者が増える機会を控えたこともあり、新規登録者が増加していたが、10月から12月までの増加数が伸び悩んだことから引き続き情報発信に努めていくこととする。
②訪問員による生後4か月までの乳児家庭全戸訪問率 100%	99.3%		
③「子育て応援メールむつ」の配信登録者数 1,400人 ※ 前年度登録者数:1,178人	1,482人		

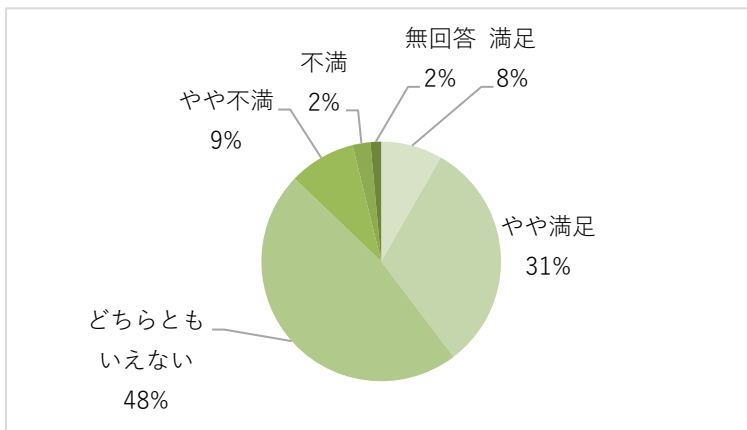
4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
むつ市民間保育所施設整備費補助金	子どもを安全に安心して育てることができるよう、3歳未満児の入所可能者数を増やし待機児童の解消を図るため、民間保育施設の増改築や修繕等の環境整備を支援する。		19,440	0	400,488	194,646	228,000
	【老朽化した施設の改修や修繕の完了(施設)】	0					-
		平成28年度					

生後4か月までの全戸訪問事業	生後4か月までの乳児がいる全ての家庭を保健師などが訪問し、子育ての孤立化防止のため、様々な不安や悩みを聞き、アドバイスや子育て支援に関する地域の情報を提供するなどのサポートを行う。	1,140	1,203	1,063	1,550	1,478
	【家庭訪問率(%)】	100	100	100	100	100
	平成27年度	100	99.7	98.9	99.3	
③ムチュ☆らんど運営事業 (キッズパーク運営事業)	ムチュ☆らんど(むつ市キッズパーク)を運営し、施設管理する。	7,120	7,209	8,518	8,726	7,271
	【利用者数(人)】	26,299	28,700	28,800	28,900	28,900
	令和元年度	25,352	28,552	26,299	11,147	
	【イベント数(回数)】	16	12	14	16	6
	令和元年度	12	14	16	0	
【0歳児の計測&相談inムチュ☆らんど利用者数(人)】	277	290	290	300	300	300
	令和元年度	293	407	277	0	

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



満足	8.29%
やや満足	31.37%
どちらともいえない	47.48%
やや不満	9.01%
不満	2.40%
無回答	1.44%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	21位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	A	<p>保育施設の建設は、進捗に若干の遅れが見られるものの、年度内の完成は見込める状況である。</p> <p>R3年4月から9月までの乳児家庭の訪問率は99.1%で、昨年度の同時期と比べて増加している。新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、子育ての孤立化防止に繋がっている。キッズパークの運営では、コロナ渦において利用制限の継続を余儀なくされているところだが、子育て支援メール登録者数は増加傾向である。</p>
		<p>【今後の取組の方向性(10月)】</p> <p>保育施設の建設事業者に対する進捗管理の徹底を促し、状況を共有しながら令和4年3月の事業完了のため事業を注視していく。</p> <p>乳児家庭については、今後も新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、転入世帯も含めて子育ての孤立化に繋がらないよう、訪問による支援を行う。キッズパークでは、引き続き感染対策に努めながら利用制限がある中であってもなるべく利用者が活用できるよう施設の開設状況の周知をしっかりと行い利用の拡大に努める。</p>

<p>令和3年度施策の 進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての事務事 業の業績評価指標等から総 合的に評価)</p>	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
	<p>A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる</p>	B	<p>施設の建設工事は若干の遅れはあるが、工期内完成が見込める範囲の進捗状況である。 現在の訪問率は96.1%で、昨年度同時期の94.1%から2.0%上回っている。転入世帯も対象とすることで、慣れない土地での育児に対する不安の軽減と子育ての孤立化防止に繋げている。 12月までの新登録者数の目標はおおむね達成(97.8%)し、登録の勧奨は順調に推移している。</p> <p>【今後の取組の方向性(1月)】</p> <p>施設建設の工期内完成に向けた進捗の督促に努めるものとする。 里帰り出産や対象者の予定に合わせた日程調整、新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、子育ての孤立化防止に向けて、訪問率100%を目指す。 引き続き充実した情報発信に努めるとともに、新規登録のPR、勧奨を推進する。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

<p>施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価)</p>	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	<p>A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる - わからない</p>	B		A	
			B	63.6%	
			C	4.5%	
			D	0.0%	
			-	0.0%	

施策評価調書（令和3年度）

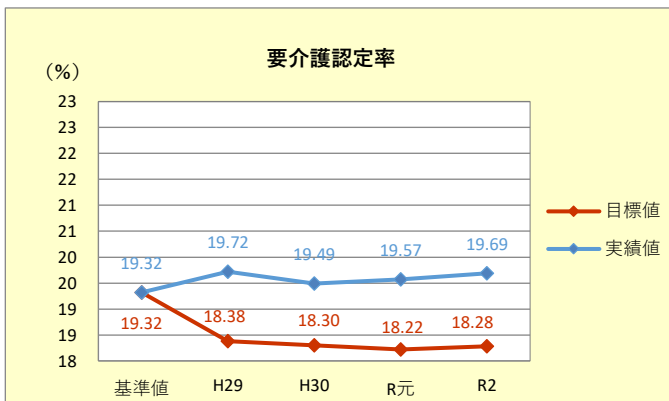
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(1)健康・福祉	福祉部
施策内容	⑥高齢者福祉の充実	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
要介護認定率	19.3 H27県平均値	18.4 19.7	18.3 19.5	18.2 19.6	18.3 19.7	県平均値 より下回る



3. 年次目標（令和2年次）

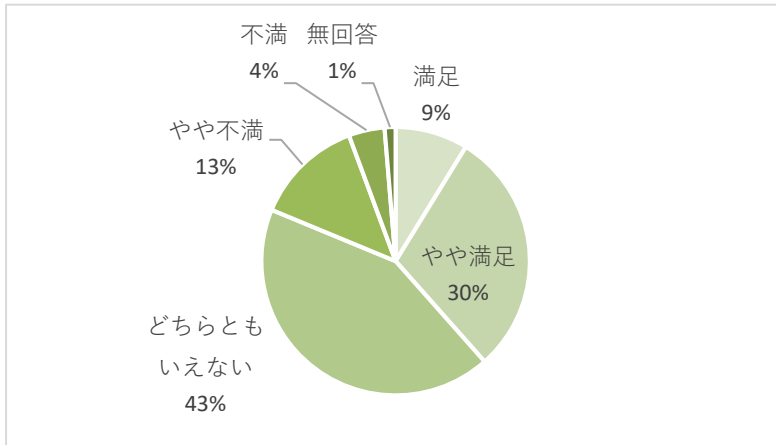
【単位：千円】

目標	実績	評価区分	評価内容
①いきいき百歳体操 新規団体4か所増と既に取り組んでいる団体への支援(9か所)	10団体	B 概ね 良好	当初、コロナ禍ということで中止をしていたが、各団体で感染拡大防止に注意を払い再開することができた。いきいき百歳体操の新規団体数は目標を達成することは出来なかったが、茶話やかサロンの新規団体数は目標を上回った。結果、主体的に介護予防活動に取り組む団体や参加者を増やすことができ、住民主体の介護予防活動に取り組む気運を高めることができた。
②地域介護予防活動支援事業 茶話やかサロン新規団体3か所増 ※委託先 むつ市社協	6箇所増		

4. 主要事業

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
一般介護予防事業	主に65歳以上の方及びその支援のために関わる方を対象に、介護予防の普及啓発を行うとともに、誰でも一緒に参加できる介護予防活動の地域展開を目指して、介護予防に資する住民主体の介護予防活動の支援を行う。		7,490	10,543	8,875	13,799	18,239
	【住民主体の通いの場の数(カ所)】	2 平成28年度	3 7	8 8	9 9	10 10	11
	【社会福祉協議会やボランティアが開催する通いの場の数(カ所)】	11 平成28年度	12 12	14 15	15 16	16 15	17

5. 総合経営計画に関する調査結果（市民アンケート）



評価	割合
満足	8.77%
やや満足	29.69%
どちらともいえない	42.79%
やや不満	13.10%
不満	4.33%
無回答	1.32%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	29位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況（内部評価）

	区分	選択区分	【評価の理由（10月）】
<p>令和3年度施策の進捗状況（10月報告） （基本計画の指標（KPI）の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価）</p> <p>A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている</p>		B	<p>新型コロナウイルスの影響により、いきいき百歳体操及び地域サロン等の取組を新規に始める所はなかった。引き続きいきいき百歳体操及び地域サロン等を実施している所は、市内の新型コロナウイルスの発生状況により休止期間はあったものの、身近な介護予防活動の場として定着している。</p> <p>いきいき百歳体操を行っている所では、リハビリ専門職と連携した体力測定等を実施した。参加者が客観的に自身の運動機能について知る機会となり介護予防活動を継続する動機づけとなった。</p>
			<p>【今後の取組の方向性（10月）】</p> <p>住民主体の介護予防活動（いきいき百歳体操、地域サロン）は、介護予防の効果があるほか、参加者同士の交流の場となり、地域づくりにつながることから引き続き取組を推進する。</p>
<p>令和3年度施策の進捗状況（1月報告） （基本計画の指標（KPI）の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価）</p> <p>A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている</p>		B	<p>いきいき百歳体操及び地域サロン等の取組を新規に開始する所はなかったが、介護予防運動に関する出前講座でいきいき百歳体操、地域サロンの周知を行った。また、問い合わせや継続団体への見学があり、今後も新規立ち上げに向けて相談支援を継続する。</p> <p>いきいき百歳体操及び地域サロン等の開催については、新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら主体的に定期的に行うことができ、身近な介護予防活動の場として定着している。</p> <p>いきいき百歳体操では、リハビリ専門職と連携して体力測定等を実施した。高齢者が客観的に自身の運動機能について知る機会となり介護予防活動を継続する動機づけとなった。高齢者の運動機能を経年的に比較し、専門職から必要な助言を得ることで介護予防につながることから、引き続き体力測定を継続する必要がある。</p> <p>令和4年度から開始される「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」の試行として、いきいき百歳体操に取り組んでいる2団体に専門職の講話を実施しフレイル予防の啓発を行った。</p>
			<p>【今後の取組の方向性（1月）】</p> <p>住民主体の介護予防活動（いきいき百歳体操、地域サロン）は、介護予防の効果があるほか、参加者同士の交流の場となり、地域づくりにつながることから引き続き取組を推進する。</p> <p>高齢者が専門職の助言を得ながら自分自身に合った介護予防のための行動ができるように、住民主体の介護予防活動の場に専門職が関与する取組を推進する。</p>

7. 施策の進捗状況（外部評価）

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	施策の進捗状況 （基本計画の指標（KPI）の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価）	A 順調に推移	B	A	
B 一定の進捗がある		B		63.6%	
C 進捗は遅れている		C		13.6%	
D 進捗は大幅に遅れて いる		D		0.0%	
- 増減		-		18.2%	

施策評価調書(令和3年度)

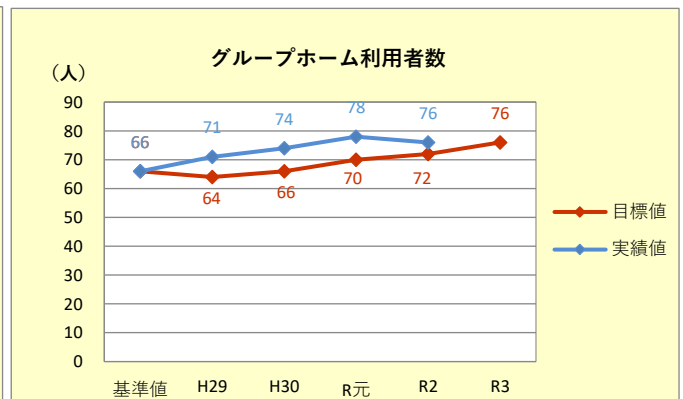
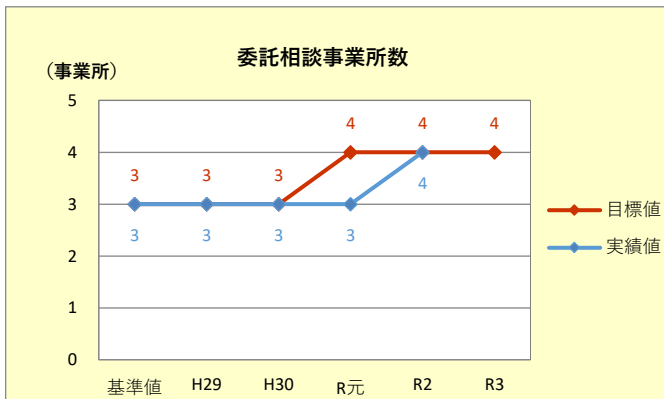
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(1)健康・福祉	福祉部
施策内容	⑦障害者福祉の充実	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
委託相談事業所数	3 H27年度	3 3	3 3	4 3	4 4	4
グループホーム利用者数	66 H27年度	64 71	66 74	70 78	72 76	76



3. 年次目標(令和2年次)

目標	実績	評価区分	評価内容
①障がい福祉相談会・障がい福祉サービス説明会、障がいに関する研修会等の来場者150人	—	B 概ね良好	「障がい福祉相談会・障がい福祉サービス説明会」は新型コロナウイルス感染予防のため、展示会として実施。むつ市役所開放エリアを会場に、各事業所力作の紹介ポスターが揃い、来庁者や職員等多くの方の目に触れることができた。アンケートへの回答は僅かだったが、各事業所の活動への評価や、障がいのある方の生活に必要なものなどの意見もあり、理解促進に繋がったものと考えている。自立支援協議会研修会は、講師との日程調整の結果時期を変更し、障害年金をテーマに開催。各事業所や生活保護担当者の参加があり、今後の業務知識習得のうえで有意義な研修会となった。 相談支援事業は、毎月報告される相談記録票での情報共有等により連携しての支援に努め、概ね計画どおりに実施できたものと判断する。
②相談支援事業の継続実施と充実	1,436件		

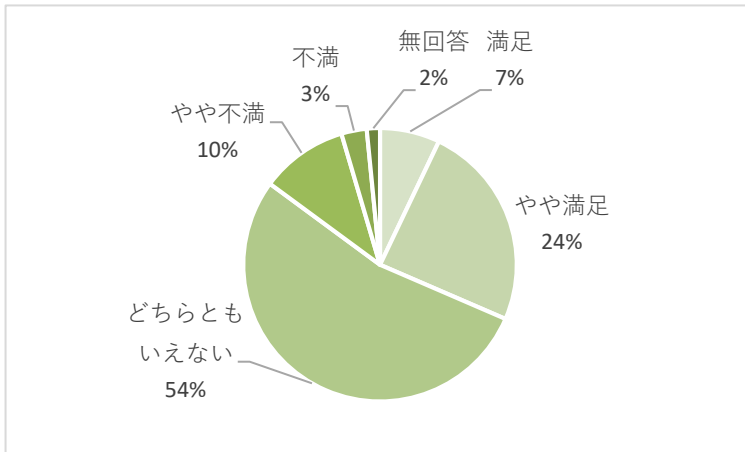
4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
相談支援体制強化事業	障がいをお持ちの方やその家族等からの相談に応じ、必要な情報提供等を行いサービス利用等の支援へつなげる。		8,051	8,105	8,147	9,819	9,810
	【委託事業所への相談件数(件)】	1,115 平成28年度	800	800	2,700	2,700	2,700
	【障害者相談員への相談件数(件)】	69 平成28年度	180	100	100	100	100
			54	68	68	55	

障がい者に対する理解促進事業	「障がい福祉相談会・障がい福祉サービス説明会」の開催に合わせて「障害福祉パンフレット」を作成し、障がいをお持ちの方やその家族等から、サービス利用等の相談対応や情報提供を行うとともに、障がいへの理解促進と啓発を図る。	221	221	228	283	395	
	【相談会来場者数(人)】	102 平成28年度	150 61	150 103	150 78	150 0	150
	【参加事業所(団体)】	27 平成28年度	27 32	27 31	27 27	27 0	27

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



満足	7.09%
やや満足	24.40%
どちらともいえない	53.61%
やや不満	10.34%
不満	3.00%
無回答	1.56%

55施策中	41位
※アンケート重複項目含む	

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】 「障がい福祉相談会・障がい福祉サービス説明会」は、新型コロナウイルス感染症防止のため令和2年度に引き続き、関連機関、市内事業所と連携協力のもと、11月に展示会を実施予定。相談支援体制強化事業については、今年の同時期よりは相談件数は減少しているが、件数の増減での評価ではなく、寄せられた相談への迅速で丁寧な対応が重要であり、事業所からの定期的な報告により情報共有もできていることから、一定の進捗があると判断した。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【今後の取組の方向性(10月)】 今後も新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、事業の強化を図りつつ、継続して事業を実施する。
令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】 「障がい福祉相談会・障がい福祉サービス説明会」は感染症防止対策のため、昨年と同様に展示会形式で11月8日～12日の期間で市役所庁舎内で実施した。展示会では市内障害福祉サービス事業所が作成した紹介ポスターやパンフレットを掲示し、多くの来庁者の目に触れる機会となった。相談支援事業については、悩みを抱えた方の相談内容を相談記録票で市と情報共有し、連携した支援に努めた。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【今後の取組の方向性(1月)】 今後も障がいに対する理解促進を図るため、説明会や研修会を実施し、共生社会実現に向けて継続して事業を実施する。また、相談支援事業についても、障がいのある方が安心して暮らせるよう支援するため、引き続き実施していく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	施策の進捗状況 （基本計画の指標（KPI）の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価）	A 順調に推移	B	A	
B 一定の進捗がある		B		81.8%	
C 進捗は遅れている		C		18.2%	
D 進捗は大幅に遅れて いる		D		0.0%	
- わからない		-		0.0%	

施策評価調書（令和3年度）

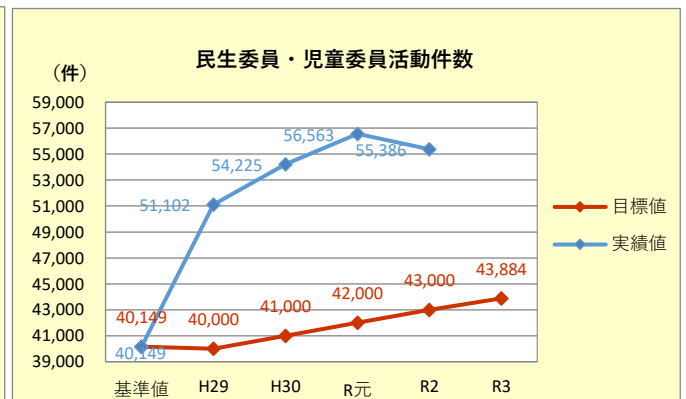
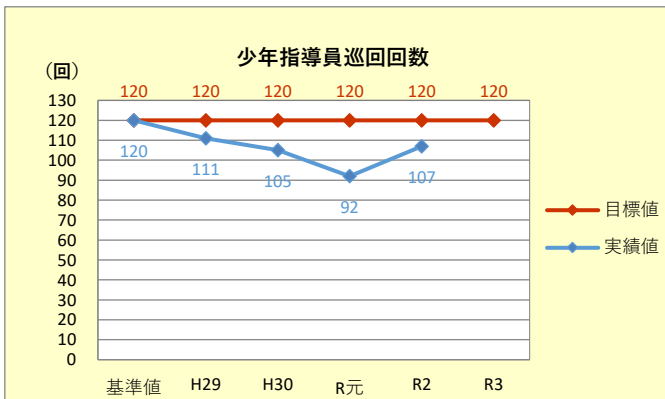
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(1)健康・福祉	福祉部
施策内容	⑧地域福祉の充実	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
少年指導員巡回回数	120 H27年度	120 111	120 105	120 92	120 107	120
民生委員・児童委員活動件数	40,149 H27年度	40,000 51,102	41,000 54,225	42,000 56,563	43,000 55,386	43,884



3. 年次目標（令和2年次）

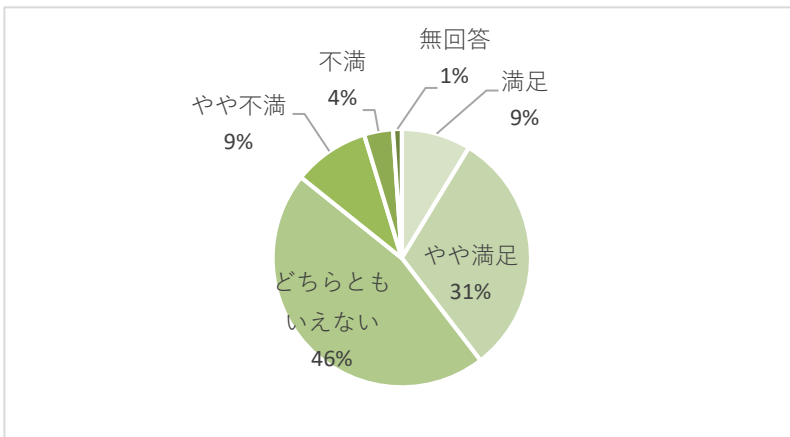
目標	実績	評価区分	評価内容
①少年指導員巡回回数 120回	107回	B 概ね 良好	①緊急事態宣言により巡回活動も自粛せざるを得なかったが、宣言解除後は、巡回活動は順調に実施できている。 ②訪問活動については、毎月計画以上の活動を行っている。コロナ禍において、電話での見守り活動を行うなど、委員がそれぞれ考えながら活動を行っている。
②民生委員・児童委員活動件数 43,000回	55,386回		

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
民生委員活動事業	高齢者宅の訪問や児童の登下校時の声かけ活動、生活保護に関する相談及び助言をはじめ、高齢者や障がい者、また、家庭児童に関する相談に応じ、行政や施設などへの橋渡し役を担い、地域福祉の向上に努める民生委員の活動を支援する。		11,348	11,334	10,965	11,492	11,492
	民生委員活動件数(回/年)	38,037 平成28年度	40,000	41,000	42,000	43,000	43,884
少年センター運営事業	青少年が、SNSに係る交友関係で生じるいじめ及び犯罪に無意識に巻き込まれるケースや家庭内の虐待等により、反社会的行動を取ることを未然に防止するために、市内学校等とむつ市少年センターが連携し少年指導員による街頭指導や校外指導を行う。また、少年指導員への研修会を開催し、資質向上を図る。		1,201	1,124	1,001	1,503	2,558
	少年指導員の巡回回数(回)	115 平成28年度	120	120	120	120	120
			111	105	92	107	

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



令和3年度市民アンケート結果	
満足	8.69%
やや満足	30.88%
どちらともいえない	46.20%
やや不満	9.53%
不満	3.62%
無回答	1.09%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	24位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	B	<p>①感染拡大防止のため、活動を自粛した月もあったが、活動再開後は街頭活動等を計画的に遂行できている。</p> <p>②令和3年8月豪雨災害では、被災者支援として相談業務及び生活復旧支援の一端を担い、地域と行政の橋渡し役を果たした。</p>
		【今後の取組の方向性(10月)】
		<p>①関係機関と連携しながら、街頭指導や郊外指導を実施し、青少年を犯罪等から未然に防止する活動を推進する。</p> <p>②コロナ禍で孤立しがちな高齢者等の見守り活動や相談体制を充実させていく。</p>

区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	B	<p>①感染拡大防止のため、活動を自粛した月もあったが、活動再開後は街頭活動等を計画的に遂行できている。</p> <p>②令和3年8月豪雨災害では、被災者支援として相談業務及び生活復旧支援の一端を担い、地域と行政の橋渡し役を果たした。</p>
		【今後の取組の方向性(1月)】
		<p>①関係機関と連携しながら、街頭指導や郊外指導を実施し、青少年を犯罪等から未然に防止する活動を推進する。</p> <p>②コロナ禍で孤立しがちな高齢者等の見守り活動や相談体制を充実させていく。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価)		A 順調に推移	B	
B 一定の進捗がある		B	95.5%		
C 進捗は遅れている		C	0.0%		
D 進捗は大幅に遅れて いる		D	0.0%		
- わからなからい		-	0.0%		

施策評価調書(令和3年度)

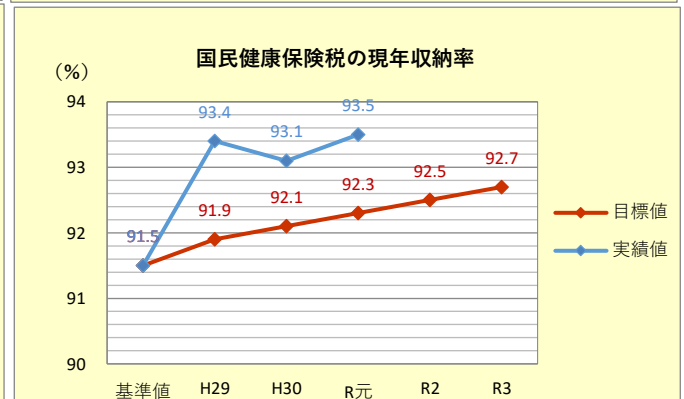
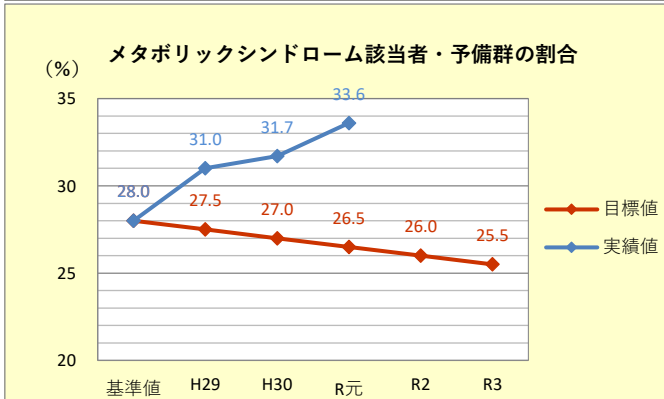
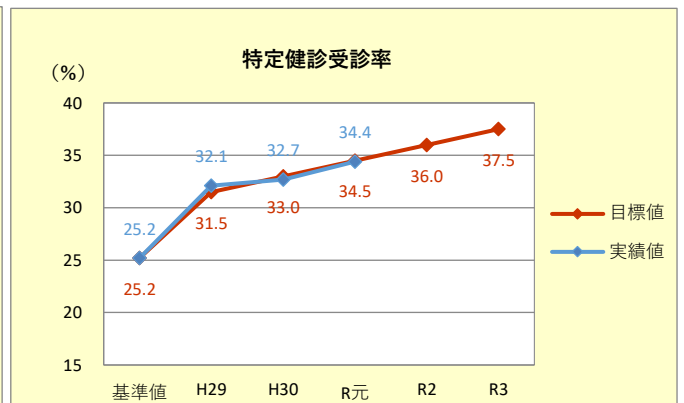
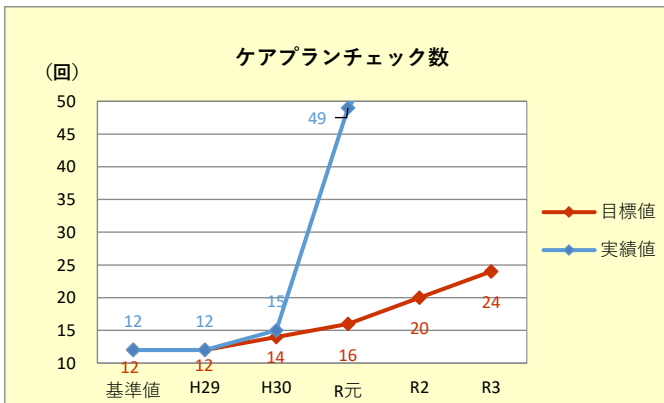
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(1)健康・福祉	福祉部・健康づくり推進部
施策内容	⑨社会保障の充実	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
ケアプランチェック数	12 H28年度	12 12	14 15	16 49	20 65	24
特定健診受診率	25.2 H26年度	31.5 32.1	33.0 32.7	34.5 34.4	36.0 -	37.5
メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合	28.0 H27年度	27.5 31.0	27.0 31.7	26.5 33.6	26.0 -	25.5
国民健康保険税の現年収納率	91.5 H27年度	91.9 93.4	92.1 93.1	92.3 93.5	92.5 -	92.7



3. 年次目標(令和2年次)

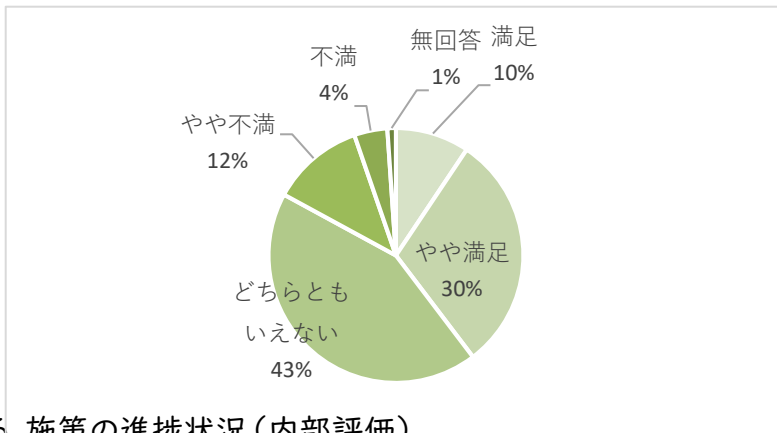
目標	実績	評価区分	評価内容
①ケアプラン点検実施件数 60件	65件	B 概ね 良好	①介護給付適正化専門員の配置に加え介護保険適正化支援システムを導入し、より詳細な分析と点検を実施したことで、点検対象のケアプランだけでなく、対象の介護支援専門員が担当する全てのケアプランについて、適正なケアプランの作成を促すことができた。 ②新たに意識調査を行ったことにより若年層の健康意識を確認でき、受診勧奨へもつながった。 ③新型コロナウイルスの影響で前年度よりシート達成者数は減少したが、アプリ達成者数は増加した。
②特定健診受診率 40.3% (※第2期データヘルス計画設定値)	-		
③メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合 28.0%	-		

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
健康マイレージ事業	生活習慣病の予防と健康を取り戻すため、一定の健康プランのチャレンジ達成者に対し、インセンティブとして、協賛施設・店舗で特典を享受できる「健康マイレージカード」を発行するほか、地域特産品等や地域商品券を進呈する。		3,093	2,623	3,291	2,362	1,561
	【健康マイレージ達成者数(人)】	537	800	800	600	600	600
		平成28年度	577	416	401	288	
【ウォーキングアプリ登録者数(人)】	3,994	4,200	5,400	6,200	6,600	7,800	
	平成28年度	4,924	5,712	6,578	7,198		
特定健康診査事業(未受診者受診勧奨事業)	過去に得られたデータや健診受診履歴から、対象者の健診受診行動を分析し、対象者のタイプ別に内容を変えた受診勧奨を行うことで、受診率向上を目指す。また、被保険者自身の健康に対する関心を高め、特定健診の対象となる40代から健康診断の習慣化を図る。		4,585	5,465	5,541	5,898	5,764
	【特定健診受診率(%)】	27.5	31.5	35.7	38.0	40.3	42.6
平成27年度		32.1	32.7	34.4	-		
介護給付等費用適正化事業	介護(予防)給付について真に必要な介護サービス以外の不要なサービスが提供されていないかの検証、本事業の趣旨の徹底や良質な事業展開のために必要な情報提供等により、利用者に適切なサービスを提供できる環境の整備を図り、介護給付等に要する費用の適正化のための事業を実施する。		0	545	6,470	7,488	8,524
	【ケアプラン点検件数(件)】	7	12	14	16	60	70
平成28年度		12	15	49	65		

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



令和3年度市民アンケート結果	
満足	9.38%
やや満足	30.29%
どちらともいえない	43.27%
やや不満	11.78%
不満	4.21%
無回答	1.08%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	25位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告)(基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
		A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B

<p>令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)</p>	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
	<p>A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている</p>	B	<p>①ケアプラン点検は、点検件数37件と年間計画値を上回る実施となった。ヒアリングシートは軽微な確認事項に活用し、対面でのケアプラン点検と併用することで、より詳細な点検となり介護給付費の適正化に繋がっている。 ②特定健診の予約状況を勘案しながら通知内容を常に検討し、健診予約に一定の増が見られたことから概ね良好。 ③むつ☆Walkerのチームチャレンジ定期開催によりアプリのダウンロード数が増加し、今後特典チャレンジ達成者数に反映されることが期待される。</p> <p>【今後の取組の方向性(1月)】</p> <p>①介護が必要な方へ適切なサービスの提供ができるよう、ケアプラン点検による指導・助言と、ヒアリングシートを併用し、介護給付費適正化への取り組みを継続する。 ②年度末に向けて個別健診を中心とした受診勧奨に努めながら、今後の受診勧奨へ向けた実績の検討を行う。 ③各種SNSで事業のPRをし、健康づくりのためのきっかけとしていただけるよう働きかけていく。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

<p>施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)</p>	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	<p>A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない</p>	B	A	9.1%	
			B	72.7%	
			C	4.5%	
			D	0.0%	
			-	13.6%	

施策評価調書（令和3年度）

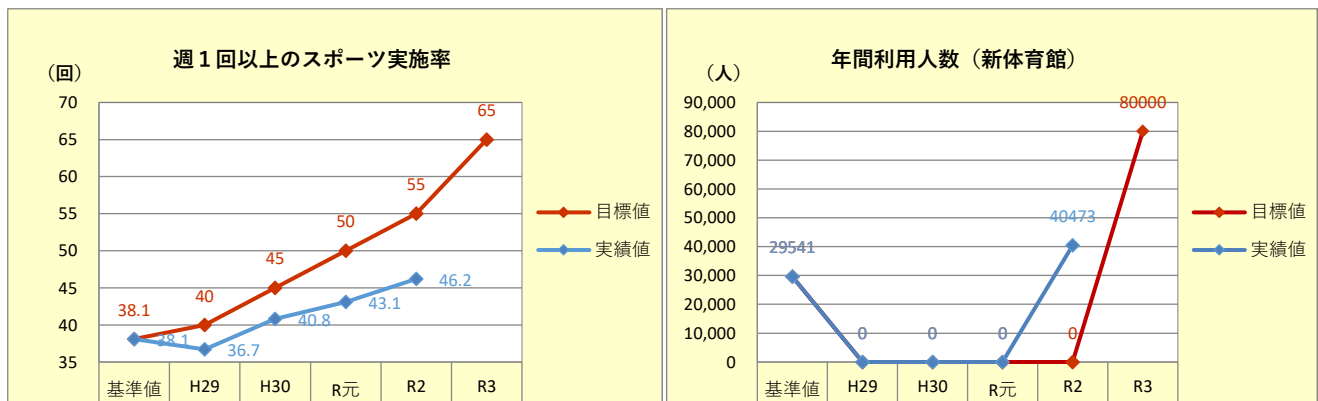
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(2)スポーツ	民生部
施策内容	①スポーツ活動の充実	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
週1回以上のスポーツ実施率	38.1 H23年度	40.0 36.7	45.0 40.8	50.0 43.1	55.0 46.2	65.0
年間利用人数（新体育館）	29,541 H26年度	-	-	-	- 40,473	80,000



3. 年次目標（令和2年次）

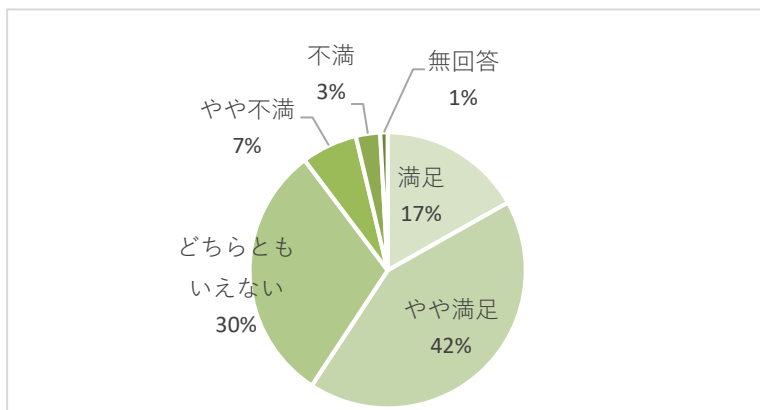
目標	実績	評価区分	評価内容
スポーツ教室参加者数 2,180人 ※新型コロナウイルスの影響を加味	1,682人	B 概ね 良好	<p>新型コロナウイルス感染症の影響から開催できなかった事業・競技等もあり、参加者数も減少したが、感染症対策を講じながらむつ市民体育大会の開催、プロスポーツの公式戦（青森ワッツ）を誘致するなど、市民がスポーツに触れ合う機会の提供に努めた。</p> <p>新型コロナウイルスの影響から、今年度はトップアスリートと直に触れ合うスポーツ教室等は開催出来なかったが、ボルダリング講習会など、新施設における新たなスポーツ機会の提供、普及を行った。</p> <p>今後、新型コロナウイルス対策を講じながら、各種スポーツ教室や大会、プロスポーツの誘致、アリーナの運用等に関して、関係競技団体等と連携しながら取り組んでいく。</p>
総合アリーナの整備完了、運用開始に係る事業スケジュールの達成	達成		

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
スポーツ環境整備事業	クラブチーム運営のための講習会開催するとともに、スポーツ団体における指導者の確保・育成のため、大会出場に必要な指導者資格の取得に係る経費を助成する。		76	161	274	536	589
	【スポーツクラブ運営講習会開催件数(件)】	-	1	1	1	1	1
	【運動競技指導者資格受件数(件)】	-	5	10	10	10	10
むつ市釜臥山スキー場整備事業	むつ市釜臥山スキー場の第1リフト更新等の整備を行い、利用者の利便性の向上及び増加を図る。		-	-	-	32,000	258,000
	【整備進捗率(%)】	-	5.2	12.3	80.0	100	-
		-	5.0	12.3	70.5	100	

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



令和3年度市民アンケート結果	
満足	14.68%
やや満足	36.10%
どちらともいえない	38.03%
やや不満	7.10%
不満	2.53%
無回答	1.56%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	6位
-----------------------	----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	B	<p>新型コロナウイルス感染症の影響から、スポーツ大会、教室等が一部中止となったが、むつマエダアリーナが完成し、新たなスポーツ機会の創出、スポーツと触れ合う機会を創出することができた。</p> <p>【今後の取組の方向性(10月)】 スポーツ拠点施設となるむつマエダアリーナを中心に、冬場における釜臥山スキー場、各地域のスポーツ施設において、引き続き感染対策を講じながら、スポーツ活動の促進を図る。</p>
令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	A	<p>コロナ禍でスポーツ活動が制限される中で、計画以上のスポーツ教室等を開催出来た。 釜臥山スキー場整備事業は、12月末で第1リフト架替工事が完了した。 これらのことから、良好と評価している。</p> <p>【今後の取組の方向性(1月)】 今後においても、関係団体と連携しながらスポーツ教室等を実施していくとともに、市HP等を通じた広報を行っていく。 スキー協会等関係団体との意見交換会での意見等を参考に、新しくなった第1リフトのPRや利便性向上に向けた施策を実施、検討していく。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
<p>施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価)</p>	A 順調に推移	B	A	9.1%	/
	B 一定の進捗がある		B	77.3%	
	C 進捗は遅れている		C	9.1%	
	D 進捗は大幅に遅れて いる		D	0.0%	
	- わからない		-	4.5%	

施策評価調書(令和3年度)

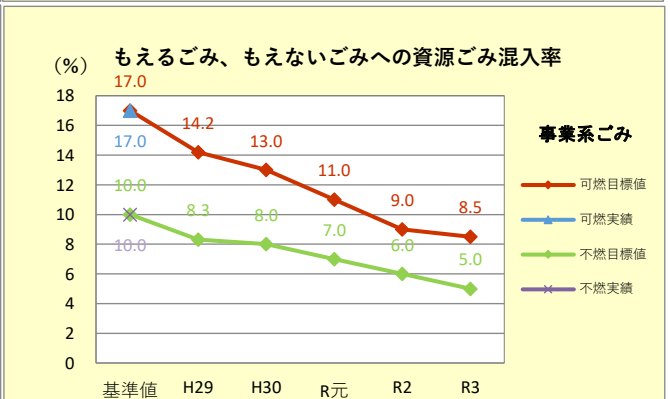
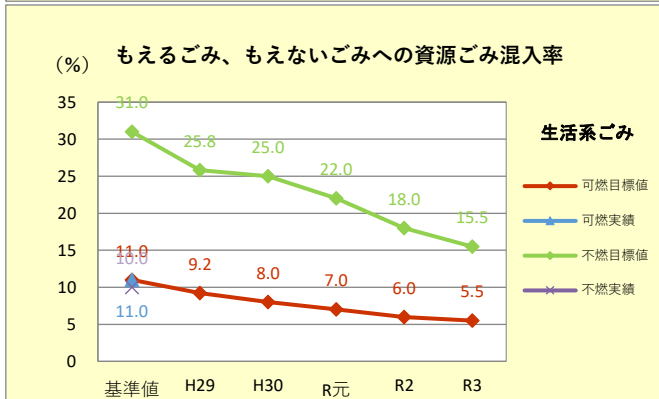
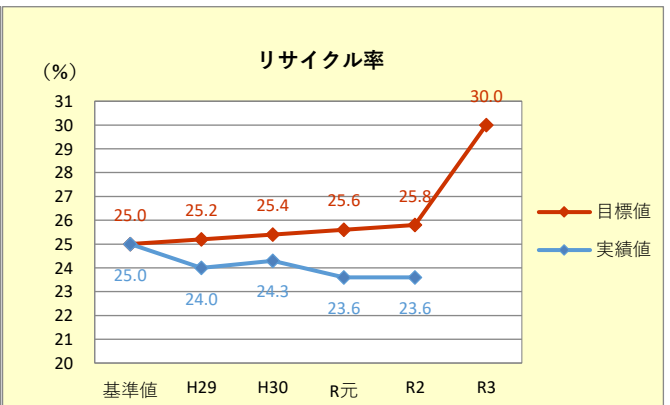
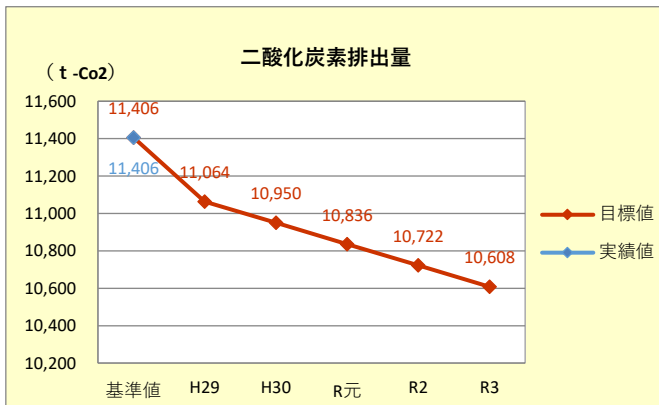
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(3)環境	民生部
施策内容	①循環型社会の推進	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
二酸化炭素排出量	11,406	11,064	10,950	10,836	10,722	10,608
リサイクル率	25.0	25.2	25.4	25.6	25.8	30
もえるごみ、もえないごみへの資源ごみ混入率	生活系可燃	11.0	9.2	8.0	7.0	6.0
	生活系不燃	31.0	25.8	25.0	22.0	18.0
	事業系可燃	17.0	14.2	13.0	11.0	9.0
	事業系不燃	10.0	8.3	8.0	7.0	6.0



3. 年次目標(令和2年次)

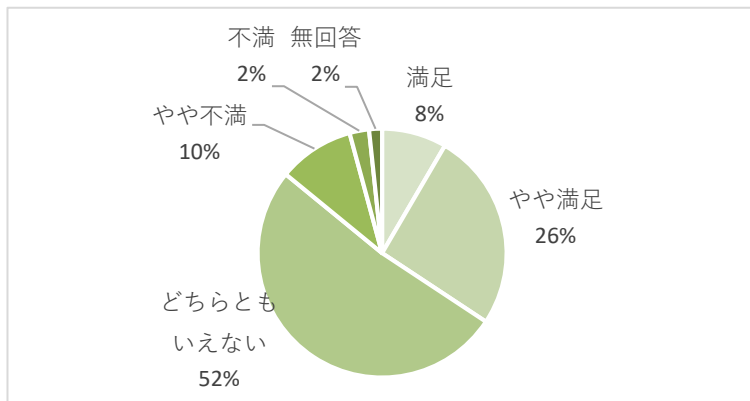
目標	実績	評価区分	評価内容
リサイクル率 25.8%	23.6%	B 概ね 良好	ごみ排出量は、昨年度に比べ、総量で約2.7%減、1人当たり排出量でも約0.9%減少(1,089g→1,079g)した。なお、リサイクル率は23.6%であり、目標値にはわずかに達しなかった。 いずれの取組も継続し、目標達成に向けて周知啓発に努める。
地域循環型社会ジオサイクル推進事業 参加者100人	45.0%		

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
			決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
	業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
市指定ごみ袋関連事業	市指定ごみ袋の作成し、ごみの減量を図る。		34,648	50,560	42,174	56,226	60,439
	【1人1日当たりのごみ排出量(g/人・日)】	1,180	1,116	1,057	1,038	1,019	1,000
		平成26年度	1,076	1,086	1,089	1,079	
	【リサイクル率(%)】	25.0	25.2	25.4	25.6	25.8	30.0
		平成26年度	24.9	24.3	23.6	23.6	
	【もえるごみ、もえないごみへの資源ごみ混入率(生活系ごみ:可燃)(%)】	11.0	10.0	8.0	7.0	6.0	5.0
		平成26年度	未実施	未実施	未実施	未実施	
	【もえるごみ、もえないごみへの資源ごみ混入率(生活系ごみ:不燃)(%)】	31.0	28.0	25.0	22.0	18.0	15.0
平成26年度		未実施	未実施	未実施	未実施		
【もえるごみ、もえないごみへの資源ごみ混入率(事業系ごみ:可燃)(%)】	17.0	15.0	13.0	11.0	9.0	8.0	
	平成26年度	未実施	未実施	未実施	未実施		
【もえるごみ、もえないごみへの資源ごみ混入率(生活系ごみ:不燃)(%)】	10.0	9.0	8.0	7.0	6.0	5.0	
	平成26年度	未実施	未実施	未実施	未実施		
ごみ減量・リサイクル関係啓発事業	ごみ排出抑制・再資源化の方策の一つである「生ごみの減量化」を推進するため、家庭から出る生ごみを安価で減量できるダンボールコンポストの作成方法や堆肥作りについて実演による講習会を実施し、市民のごみ減量に対する啓発及び支援を行う。		0	0	55	101	94
	業績評価指標は、上記指標と同じのため記載省略						

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



満足度	割合
満足	8.42%
やや満足	25.87%
どちらともいえない	51.62%
やや不満	9.87%
不満	2.53%
無回答	1.68%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	27位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	新型コロナウイルス感染症の影響により、フリーマーケットイベント回収、市主催行事、出前講座等の啓発活動を行う機会が昨年度同様、制限されているが、ごみの排出量はコロナ禍で巣ごもり、断捨離を行ったと推測される中で、年々減っている。 【今後の取組の方向性(10月)】 引き続き目標達成に向けて、リサイクルの取組など周知啓発に努める。

令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	ごみ排出量は、昨年度同期(4月~11月)に比べ、総量(15,272t→15,242t)、1人当たり排出量(1,115g→1,133g)横ばいである。新型コロナウイルス感染症等の影響により、フリーマーケットイベント回収、市主催行事での啓発活動の実施回数も減少した中では、評価区分としては、概ね良好である。 なお、アックス・グリーン(鉄くず)の資源化量は月ごとの算定ではないため、リサイクル率を算出できないが、これらを除いた資源回収率は、昨年度同期とほぼ同等である。 【今後の取組の方向性(1月)】 コロナウイルス感染症対策のため、啓発活動等も制限されている中で、引き続きリサイクル、減量化に向けた取組の活動を続けていきたい。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	B	A	0.0%	
			B	54.5%	
			C	31.8%	
			D	0.0%	
			-	13.6%	

施策評価調書(令和3年度)

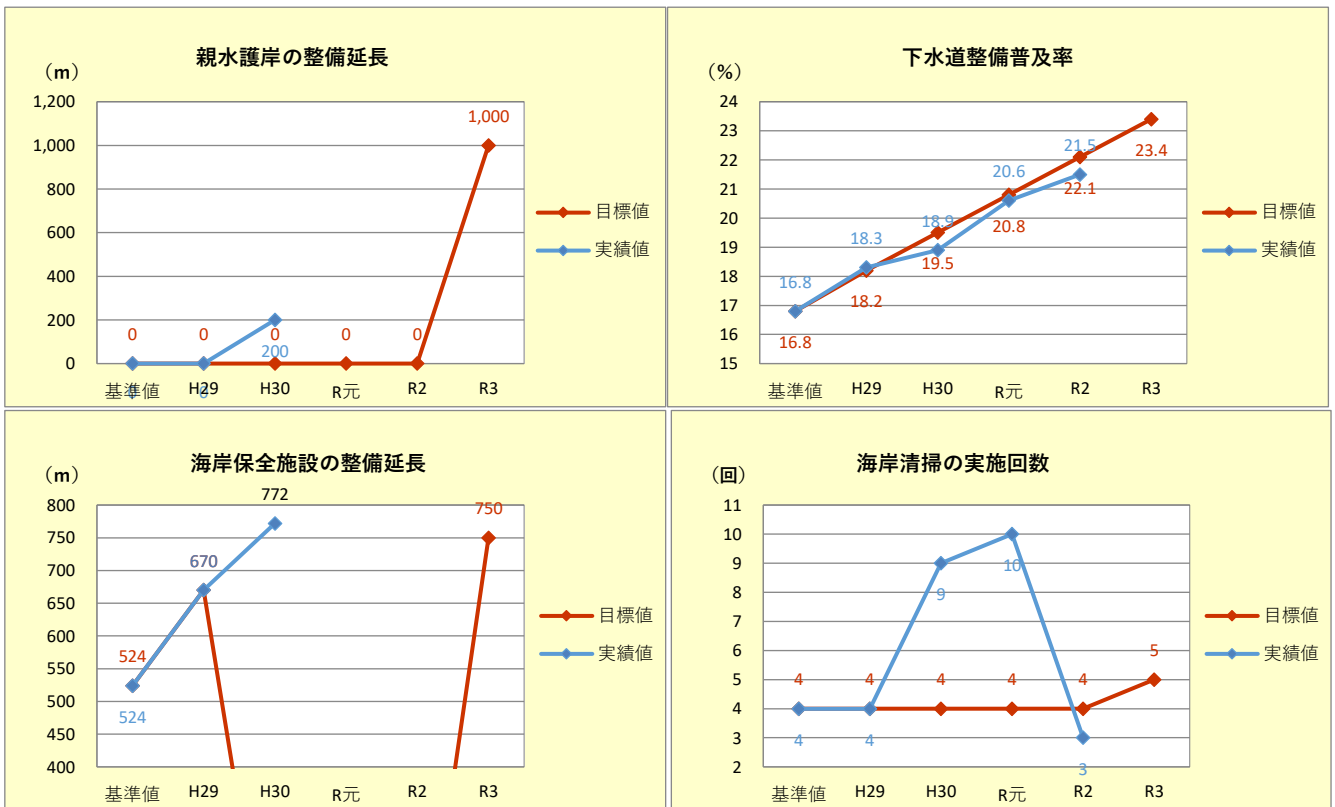
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(3)環境	上下水道局
施策内容	②自然環境の保全	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
親水護岸の整備延長	0 H28年度	-	-	-	-	1000
下水道整備普及率	16.8 H27年度	18.2 18.3	19.5 18.9	20.8 20.6	22.1 21.5	23.4
海岸保全施設の整備延長	524 H27年度	670 670	- 772	-	-	750
海岸清掃の実施回数	4 H27年度	4 4	4 9	4 10	4 3	5



3. 年次目標(令和2年次)

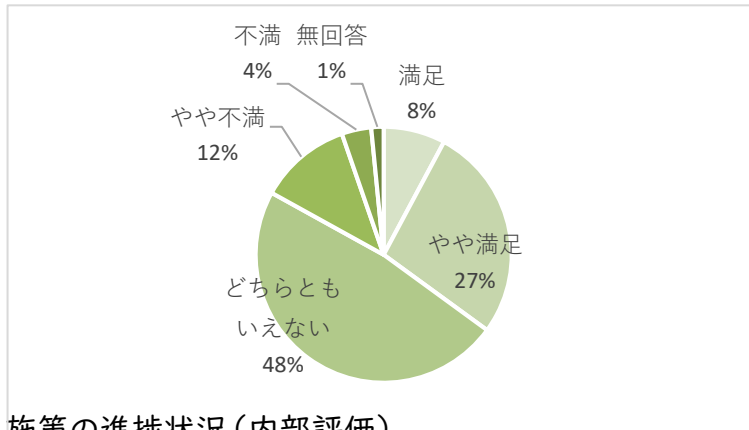
目標	実績	評価区分	評価内容
下水道整備普及率 22.1%	21.5%	B 概ね 良好	資材、労務費の上昇及び工法の変更に伴い、工事箇所の見直しが必要となった。これにより整備範囲を縮小することとなり、目標に届かなかった。 今後も限られた予算の中で、工事工法、費用対効果の高いルート選定等を検討しながら効率的な管渠整備を行う。

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
むつ市公共下水道事業	生活環境の向上及び自然環境の保全のため、公共下水道を整備する。		324,875	305,911	592,267	667,000	1,457,310
	【下水道整備普及率(%)】	17.6 平成28年度	18.2	19.5	20.8	22.1	23.4
			18.3	18.9	20.6	21.5	

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



令和3年度市民アンケート結果	
満足	7.82%
やや満足	27.20%
どちらともいえない	48.01%
やや不満	11.67%
不満	3.73%
無回答	1.56%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	35位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	C	<p>【評価の理由(10月)】</p> <p>労務、資材費の上昇、工事の工法変更等による工事費の増額により予定通り進捗できず、遅れが見られるが限られた予算の中で財政部局と協議しながら確実に進捗している。</p> <p>【今後の取組の方向性(10月)】</p> <p>今後も、工事工法、費用対効果の高いルート選定等を検討しながら効率的な管渠整備を行う。</p>
令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	C	<p>【評価の理由(1月)】</p> <p>資材、労務費の上昇及び工法の変更に伴い、工事箇所の見直しが必要となった。下水道整備普及率は22.1%となる見込みである。</p> <p>【今後の取組の方向性(1月)】</p> <p>今後も限られた予算の中で、工事工法、費用対効果の高いルート選定等を検討しながら効率的な管渠整備を行う。</p>	

7. 施策の進捗状況(外部評価)

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
<p>施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価)</p>	<p>A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる - わからない</p>	<p>C</p>	A	0.0%	<p>昨今の経済情勢等を考慮すれ ば、資材・労務費などの値上がり が事業進捗に大きな影響をあた えていることは十分理解できる。 ハード部門は外部ファクターで 左右されるケースが多く、より 効率的な施策実行が求められる。 ※その他「概要」参照のこと。</p>
			B	27.3%	
			C	59.1%	
			D	0.0%	
			-	13.6%	

施策評価調書（令和3年度）

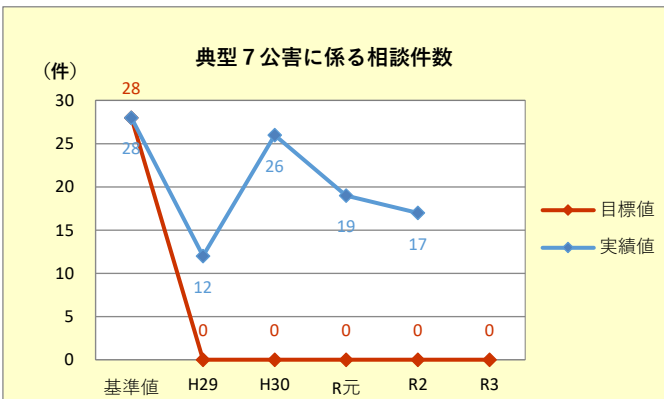
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(3)環境	民生部
施策内容	③公害対策の充実	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
典型7公害に係る相談件数	28 H27年度	0 12	0 26	0 19	0 17	0



3. 年次目標（令和2年次）

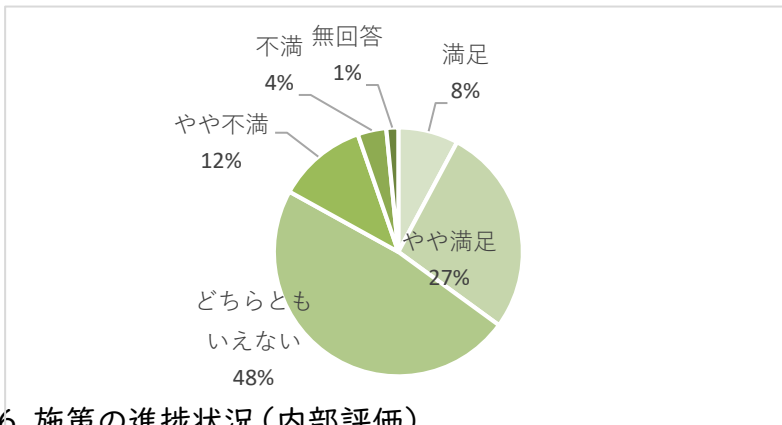
目標	実績	評価区分	評価内容
典型7公害に係る相談件数 10件	17件	B 概ね 良好	年間を通して寄せられた主な相談は、ホームタンクからの油漏れのほか、近隣の生活環境の苦情が多く、トラブルを避けるために市が介入しているものである。 いずれも公害までには至らないケースであった。

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
			決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
公害対策審議会運営事務	公害の防止を図り、もって市民の健康で文化的な社会生活の確保に資することを目的に、公害対策に関する事項等について調査審議する公害対策審議会を設置・運営する。	基準値	0	38	0	57	0
		-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	
公害対策費	公害の発生を未然に防止するために環境に関する各種調査を実施し状況を把握するとともに、公害に係る苦情について、調査・測定等を行い解決を図る。 また、担当職員の見解を広げるため、各種研修会や講習会等に積極的に参加する。		1,371	1,449	1,774	2,012	1,955
	【典型7公害に係る相談件数(件)】	28	0	10	10	10	0
	平成28年度		12	26	19		

5. 総合経営計画に関する調査結果（市民アンケート）



満足度	割合
満足	7.82%
やや満足	27.20%
どちらともいえない	48.01%
やや不満	11.67%
不満	3.73%
無回答	1.56%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	35位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況（内部評価）

区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	A	9月末時点で市に寄せられた相談件数は8件。市民から寄せられる生活環境の相談に対し、速やかに現地確認や調査を実施している。
		【今後の取組の方向性(10月)】 苦情相談等に対して、速やかに解決が図られるよう対応を継続していく。

区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	A	市民の方から寄せられる生活環境に関する苦情は、航空機や建設重機による騒音のほか、近隣同士のトラブルを避けるため市に寄せられるものが多いが、公害までには至らないケースであり、原因者への注意喚起や情報提供により対応をお願いした。
		【今後の取組の方向性(1月)】 市民の方から相談があった際には速やかに調査等を行い、困難事案では他市の対応事例や関係機関とも連携を図りながら早期に解決ができるよう対応していく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
		区分	割合	
施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)	B	A	13.6%	/
		B	54.5%	
		C	13.6%	
		D	0.0%	
		-	18.2%	

施策評価調書(令和3年度)

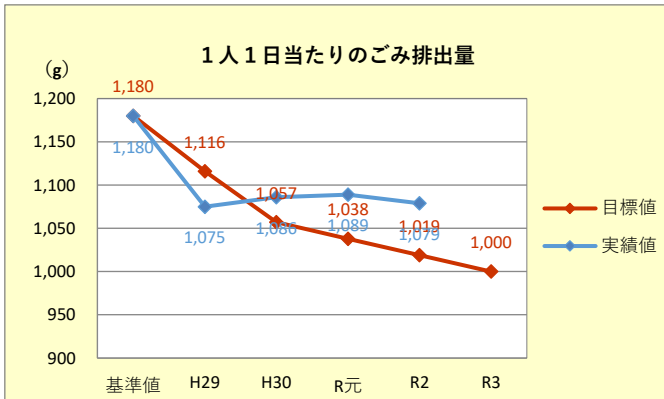
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(3)環境	民生部
施策内容	④環境衛生対策、廃棄物対策の充実	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
1人1日当たりのごみ排出量	1,180 H26年度	1,116 1,075	1,057 1,086	1,038 1,089	1,019 1,079	1,000



3. 年次目標(令和2年次)

目標	実績	評価区分	評価内容
①1人1日当たりのごみ排出量 1,057g	1,079g	B 概ね良好	ごみ排出量は、昨年度に比べ、総量で約1.6%減、1人当たり排出量では横ばい(1,088g→1,089g)となっている。 フリーマーケットイベント回収、市主催行事、出前講座等で、チラシ・雑紙袋・ダンボールコンポスト基材を配布し、リサイクルへの取組を呼びかけているが、いずれも一定数の参加者があることから、3Rの推進には、一定の効果が現れている。
②3R啓発ごみ減量啓発活動 年2回	3回		

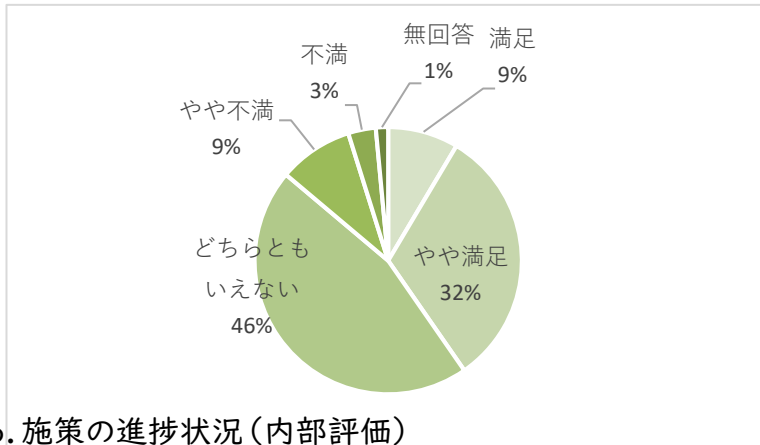
4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
			決算額	決算額	決算額	予算額	予算額	
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	
清掃関係事業(大掃除、じん芥処理)	春と秋に大掃除を実施するなど、地域住民の生活衛生の保持を図るとともに、道路上で横死した動物の死骸に対して、地域住民の生活衛生を保つため、迅速にじん芥処理を実施する。	基準値	427	1,331	1,446	1,439	1,851	
			動物の死体収集運搬回数(回)	243	175	40	0	0
			平成26年度	175	215	186	178	
資源ごみ回収事業	ごみの減量化及びリサイクルの推進、並びに容器包装リサイクル法への対応のため、資源ごみの集団回収を実施する。	基準値	18,094	17,019	15,864	18,938	16,236	
			【集団回収実績量(t)】	1,463.5	-	1,440	1,480	1,480
			平成26年度	1,440	1,361	1,232	1,175	

ごみ収集運搬事業	市内から排出される家庭系ごみの収集及び運搬を委託する。	272,301	227,447	220,684	297,422	276,106
	【もえるごみ、もえないごみへの資源ごみ混入率(生活系ごみ:可燃)(%)】	11.0	10.0	8.0	7.0	6.0
	平成26年度	未実施	未実施	未実施	未実施	
	【もえるごみ、もえないごみへの資源ごみ混入率(生活系ごみ:不燃)(%)】	31.0	28.0	25.0	22.0	18.0
	平成26年度	未実施	未実施	未実施	未実施	
【もえるごみ、もえないごみへの資源ごみ混入率(事業系ごみ:可燃)(%)】	17.0	15.0	13.0	11.0	9.0	
平成26年度	未実施	未実施	未実施	未実施		
【もえるごみ、もえないごみへの資源ごみ混入率(生活系ごみ:不燃)(%)】	10.0	9.0	8.0	7.0	6.0	
平成26年度	未実施	未実施	未実施	未実施		

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



満足	8.54%
やや満足	31.81%
どちらともいえない	45.79%
やや不満	9.03%
不満	3.34%
無回答	1.49%

55施策中	35位
※アンケート重複項目含む	

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】 ごみの総排出量は年々減少傾向にあるが、1人1日当たりのごみ排出量が目標に達していないことから、3R啓発ごみ減量キャンペーンの実施回数を増やすなど、啓発活動に取り組んでいる。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【今後の取組の方向性(10月)】 いずれの取組も継続し、目標達成に向けて周知啓発に努める。
令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】 リサイクル等につながる広報啓発活動及び不法投棄に対するパトロールや監視カメラ設置により、効果がでたので概ね良好である。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【今後の取組の方向性(1月)】 引き続きリサイクル効果につながる活動や不法投棄パトロールを継続し取り組んでいきたい

7. 施策の進捗状況(外部評価)

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
<p>施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価)</p>	A 順調に推移	B	A	0.0%	/
	B 一定の進捗がある		B	77.3%	
	C 進捗は遅れている		C	18.2%	
	D 進捗は大幅に遅れて いる		D	0.0%	
	- わからない		-	4.5%	

施策評価調書(令和3年度)

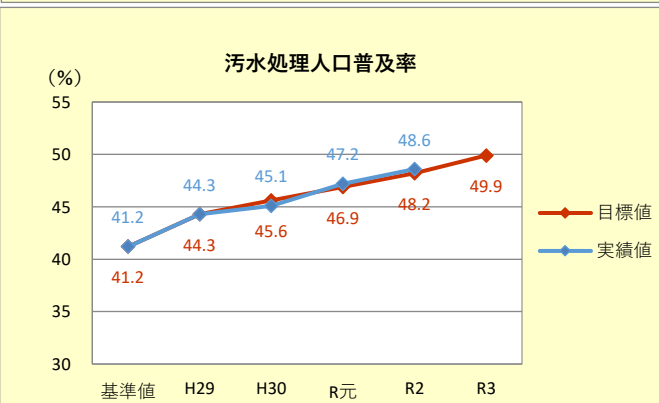
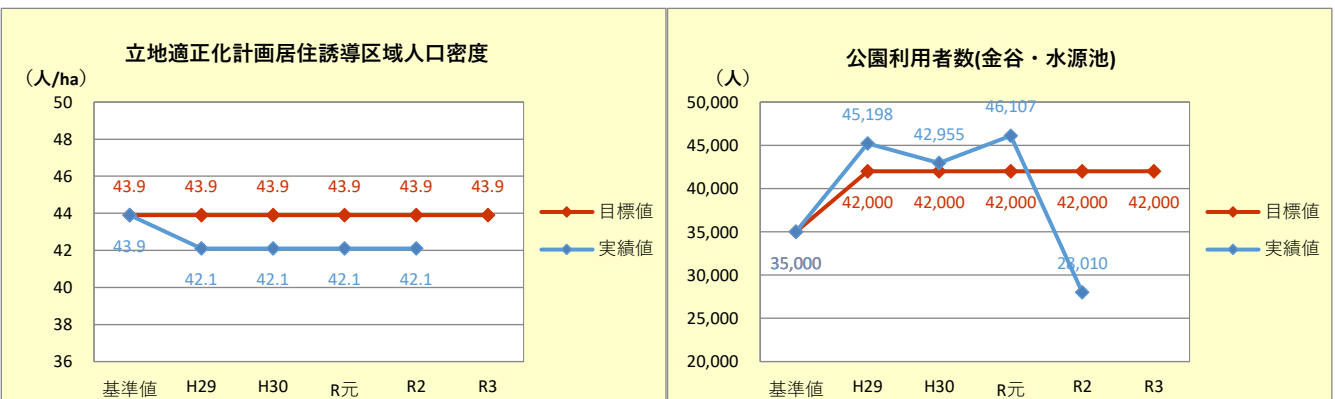
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(4)コンパクト・プラス・ネットワーク	都市整備部
施策内容	①暮らしやすいまちの構築	上下水道局

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
立地適正化計画居住誘導区域人口密度	43.9 H22年度	43.9	43.9	43.9	43.9	43.9
公園利用者数(金谷・水源池)	35,000 H27年度	42,000	42,000	42,000	42,000	42,000
汚水処理人口普及率	41.2 H27年度	44.3	45.6	46.9	48.2	49.9



3. 年次目標(令和2年次)

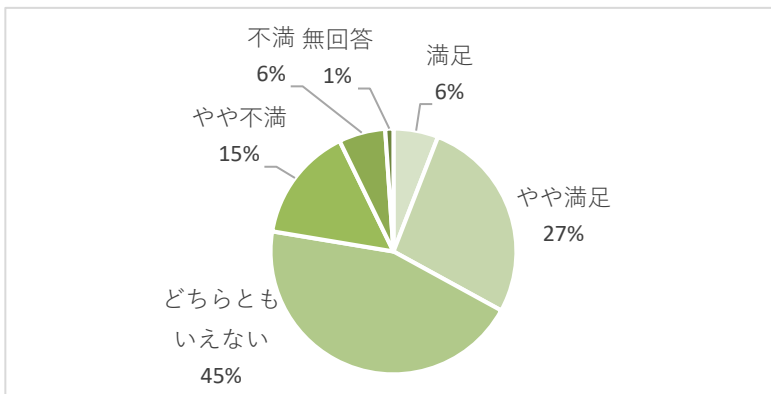
目標	実績	評価区分	評価内容
コンパクトシティ推進工事 2ヶ所	2か所	A 良好	コンパクトシティ推進事業については、立地適正化計画の誘導施設であるむつ総合病院周辺の現地測量に着手することができ、臨機応変に立地適正化計画の推進に向けた取組を進めている。また、 commons協定の締結により、空き地を公共空間として管理・活用できる体制を整えることができた。 浄化槽設置整備助成事業については、年々補助対象件数が減少し補助件数も減少傾向にあるものの、目標である汚水処理人口普及率は達成できた。
汚水処理人口普及率 48.2%	48.6%		

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
都市政策の展開	都市計画の活用、立地適正化計画の推進、関連制度の活用のほか、通学路や生活道路における歩行空間の整備等により、人口減少社会に対応したコンパクトシティ及び安全・安心して歩きたいまちづくりを推進する。		29,019	11,772	24,327	43,200	121,533
	【居住誘導区域人口密度(人/ha)】	43.9 平成22年度	43.9	43.9	43.9	43.9	43.9
暮らしやすく魅力あるまちの創出	地方再生コンパクトシティのモデル地区として選定された「むつ中心都市拠点地区都市再生整備計画」に基づき、大湊居住誘導地区での総合アリーナ整備や、田名部まちなか地区での代官山公園改修などを実施するとともに、都市公園でのPark-PFIの活用や都市再生推進法人田名部まちづくり株式会社などの官民連携によるまちづくりにより、暮らしやすく魅力あるまちの創出を図る。 また、コロナ禍を踏まえた「新たな日常」に対応し、都市構造の再構築と地域の稼ぐ力の向上を実現する「新しいまちづくりのモデル都市」として、オープンスペースの充実や多様な官民連携の取組により、ゆとりと賑わいのある新たな日常のまちを創出する。		0	0	16,490	130,000	50,000
	【居住誘導区域人口密度(人/ha)】	43.9 平成22年度	43.9	43.9	43.9	43.9	43.9
	【松木屋前平日歩行者数(人/日)】	340 平成26年度	-	400	-	430	-
むつ市浄化槽設置整備助成事業	汚水処理人口普及率の向上のため、公共下水道事業及び漁業集落排水処理事業区域外において、汲取りトイレや単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ設置替えを実施する個人に対して設置費の一部を補助する。		3,987	4,551	3,057	5,724	14,274
	【汚水処理人口普及率(%)】	41.2 平成27年度	44.3	45.6	46.9	48.2	49.9

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



回答内容	割合
満足	5.90%
やや満足	27.08%
どちらともいえない	44.65%
やや不満	15.16%
不満	6.14%
無回答	1.08%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	47位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

<p>令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)</p>	<p>区分</p> <p>A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている</p>	<p>選択区分</p> <p>B</p>	<p>【評価の理由(10月)】</p> <p>都市政策の展開については、一部工事の発注が遅れたものの、概ね順調に進められている。 暮らしやすく魅力あるまちの創出については、代官山公園改修工事のほか、代官山公園Park-PFIや商業施設改修事業等の官民連携事業が概ね順調に進められている。 下水道事業に関しては再掲(2(3)②)のため割愛。 浄化槽設置整備助成事業については、年々助成件数は減少傾向にあったが、令和3年度より補助金額の増額を行ったことにより合併浄化槽への切替促進が見込め、汚水処理人口普及率の上昇に寄与している。</p>
			<p>【今後の取組の方向性(10月)】</p> <p>各工事について工期内での完成を目指すほか、官民連携による各種事業の推進により、暮らしやすく魅力あるまちづくりに努める。 今後は、引き続き浄化槽設置整備助成事業を実施するとともに、広報誌等による事業の周知、PRを行う。</p>

<p>令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)</p>	<p>区分</p> <p>A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている</p>	<p>選択区分</p> <p>B</p>	<p>【評価の理由(1月)】</p> <p>コンパクトシティ推進事業については、市道越葉沢線及び海老川3号線の道路改良工事の発注時期が遅れたことに伴い、工事完成が1月から3月にずれ込むほか、新町地区広場整備は年度内での工事着手が困難となった。その他の工事については、概ね計画どおりのスケジュールで進んでいる。 浄化槽設置整備助成事業については、今年度から補助金の増額を行ったことにより昨年度と比べ増加したものと考えられる。</p>
			<p>【今後の取組の方向性(1月)】</p> <p>各市道改良工事については、受注者との連携を図り、工期内での完成を目指す。 新町地区歩道広場整備については、年度内で用地買収完了を目指し、広場整備は令和4年度に行うこととして調整している。 浄化槽設置整備助成事業については、引き続き浄化槽設置整備助成事業を実施するとともに、広報紙等による事業の周知、PRを行う。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

<p>施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)</p>	<p>区分</p> <p>A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない</p>	<p>選択区分</p> <p>B</p>	<p>評価割合</p>		<p>【主な意見】</p>
			A	18.2%	
			B	59.1%	
			C	18.2%	
			D	0.0%	
			-	4.5%	

施策評価調書（令和3年度）

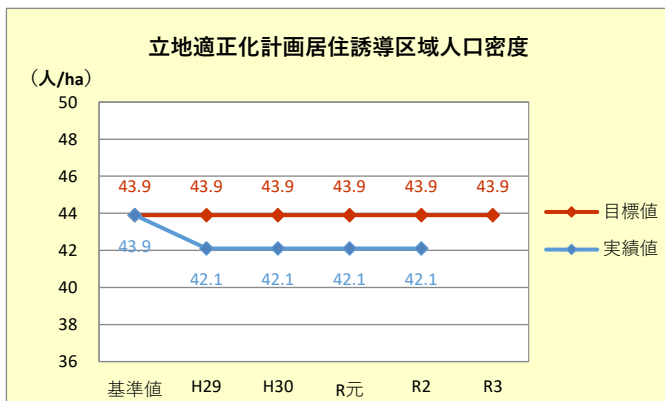
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(4)コンパクト・プラス・ネットワーク	企画政策部
施策内容	②計画的な土地の管理及び利用の促進	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
立地適正化計画居住誘導区域人口密度(人/ha)	43.9 H22年度	43.9 42.1	43.9 42.1	43.9 42.1	43.9 42.1	43.9



3. 年次目標（令和2年次）

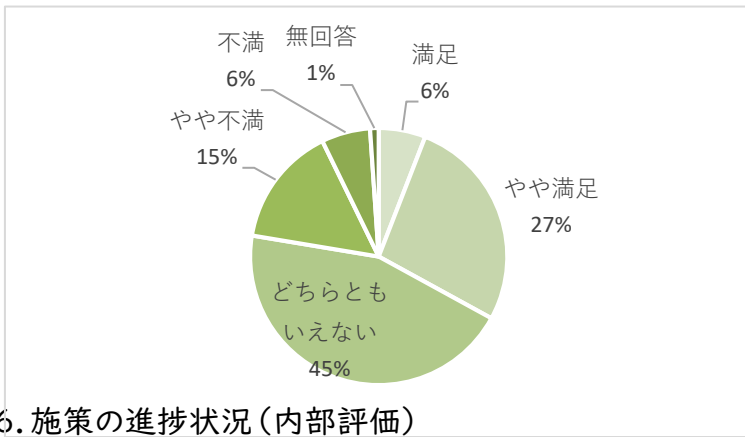
目標	実績	評価区分	評価内容
土地取引現況調査実施回数 4回	4回	A 良好	年間を通して無届取引はなく、届出も期限内に提出されていた。引き続き、普及啓発を図り、無届取引のないよう努める。

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
土地取引関連事業	国土利用計画により、地域全体の利便性や自然環境との調和を考慮し、乱開発や無秩序な土地利用を防止するため、一定面積以上の土地の取引をした場合に関する届出を推進する。		149	151	153	146	146
	【届出不受理件数(件)】	3 平成28年度	2	2	1	1	1
			1	1	0	0	

5. 総合経営計画に関する調査結果（市民アンケート）



評価	割合
満足	5.90%
やや満足	27.08%
どちらともいえない	44.65%
やや不満	15.16%
不満	6.14%
無回答	1.08%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	47位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況（内部評価）

	区分	選択区分	【評価の理由（10月）】
令和3年度施策の進捗状況（10月報告） （基本計画の指標（KPI）の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価）	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	1件の無届事案が発生したが、悪意のあるものではなく、県から事業者に対して指導が行われた。そのほかは適正に処理されており、概ね良好である。
			【今後の取組の方向性（10月）】 引き続き、適正な事務処理、普及啓発等に取り組む。

	区分	選択区分	【評価の理由（1月）】
令和3年度施策の進捗状況（1月報告） （基本計画の指標（KPI）の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価）	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	中間報告以降、無届取引なしのため、概ね良好とする。
			【今後の取組の方向性（1月）】 引き続き、適正な事務処理、普及啓発等に取り組み、無届取引のないよう努める。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
施策の進捗状況 （基本計画の指標（KPI）の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価）	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	B	A	13.6%	/
			B	63.6%	
			C	13.6%	
			D	0.0%	
			-	9.1%	

施策評価調書（令和3年度）

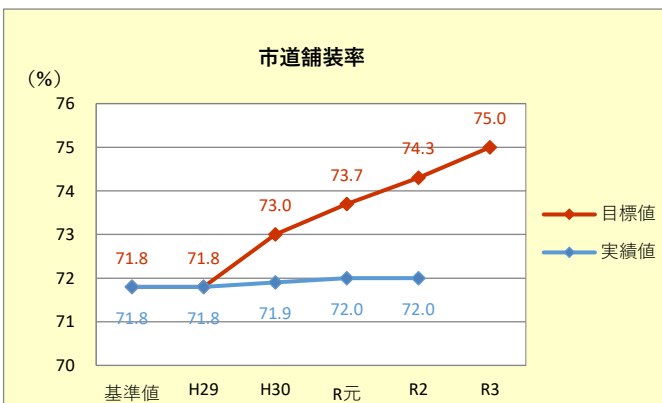
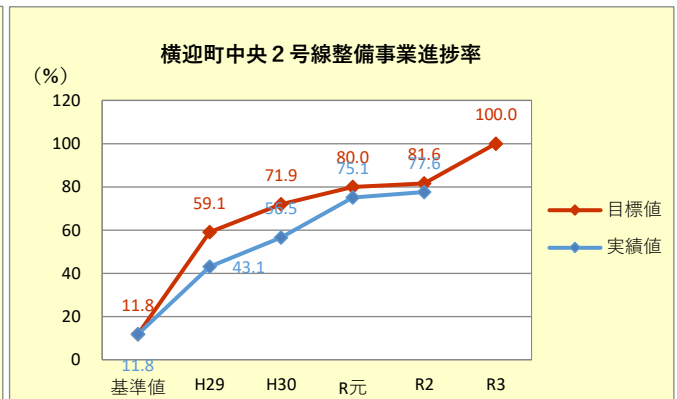
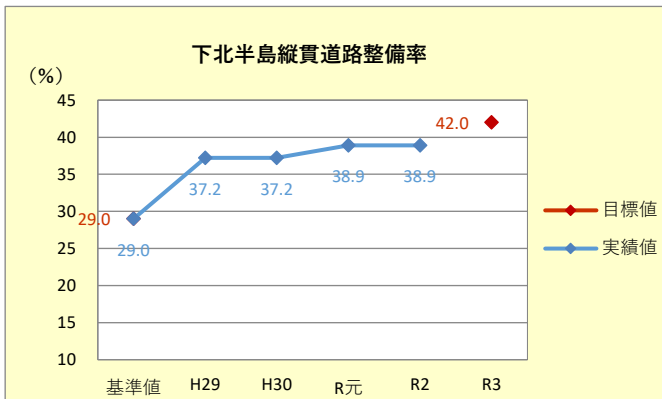
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(4)コンパクト・プラス・ネットワーク	都市整備部
施策内容	③道路基盤の整備	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
下北半島縦貫道路整備率	29.0 H27年度	- 37.2	- 37.2	- 38.9	- 38.9	42.0
横迎町中央2号線整備事業進捗率	11.8 H27年度	59.1 43.1	71.9 56.5	80.0 75.1	81.6 77.6	100.0
市道舗装率	71.8 H27年度	71.8 71.8	73.0 71.9	73.7 72.0	74.3 72.0	75.0



3. 年次目標（令和2年次）

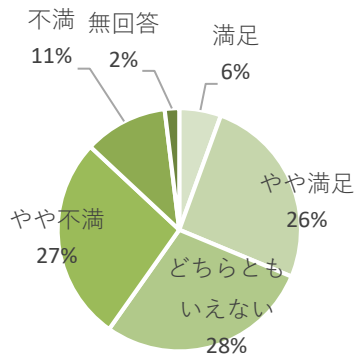
目標	実績	評価区分	評価内容
横迎町中央2号線整備事業進捗率 81.6%	77.6%	B 概ね 良好	横迎町中央2号線整備事業については、今年度予定していた植樹及びサイン設置、並びに起点部の交差点修正設計が完了した。 市道について新規に舗装整備は実施しないため目標を見直し、市有地道路敷の舗装整備や、既存の老朽化した舗装、側溝の改修、修繕を実施することで市民生活の利便性の向上が図られた。
市道舗装率：74.3%	75.1%		

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
横迎町中央2号線整備事業	田名部中心市街地、本庁舎、中央地区及びおおみなと臨海公園をネットワークで結ぶことで、都市拠点の機能強化と安全・安心なまちの形成を図る。		191,701	184,837	274,687	92,745	158,314
	【横迎町中央2号線整備進捗率(%)】	11.8	59.1	71.9	80.0	81.6	100.0
			平成27年度	43.1	56.5	75.1	77.6
市道等維持事業	未舗装道路、未整備側溝の整備を行い、地域住民の環境改善を図る。		86,691	76,709	84,959	82,360	99,890
	【市道舗装率(%)】	71.8	71.8	73.0	73.7	74.3	75.0
			平成27年度	71.8	71.9	72.0	72.0
道路整備事業	未整備及び老朽化路線の道路整備を行い、維持作業費の削減、除雪業務の効率化を図りつつ、老朽化した舗装・側溝の再構築や現道の危険箇所の改良等、歩行者の安全確保と共に車両の安全・快適性を確保する。		18,058	20,801	104,500	23,750	135,469
	【整備進捗率(%)】	-	9.4	9.9	70.6	82.9	100
			-	0.0	0.0	7.0	
排水路整備事業	水害常襲地帯の解消及び生活環境の向上を図るため、未整備水路を整備する。		43,688	13,263	42,500	36,000	36,036
	【整備進捗率(%)】	-	9.4	9.9	70.6	82.9	100
			-	7.4	21.4	75.2	

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



回答内容	割合
満足	5.56%
やや満足	25.72%
どちらともいえない	28.50%
やや不満	27.17%
不満	11.11%
無回答	1.93%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	52位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	選択区分 B	【評価の理由(10月)】 横迎町中央2号線整備事業については、今年度予定している用地買収及び道路整備工事を概ね計画どおりに進められている。なお、KPIは令和3年度で進捗率100%としているが、令和元年度に事業認可を変更し、令和4年度で進捗率100%として事業を進めている。 市道等維持事業及び排水路整備事業については、既に完了した工事は一定の成果が見られている。 道路整備事業については、当初の予定と比べ遅れが見られる。
			【今後の取組の方向性(10月)】 横迎町中央2号線の全線開通に向け、用地買収等が完了している区域から道路整備工事を進める。

令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	選択区分 B	【評価の理由(1月)】 横迎町中央2号線整備事業については、今年度予定している用地買収及び道路整備工事を概ね計画どおりに進められている。 その他道路整備事業等については、釜臥山恐山線道路復旧工事以外は概ね順調に推移している。
			【今後の取組の方向性(1月)】 横迎町中央2号線整備事業については、早期の全線開通に向け、用地買収等が完了している区域から道路整備工事を進める。 その他道路整備事業等については、令和3年度に予定している未発注の工事について、滞りなく発注できるよう業務を遂行する。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)	区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	選択区分 B	評価割合		【主な意見】
			A	4.5%	
			B	59.1%	
			C	31.8%	
			D	0.0%	
			-	4.5%	

施策評価調書(令和3年度)

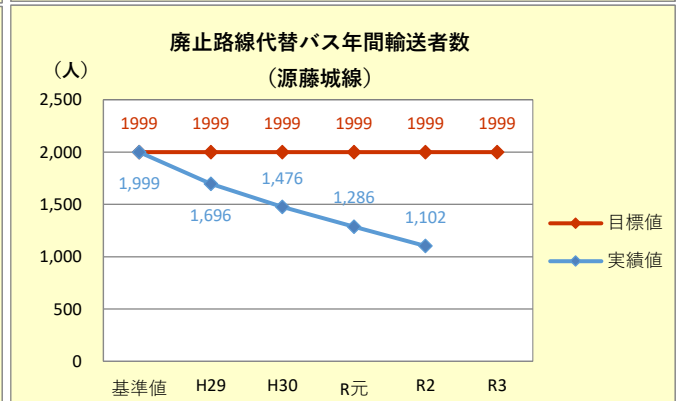
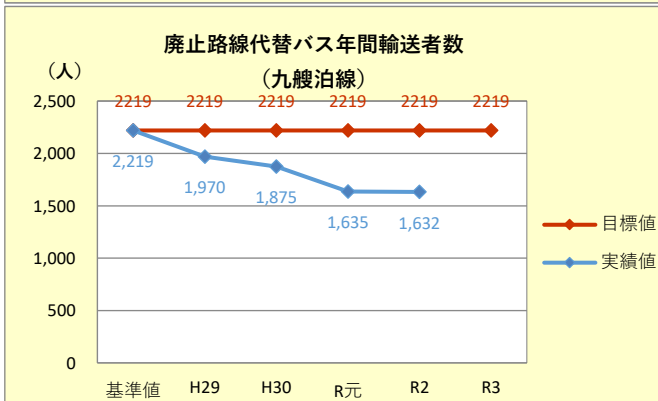
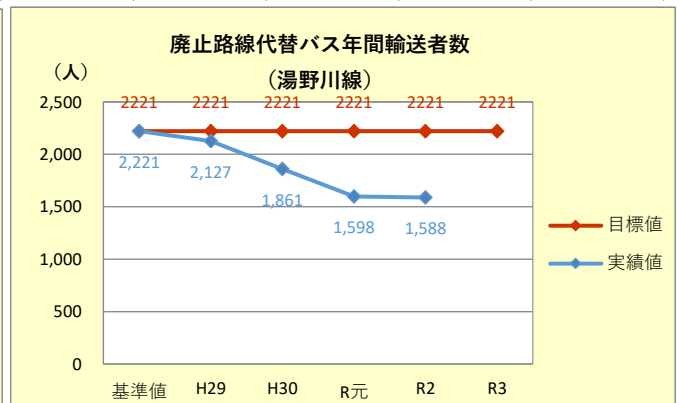
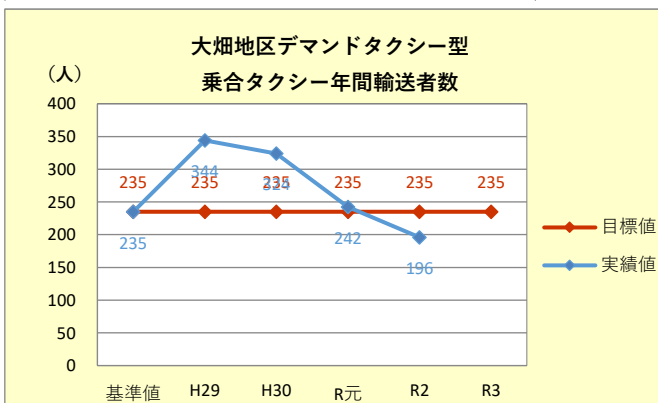
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(4)コンパクト・プラス・ネットワーク	企画政策部
施策内容	④公共交通の確保	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
大畑地区デマンドタクシー型乗合タクシー年間輸送者数	235 H27年度	235 344	235 324	235 242	235 196	235
廃止路線代替バス年間輸送者数(湯野川線)	2,221 H27年度	2,221 2,127	2,221 1,861	2,221 1,598	2,221 1,588	2,221
廃止路線代替バス年間輸送者数(九艘泊線)	2,219 H27年度	2,219 1,970	2,219 1,875	2,219 1,635	2,219 1,632	2,219
廃止路線代替バス年間輸送者数(源藤城線)	1,999 H27年度	1,999 1,696	1,999 1,476	1,999 1,286	1,999 1,102	1,999



3. 年次目標(令和2年次)

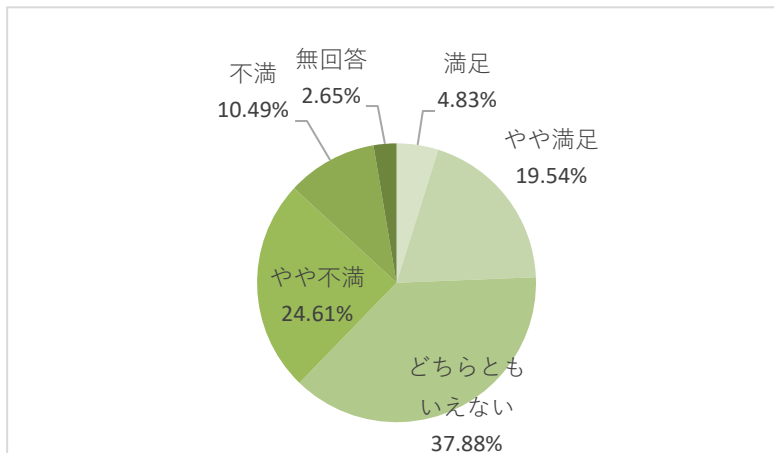
目標	実績	評価区分	評価内容
輸送者数の維持(前年度比)	▲243	B 概ね良好	各交通事業者とは、折に触れてヒアリングを行い状況把握や情報共有を行っているほか、ホームページや広報紙でも公共交通に関する記事の掲載や改正時刻表を折込することにより、周知及び利用の啓発を図った。GTFSデータについては運行事業者の確認後、Googleマップに掲載予定。 令和3年10月からむつ市高齢者無料乗車証事業を開始することとしていることから、今後においても引き続き交通事業者と連携した取組を実施するとともに、乗り継ぎ改善や利用促進に向けた効果的な取組について検討を進める。
広報紙、ホームページによる広報	3回		

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
廃止路線代替バス運行対策事業	路線バスが廃止された後に、廃止路線代替バス等を行っている交通事業者に対し補助金を交付することにより、路線を維持するとともに地域住民の生活の足を確保する。		6,543	6,504	6,198	5,927	6,559
	【廃止路線代替バス年間輸送者数(湯野川線)(人)】	2,221 平成27年度	2,221 2,127	2,221 1,861	2,221 1,598	2,221 1,588	2,221
	【廃止路線代替バス年間輸送者数(九艘泊線)(人)】	2,219 平成27年度	2,219 1,970	2,219 1,875	2,219 1,635	2,219 1,632	2,219
	【廃止路線代替バス年間輸送者数(源藤城線)(人)】	1,999 平成27年度	1,999 1,696	1,999 1,476	1,999 1,286	1,999 1,102	1,999
むつ市高齢者無料乗車証事業	高齢者の方の積極的な社会参加による健康増進及び福祉の向上と公共交通機関の利用促進を目的として、申請に基づき75歳以上の市民の方の市内路線バスとデマンド型乗合タクシーの運賃無料化を実施する。		0	0	0	0	13,260
	業績評価指標は、上記指標と同じのため記載省略						
デマンド型乗合タクシー運行事業	下北交通㈱「葉研・小目名線」の廃止に伴い、当該地域において、「デマンド型乗合タクシー」を運行する。		557	581	463	567	542
	【大畑地区デマンド型乗合タクシー年間輸送者数(人)】	235 平成27年度	235 344	235 324	235 242	235 196	235

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



回答内容	割合
満足	4.83%
やや満足	19.54%
どちらともいえない	37.88%
やや不満	24.61%
不満	10.49%
無回答	2.65%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	54位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

<p>令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)</p>	<p>区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている</p>	<p>選択区分 B</p>	<p>【評価の理由(10月)】 各交通事業者の運行情報等については、昨年度に引き続き市HPや広報紙で周知している。また、バス事業者のGTFSデータは整備及びオープンデータ化が完了、令和3年6月末からGoogleマップにて検索可能となっている。むつ市高齢者無料乗車証事業については、令和3年10月1日から事業を開始している。</p>
			<p>【今後の取組の方向性(10月)】 今後も適切な路線維持に努めるため、公共交通事業者と連携した取組を実施するとともに、新たな利用促進施策の検討を進める。</p>
<p>令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)</p>	<p>区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている</p>	<p>選択区分 A</p>	<p>【評価の理由(1月)】 各取組について、スケジュール通り事業が進捗しているほか、令和4年4月から市内循環バス路線の新設等、各取組において計画以上の成果があったため良好とする。</p>
			<p>【今後の取組の方向性(1月)】 引き続き、公共交通の維持確保に向けた取組を実施し、持続可能な公共交通ネットワークの構築に取り組む。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

<p>施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)</p>	<p>区分 A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない</p>	<p>選択区分 B</p>	<p>評価割合</p>		<p>【主な意見】</p>
			A	4.5%	/
			B	63.6%	
			C	18.2%	
			D	9.1%	
			-	4.5%	

施策評価調書（令和3年度）

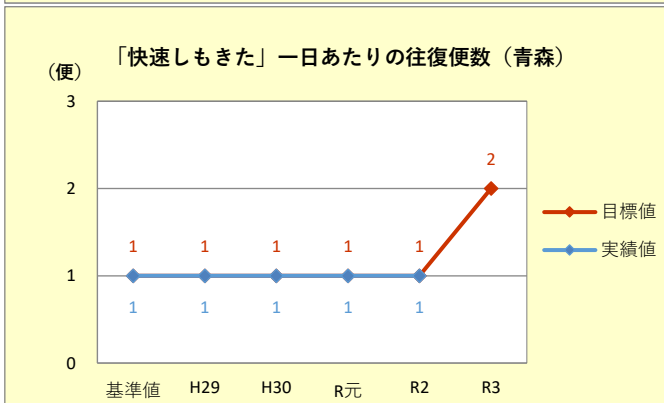
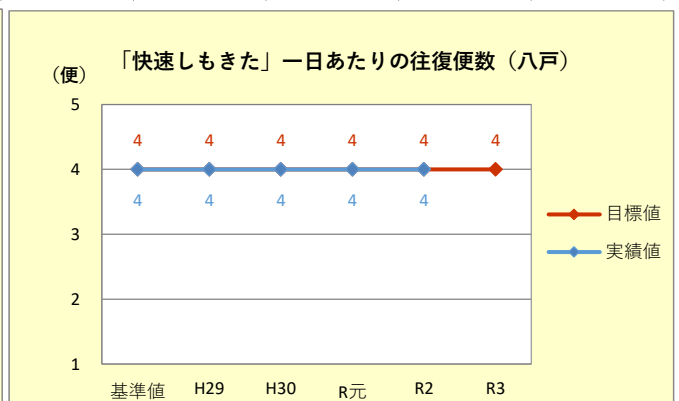
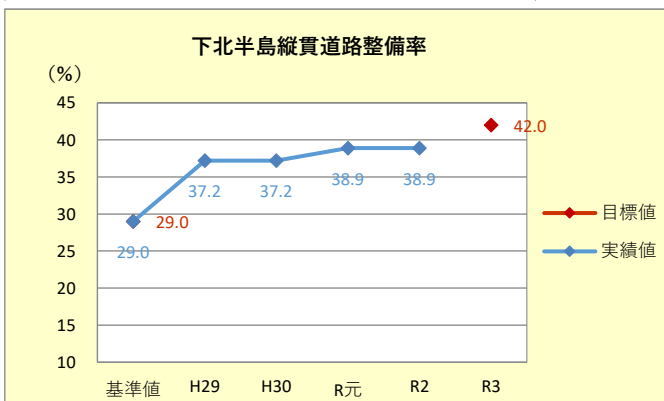
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(4)コンパクト・プラス・ネットワーク	企画政策部
施策内容	⑤広域交通ネットワークの形成	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
下北半島縦貫道路整備率	29.0 H27年度	- 37.2	- 37.2	- 38.9	- 38.9	42.0
「快速しもきた」一日あたりの往復便数（八戸）	4 H28年3月	4 4	4 4	4 4	4 4	4
「快速しもきた」一日あたりの往復便数（青森）	1 H28年3月	1 1	1 1	1 1	1 1	2



3. 年次目標（令和2年次）

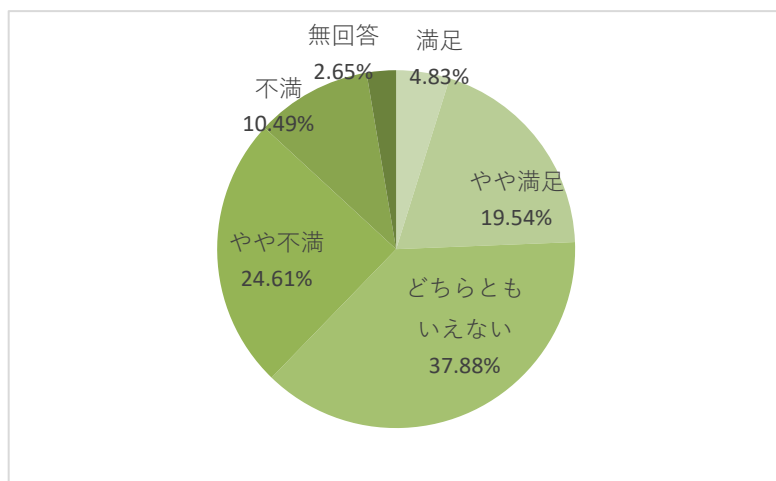
目標	実績	評価区分	評価内容
国・県に対する要請活動 2回	3回	A 良好	年次目標として設定した要請活動の回数を上回った。 引き続き、国、県、国会議員等に対して随時要請活動を実施していく。
JR東日本に対する要請活動 1回	1回		

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	事業費
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
協議会等負担金	むつ市(企画調整課所管)が加盟している各種協議会等に対する負担金等を支出する。		860	848	846	1,228	2,431
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



回答内容	割合
満足	4.83%
やや満足	19.54%
どちらともいえない	37.88%
やや不満	24.61%
不満	10.49%
無回答	2.65%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	54位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている		A
			【今後の取組の方向性(10月)】
			今後においても要望活動を継続していく。

令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている		A
			【今後の取組の方向性(1月)】
			引き続き、国、県、国会議員等に対して要請活動を随時実施していく。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】	
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている		B	A		31.8%
				B		50.0%
				C		9.1%
				D		4.5%
				-		4.5%

施策評価調書(令和3年度)

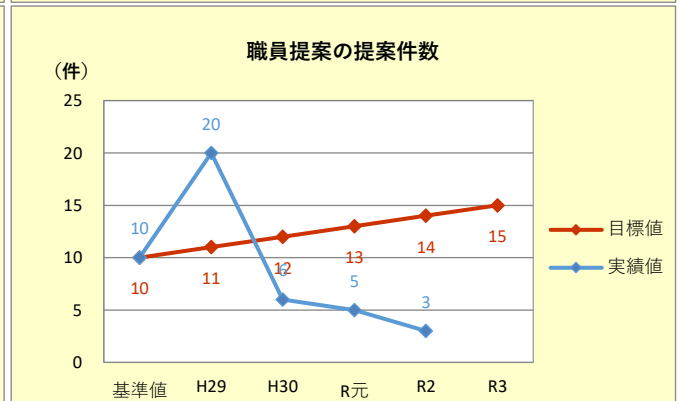
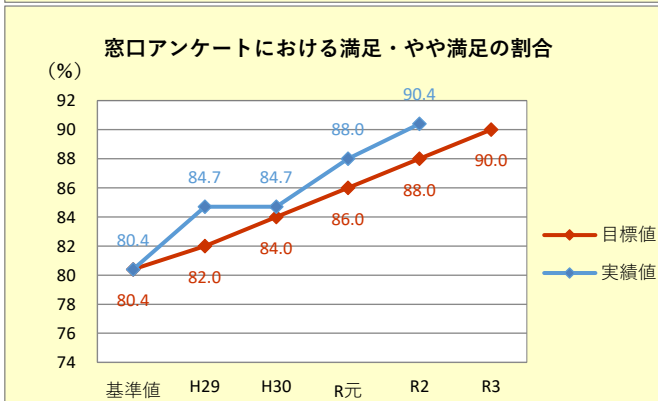
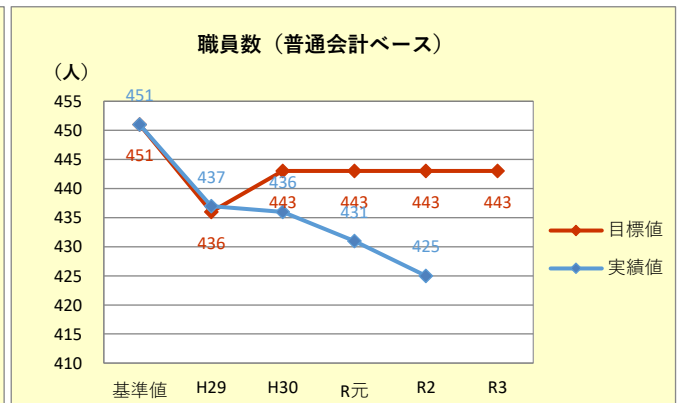
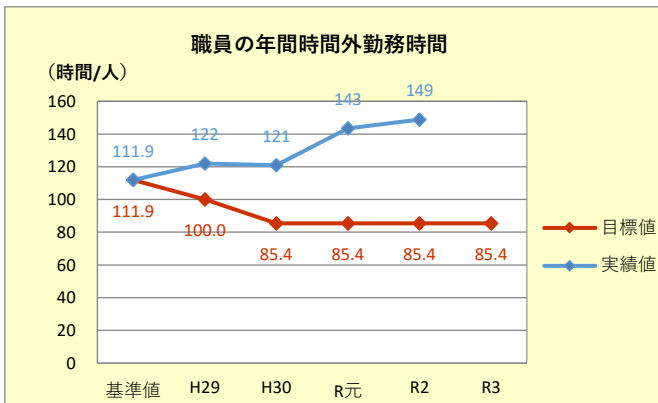
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(5)行財政基盤	総務部
施策内容	①効率的な行政運営	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
職員の年間時間外勤務時間	111.9 H27年度	100.0	85.4	85.4	85.4	85.4
職員数(普通会計ベース)	451 H27年度	436	443	443	443	443
窓口アンケートにおける満足・やや満足の割合	80.4 H27年度	82.0	84.0	86.0	88.0	90.0
職員提案の提案件数	10 H28年度	11	12	13	14	15



3. 年次目標(令和2年次)

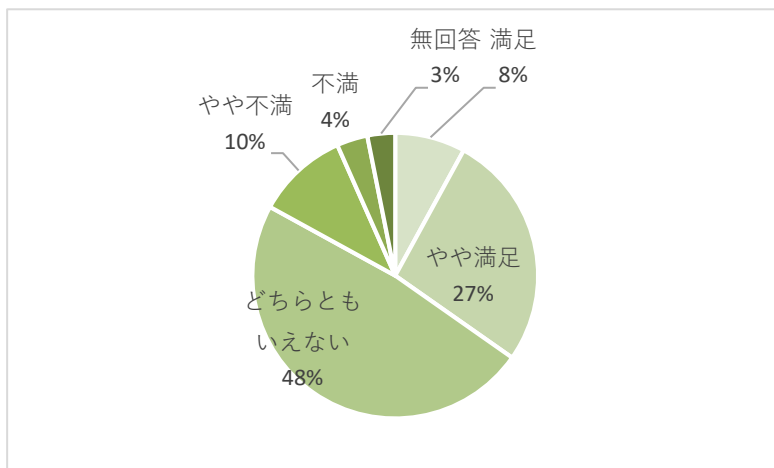
目標	実績	評価区分	評価内容
全庁一斉消灯実施回数 20回	16回	B 概ね良好	①全庁一斉消灯では、「水曜日はスマイルカエルデー」が職員に浸透してきたように感じる。次年度は年間通して実施し「水曜日は定時退庁」を当たり前にし、時間外労働の縮減に寄与していきたい。 ②テレワークについては、制度設計が完了したので次年度は、テレワーク環境の構築に併せて、制度を正式に導入し、職員のワークライフバランスの向上に寄与していきたい。 ③新採用を含む正職員及び会計年度任用職員の研修を実施し、職員のスキルアップの底上げに寄与した。
テレワーク及び時差出勤の正式導入	制度設計完了		
体系的(職域別)職員研修の実施	実施済		

4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
			決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
	業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
行政改革(働き方改革)の推進	2018年5月、むつ市行政改革基本方針を策定(期間:2018年度~2022年度)さまざまな課題がある中でも、特に働き方改革に集中して取り組み、生産性が高く、かつ働きやすい職場環境をつくる。 事務事業の見直しの推進によりムダを省き、新たに生み出した時間を市民ニーズにあった事業へ転換し、効率的な行政運営の実現を目指す。		0	27	751	3,068	3,068
	【職員の年間時間外勤務時間(時間/人)】	111.9	100.0	85.4	114.5	105.0	100.0
		平成27年度	122.0	121.0	143.4	148.8	
	【窓口アンケートによる満足・やや満足の割合(%)】	80.4	82.0	84.0	86.0	88.0	90.0
		平成27年度	84.7	84.7	88.0	90.4	
【職員提案の提案件数(件)】	10	11	12	13	14	15	
	平成27年度	20	6	5	3		

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



回答内容	割合
満足	7.96%
やや満足	26.78%
どちらともいえない	48.25%
やや不満	10.37%
不満	3.50%
無回答	3.14%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	43位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

<p>令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)</p>	<p>区分</p> <p>A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている</p>	<p>選択区分</p> <p>B</p>	<p>【評価の理由(10月)】</p> <p>定員適正化計画に基づき、職員数は基本計画における指標を既に達成したところであるが、同じく指標に掲げた窓口アンケートの評価は高まっていることから、マンパワーが減少した部分を業務の効率化等を図ったことでしっかりと行政運営ができていると評価している。時間外勤務については職員数が減少してきている中、ここ数年、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、突発的な対応が増加傾向にあるため、目標値を上回っている状況はいたしかたないのではないかと考える。職員提案は初年度ほどの実績はないものの、毎年度コンスタントに提案されており、業務の効率化につながっているとともに、自身のアイデアが採用されることで職員のモチベーションアップにも寄与している。</p>
			<p>【今後の取組の方向性(10月)】</p> <p>「効率的な行政運営」には、職員一人一人のパフォーマンスの向上、ソフト面・ハード面双方の業務環境の充実や業務改善が不可欠であることから、これまで行ってきた行政改革の事業や手法を継続するとともに、現状を分析し、必要な改善を随時検討していく。</p>
<p>令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)</p>	<p>区分</p> <p>A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている</p>	<p>選択区分</p> <p>B</p>	<p>【評価の理由(1月)】</p> <p>年次目標に掲げている3項目全てに着手し、継続実施中である。「時差出勤」は、活用等についてグループウェアで随時促したことで浸透されてきたと感じている。上半期の接遇力向上を中心とした研修に加え、危機管理に関するものや新聞を活用した研修を新たに企画するなど、各役職に応じた研修メニューを職員へ提供することができた。</p>
			<p>【今後の取組の方向性(1月)】</p> <p>「効率的な行政運営」には、職員一人一人のパフォーマンスの向上、ソフト面・ハード面双方の業務環境の充実が不可欠であることから、年次目標に掲げたものの達成を目指し、継続的に実施するとともに、今後も状況を分析し、必要な改善を随時検討していく。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

<p>施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)</p>	<p>区分</p> <p>A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない</p>	<p>選択区分</p> <p>B</p>	<p>評価割合</p>		<p>【主な意見】</p> <p>職員提案の提案件数が伸び悩んでいる点を踏まえ、職員の提案力の向上や、仕事を自分ごととするためにも、もっと職員から積極的に提案が出るような環境づくりも必要だと思われる。</p>
			A	4.5%	
			B	72.7%	
			C	13.6%	
			D	4.5%	
			-	4.5%	

施策評価調書(令和3年度)

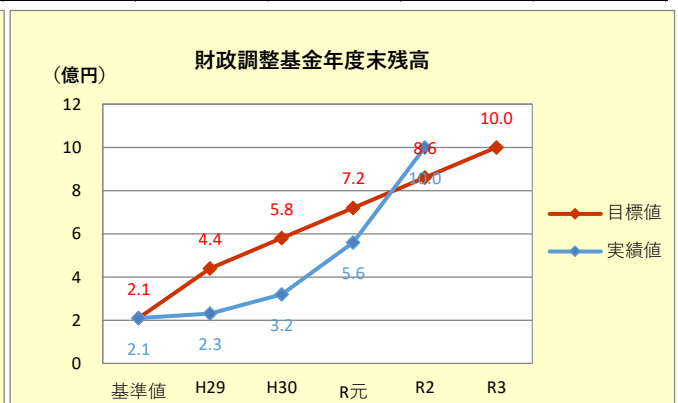
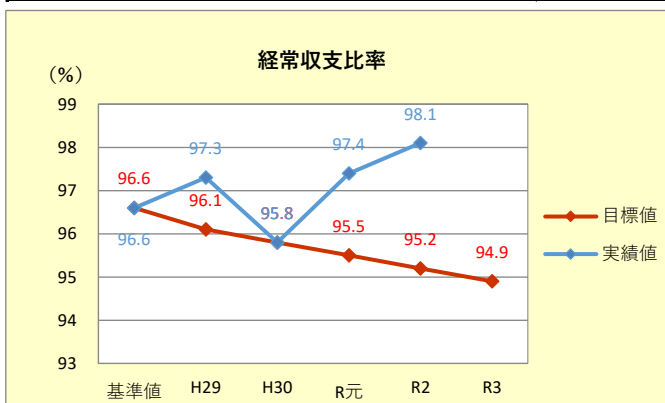
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(5)行財政基盤	財務部
施策内容	②財政の健全化	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
経常収支比率	96.6 H27年度	96.1 97.3	95.8 95.8	95.5 97.4	95.2 98.1	94.9
財政調整基金年度末高	2.1 H27年度	4.4 2.3	5.8 3.2	7.2 5.6	8.6 10.0	10.0



3. 年次目標(令和2年次)

目標	実績	評価区分	評価内容
市税徴収率(全体) 94.80% ・個人市民税徴収率(現年分) 99.02% ・固定資産税徴収率(現年分) 98.63%	全体 95.53% 個人市民税徴収率(現年分) 99.29% 固定資産税徴収率(現年分) 98.75%	B 概ね 良好	令和2年度の最終の市税徴収率(全体)は95.53%となり、前年度94.78%に対し、0.75ポイント増となっている。 財政調整基金残高は、令和3年度10億円積立を1年前倒しで達成。
財政調整基金年度末残高 1.5億円増額	4.36億円増額		

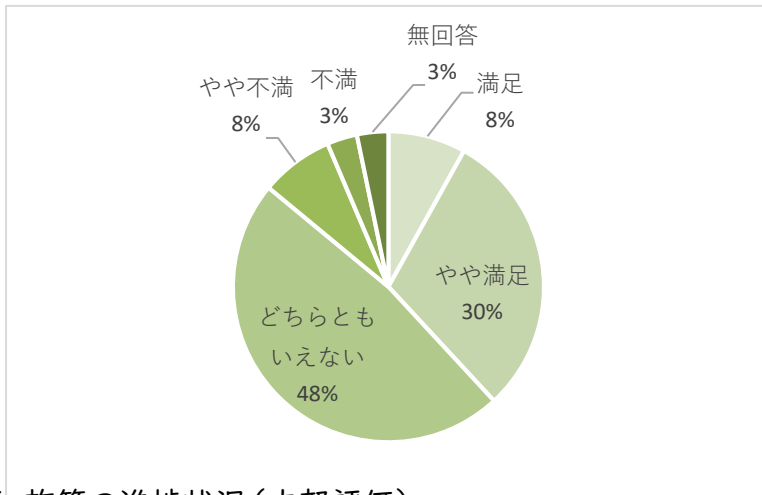
4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
			決算額	予算額	決算額	事業費	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
市税徴収率の向上	徴収強化のほか、口座振替の推進、コンビニ収納に係る税目の拡充等、納税機会の拡大を意図した徴収確保対策を展開し、市税全体の徴収率の底上げを図る。	基準値	0	0	0	0	0
		【個人市民税徴収率(現年分)(%)】	98.80	98.85	99.05	99.02	99.32
		(平成25~27年度平均)	99.03	98.90	98.97	99.29	
		【固定資産税徴収率(現年分)(土地、家屋及び償却資産)(%)】	98.50	98.55	98.55	98.63	98.80
		(平成25~27年度平均)	98.48	98.48	98.61	98.75	
【市税合計(現年・滞納分)徴収率(%)】	94.25	94.30	94.75	94.80	95.58		
(平成25~27年度平均)	94.56	94.72	94.78	95.53			

財政健全化事業	地方交付税や地方債等による歳入確保に努めつつ、身の丈に合った予算編成と適切な執行管理により、大規模建設事業実施による公債費の上昇や一部事務組合下北医療センターに対する債務負担行為の履行等、財政運営上の諸問題に対応しつつ、財政運営の健全化、安定化を図る。	569,414	523,690	417,369	751,986	160,000	
	【経常収支比率(%)】	96.6	96.1	95.8	95.5	94.9	
		平成27年度	97.1	95.8	97.4	98.1	
	【財政調整基金年度末残高(千円)】	212,451	440,000	580,000	720,000	860,000	1,000,000
	平成27年度	237,987	325,586	567,191	1,003,340		
【むつ総合病院債務負担行為残額(千円)】	3,214,888	2,754,888	2,354,888	1,954,888	1,454,888	954,888	
	平成27年度	2,784,889	2,630,000	2,490,000	2,350,000		

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



満足	8.08%
やや満足	30.04%
どちらともいえない	47.89%
やや不満	7.60%
不満	3.14%
無回答	3.26%

55施策中	30位
※アンケート重複項目含む	

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】 市税合計徴収率については、実績として毎年増加してきており、令和2年度も目標を達成した。また、3年度の徴収率についても前年度と同率程度で推移している。 財政調整基金残高は、目標とする10億円を達成した。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【今後の取組の方向性(10月)】 市税については、引き続き各種徴収対策に努め、徴収率の向上を図る。 経常収支比率については、目標を下回っていることから、更なる財政健全化を図っていく。
令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】 12月末における今年度の市税徴収率(全体)は80.32%となり、前年度80.05%より増となっている。 基金繰替運用等により、一時借入金ゼロを維持している。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【今後の取組の方向性(1月)】 市税について、納税相談などの徴収対策を徹底し、徴収率の向上を図り目標達成に努める。 財源対策に努め、財政調整基金の取崩を最小限に留める。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
<p>施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価)</p>	A 順調に推移	B	A	4.5%	/
	B 一定の進捗がある		B	77.3%	
	C 進捗は遅れている		C	9.1%	
	D 進捗は大幅に遅れて いる		D	0.0%	
	- わからない		-	9.1%	

施策評価調書(令和3年度)

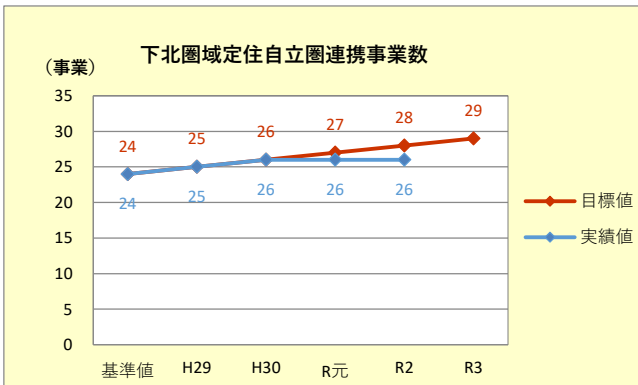
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(5)行財政基盤	企画政策部
施策内容	③広域行政の推進	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
下北圏域定住自立圏連携事業数	24 H28年度	25 25	26 26	27 26	28 26	29



3. 年次目標(令和2年次)

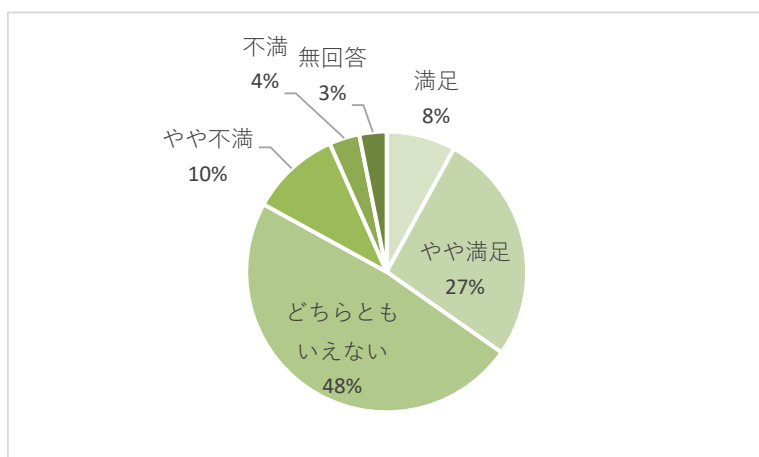
目標	実績	評価区分	評価内容
下北圏域定住自立圏連携事業 新規事業1件	0	B 概ね 良好	年次目標の達成には至らなかったが、協定内容の変更及び共生ビジョンの改訂・公表を行い、圏域の活性化に取り組んだ点において概ね良好である。

4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
下北定住自立圏推進事業	地方においては、人口減少と少子化・高齢化が進行しており、このことは下北圏域においても例外ではない。少子高齢化に加え、市町村の厳しい財政状況を踏まえれば、全ての市町村でフルセットの生活機能を整備することが難しい状況にあり、安心して暮らせる地域を形成するため、人口流出を食い止め、地方圏への人の流れを創出することが求められている。そのような中、下北圏域においては、平成27年に「定住自立圏共生ビジョン」を策定し、定住自立圏の取組みを推進している。また、下北圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会を活用したPDCAサイクルを運用し、効果的な事業実施を図る。		423	408	422	543	538
	下北圏域定住自立圏連携事業数(事業)	26 平成29年度	25 26	26 26	28 26	29 26	30

5. 総合経営計画に関する調査結果（市民アンケート）



評価	割合
満足	7.96%
やや満足	26.78%
どちらともいえない	48.25%
やや不満	10.37%
不満	3.50%
無回答	3.14%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	43位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和3年度施策の進捗状況（10月報告） （基本計画の指標（KPI）の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価）	区分	選択区分	【評価の理由（10月）】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>新型コロナウイルスワクチン接種業務、豪雨災害対応等の影響により、後ろ倒しのスケジュールに変更したところではあるが、連携事業の実施に影響するものではなく、PDCAサイクル運用の今後の見通しも立っていることから、概ね良好と考える。</p> <p>【今後の取組の方向性（10月）】 10月以降、担当課長会議、共生ビジョン懇談会、市長村長会議を適宜開催し、協定内容の変更等に遺漏の無いよう事務を進める。</p>

令和3年度施策の進捗状況（1月報告） （基本計画の指標（KPI）の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価）	区分	選択区分	【評価の理由（1月）】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>例年と比較しスケジュールが遅滞しているが、10月の担当課長会議、12月の共生ビジョン懇談会で概ね意見はまとまっているため。</p> <p>【今後の取組の方向性（1月）】 今後、市町村長会議、担当課長会議、共生ビジョン懇談会を滞りなく進め、3月議会での協定内容等の変更等に臨む。</p>

7. 施策の進捗状況（外部評価）

施策の進捗状況 （基本計画の指標（KPI）の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価）	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
			区分	割合	
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	B	B	A	0.0%	/
			B	81.8%	
			C	13.6%	
			D	0.0%	
			-	4.5%	

施策評価調書（令和3年度）

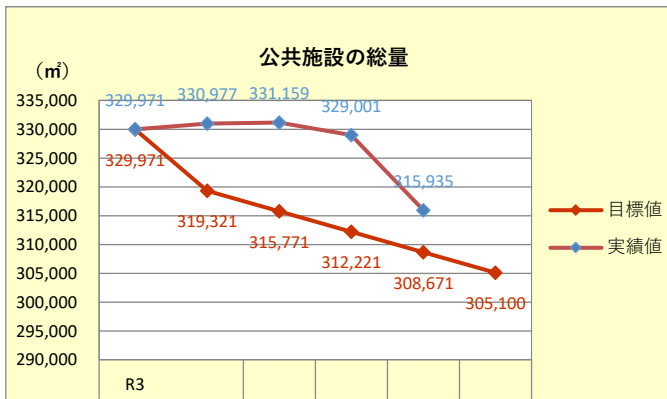
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(5)行財政基盤	財務部
施策内容	④公共施設マネジメントの推進	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
公共施設の総量	329,971 H26年度	319,321 330,977	315,771 331,159	312,221 329,001	308,671 315,935	305,100



3. 年次目標（令和2年次）

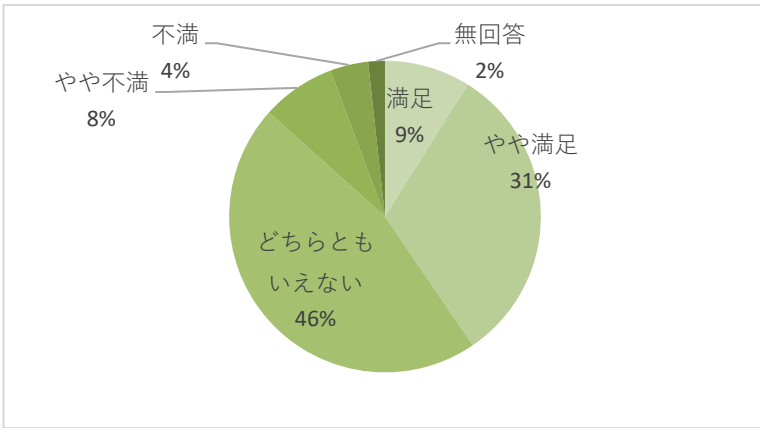
目標	実績	評価区分	評価内容
施設の解体 9,149㎡	9,149㎡	B 概ね 良好	①今年度予定していた2件の解体工事は、完成した。 ②施設の廃止、集約、複合化を進めるため、施設の具体的な方向性を示す「個別施設計画」を策定した。 ③次年度解体施設の選定を行うため、施設所管課、財務課及びまちづくり推進課とともに現地調査を行った。
施設の複合化等の推進及び次年度解体施設の選定	達成		

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
財産管理事業	人口減少や高齢化が進行する中においても、安全・安心して快適な公共施設を提供するため、これらの適切な配置と計画的な維持管理等統括的な公共施設マネジメントを行うほか、市有財産の維持管理や各種保険に関する事務を行う。	326,549 平成26年度	17,601	18,193	11,290	15,575	10,605
			【公共施設総量を43%縮減する(m²)】	319,321 330,977	315,771 331,159	312,221 329,001	308,671 315,935

5. 総合経営計画に関する調査結果（市民アンケート）



評価	割合
満足	8.08%
やや満足	30.04%
どちらともいえない	47.89%
やや不満	7.60%
不満	3.14%
無回答	3.26%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	30位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	C	<p>令和2年度に旧大畑庁舎、旧大畑消防署など大規模施設の解体をしたこともあり、令和3年度では解体費用を予算化できなかった。そのため進捗していないが、遊休施設の一部については、利活用の検討が進められている。</p> <p>【今後の取組の方向性】</p> <p>施設の解体及び長寿命化については、優先順位をつけて、財政状況を踏まえながら進めていく。 あわせて、遊休施設の利活用や売却の取組を進めることにより公共施設の総量の縮減を図る。</p>

令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>①次年度解体施設の選定を行うため、施設所管課、財務課、建築技術課、土木技術課とともに現地調査を行った。</p> <p>②今年度末の改訂に向けて、策定準備は概ね順調に進んでいる。</p> <p>③未利用となっている財産の利活用に向け、市有財産活用民間提案制度に基づいた提案の募集を行った。</p> <p>【今後の取組の方向性(1月)】</p> <p>①現地調査の結果を踏まえ、次年度の解体及び修繕費用の予算確保に向けて調整を行う。</p> <p>②むつ市公共施設等活用検討会議において提出された意見を取りまとめ、内容の精緻化を図り、最終的な年度末の改訂版策定に向けて取り組む。</p> <p>③10月下旬より二回目の募集開始期間とし、市有財産の有効的活用を図る。</p>

7. 施策の進捗状況（外部評価）

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
			区分	割合	
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	C	A	4.5%	<p>次年度に向けた計画策定が進んでいるということであり、次年度の事業実施に期待したい。 ※その他「概要」参照のこと。</p>
			B	36.4%	
			C	45.5%	
			D	0.0%	
			-	13.6%	

施策評価調書（令和3年度）

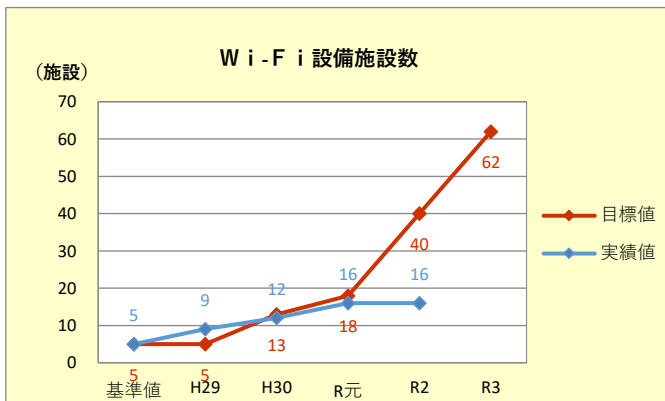
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	2. 暮らしの向上	関係部局
施策項目	(5)行財政基盤	総務部
施策内容	⑤情報ネットワークの利活用の推進	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
Wi-Fi設備施設数	5 H28年度	5 9	13 12	18 16	40 16	62



3. 年次目標（令和2年次）

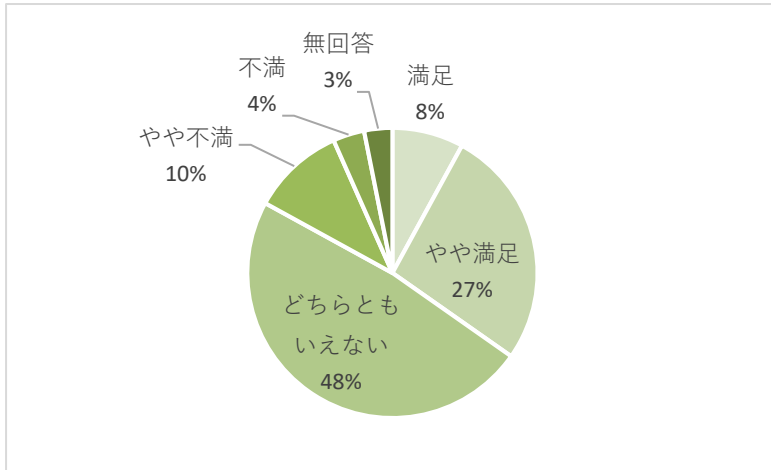
目標	実績	評価区分	評価内容
個人情報保護コースの全職員の修了率 100%	98.7%	A 良好	<p>予定どおりに申込を完了し、退職及び休職者を除く全職員が受講終了し、ICT知識向上の一助となった。</p> <p>情報セキュリティ等を取り巻く環境は日々刻々と変化しており、次年度以降も受講を促し最新の知識の取得と意識の向上へつなげていく。</p>
新採用職員及び業務システム利用職員の情報セキュリティコースの修了率 100%	98.1%		
専門知識コース受講職員数160人以上	473人		

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
ICTリーダー育成事業	地域コミュニティにおける世代間の情報格差の解消、地域の活性化及び産業の情報化を推進するため、ICTを積極的に活用したり、ICTに関するアドバイスをしたりなど、地域の情報化の推進役や相談役となる職員を育成する。		0	0	0	0	0
	【個人情報保護コース修了率(%)】	55.3 平成28年度	80.0 99.5	100.0 99.2	100.0 99.7	100.0 98.7	100.0
	【情報セキュリティコース修了率(%)】	100.0 平成28年度	100.0 99.4	100.0 98.9	100.0 99.7	100.0 98.1	100.0
	【専門知識コース受講者数(%)】	20 平成28年度	20 73	50 203	50 574	160 473	160

5. 総合経営計画に関する調査結果（市民アンケート）



評価	割合
満足	7.96%
やや満足	26.78%
どちらともいえない	48.25%
やや不満	10.37%
不満	3.50%
無回答	3.14%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	43位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	ネットワーク管理運営事業及びICTリーダー育成事業については順調に推移している。
			【今後の取組の方向性(10月)】 Wi-Fi設備施設については通信技術の進歩に合わせたKPIの見直しが必要となっている。 ICTリーダー育成事業については今後も継続して行っていく。
令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	受講期間、受講延長期間において全職員が受講修了し、最新ICT知識向上の一助となった。
			【今後の取組の方向性(1月)】 国においてもデジタル庁を設立するなど、今般地方自治体においても行政デジタル化に向け職員のICTに対するスキルアップは必須と考えられる。次年度以降も最新の知識取得のために受講を継続していく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
			区分	割合	
A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	A B C D -	B	A	40.9%	/
			B	45.5%	
			C	9.1%	
			D	0.0%	
			-	4.5%	

3. 教育の向上

施策評価調書(令和3年度)

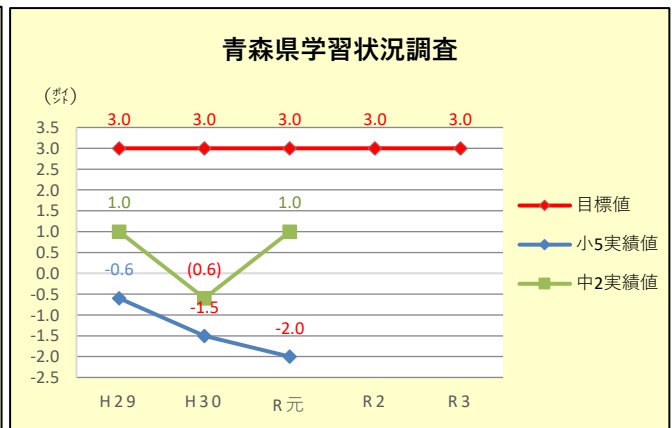
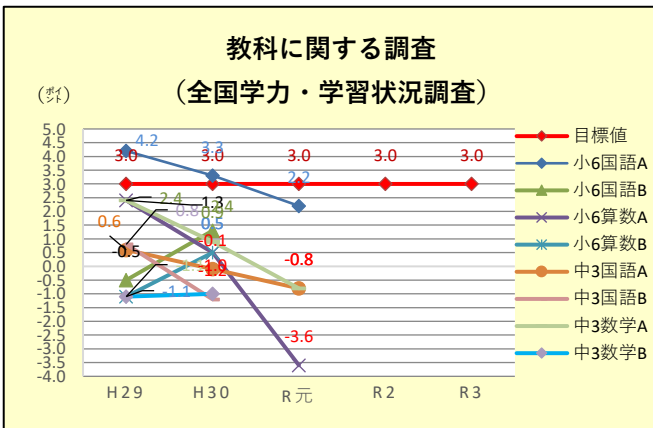
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 教育の向上	関係部局
施策項目	(1)教育	教育委員会事務局
施策内容	①学力の向上	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
教科に関する調査(全国学力・学習状況調査)	全国平均値	3.0	3.0	3.0	3.0	全国平均3ポイント上回る
	小6国語A	4.2	3.3	2.2	未実施	
	小6国語B	-0.5	1.3	-		
	小6算数A	2.4	0.5	-3.6		
	小6算数B	-1.1	0.5	-		
	中3国語A	0.6	-0.1	-0.8		
	中3国語B	0.8	-1.2	-		
	中3数学A	2.4	0.9	-0.8		
	中3数学B	-1.1	-1.0	-		
青森県学習状況調査	県平均値	3.0	3.0	3.0		3.0
	小5実績値	-0.6	-1.5	-2.0	未実施	
	中2実績値	1.0	-0.6	1.0		



3. 年次目標(令和2年次)

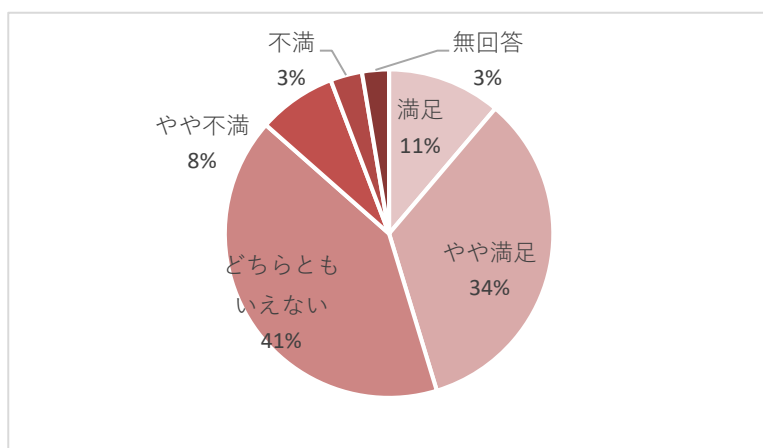
目標	実績	評価区分	評価内容
①春と秋の市内学校訪問 22校 (市内全小・中学校)	22校	B 概ね 良好	<p>今年度の計画訪問は新型コロナウイルス感染拡大防止のために限られた時間、人数での実施を余儀なくされたが、秋以降は予定通り事業を進めることができた。</p> <p>今年度は全国学力・学習状況調査、青森県学習状況調査の教科調査は実施されなかったが、市総合学力調査の結果分析を生かし、学力向上に向けた授業改善の方策を示すことができた。</p> <p>教員アンケートから、小学校では教科や道徳の授業で新聞を活用した割合が50%、中学校では短学活でのニュース発表で活用した割合が66%を占めた。また、73%の教員が児童生徒がニュースや時事に関心を持つようになったと回答していることから、新聞活用による児童生徒の変容が認められる。</p>
②むつ市総合学力調査において前年度平均スコアを上回る(追跡調査)	前年度を上回った教科 ・小5…3教科中3教科 ・小6…4教科中1教科 ・中1…なし ・中2…5教科中3教科 ・中3…5教科中3教科		
③新聞に関する児童生徒アンケートのA評価の割合 60ポイント以上	61ポイント		

4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
「指導の方針と重点」に関する指導・支援事業	各校の課題や取組について支援するため、指導の方針と重点に係る説明会と研修会の開催、説明冊子の発行と配付、学校計画訪問等を行い、学校教育のより一層の充実を図る。		222	127	128	149	128
	【学校訪問回数(回)】	44	44	44	44	44	44
		平成29年度	44	44	44	44	
学力向上推進事業	学力調査の実施と分析を行い、実態を踏まえ、学力の向上と教師の指導力の向上を図る。 課題が活用型の問題であることから、これまで作成してきた活用型問題集を改訂するとともに、効果的な使い方を周知する。		4,344	4,461	6,666	7,051	11,193
	【県平均通過率を上回る(小5)(ポイント)】	-0.6	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
		平成29年度	-0.6	-2.0	-2.0	未実施	
	【県平均通過率を上回る(中2)(ポイント)】	1.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
平成29年度		1.0	-1.0	1.0	未実施		

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



回答内容	割合
満足	0.00%
やや満足	11.20%
どちらともいえない	34.10%
やや不満	41.20%
不満	7.71%
無回答	0.00%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	16位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	C	①学校訪問については、市内全小・中学校において実施することができたため。 ②全国学力・学習状況調査では、全国平均、県平均を大きく下回る教科はなく、昨年度より向上していると言えるが、KPIの目標値は達成できなかったため。 ③春の学校訪問時における聞き取りでは、タブレット端末の設定が完了していない学校があり、使用に関して差が生じていたが、授業の後半や業間などで使用する学校は増えてきていることが確認できたため。
			【今後の取組の方向性(10月)】
			①10月からは校内研修の充実に資する要請訪問で各指導主事が訪問する予定である(～12月)。訪問時は、指導の方針と重点に基づき、学力の向上に向けた授業改善について、学習指導要領の趣旨も踏まえた指導助言を行う。 ②県学習状況調査の結果がわかり次第、本市の傾向を分析する。 ③小・中学校ともに1教科のみの配備としたが、他の教科の導入を望む声が多くある。各校への希望調査結果の内容を踏まえ、各校の要望に沿うような教科数の導入を検討していく。

令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	C	①要請訪問については、市内全小・中学校において実施することができた。また、随時訪問を5回行った。 ②県学習状況調査の結果、前回実施した令和元年度の結果と比較し、県通過率との差が広がった教科が多く、KPIの目標値は達成できなかった。 ③実態調査の結果から、6割以上の学校が、授業中や朝自習、業間などの場面で使用しており、少なくとも週に1回以上は使用するなど、春の学校訪問時の聞き取りに比べて使用頻度は高くなった。
			【今後の取組の方向性(1月)】
			①予定されていた学校訪問は全て終了したが、冬季休業以降も学校からの求めに応じて指導主事の派遣を行っていく。また、次年度の学校教育指導の方針と重点の周知徹底に向け、1月には説明会を、3月には次年度の冊子の作成を進めていく。 ②県学習状況調査の結果を分析し、学力向上の施策に反映させる。 ③小・中学校ともに1教科のみの配備としたが、他の教科の導入を望む声が多くある。各校への希望調査結果の内容を踏まえ、各校の要望に沿うような教科数の導入を検討していくとともに、タブレット端末の使用の仕方についてもさらに周知していく必要がある。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移	B	A	0.0%	
	B 一定の進捗がある		B	50.0%	
	C 進捗は遅れている		C	36.4%	
	D 進捗は大幅に遅れている		D	0.0%	
	- わからない		-	13.6%	

施策評価調書（令和3年度）

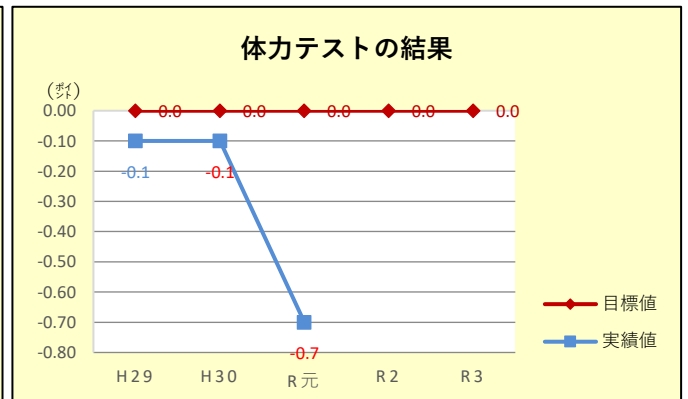
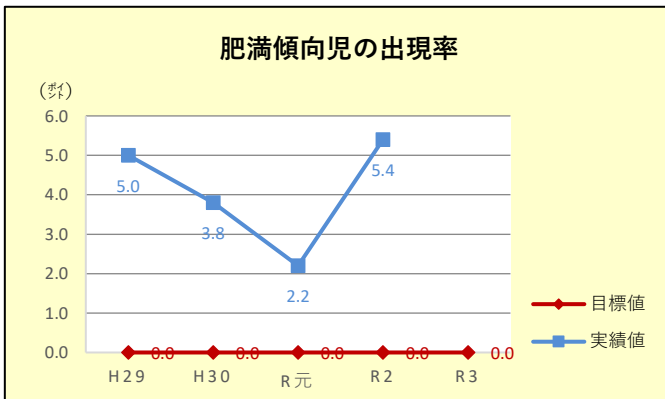
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 教育の向上	関係部局
施策項目	(1) 教育	教育委員会事務局
施策内容	② 体育・健康教育の充実	

2. 基本計画における指標 (KPI)

【上段: 目標値 下段: 実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
肥満傾向児の出現率	県平均値	0.0 5.0	0.0 3.8	0.0 2.2	0.0 5.4	県平均値 下回る
体力テストの結果	県平均値	0.0 -0.1	0.0 -0.1	0.0 -0.7	0.0 未実施	県平均値 下回る



3. 年次目標（令和2年次）

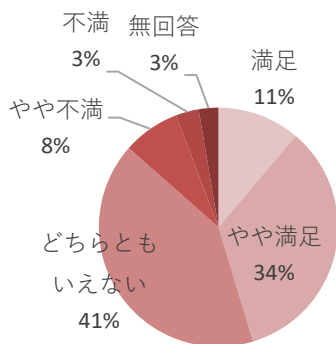
目標	実績	評価区分	評価内容
① 健康教育の授業実施校 1校	未実施	B 概ね 良好	健康の未来を変えるプロジェクト授業については、県養護教員会で大平中学校の実践が発表され、紙面での助言において授業の効果的な面を中心に広く県内に紹介することができた。 小学生スポーツ・文化活動連絡協議会と中学校部活動連絡協議会は、どちらも書面協議となったが、委員の方々から「小学生・スポーツ文化活動の指針」と「部活動指導員設置要綱」についてご意見をいただき、作成に生かすことができた。
② 体力テストの県平均への到達	未実施		

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
「健康の未来」を変える授業プロジェクト			359	147	187	97	77
	【実践校数(校)】	4	4	4	2	1	1
		平成29年度	4	4	2	未実施	
小学生スポーツ文化活動・中学生部活動推進事業		市内小学校の運動部活動から地域スポーツ活動への移行にあたって、児童がスポーツ活動に親しめる環境づくりを推進するとともに、協議会において部活動指導員の運用状況の報告と、令和5年度から段階的に進められる土日の学校部活動の地域移行について検討する。	82	68	92	68	512
	【小学校におけるスポーツ少年団等への移行校数(校)】	1	3	4	10	10	10
		平成29年度	1	5	10	10	

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



令和3年度市民アンケート結果	
満足	11.20%
やや満足	34.10%
どちらともいえない	41.20%
やや不満	7.71%
不満	3.13%
無回答	2.65%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	16位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>①「健康の未来」を変えるプロジェクト授業は、計画通り2校の実施が決定したため。</p> <p>②春の学校訪問で、各学校が体力テストの結果を分析して「体力向上計画」を作成し、年間を通じて計画的に運動習慣の形成に向けた取組を行っていることが確認できたため。</p> <p>【今後の取組の方向性(10月)】</p> <p>①「健康の未来」を変えるプロジェクト授業については、11月に2校で実施する予定である。また、1月に実施される次年度の「指導の方針と重点説明会」で周知するとともに、まだ実施していない学校を中心に、無理なくプロジェクト授業を活用してもらえるよう、これまでの実践例を提供するなど協力体制を強化していく。</p> <p>②「体力向上計画」に基づく取組状況を把握し、課題について来年度の教育課程編成に生かすよう「指導の方針と重点説明会」で伝達する。</p>

令和3年度施策の 進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての事務事 業の業績評価指標等から総 合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる	B	①「健康の未来」を変えるプロジェクト授業は予定通り2校 で開催し、両校とも学年単位での実施であったが、個々の 健康への意識を高めることができた。 ②春の学校訪問では、各校の運動面の課題や日常の体力 向上に関する取組を確認することができた。各学校では、体 力テストの結果を分析して「体力向上計画」を作成してお り、年間を通じて計画的に運動習慣の形成に向けた取組を 行っている。 【今後の取組の方向性(1月)】 ①「健康の未来」を変えるプロジェクト授業については、1月 に実施される次年度の「指導の方針と重点説明会」で周知 するとともに、まだ実施していない学校を中心に、無理なくプ ロジェクト授業を活用してもらえよう、これまでの実践例を 提供するなど協力体制を強化していく。 ②「体力向上計画」に基づく取組状況を把握し、課題につ いて来年度の教育課程編成に生かすよう「指導の方針と重 点説明会」で伝達する。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる - わからない	B	A	0.0%	
			B	54.5%	
			C	27.3%	
			D	4.5%	
			-	13.6%	

施策評価調書（令和3年度）

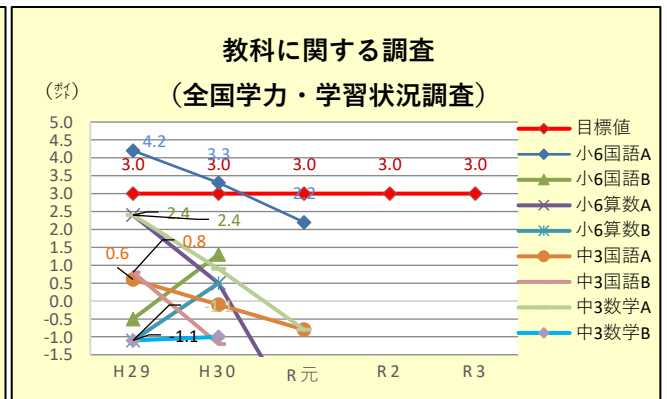
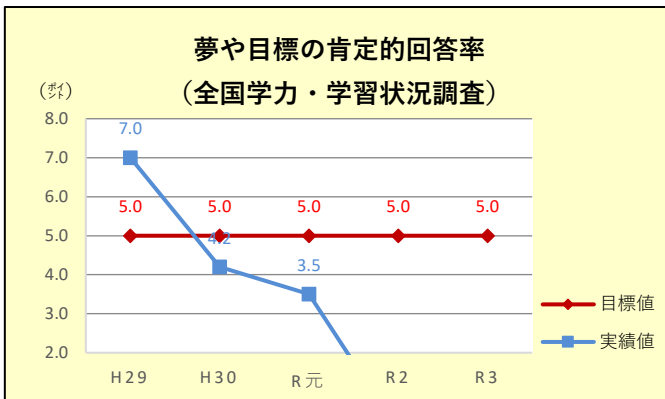
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 教育の向上	関係部局
施策項目	(1)教育	教育委員会事務局
施策内容	③夢を育む教育	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
夢や目標の肯定的回答率〔全国学力・学習状況調査〕	全国平均値	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
		7.0	4.2	3.5	未実施	全国平均値5ポイント上回る
教科に関する調査〔全国学力・学習状況調査〕	全国平均値	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0
	小6国語A	4.2	3.3	2.2	未実施	全国平均3ポイント上回る
	小6国語B	-0.5	1.3	-		
	小6算数A	2.4	0.5	-3.6		
	小6算数B	-1.1	0.5	-		
	中3国語A	0.6	-0.1	-0.8		
	中3国語B	0.8	-1.2	-		
	中3数学A	2.4	0.9	-0.8		
	中3数学B	-1.1	-1.0	-		



3. 年次目標（令和2年次）

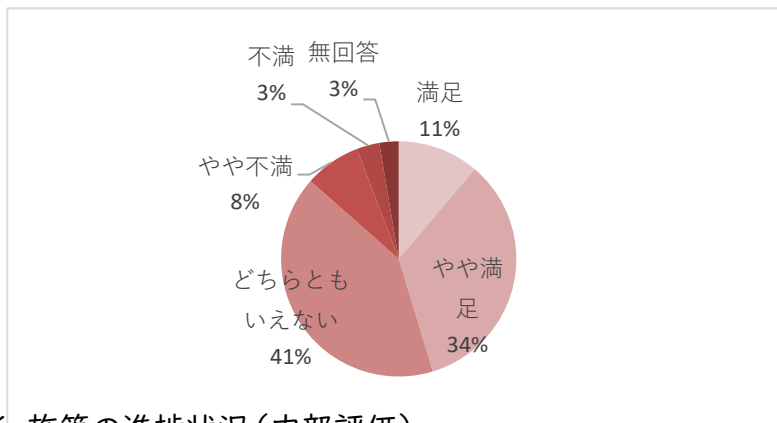
目標	実績	評価区分	評価内容
①キャリア・パスポートの活用推進（全小・中学校で実施）	22校	B 概ね良好	<p>春の学校訪問で全小・中学校にキャリア・パスポートの活用について指導し、活用状況についてのアンケートの実施と、各校の取組の情報共有を図った。また来年度のキャリア教育講演会の講師に電話連絡し、講演会の依頼と趣旨の説明を進めた。キャリア教育講演会、ジュニア大使派遣事業、陽明国民中学との友好交流、むつ市中学生夢はぐくむ体験活動事業についてはコロナウイルス感染拡大防止の観点から中止せざるを得なかったが、次年度の実施に向けて準備を進めた。</p> <p>教育相談室開設事業については、小・中学生の来室があり、個々の状況に応じた支援を実施している。学校復帰に向け支援の効果が発揮されており、適応指導教室の通室生7名のうち、5名が再登校またはチャレンジ登校につながった。また、中学3年生全員が進路達成できた。</p>
②教育相談室開設（不登校児童生徒数の50%を支援）	47.5%		

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
キャリア教育推進事業	キャリア教育の一環として、むつ下北または青森県出身者を中心に全国的な活躍をしている方の講話を聴く体験を通して、将来の職業に対する意識や学習意欲を向上させ、本市の未来を担う人材を育成する。		0	1,511	1,786	1,125	834
	【児童生徒アンケート肯定的評価割合(%)】	95 平成29年度	-	80	80	80	80
教育相談室費	教育研修センターにおつ市教育相談室を設置して教育相談員を配置し、不登校などの児童生徒や保護者、関係する教職員に対して教育相談活動を実施する。		2,061	2,791	3,119	3,084	5,333
	【不登校児童生徒のうち相談室来室者の割合(%)】	23 平成29年度	50以上	50以上	50以上	50以上	50以上

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



令和3年度市民アンケート結果	
満足	11.20%
やや満足	34.10%
どちらともいえない	41.20%
やや不満	7.71%
不満	3.13%
無回答	2.65%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	16位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>①全国学力・学習状況調査では、「将来の夢や希望を持っている」と回答した児童が全国平均より約8ポイント、生徒は約7ポイント上回ったため。</p> <p>②3校で実施したキャリア教育講演会では、肯定的評価が98%であったため。</p> <p>③教育相談室開設事業については、来室した小・中学生に対して、個々の状況に応じた支援を実施し効果を上げているため。</p> <p>【今後の取組の方向性(10月)】</p> <p>①小中一貫教育に関する児童生徒用アンケート調査における設問「職業について、将来の夢を持っている」について肯定的回答率を集計し、実態を把握する。</p> <p>②講師や学校と連絡・調整を行いながら、児童生徒が講演を聞いて、夢と希望を育み、将来を考え目標に向かって努力する機会となるよう今後も円滑な運営を行う。</p> <p>③教育相談室では、不登校等の悩みを抱える児童生徒の学校復帰に向けて、今後も教育相談並びに適応指導を行っていく。</p>

令和3年度施策の 進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての事務事 業の業績評価指標等から総 合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる	B	①各訪問を通して、「主体的に学習に取り組む態度」についての 教師の理解を深めることができた。 ②3校で実施したキャリア教育講演会の評価について、4段階評 価でA評価が60%、AまたはB評価が97%であった。 ③教育相談室開設事業については、来室した小・中学生に対し て、個々の状況に応じた支援を実施したことで、学校復帰に向けて 別室登校や教室での授業参加に挑戦するケースも見られるなど、 効果を上げている。 【今後の取組の方向性(1月)】 ①小中一貫教育に関する児童生徒用アンケート調査における設 問「職業について、将来の夢を持っている」について肯定的回答 率を集計し、実態を把握する。 ②来年度、児童生徒が講演を聞いて、夢と希望を育み、将来を考 え目標に向かって努力する機会となるよう、今年度のキャリア教育 講演会に関する児童生徒・教職員の評価の実態を把握のうえ各 校へお伝えするとともに、新しい講師の開拓を進めていく。 ③教育相談室では、不登校等の悩みを抱える児童生徒の学校復 帰に向けて、今後も教育相談並びに適応指導を行っていく。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる - わからない	B	A	0.0%	
	B	B	63.6%		
	B	C	18.2%		
	B	D	4.5%		
	B	-	13.6%		

施策評価調書（令和3年度）

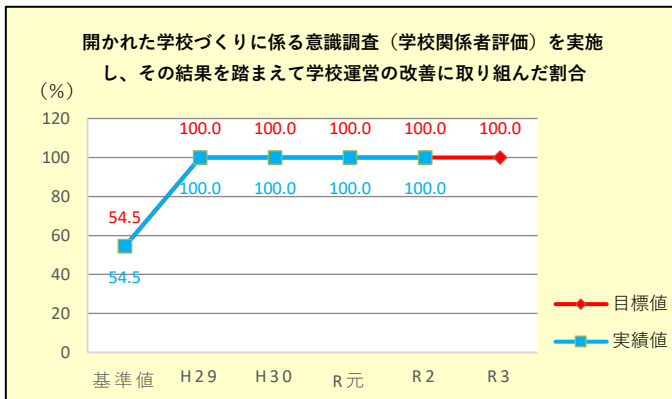
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 教育の向上	関係部局
施策項目	(1) 教育	教育委員会事務局
施策内容	④ 地域とともにある学校	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
開かれた学校づくりに係る意識調査（学校関係者評価）を実施し、その結果を踏まえて学校運営の改善に取り組んだ割合	54.5 H27年度	100	100	100	100	100



3. 年次目標（令和2年次）

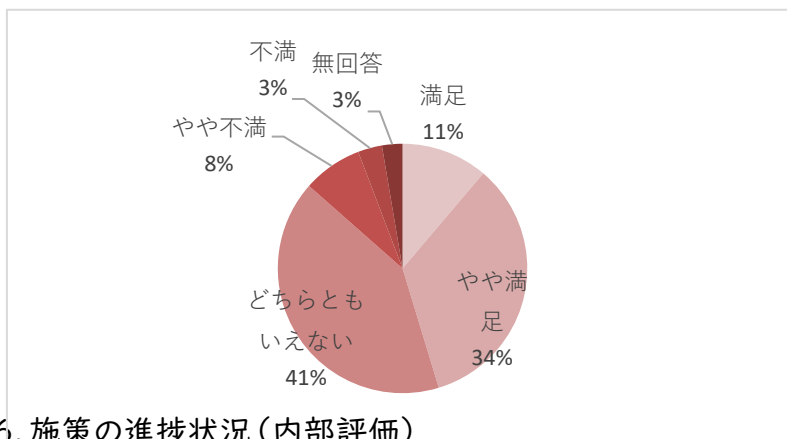
目標	実績	評価区分	評価内容
① 学校関係者評価による学校改善	100%	B 概ね良好	<p>今年度は、コロナ禍においても開催が可能な限り、各校の創意工夫により学校運営協議会が開催された。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止への対応等から、体験活動を中止したり予定を変更したりする学校もあり、ジオパーク体験活動事業への申請は半分程度にとどまったが、各校でジオパーク学習（地域学習）が計画的に実施されている。また、ジオパーク推進課や生涯学習課から講師を招き、出前授業やジオサイト見学時のガイドを依頼するなど、関係機関と連携した活動が行われている。</p>
② ジオパーク体験活動参加校数 22校（市内全小中学校）	22校		

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
コミュニティ・スクール推進事業	変化の激しい社会の中で複雑化・困難化する学校課題を解決し、学校と地域が連携・協働することで、子ども達のより良い成長を支えていく環境を整備するため、コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入による学校づくりを推進する。		0	136	202	2,722	2,452
	【導入ブロック数(校)】	0	0	1	2	17	22
			平成29年度	0	1	2	22
ジオパーク体験活動推進事業	ジオサイトの見学やジオサイトに関する学習を実施する小・中学校に対して、移動に要するバス借上料や教材等の活動費等を助成する。		1,710	1,456	2,000	2,000	2,000
	【参加校数(校)】	22	22	22	22	22	22
			平成29年度	22	22	22	22
	【児童生徒アンケート地域への興味関心割合(%)】	81	80	80	80	80	80
			平成29年度	81	79	75	74

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



令和3年度市民アンケート結果	
満足	11.20%
やや満足	34.10%
どちらともいえない	41.20%
やや不満	7.71%
不満	3.13%
無回答	2.65%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	16位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている		B

令和3年度施策の 進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての事務事 業の業績評価指標等から総 合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる	B	①全小・中学校で10月から12月までの間、計18回の学校 運営協議会会議が開催された。 ②8月の豪雨災害によってむつ市下北自然の家の利用や ちぎり浜の見学ができず、体験活動を中止したり予定を変 更したりした学校もあったが、各校ではジオパーク学習(地 域学習)が計画的に実施されている。また、出前授業の講 師やジオサイト見学時のガイドをジオパーク推進課等の関 係機関に依頼するなどして活動を行っている。 【今後の取組の方向性(1月)】 ①学校運営協議会については、各校からの報告書に基づ き、実施状況の把握に努める。 ②1月下旬から2月にかけて、児童生徒を対象にジオパーク 学習についてのアンケート調査を行う。また、本事業を活用 した学校からは実施報告書を提出いただき、まとめたものを アンケート調査の結果とともに年度末に各学校へ配付する。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる - わからない	B	A	13.6%	
	B	B	72.7%		
	B	C	4.5%		
	B	D	0.0%		
	B	-	9.1%		

施策評価調書(令和3年度)

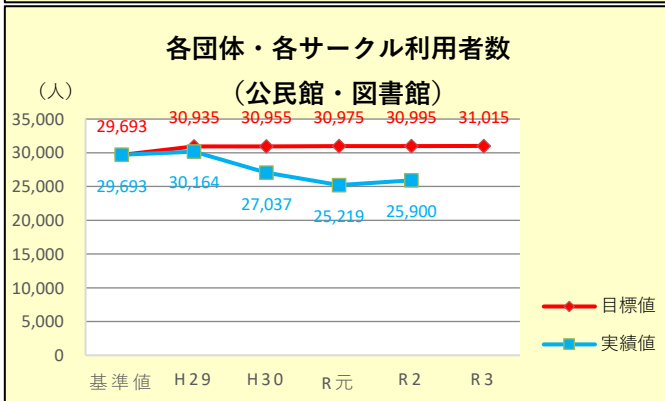
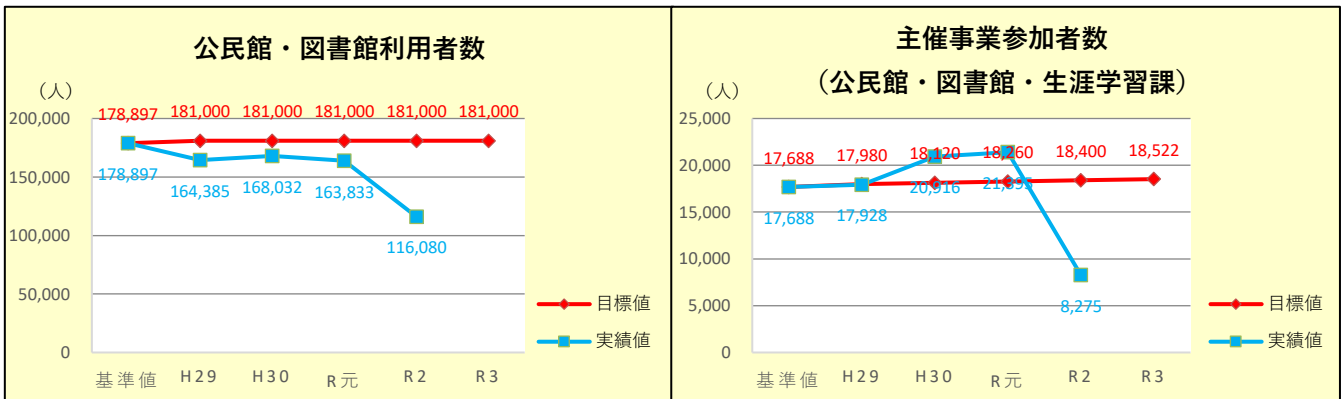
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 教育の向上	関係部局
施策項目	(I)教育	教育委員会事務局
施策内容	⑤社会教育の充実	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
公民館・図書館利用者数	178,897 H27年度	181,000	181,000	181,000	181,000	181,000
主催事業参加者数(公民館・図書館・生涯学習課)	17,688 H27年度	17,980	18,120	18,260	18,400	18,522
各団体・各サークル利用者数(公民館・図書館)	29,693 H27年度	30,935	30,955	30,975	30,995	31,015
		30,164	27,037	25,219	25,900	



3. 年次目標(令和2年次)

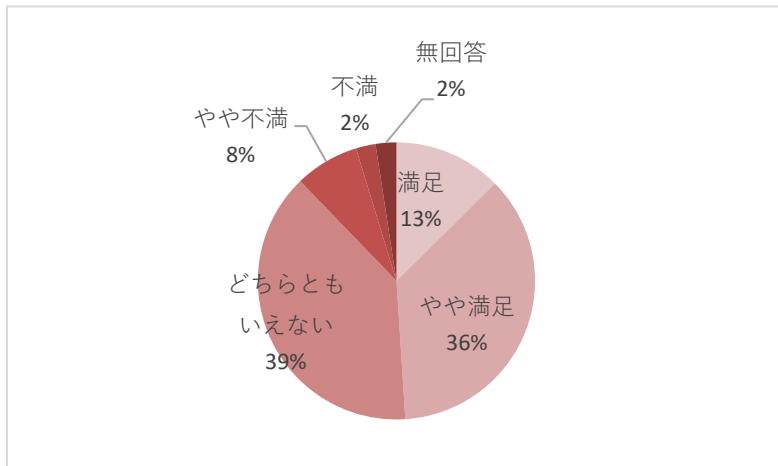
目標	実績	評価区分	評価内容
①スタンプラリー等参加者人数 延べ1,000人 詩歌コンクール参加者人数 延べ1,500人	おはなし会 82人 スタンプラリー 1,531人 工作教室 中止 映画上映会 中止 詩歌コンクール 3,226人	B 概ね良好	①コロナでイベントが少ないせいか季節のおはなし会の参加者が例年より増加している。スタンプラリーの参加者は減だが、参加者から励みになって良い企画だと感想があった。映画上映会は参加者から、図書館が選んで上映した映画作品が良いと好評であった。 ②文化賞・文化奨励賞受賞者紹介展を実施し、市民の皆さんに受賞者の作品等を紹介することができた。冬の自然観察会は大雪により中止とした。 ③感染症予防対策に対して、講演する講師、受講する市民の方々も積極的に協力していただき、滞りなく、例年同様の公開講座を実施することができた。
②自然観察会参加者人数 延べ80人 生涯学習講演会参加者人数 延べ80人 文化賞・文化奨励賞受賞者紹介展参加者数 100人	自然観察会 26人 生涯学習講演会 中止 文化賞紹介展 141人		
③公開講座参加者数 280人	267人		

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
			決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
	業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
生涯学習事業	季節折々のふるさとの豊かな自然や本市の新たな魅力の発見を目的とする各種観察会を実施するほか、各種講座や展示を実施し、市民の総合的な生涯学習を支援するとともに意識啓発を図る。		97	68	167	133	122
	【自然観察会参加者数(人)】	81	80	80	80	80	
		平成28年度	80	54	71	26	
	【生涯学習講演会参加者数(人)】	63	100	100	80	80	80
		平成28年度	54	0	34	中止	
【文化賞・文化奨励賞受賞者紹介展参加者数(人)】	77	150	150	100	100	100	
	平成28年度	90	141	37	141		
社会教育推進事業	市民の最も身近な生涯学習施設として、学習活動の支援や豊かな地域づくり・人づくりのため、社会教育団体等の育成や公民館活動の推進に努める。		42,975	44,502	46,012	62,867	59,877
	【各公民館利用者数(中央・川内・大畑・脇野沢)(人)】	62,894	63,523	60,000	63,000	63,000	63,000
		平成28年度	59,006	62,228	59,351	25,410	
	【主催事業利用者数(中央)(人)】	16,877	17,046	12,100	15,500	15,500	15,500
		平成28年度	11,937	15,063	15,178	2,236	
【各種団体・各サークル利用者数(中央)(人)】	27,377	27,650	27,000	24,000	24,000	24,000	
	平成28年度	26,445	23,207	21,486	23,174		
むつ市民大学事業	市民の多種多様化する学習ニーズに応え、生きがいの創造を促進し「自ら学び 自ら運営する」ことを基本方針に、現代課題等の一般教養や専門的知識を学習する機会を提供する。		714	700	811	1,055	1,006
	【公開講座参加者数(人)】	622	630	630	630	630	630
		平成28年度	607.0	587	551	267	
	【公開講座満足度(%)】	92.5	91.0	95.0	95.0	95.0	95.0
平成28年度		91.0	90.7	86.5	85.5		
図書館を活用した社会教育推進事業	図書館利用者のみならず、あらゆる年代の市民の方を中心に有意義な時間を過ごすことができる地域の交流の場を目指し、様々なイベントを開催する。		221	588	464	373	297
	【詩歌コンクール参加作品数前(人)】	3,277	-	3,821	3,859	1,500	2,000
		平成28年度	3,784	2,470	3,581	5,598	
	【イベント事業参加数(人)】	2,223	-	2,750	2,777	1,000	1,500
平成28年度		3,068	2,916	3,404	1,613		

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



回答内容	割合
満足	12.58%
やや満足	36.40%
どちらともいえない	38.81%
やや不満	7.50%
不満	2.30%
無回答	2.42%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	11位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>①夏休み期間のスタンプラリーは昨年度と同様程度の参加者数であり利用者に親しまれている。詩歌コンクールの参加者は昨年度と比べ半減したが、応募方法が一部変更のためであった。</p> <p>②春・秋の自然観察会は予定どおり実施できた。定員を超える申し込みがあり、一定の学習ニーズを満たしていると考え。文化奨励賞受賞者紹介展についても予定どおり実施の方向で進めている。</p> <p>③5月から9月まで5回開催予定していた公開講座のうち、2回は新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止としたが、実施した講座については、日常における健康や環境のことを考えるきっかけをつくる学びの場を提供することができた。</p>
			【今後の取組の方向性(10月)】
			<p>①詩歌コンクールは開始から20年経過し、実施内容の見直しを検討する時期にきていることから今後も関係者と協議を重ねていく必要がある。</p> <p>②春・夏・秋・冬それぞれの季節の移り変わりや動植物の変化などを一年間を通じて感じられる事業となるよう見直しを図っていく。</p> <p>③公開講座を聴講した市民が安心して充実した時間を過ごすことができたと思えるよう引きつづき、しっかり感染症予防対策を講じながら、改善できる点があれば変えていくよう検討していく。</p>

令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>①新型コロナウイルス感染症予防のため、一部事業を中止したが、様々な感染予防対策を講じながらできるだけ開催し、利用者から好評を得ている。</p> <p>②自然観察会は定員以上の申し込みがあり、気軽に参加できる自然学習の場として定着している。文化賞・文化奨励賞受賞者紹介展は間隔を空けるなど感染予防を講じながら開催し、文化について市民が触れる場の提供を行った。</p> <p>③今年度は10回開催予定していた公開講座のうち、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、8月、9月の公開講座を中止とした。今後も感染症対策を講じながら学びの場を提供していく。</p>
			【今後の取組の方向性(1月)】
			<p>①現在の施設では、収容人数の限界があるため、感染症予防対策が十分できないイベントがあり新しい開催手順や内容の検討が必要である。</p> <p>②感染症予防をしっかりしながら、開催に向けて準備を行う。</p> <p>③公開講座を聴講した市民が安心して充実した時間を過ごすことができたと思えるよう引きつづき、しっかり感染症予防対策を講じていく。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	B	A	0.0%	
			B	72.7%	
			C	18.2%	
			D	0.0%	
			-	9.1%	

施策評価調書（令和3年度）

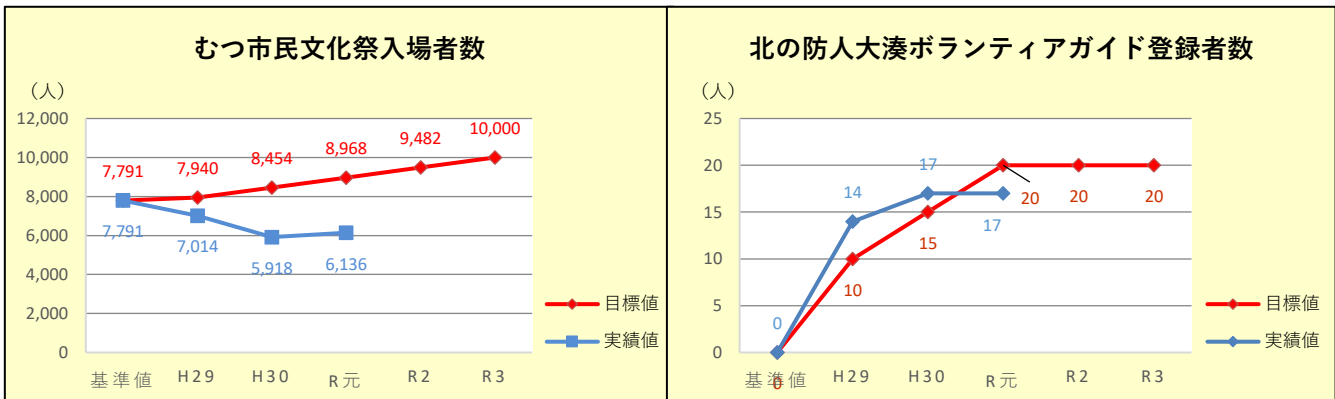
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 教育の向上	関係部局
施策項目	(1) 教育	教育委員会事務局
施策内容	⑥ 文化の充実・文化財の保存活用	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段：目標値 下段：実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
むつ市民文化祭入場者数	7,791 H27年度	7,940 7,014	8,454 5,918	8,968 6,136	9,482 中止	10,000
北の防人大湊ボランティアガイド登録者数	- H27年度	10 14	15 17	20 17	20 17	20



3. 年次目標（令和2年次）

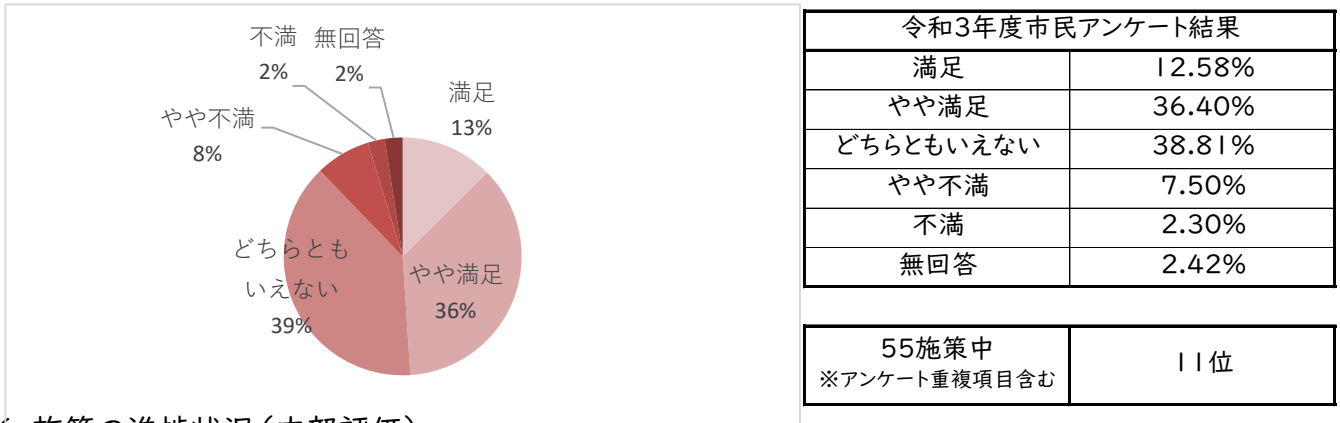
目標	実績	評価区分	評価内容
① ボランティアガイド員登録数 3人	養成講座中止により登録者数0	C やや不良	コロナ禍にあって、感染症対策等を講じながら、できる範囲でガイド活動を継続し、関係団体と次年度以降の事業の再開に向け連絡調整を行ったが、予定していたガイド養成講座やむつ市民文化祭は中止となったため、やや不良と判断した。
② むつ市民文化祭入場者数 7,000人	中止		

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
北の防人大湊式番館活用等事業	北の防人大湊式番館を活用し、市所有資料の公開や文化・生涯学習事業の報告等、自主事業を実施する。また、北の防人大湊ガイドグループの活動拠点としての活用、また活動支援とともにガイド養成を行う。		5,123	406	315	337	333
	【自主事業実施回数(回)】	3	2	2	2	2	2
		平成30年度	4	3	2	2	
	【ボランティアガイド認定数(人)】	-	10	15	20	20	20
文化振興一般管理費	文化財保護、文化振興事業を運営するための事務的経費。 市民文化祭開催費として「むつ市文化団体協議会」へ補助金を交付する。		190	200	199	200	190
	【むつ市民文化祭入場者数(人)】	7,791	7,940	8,454	8,968	7,000	10,000
		平成29年度	7,014	5,918	6,136	中止	

5. 総合経営計画に関する調査結果（市民アンケート）



6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】 ①新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しながら、計画通りに行うことができた。そのためガイドの新規登録者1名に繋がったと考える。 ②むつ市民文化祭は感染症予防対策のため中止となった。しかし、「むつ市文化団体協議会創立50周年記念誌」を発行する予定である。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【今後の取組の方向性(10月)】 ①ガイド養成講座への参加について、また、活動中も随時登録できるということについて、周知拡大に努めていく。 ②次年度へ向けて開催方法の模索や、参加者・来場者の安全確保策などを検討・構築していく。
令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】 ①新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しながら、計画通りに行うことができた。そのためガイドの新規登録者1名に繋がったと考える。 ②むつ市民文化祭は感染症予防対策のため中止となった。しかし、「むつ市文化団体協議会創立50周年記念誌」の発行及び記念式典開催に向けて会員と連絡調整を続けている。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【今後の取組の方向性(1月)】 ①次年度に向けて新型コロナウイルス感染症予防対策をしながら開催を検討していく。 ②次年度へ向けての計画策定や開催方法・開催会場などを検討していく。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	B	A	0.0%	
			B	59.1%	
			C	18.2%	
			D	4.5%	
			-	18.2%	

施策評価調書(令和3年度)

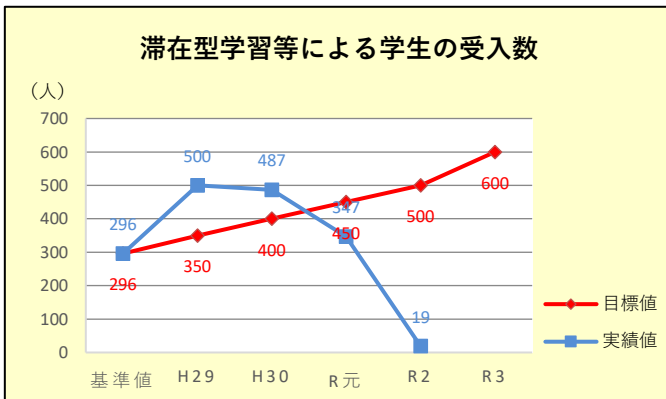
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	3. 教育の向上	関係部局
施策項目	(1) 教育	企画政策部
施策内容	⑦むつサテライトキャンパスの推進	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
滞在型学習等による学生の受入数	296 H28年度	350 500	400 487	450 347	500 19	600



3. 年次目標(令和2年次)

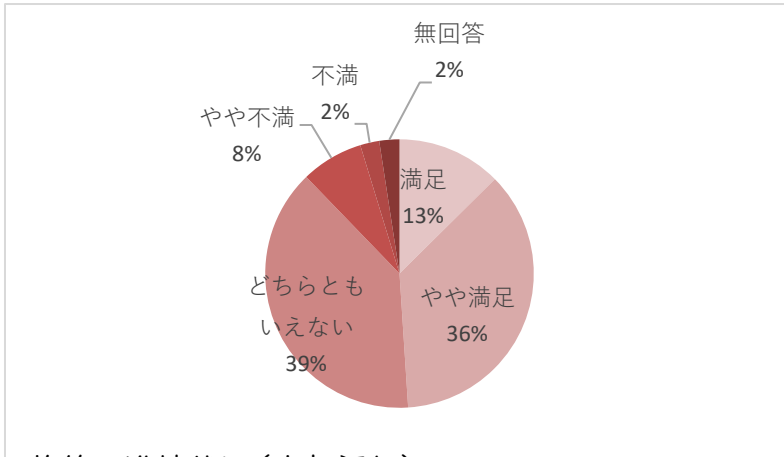
目標	実績	評価区分	評価内容
滞在型学習等による学生の受入数 450人	19人	C やや 不良	<p>新型コロナウイルスの影響により、当市から宿泊支援が行えないにも関わらずリピーターである19名の学生が滞在し、移動手段の支援を行うことができた。</p> <p>引き続き、滞在型学習のPRに力を入れ、新規団体による活用を目指す。また、新規団体が安心して活用できるよう行程の組立に協力するなどサポートをより強化する。</p> <p>各講座の受講者アンケート結果を分析し、市民ニーズにあった講座を計画していく。新型コロナウイルス感染予防のため中止となった公開講座の実施を検討する。</p>
公開講座実施 10講座	未実施		

4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
			決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
	業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
キョウイク(教育・共育・今日行く!)拠点によるまちづくり事業(むつサテライトキャンパス事業)	高等教育機会の充実、滞在型学習の支援及び大学と連携した事業実施の拠点とするため、むつ市、弘前大学及び青森中央学院大学の三者共同で設置したむつサテライトキャンパスを運営し、市民と大学生との交流を促進するとともに、人材育成に取り組む。		2,772	1,768	891	1,488	1,412
	【「社会教育の充実」における満足度の向上(点)】	2.94	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
		平成27年度	2.6	2.4	3.0	3.5	
	【地域研修の誘致(大学生の受入)(人)】	296	300	300	300	300	300
		平成28年度	500	487	347	19	
【社会人、主婦、高校生向けの講座数(講座)】	5	10	10	10	10	10	
	平成27年度	9	9	7	中止		

5. 総合経営計画に関する調査結果（市民アンケート）



回答内容	割合
満足	12.58%
やや満足	36.40%
どちらともいえない	38.81%
やや不満	7.50%
不満	2.30%
無回答	2.42%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	11位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況（内部評価）

区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	B	滞在型学習事業について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施。公開講座については、新型コロナウイルス感染症拡大期間においては中止となった講座もあったが、概ね予定通り実施することができた。
		【今後の取組の方向性(10月)】 滞在型学習事業について、引き続き事業のPRに力を入れ、新規団体による活用を目指す。また、新規団体が安心して活用できるよう行程の組立に協力するなどサポートをより強化する。公開講座について、各講座の受講者アンケート結果を分析し、引き続き市民ニーズに合った講座を計画していく。

区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	B	昨年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした事業に加え、概ね当初の計画通りに実施することができたため。
		【今後の取組の方向性(1月)】 ①引き続き、滞在型学習のPRに力を入れ、新規団体による活用を目指す。また、新規団体が安心して活用できるよう行程の組立に協力するなどサポートをより強化する。 ②各講座の受講者アンケート結果を分析し、市民ニーズにあった講座を次年度に向けて計画していく。なお、新型コロナウイルス感染予防のため中止となった公開講座についても実施を検討する。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
		A	B	
施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)	B	A	0.0%	/
		B	63.6%	
		C	13.6%	
		D	13.6%	
		-	9.1%	

4. 安全の向上

施策評価調書（令和3年度）

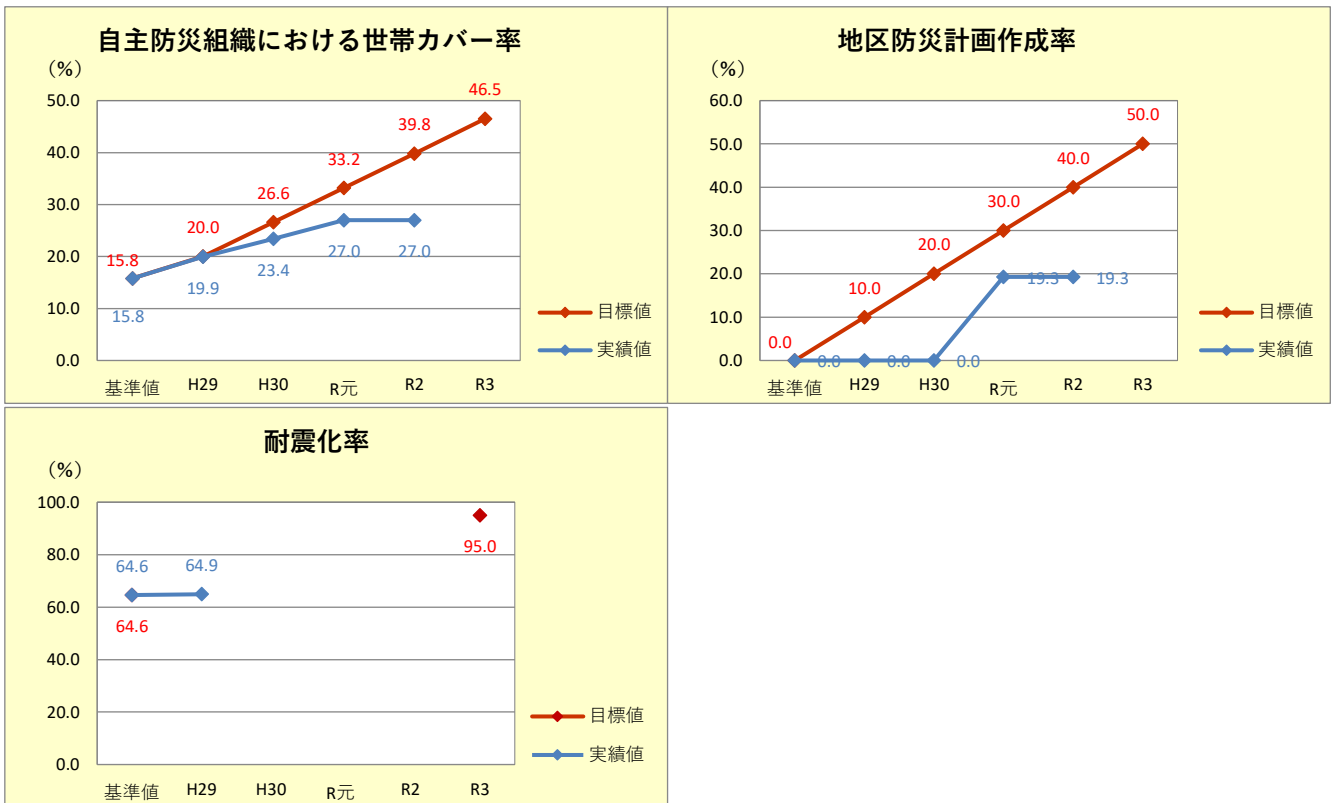
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	4. 安全の向上	関係部局
施策項目	(1)安全・安心	総務部
施策内容	①防災対策の充実	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
自主防災組織における世帯カバー率	15.8 H27年度	20.0 19.9	26.6 23.4	33.2 27.0	39.8 27.0	46.5
地区防災計画作成率	0 H27年度	10.0 0.0	20.0 0.0	30.0 19.3	40.0 19.3	50.0
耐震化率	64.6 H27年度	0.0 64.9	0.0 65.3	0.0 65.8	0.0 77.6	95.0



3. 年次目標（令和2年次）

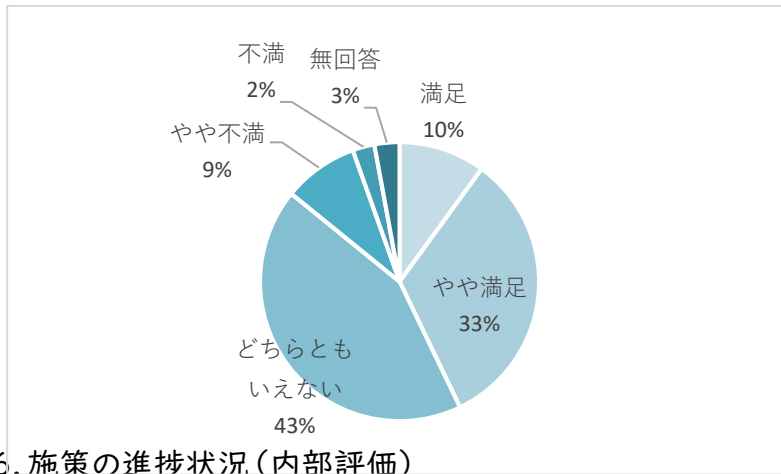
目標	実績	評価区分	評価内容
自主防災組織の新規設立（4組織）	0組織	B 概ね良好	自主防災組織については、新たな組織の設立はなかったが、広報むつにて、自主防災組織の設立促進に関する広報を実施した。また、地区防災計画については、素案の見直し及び地域防災計画への掲載方法の検討を行っている。 防災マップ洪水編は全戸配布を完了し、原子力編も完成している。
地区防災計画の新規作成（8地区）	0地区		
ハザードマップ更新率（80%）	70%		

4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
			決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
	業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
消防団・自主防災組織と連携した地域防災力向上推進事業	自主防災組織率の低迷から、広報紙やホームページ等、あらゆる媒体を通じて、市民一人ひとりの防災意識の向上を図るとともに、自主防災組織の必要性を周知する。 また、自主防災組織の設立時における資機材の給付や自主的な訓練時の備蓄品提供を実施するとともに、出前講座等で自助共助の必要性を説明し、自主防災組織の設立を促していく。		1,050	362	569	1,185	2,174
	【自主防災組織数(組織)】	20	24	27	33	35	39
		平成28年度	24	25	31	31	
	【地区防災計画作成率(%)】	-	10	20	30	40	50
		-	0.0	0.0	19.3	19.3	
【自主防災組織率(%)】	15.8	-	-	33.2	39.8	46.5	
	平成28年度	-	-	27.0	26.2		
むつ市防災ハザードマップ作成事業	従来1冊にまとまっていたハザードマップを、更新コストの削減を目的に、「避難所」「土砂災害」「洪水」「津波」「原子力」の5種類に分割し、各種更新を行い市民へ配布することで、防災意識の醸成を図る。		0	0	9,761	5,728	11,545
	【ハザードマップ更新率(%)】	0	-	0	40	80	100
		平成30年度	-	0	40	70	
原子力防災対策事業	これまで原子力発電施設等緊急時安全対策交付金を活用し、県が市町村と連携して実施してきた原子力防災対策について、県が同交付金を財源とする「原子力防災対策事業費補助金」を創設することで、原子力防災対策に係る取組の充実化、円滑化を図る。本補助金を活用し、原子力防災対策に係る資機材整備や防災訓練の視察を実施する。		0	798	1,006	3,295	3,961
	【安定ヨウ素剤必要資機材配備率(%)】	-	-	-	20	40	60
		-	-	-	20	20	
国民保護計画関連費	国民の保護に関する基本指針の変更等に伴い、むつ市国民保護計画の見直しを実施する。計画の修正が必要な場合は、国民保護協議会を開催し新たな計画を製本する。		-	-	-	855	0
	【むつ市国民保護計画の見直し(回)】	1	1	1	1	1	1
		平成27年度	0	0	0	0	
「ストップ・ザ・特定空家」事業	むつ市空家等対策計画を平成30年4月2日公表した。むつ市特定空家等判定委員会により特定空家等を指定し、解体等に係る財源を検討し、行政代執行等による特定空家等の解体の実施により、生活環境への悪影響や火災の危険等を排除していく。		0	0	3	550	500
	【特定空家の撤去件数(件)】	0	0	0	1	1	1
		平成28年度	0	0	0	0	
空き家・空き地データ構築事業	空家等対策の推進に関する特別措置法及び「むつ市空家等対策計画」に基づき、空家活用促進を図るため、正確な空家件数を把握する。 計画に基づき、危険な状態にあるものや、住環境や景観に悪影響を与えることとなる特定空家等について、空き家・空き地の利活用などの取組みによる発生の抑制や発生した物件については適正な対処を進めることで、安全・安心で良好な都市環境の整備を図ることとしている。		-	-	4,623	0	0
	【空家調査済区域の割合(%)】	-	-	-	34.6	43.1	51.6
		-	-	-	33.9	33.9	
防災情報伝達手段整備事業	令和4年11月に使用期限を迎えるアナログ式防災行政無線のデジタル化を行う。		0	0	0	17,996	604,417
	【デジタル更新率(%)】	10	11.0	12.0	13.0	13.6	14.0
		平成28年度	11.0	11.0	11.0	11.0	

5. 総合経営計画に関する調査結果（市民アンケート）



令和3年度市民アンケート結果	
満足	10.02%
やや満足	32.85%
どちらともいえない	43.00%
やや不満	8.70%
不満	2.54%
無回答	2.90%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	22位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況（内部評価）

区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	B	自主防災組織の結成はないものの、最近の災害や津波の浸水想定等の影響により、出前講座の相談が多数寄せられており、地域における防災意識の高揚には一定の効果はあるものと評価できる。 防災マップ津波編の作成は災害対応にかかり当初の予定から後ろ倒しにはなるが、今年度中に作成配布が完了する予定。
		【今後の取組の方向性(10月)】 今年度も出前講座を積極的に活用し防災知識の普及や防災意識の向上を図るほか、学校の防災教育にも協力を行い、地域ぐるみの自主的な防災活動の推進や防災意識の向上を目指す。 引き続き防災マップ津波編の作成及び原子力編の増刷や配布の準備を進める。
令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	B	現時点では新たに設立の申請は受けていないが、未結成の町内会からの自主防災組織に関する相談等があることから、今後も引き続き結成促進に向け、啓発していく。 防災マップの更新については、スケジュールの見直し後、2～3月の配布に向けて順調に進捗している。
		【今後の取組の方向性(1月)】 自主防災組織については、防災対策資機材及び訓練備蓄品等の助成制度とあわせて広報することで、結成促進を図っていく。地区防災計画については、今後ガイドライン(ひな形等)を配布し、作成に関する支援を行っていく。 防災マップ津波編の2～3月の配布に向けて、配布業務を委託するシルバー人材センターと調整を進めるとともに、原子力編の増刷と配布に向けた準備を進める。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
<p>施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価)</p>	A 順調に推移	B	A	4.5%	/
	B 一定の進捗がある		B	63.6%	
	C 進捗は遅れている		C	22.0%	
	D 進捗は大幅に遅れて いる		D	4.5%	
	- わからない		-	4.5%	

施策評価調書(令和3年度)

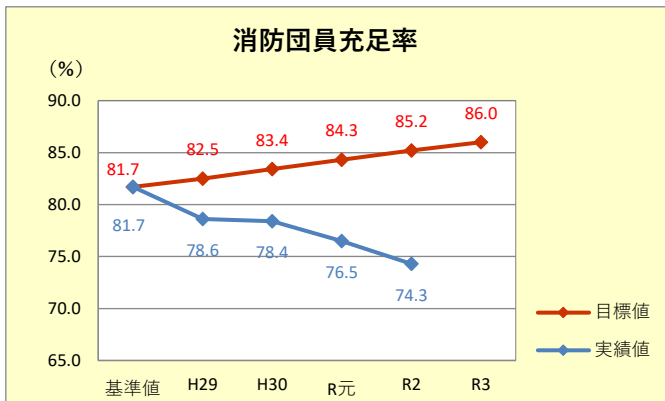
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	4. 安全の向上	関係部局
施策項目	(1)安全・安心	総務部
施策内容	②消防・救急体制の充実	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
消防団員充足率	81.7 H27年度	82.5 78.6	83.4 78.4	84.3 76.5	85.2 74.3	86.0



3. 年次目標(令和2年次)

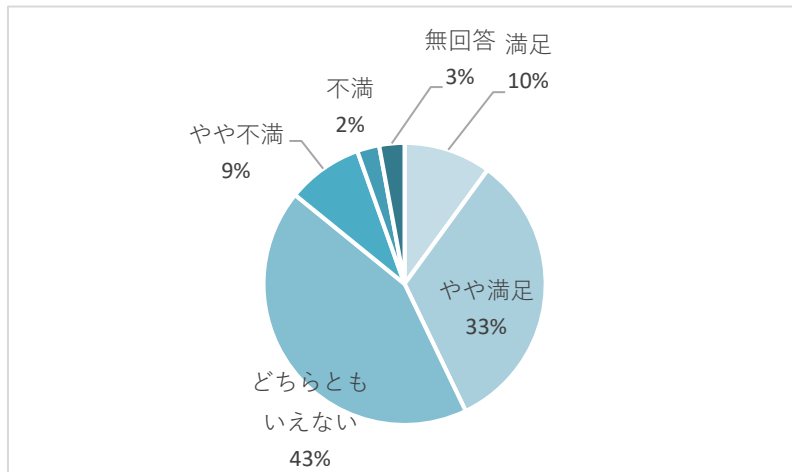
目標	実績	評価区分	評価内容
消防団充足率 85.2%	74.3%	B 概ね 良好	<p>12月に推進委員会専門部会を開催し、持続可能な消防・救急体制の維持に向けた協議、検討を行った。また、下行事務局とも消防ビジョンの推進について、担当レベルでの協議を進めている。</p> <p>当市の人口減少に伴い消防団員数も減少傾向ではあるが、女性団員数は平成27年度の27人に対して、令和3年3月末で54人と倍増しているなど、団員充足へ向けた取組の効果が始まっている。</p>

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
			決算額	決算額	決算額	予算額	予算額		
	業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
むつ市消防ビジョン懇話会 運営費	現在の消防力の維持を前提に、市の常備消防及び非常備消防における持続可能な消防・救急体制の確立を目的とした「むつ市消防ビジョン」の計画内容に変更が生じた場合に開催する「むつ市消防ビジョン懇話会」と、「むつ市消防ビジョン」を推進するための調査、検討、検証を行う「むつ市消防ビジョン推進委員会」を開催、運営する。		0	313	126	112	112		
			【職員の適正配置(人)】	145	-	145	143	144	143
			【消防団充足率(%)】	81.7	82.5	83.4	84.3	85.2	86.0
		平成28年度	78.6	78.4	76.5	74.3			
消防団協力事業	むつ市消防団に積極的に協力している事業所等を消防団協力事業所として認定すると共に、消防団協力事業所表示証を交付・表示することにより、消防団活動への理解、入団促進を図り、地域防災力を充実強化する。 むつ市消防団員に対し、飲食店等から消防団応援の店として各種サービスの提供をうけることにより、消防団活動への理解、入団促進を図り、地域防災力を充実強化する。		12	10	3	30	44		
			【消防団充足率(%)】	81.7	82.5	83.4	84.3	85.2	86.0
		平成28年度	78.6	78.4	76.5	74.3			
下北地域広域行政事務組合(非常備消防事務委託料)	消防団事務に関する下北地域広域行政事務組合に対する委託料。		86,603	90,860	85,225	91,454	88,971		
	【消防団充足率(%)】	81.7	82.5	83.4	84.3	85.2	86.0		
		平成28年度	78.6	78.4	76.5	74.3			

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



満足	10.02%
やや満足	32.85%
どちらともいえない	43.00%
やや不満	8.70%
不満	2.54%
無回答	2.90%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	22位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている		B
			【今後の取組の方向性(10月)】
			<p>消防に関する予算編成の参考とするため、可及的速やかにおつ市消防ビジョン推進委員会を開催する。</p> <p>消防団充足率の向上については、消防施設・設備の計画的な整備と併せて「むつ市消防ビジョン」との協議の中で引き続き取り組んでいき、むつ市消防団の今後のあり方について協議していく。</p>

令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている		B
			【今後の取組の方向性(1月)】
			<p>消防施設・設備の計画的な整備と併せて、常備消防職員の適正配置、消防団員の加入促進、車両の更新計画など「むつ市消防ビジョン推進委員会」の協議の中で引き続き取り組んでいき、20年後も持続可能な消防体制の今後のあり方について協議していく。1月に専門部会、2月に推進委員会を開催予定。</p> <p>消防団充足率の向上については、消防施設・設備の計画的な整備と併せて「むつ市消防ビジョン」との協議の中で引き続き取り組んでいき、むつ市消防団の今後のあり方について協議していく。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】	
	A 順調に推移		B	A		0.0%
	B 一定の進捗がある			B		59.1%
	C 進捗は遅れている			C		31.8%
	D 進捗は大幅に遅れている			D		4.5%
	- わからない			-		4.5%

施策評価調書(令和3年度)

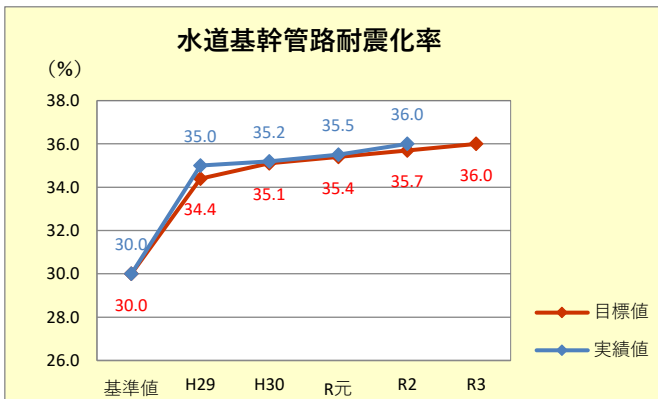
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	4. 安全の向上	関係部局
施策項目	(1)安全・安心	上下水道局
施策内容	③水道の安全・安定供給の確保	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
水道基幹管路耐震化率	30.0 H27年度	34.4 35.0	35.1 35.2	35.4 35.5	35.7 36.0	36.0



3. 年次目標(令和2年次)

目標	実績	評価区分	評価内容
水道基幹管路耐震化率 35.7%	36.0%	A 良好	令和2年度計画工事は全て完了しており、年次目標は達成した。 水道基幹管路耐震化率 0.3%、浄水施設耐震化率 0.3%、配水池耐震化率 0.2%いずれも年次目標を上回った。
浄水施設耐震化率 61.8%	62.1%		
配水池耐震化率 35.5%	35.7%		

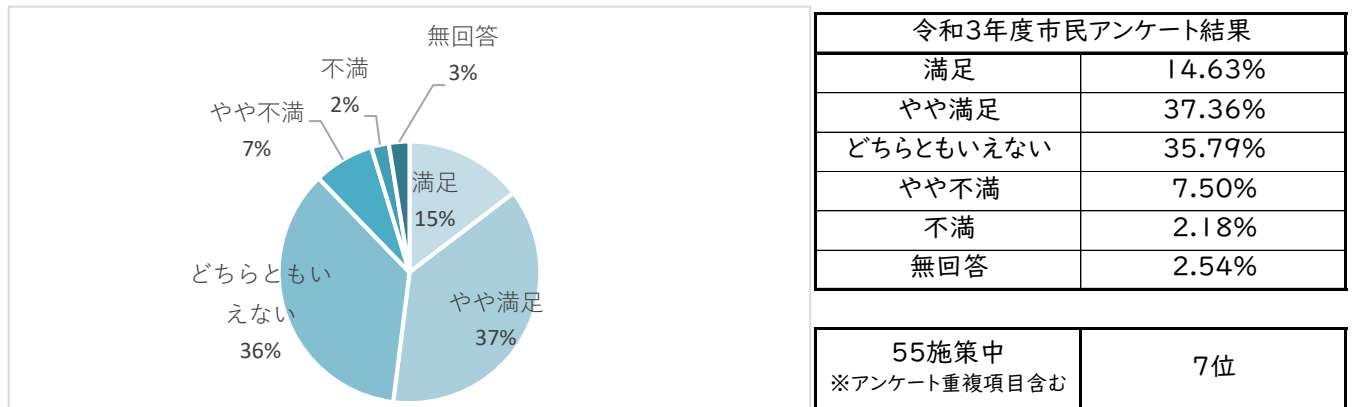
4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
水道管路緊急改善事業	耐震性の低い管路及び老朽管について、耐震性能が高い管種にすることにより大規模地震等の断水リスクを減少させる。 また、むつ市西部地区(川内、脇野沢地区)において、旧簡易水道施設を統廃合するとともに、老朽管の更新により安定的な水道水の供給を図る。		155,049	129,809	101,346	136,049	347,287
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
			【水道基幹管路耐震化率(%)】	30.0	34.4	35.1	35.4
		平成27年度	34.0	35.0	35.5	36.0	

水道施設整備事業	老朽化した水道施設を更新し、漏水防止と耐震性の向上を図るとともに災害対策の強化を図る。 また、むつ市西部地区(川内、脇野沢地区)において、旧簡易水道施設の統廃合に必要な施設整備を推進する。	174,960	52,268	363,454	526,229	103,686	
	【水道基幹管路耐震化率(%)】	30.0	34.4	35.1	35.4	35.7	36.0
		平成27年度	34.0	35.0	35.5	36.0	
	【浄水施設耐震化率(%)】	41.7	48.9	61.0	61.0	61.8	61.8
		平成27年度	61.0	61.0	61.0	62.1	
	【配水池耐震化率(%)】	29.4	30.6	34.8	34.8	35.5	35.5
		平成27年度	34.8	34.8	34.8	35.7	
建設改良事業(配水管整備事業等)	配水管布設・布設替工事、県・市土木及び下水道工事にともなう建設改良工事、老朽化した水源施設の改修・改築、機械器具・車両の購入・更新を行うことにより、効率的な経営運営の下、漏水防止や耐震性の向上を図るとともに災害に強く安全で安定的な水道水の企業運営を行う。	157,704	104,520	238,601	313,364	246,279	
	【水道基幹管路耐震化率(%)】	30.0	34.4	35.1	35.4	35.7	36.0
		平成27年度	34.0	35.0	35.5	36.0	

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】 目標に掲げた指標や、各水道施設ごとの耐震化率の年次目標を上回っており、施策の進捗状況は順調に推移している。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	【今後の取組の方向性(10月)】 給水人口減少に伴い、水道収益の低下による厳しい財務事情を勘案しながら、計画的に水道施設の耐震化事業を推進する。
令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】 今年度計画予定工事は、10月までにすべて発注し、事業進捗も計画どおり進んでいる。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【今後の取組の方向性(1月)】 災害復旧対応と現年度工事の施工監理を計画的に行い、年度内予定事業を完了させる。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
<p>施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価)</p>	A 順調に推移	A	A	68.2%	/
	B 一定の進捗がある		B	27.3%	
	C 進捗は遅れている		C	0.0%	
	D 進捗は大幅に遅れて いる		D	0.0%	
	- わからない		-	4.5%	

施策評価調書（令和3年度）

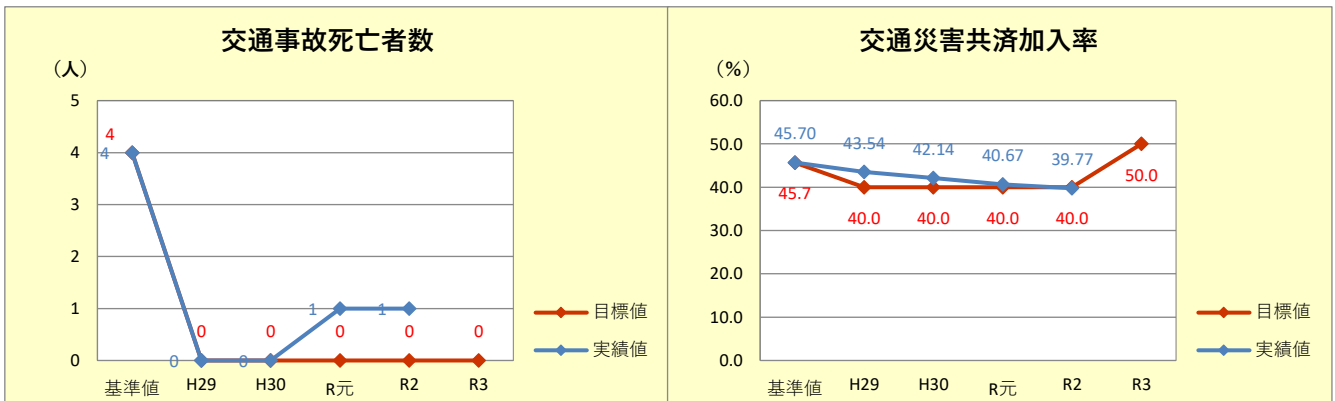
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	4. 安全の向上	関係部局
施策項目	(1)安全・安心	民生部
施策内容	④交通安全の確保	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
交通事故死亡者数	4 H24~H27平均値	0 0	0 0	0 1	0 1	0
交通災害共済加入率	45.7 H27年度	40.0 43.54	40.0 42.14	40.0 40.67	40.0 39.77	50.0



3. 年次目標（令和2年次）

目標	実績	評価区分	評価内容
交通事故死亡者数 0人	1人	B 概ね 良好	新型コロナウイルス対策のため、例年交通安全運動期間に実施している街頭活動等は中止したが、FMアジュールや広報紙で交通安全の呼びかけは継続し、2月にはコロナ対策を図りながら交通安全作品コンクールを開催するなどの工夫をした。 交通災害共済は、広報紙やラジオを活用しPRを行うも、個人・団体（学童・町内会・事業所）共に加入者が減少したが、県平均を大きく上回っており、効果が現れている。
交通災害共済加入率 46%	39.77%		
	-		

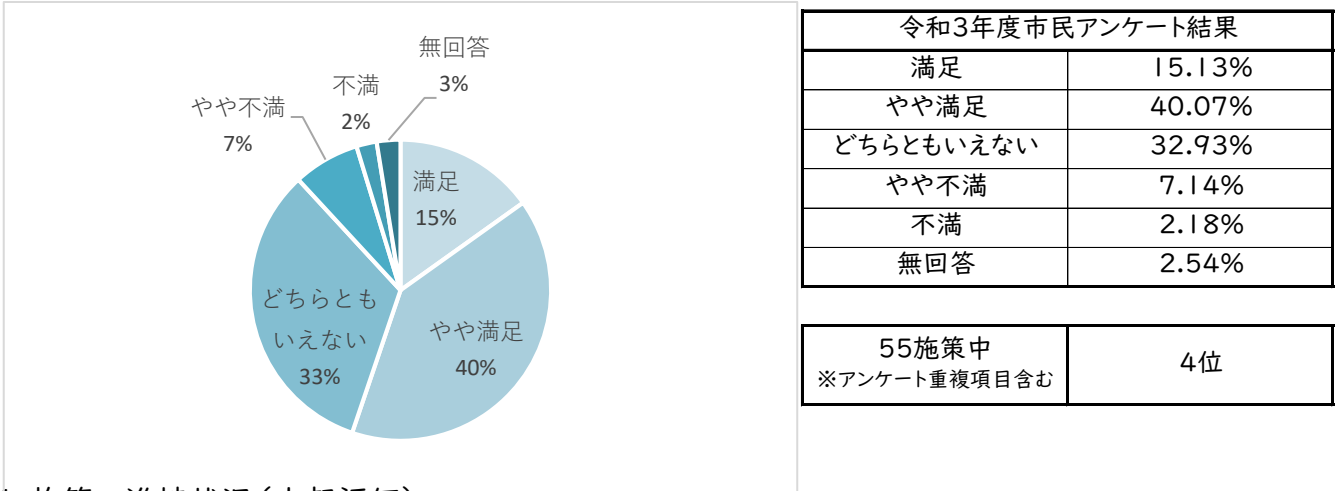
4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
一般交通安全事業			1,526	1,547	1,630	1,549	1,544
	【交通事故死者数(人)】	5	0	0	0	0	0
		平成28年度	0	0	1	1	
子ども達の交通安全対策事業			6,884	6,858	6,944	6,903	6,701
	【(-)】	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-

交通広場管理費	子どもたちへの交通安全思想の普及徹底と正しい交通ルールの実践の推進を図る。	1,050	1,606	1,236	1,325	1,436
	【(-)】	-	-	-	-	-
交通災害共済	交通事故による災害を受けた者を救済するため、青森県交通災害共済の加入及び請求に係る事務を行う。	41	42	60	50	50
	【交通災害共済加入率(%)】	45.7	43.5	42.1	40.6	40.0
		平成27年度	43.54	42.14	40.67	39.77

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】 コロナ対策を図りながら、4月の交通安全運動期間に交通安全パレードを実施。その後夏秋の街頭活動はコロナ感染状況を受け中止を余儀なくされたが、FMアジュールや広報による啓発を実施している。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【今後の取組の方向性(10月)】 引き続き交通事故・交通死亡事故のない街を目指し、警察や交通安全協会等の関係団体と連携し、啓発活動を継続する。
令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】 残念ながら12/21に高齢者が犠牲となる交通死亡事故が発生したが、FMアジュールやHPで交通安全の啓発活動を継続している。 交通災害共済は、広報紙で制度の周知と加入の呼びかけを行った。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	A	【今後の取組の方向性(1月)】 交通事故、交通死亡事故ゼロの街を目指し、警察や交通安全協会等の関係団体と連携を図り、啓発活動を継続していく。 交通災害共済は、引き続き制度のPRを継続し、加入率向上に努めていく。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
<p>施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価)</p>	A 順調に推移	B	A	18.2%	/
	B 一定の進捗がある		B	77.3%	
	C 進捗は遅れている		C	0.0%	
	D 進捗は大幅に遅れて いる		D	0.0%	
	- わからない		-	4.5%	

施策評価調書（令和3年度）

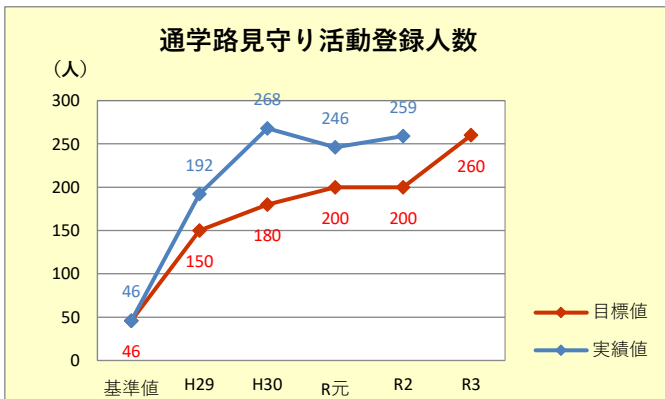
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	4. 安全の向上	関係部局
施策項目	(1)安全・安心	福祉部
施策内容	⑤防犯対策の充実	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
通学路見守り活動登録人数	46 H27年度	150 192	180 268	200 246	200 259	260



3. 年次目標（令和2年次）

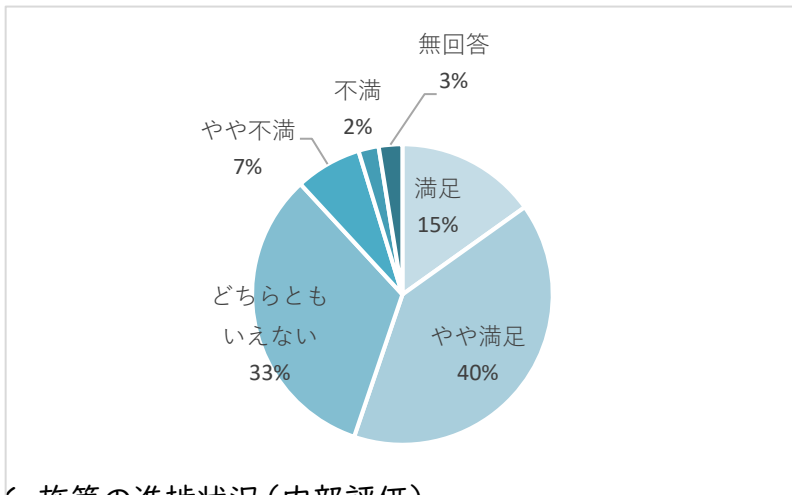
目標	実績	評価区分	評価内容
通学路見守り活動登録人数 260人	259人	B 概ね 良好	ポスターやフェイスブックによる活動協力の呼び掛け及び7月に行った町内会広報を受けて、新年度からの活動を開始する町内会もあり、一定の進捗があった。 現状では、目標値の260人には達していないため、引き続き協力の呼び掛けや広報活動などを行っていく必要がある。

4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
防犯活動に係る貸与事業	子ども達の危険行為や犯罪の抑止を図るため、有志及び町内会等からの活動希望者に対し統一ベストを貸し出し、見守り活動を充実させる。		65	59	137	22	0
		【通学路等見守り活動(人)】	46	180	200	260	260
		平成27年度	192	268	246	259	

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



令和3年度市民アンケート結果	
満足	15.13%
やや満足	40.07%
どちらともいえない	32.93%
やや不満	7.14%
不満	2.18%
無回答	2.54%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	4位
-----------------------	----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	広報紙等により活動協力を呼び掛けたところ、町内会や個人から260人の申し込みがあり、目標値に達している。
			【今後の取組の方向性(10月)】 声かけ事案等の不審者情報や通学路の危険個所について情報を共有し、関係機関と連携しながら見守り活動を実施していく。

	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	ポスターや広報むつへの掲載により見守り活動の認知度が向上し、継続的に活動協力を依頼したことにより、登録者が目標値の260人に達することができた。
			【今後の取組の方向性(1月)】 声かけ事案等の不審者情報や通学路の危険個所について情報を共有し、関係機関と連携しながら見守り活動を実施していく。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	B	A	22.7%	/
			B	68.2%	
			C	4.5%	
			D	0.0%	
			-	4.5%	

5. 魅力の向上

施策評価調書（令和3年度）

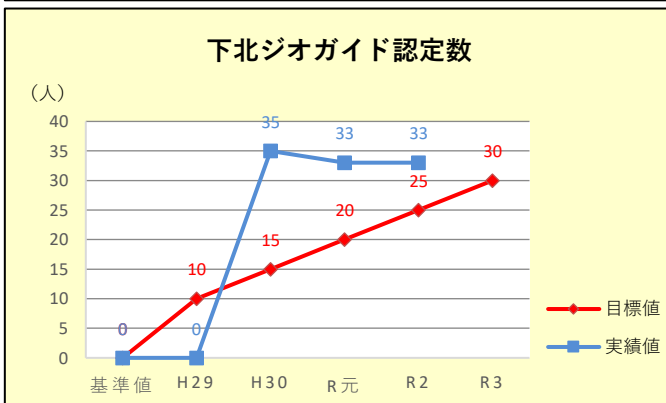
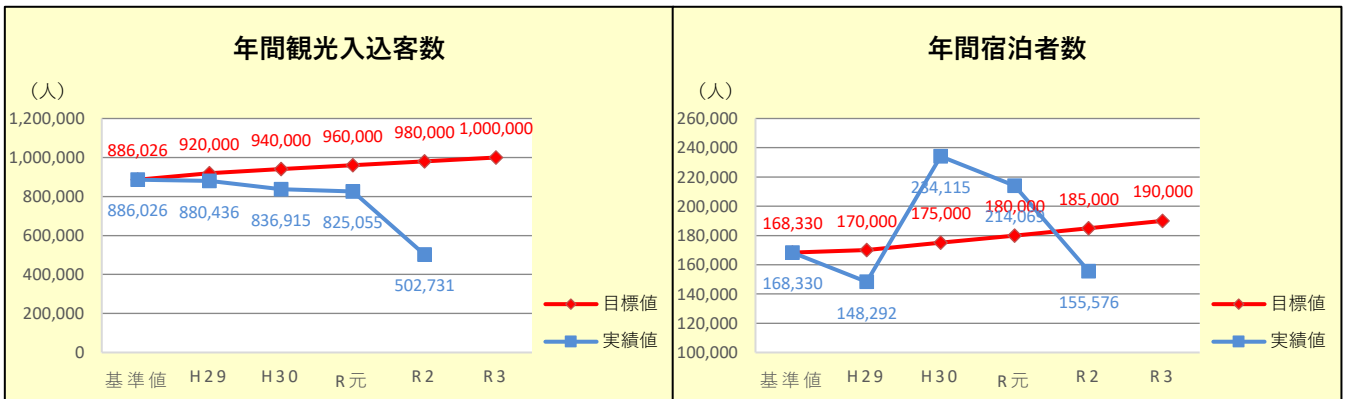
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	5. 魅力の向上	関係部局
施策項目	(I)ジオパーク	企画政策部
施策内容	①ジオツーリズムによる交流人口の拡大	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
年間観光入込客数	886,026 H27年度	920,000 880,436	940,000 836,915	960,000 825,055	980,000 502,731	1,000,000
年間宿泊者数	168,330 H27年度	170,000 148,292	175,000 234,115	180,000 214,069	185,000 155,576	190,000
下北ジオガイド認定数	0 H28年度	10 0	15 35	20 33	25 33	30



3. 年次目標（令和2年次）

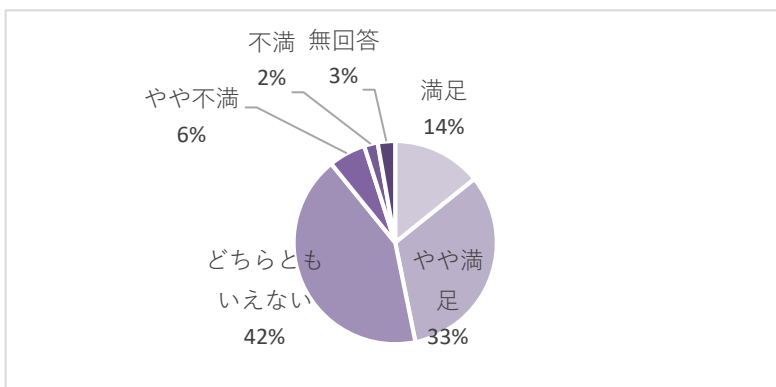
目標	実績	評価区分	評価内容
ジオパーク認知度の向上 74%	79.2%	B 概ね良好	これまでのジオパーク活動が評価され、無事に再認定の決定を得ることができた。コロナ対策で再認定調査は必要最低限の人数での対応となったものの、その様子や認定結果の報告はテレビニュースで取り上げられているほか、ビジターセンター開設、のぼり、看板等での可視性の向上、ジオ検定やTV番組などのPRにより、コロナ禍にあっても認知度向上につながる取り組みは十分に展開できた。一方、ツアーについてはコロナ禍が大きな痛手となったことは否めないものの、ビジターセンターにおける案内や学校向けガイドでスキル向上を図っており、オンラインツアーや県内向け修学旅行、マイクロツーリズムなど、現状にあったツアーの形にも取り組んでいる。
ツアー実施回数 50回	24回		

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
			決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
	業績評価指標	基準値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
下北ジオパーク推進事業	ジオパーク活動は地域住民や関係団体が自ら考え、行動するボトムアップ型の推進体制のもと、地球科学的な自然遺産、さらには各種自然・文化遺産を保全するとともにその価値を学び、それらを活用した教育、経済活動により持続的な地域開発を目指すものである。 下北5市町村と関係団体などで構成する「下北ジオパーク推進協議会」に負担金を拠出する。		15,499	16,860	17,177	19,179	20,547
	ジオパーク認知度の向上(%)	50.0	60.0	63.0	67.0	70.0	74.0
		平成28年度	89.9	93.7	93.6	79.2	
	ツアー実施回数(回/年)	-	20	30	40	50	50
		-	16	13	32	24	

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



回答内容	割合
満足	14.23%
やや満足	32.57%
どちらともいえない	42.34%
やや不満	5.91%
不満	2.17%
無回答	2.77%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	9位
-----------------------	----

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	

<p>令和3年度施策の 進捗状況(1月報告)</p> <p>(基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての事務事 業の業績評価指標等から総 合的に評価)</p>	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
	<p>A 順調に推移</p> <p>B 一定の進捗がある</p> <p>C 進捗は遅れている</p> <p>D 進捗は大幅に遅れて いる</p>	B	<p>ワクチン接種が進み、新型コロナウイルス感染者数が全国的に小康状態となったことで、これまで行えなかったお出かけ座談会が開催できたほか、学習・活動発表会でも昨年より多くの来場者・発表者を迎え入れて開催することができた。また、国内の世界ユネスコジオパーク認定地域の先進地視察も行うことができ、英語版ガイドブックや英語対応の説明看板設置といった受け入れ環境整備に向けて情報収集を図ることができた。</p> <p>【今後の取組の方向性(1月)】</p> <p>冬季間を迎えるとジオサイトを訪れることが難しくなること、また、再度拡大傾向にある新型コロナウイルスの影響によって、ツアーや現地学習におけるガイド実施回数は減少すると見込まれるが、来年度に備えて新規ジオガイドの認定試験や、ジオ検定の実施による次のガイド候補の獲得、研修の支援によるジオガイドのスキルアップを図っていく。</p> <p>また、英語版ガイドブック制作、説明看板の設置といったビジビリティの整備による受け入れ環境強化や、SNSを活用した情報発信に努めていく。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

<p>施策の進捗状況</p> <p>(基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価)</p>	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	<p>A 順調に推移</p> <p>B 一定の進捗がある</p> <p>C 進捗は遅れている</p> <p>D 進捗は大幅に遅れて いる</p> <p>- わからない</p>	B	A	4.5%	
			B	72.7%	
			C	13.6%	
			D	0.0%	
			-	9.1%	

施策評価調書(令和3年度)

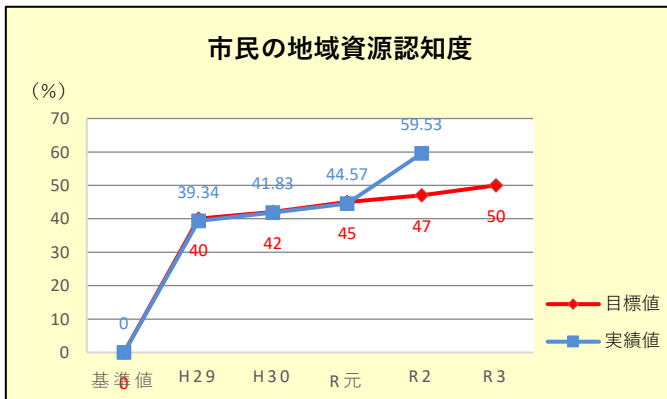
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	5. 魅力の向上	関係部局
施策項目	(1)ジオパーク	企画政策部
施策内容	②資源価値の保全と教育	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
市民の地域資源認知度	- -	40 39.34	42 41.83	45 44.57	47 59.53	50



3. 年次目標(令和2年次)

目標	実績	評価区分	評価内容
下北ジオパークサポーター登録者数 200人(累計)	186人	B 概ね 良好	再認定審査に向けたサポーターの会会長の熱心な勧誘活動により、9月に団体会員数が大きく増加したものの、年度末にかけて伸びが鈍化している。年間を通してみると、コロナの影響もあり、サポーターの会の活動を紹介して加入を促進するイベント等の機会が、例年ほど確保できていなかったことが一因と考えられる。 認定商品制度では、コロナにより深刻な影響を受ける事業者を支援すべく創設した商品開発助成制度もその一助となり、例年を超える9件の新規申請があり、新たに5件の認定商品が誕生した。また、認定商品の周知につながる、のぼりやテーブルクロスを新たに制作しており、今後のPR活動での活用が期待される。
下北ジオパーク認定商品提供数 40商品	33商品		

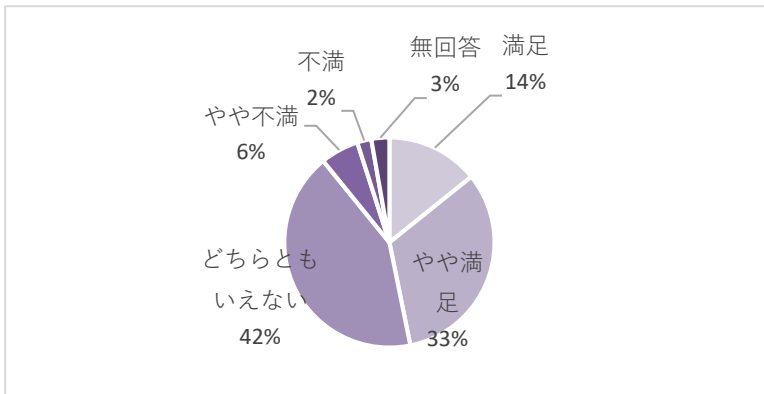
4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
			決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
	業績評価指標	基準値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
下北ジオパーク推進事業	ジオパーク活動は地域住民や関係団体が自ら考え、行動するボトムアップ型の推進体制のもと、地球科学的な自然遺産、さらには各種自然・文化遺産を保全するとともにその価値を学び、それらを活用した教育、経済活動により持続的な地域開発を目指すものである。 下北5市町村と関係団体などで構成する「下北ジオパーク推進協議会」に負担金を拠出する。		15,499	16,860	17,177	19,179	20,547
	ジオパーク認知度の向上(%)	50.0	60.0	63.0	67.0	70.0	74.0
		平成28年度	89.9	93.7	93.6	79.2	
	ツアー実施回数(回/年)	-	20	30	40	50	50
		-	16	13	32	24	

下北ジオパーク夢実現プログラム	ジオパーク活動は地域住民や関係団体が自ら考え行動するボトムアップの推進体制のもと、地球科学的な自然遺産、さらには各種自然・文化遺産を保全するとともにその価値を学び、それらを活用した教育、ツーリズムとその関連事業により持続的な地域開発を目指すものである。「保護・保全」「教育・研究」「経済活動」といった三つの柱となる活動を進めていく上で、今後も地域住民や団体を巻き込み、地域が一体となって進めていくため、必要な補助金及び負担金を拠出する。	965	709	951	1,000	1,000	
	【ジオパーク認定商品数(商品)】	-	10	20	30	40	50
		-	14	27	31	33	
	【ジオパークサポーター登録者数(人)】	-	100	150	180	200	220
	-	112	155	159	186		

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



満足	14.23%
やや満足	32.57%
どちらともいえない	42.34%
やや不満	5.91%
不満	2.17%
無回答	2.77%

55施策中	9位
※アンケート重複項目含む	

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】 認定商品新規認定発表会や「#ジオメシ、つくってみた。」コンテストの実施による認定商品の周知強化を図った。また、サポーターの会と連携した清掃活動や、保全モニタリング勉強会、出前講座等により地質資源の理解向上に努めた。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	【今後の取組の方向性(10月)】 これまで行ってきた方策に加え、認定商品パンフレットの刷新や専用グッズの作成により、認定商品制度の更なる広報に努めるほか、受け身でなく地域団体に積極的に働きかけて開催する「お出かけ座談会」によって、新たな関係人口の創出を図り、地域資源認知度向上に努めていく。

令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】 「#ジオメシ、つくってみた。コンテスト」に応募された商品を、実際に作ってみる期間として、協議会SNSやラジオ番組、市広報誌などで広く周知した。また、モニタリング勉強会では豪雨被害を受けた地域を実際にモニタリングする機会を設け、地滑り等の被害が発生したメカニズムについても理解を深めてもらい、保全だけでなく防災意識の向上も図った。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている		【今後の取組の方向性(1月)】 各種イベントやお出かけ座談会において、サポーターの会の紹介を行い会員の増加に努めるほか、地域資源の価値を周知し保全意識の向上を図る。認定商品制度では、商品を紹介するパンフレットの刷新、デザインに統一性を持たせた専用の新しいミニのぼりの配布、ジオメシレシピの周知等により、認知度、ブランド力の向上を図っていく。

7. 施策の進捗状況(外部評価)

	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
<p>施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価)</p>	A 順調に推移	B	A	13.6%	/
	B 一定の進捗がある		B	77.3%	
	C 進捗は遅れている		C	4.5%	
	D 進捗は大幅に遅れて いる		D	0.0%	
	- わからない		-	4.5%	

施策評価調書(令和3年度)

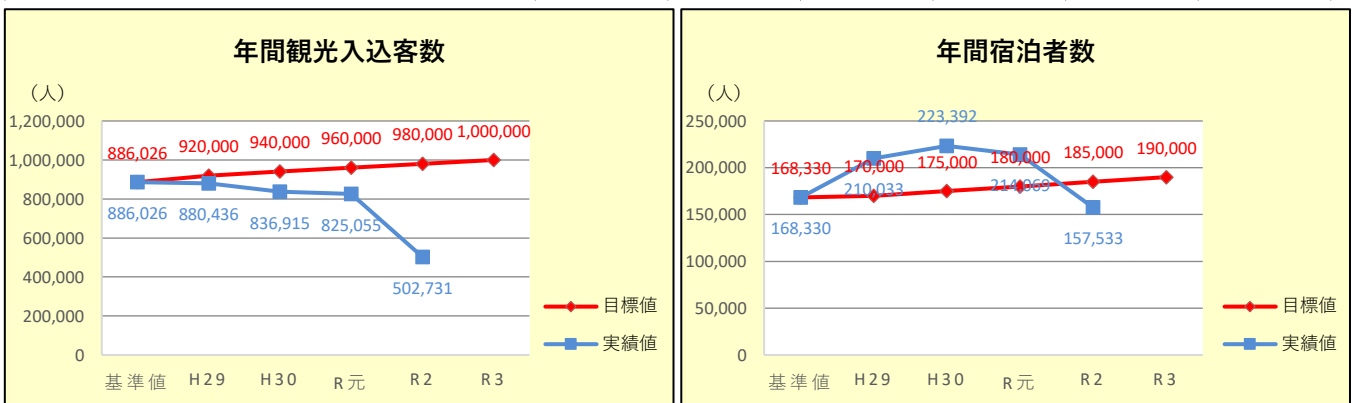
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	5. 魅力の向上	関係部局
施策項目	(2)観光・物産	経済部
施策内容	①広域連携による観光プロモーション	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
年間観光入込客数	886,026 H27年	920,000 880,436	940,000 836,915	960,000 825,055	980,000 502,731	1,000,000
年間宿泊者数	168,330 H27年	170,000 210,033	175,000 223,392	180,000 214,069	185,000 157,533	190,000



3. 年次目標(令和2年次)

目標	実績	評価区分	評価内容
年間観光入込客数 960,000人	502,731人	B 概ね良好	新型コロナウイルスの影響によりツアーやイベント等が軒並み中止となったものの、オンラインツアーの実施や展望台内部の改修工事などを実施した。また、コロナ対策として宿泊施設、観光施設へ自動検温システムを導入するなど、新しい生活様式に沿ったハード整備事業を実施したほか、県民を対象としたむつ市独自の宿泊キャンペーンを実施し、市内への誘客を行うことができたことからB評価とした。
年間宿泊者数 180,000人	157,533人		

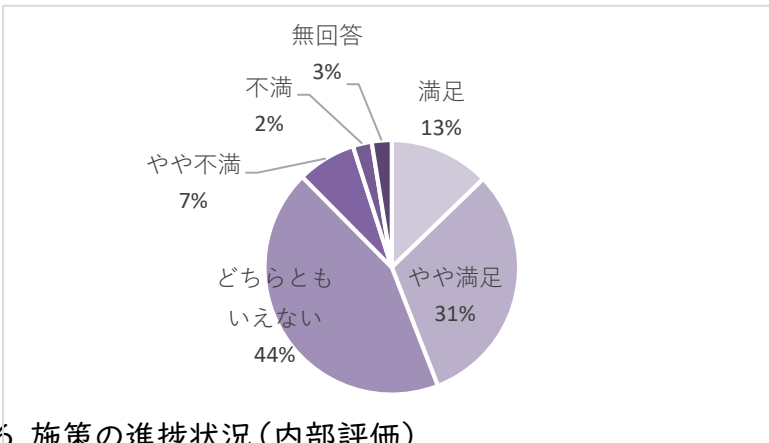
4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
むつ市夜景観光推進事業	「ナイトツーリズム」の確立を図るため、釜臥山展望台のソフト面の充実及び全国への情報発信を積極的に行う。また、「全国夜景サミット」及び「全国名月サミット」が令和3年度(令和2年度延期)に当市で開催されることから、夜景サミットinむつ実行委員会と協働で展望台の利用促進に係る事業およびサミット開催を実施するとともに、サミット開催が後年のレガシーとなるべく事業を展開していく。		0	845	2,489	8,854	6,109
	【釜臥山展望台利用者数(人)】	26,596	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
		平成27年度	22,526	21,162	21,151	16,507	

クルーズ客船歓迎事業	大湊港に寄港するクルーズ客船の歓迎イベントを実施するとともに、むつ・下北地域の観光及び特産品をPRすることで、認知度向上及び地域経済の活性化につなげる。	0	3,000	2,200	1,600	1,600
年間観光入込客数(人)	886,026	920,000	940,000	960,000	980,000	1,000,000
	平成27年度	880,436	836,915	825,055	502,731	
ふるさと納税納付額(千円)	48,425	150,000	200,000	200,000	200,000	200,000
	平成27年度	196,604	157,815	151,077	164,926	
下北ジオパークによる観光地域づくり(しもきたDMO)推進事業(しもきたTABIあしすと負担金)	下北半島6自治体における観光振興の舵取り役を担う一般社団法人しもきたTABIあしすとへの会費及び負担金を拠出する。	19,022	16,994	19,015	18,528	18,099
【旅行商品数(本)】	2	5	10	15	15	15
	平成28年度	9	13	14	16	
【売上金額(千円)】	7,928	25,000	40,000	55,000	55,000	55,000
	平成28年度	10,090	8,361	14,029	2,374	

5. 総合経営計画に関する調査結果(市民アンケート)



満足	12.77%
やや満足	31.33%
どちらともいえない	43.49%
やや不満	7.47%
不満	2.41%
無回答	2.53%

55施策中	15位
※アンケート重複項目含む	

6. 施策の進捗状況(内部評価)

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>新型コロナウイルス感染症により、指標としている観光入込客数や宿泊者数は減少する結果となっているが、DMO法人となったしもきたTABIあしすととの活動や滞在型・夜型観光を目的として、市内事業者等で構成する実行委員会において夜景サミット・名月サミットの誘致を行うなど、コロナ禍においてもその活動は一定の評価ができる。</p> <p>【今後の取組の方向性(10月)】</p> <p>国において新型コロナウイルス感染症ワクチン接種後のパスポート発行や陰性証明による人流の活発化が検討されており、当地域の魅力である下北ジオパークや夜景と飲食を組み合わせたナイトツーリズムの具体的な事業を検討することで誘客につなげる。</p>

令和3年度施策の 進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての事務事 業の業績評価指標等から総 合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる	B	<p>新型コロナの影響によりクルーズ船歓迎事業が中止、夜景サミットが再延期となり、Satoyama実践者交流会も次年度以降への延期。また、8月10日の豪雨により葉研地区へ大きな被害が発生し、葉研野営場や奥葉研修景公園も休業となったものの、10月以降、オンラインでの夜景サミット開催や、みなとオアシスおおみなとの一角にあるむつマエダアリーナにて「光のGardenBAR」を実施するなど、コロナ禍においても賑わいの創出につながる事業を実施できた点でB評価とした。</p> <p>【今後の取組の方向性(1月)】</p> <p>ワクチンパスポートや陰性証明等の活用により今後は人流の活発化が図られるものと推測されていたが、オミクロン株の発生により新型コロナウイルス感染症が再拡大している状況にあり、ワクチンのブースター接種が準備されているものの落ち着くまで暫く時間を要するよう見受けられる。</p> <p>まずは豪雨により崩落したパノラマラインの復旧について関係各所と協議し、観光地域づくり法人「しもきたTABIあしすと」や地域の各団体と情報を密にして、withコロナにおける需要を把握し、誘客事業の具体的検討を行っていく。</p>

7. 施策の進捗状況(外部評価)

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の 目標達成に向けての進捗状 況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れて いる - わからない	B	A	0.0%	
		B	72.7%		
		C	18.2%		
		D	0.0%		
		-	9.1%		

施策評価調書（令和3年度）

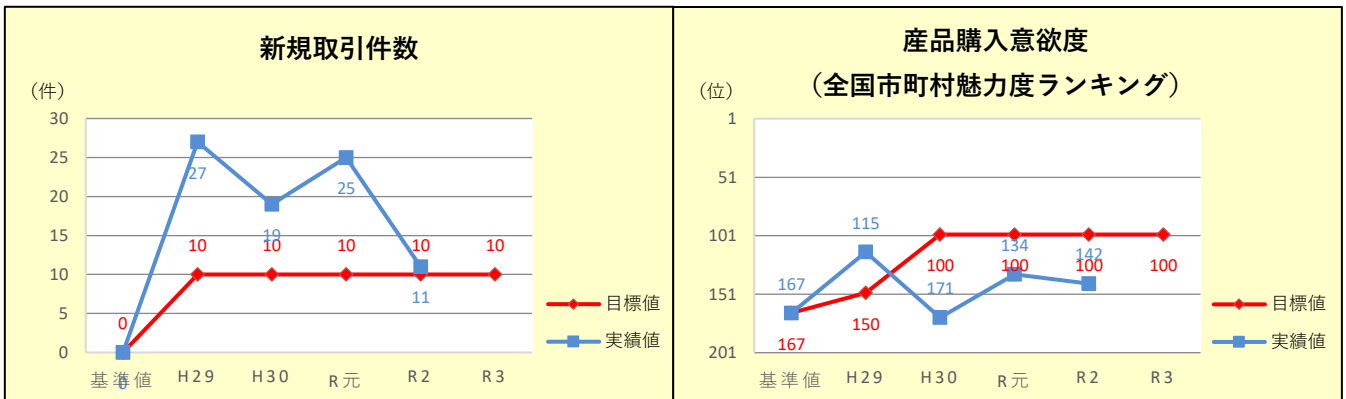
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	5. 魅力の向上	関係部局
施策項目	(2)観光・物産	経済部
施策内容	②稼げる物産プロモーション	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
新規取引件数	-	10	10	10	10	10
	-	27	19	25	11	
産品購入意欲度〔全国市町村魅力度ランキング〕	167	150	100	100	100	100
	H28年度	115	171	134	142	



3. 年次目標（令和2年次）

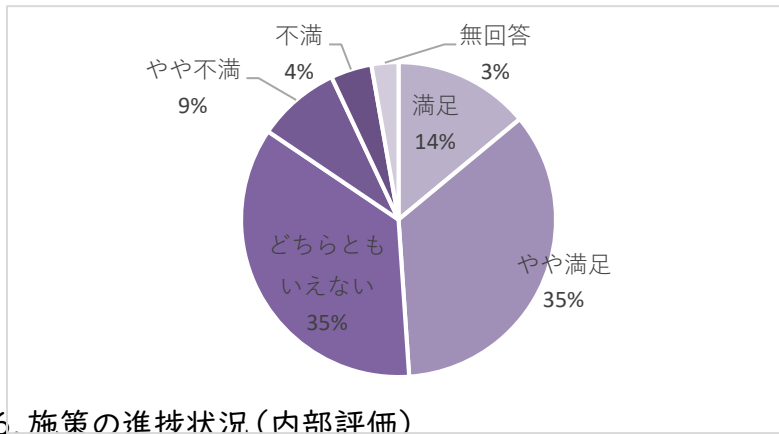
目標	実績	評価区分	評価内容
新規取引件数 10件	11件	B 概ね 良好	<p>イベント開催や新商品のプロモーションを展開したものの、市外での販路開拓につながる事業は感染症の影響もあり計画どおり実施出来ず、産品購入意欲度142位（昨年134位）と順位を落とした。</p> <p>新規取引件数はSMTS2021において11件と年次目標の10件をクリアした。</p> <p>ふるさと納税寄附金額は目標の2億円に届かなかったが、昨年度比1.09倍（13,848,500円）の増となった。</p>
産品購入意欲度 100位 （全国市町村魅力度ランキング）	142位		

4. 主要事業

【単位：千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
「むつ市のうまいは日本一！」推進プロジェクト事業 「全国販路開拓支援事業」	供給量の少なさが新規取引の阻害要因となっていることから、客単価の高いホテルや飲食店関係者向けの販促を行い、小規模でも安定した取引を可能とする販路の開拓を推進する。		5,127	4,137	4,675	4,024	3,524
	【新規取引件数(件)】	10 平成27年度	10 7	10 19	10 21	10 11	10
	【一次産業の生産額令和2年度で平成27年度比10%増(百万円)】	4,440 平成27年度	4,662 -	4,773 -	4,884 -	4,884 -	4,884
「むつ市のうまいは日本一！」推進プロジェクト事業	地域の特産品を市内外に積極的にPRすることにより、第一次産業の活性化と地域経済の発展を促進する。		5,589	3,263	5,918	5,962	7,971
	【一次産業の生産額令和2年度で平成27年度比10%増(百万円)】	4,440 平成27年度	4,662 -	4,773 -	4,884 -	4,884 -	4,884
	【地産地消運動実施率(購入時に地産地消を意識するか)(%)】	73 平成27年度	81 70	85 68	90 -	90 54	90
むつ市のうまい!ステップアップ事業	「むつ市のうまいは日本一推進条例」を制定し、記念イベントを実施することで、地産地消の啓蒙を図るほか、海外販路開拓や新商品開発に取り組む事業者を支援する。		0	2,400	1,519	2,314	1,564
	【地産地消運動実質率(%)】	73 平成27年度	81 70	85 68	90 -	90 54	90
	【むつ市のうまい海外販路開拓支援補助金利用件数(件)】	-	-	5 3	5 10	5 3	5
	【むつ市新商品開発支援補助金利用件数(件)】	-	-	3 3	3 3	3 3	3
<陸・海・空>むつうまブランドによる「稼げる」農林水産業推進事業(下北圏域地場産品販路拡大事業)	下北圏域のスケールメリットを活かし、地場産品の更なる販路開拓・拡大を推進し、地域経済の成長を目指す。		0	0	866	1,036	1,027
	【新規取引件数(件)】	-	-	-	10 4	10 0	10
<陸・海・空>むつうまブランドによる「稼げる」農林水産業推進事業(地域特産品活用促進事業)	ご当地グルメや伝統食文化、ブランド野菜など地域が誇る食資源を活用し、PR、活動団体及び事業者の支援を行い、地域経済の活性化を図る。(大湊海軍コロッケ、大湊海自カレー、大湊Sora空っ!、べこもち、夏秋イチゴ)		4,306	5,095	3,717	4,351	5,007
	【べこもち講座参加人数(人)】	-	50 48	50 59	50 49	50 0	50
	【大湊海自カレー提供食数(食)】	-	15,000 17,629	30,000 32,312	45,000 45,498	60,000 52,313	75,000
	【大湊Sora空っ!提供食数(食)】	-	-	10,000 11,856	30,000 33,875	50,000 40,441	70,000
ふるさと納税関連費	各種事業遂行に要する財源を確保するとともに、ふるさと納税を活用したむつ市特産品の全国的普及を図ることで、販売額の向上を推進し生産者の所得を引き上げ、生産現場の活性化に寄与する。		96,908	77,066	112,682	94,963	99,466
	【寄附受入額(千円)】	96,361 平成28年度	150,000 196,604	200,000 157,815	200,000 151,077	200,000 164,926	200,000

5. 総合経営計画に関する調査結果（市民アンケート）



満足度	割合
満足	13.98%
やや満足	34.94%
どちらともいえない	35.54%
やや不満	8.55%
不満	4.22%
無回答	2.77%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	14位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和3年度施策の進捗状況（10月報告） （基本計画の指標（KPI）の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価）	区分	選択区分	【評価の理由（10月）】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、消費は低迷しているが、オンラインやマスメディアを活用し自衛隊グルメ等をPRした。また、ふるさと納税に関してはアドバイザーを招聘し、事業者説明会などを行い、商品のPR手法を学んだ。</p> <p>【今後の取組の方向性（10月）】</p> <p>感染症の規制緩和に伴い各種イベントを開催し、特産品等をPRしていく。また、ふるさと納税については新規のポータルサイト開設等を行い、さらなる寄附額の増額に向けて取り組んでいく。</p>
令和3年度施策の進捗状況（1月報告） （基本計画の指標（KPI）の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価）	区分	選択区分	【評価の理由（1月）】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている	B	<p>商談会では首都圏でのレストランで取り扱う地場産品の販路開拓に繋げることが出来た。また、海自カレーについては事業を開始し、提供数の増加に向けた取り組みをすることが出来た。</p> <p>ふるさと納税ではセミナーを開催し、魅力的な商品のPR手法等について学んぶと共に、新規のポータルサイトを開設し、新たな寄附者層のに向けての取り組みがなされた。</p> <p>【今後の取組の方向性（1月）】</p> <p>スーパーマーケットトレードショー、レストランフェア、ライブコマースを実施し、新規取引件数の増加を目指す。</p> <p>ふるさと納税では事業所を訪問し、寄附額の増額や新商品の開発等についてアドバイスしていく。</p>

7. 施策の進捗状況（外部評価）

施策の進捗状況 （基本計画の指標（KPI）の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価）	区分	選択区分	評価割合	【主な意見】									
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	B	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>4.5%</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>77.3%</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>9.1%</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>9.1%</td> </tr> </table>		A	4.5%	B	77.3%	C	9.1%	D	0.0%	-
A	4.5%												
B	77.3%												
C	9.1%												
D	0.0%												
-	9.1%												

施策評価調書(令和3年度)

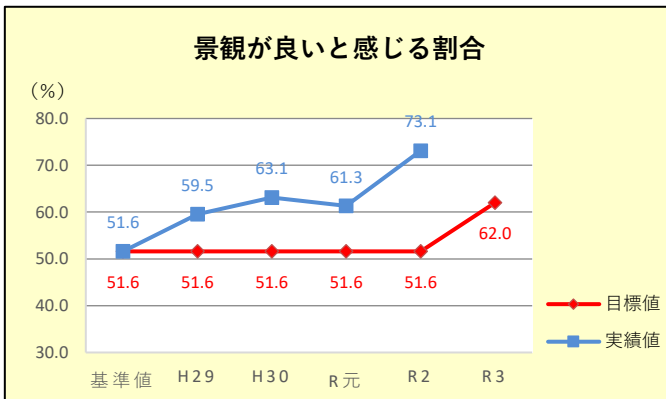
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	5. 魅力の向上	関係部局
施策項目	(3)景観	都市整備部
施策内容	①景観の向上と保全	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
景観が良いと感じる割合	51.6 H28年度	51.6 59.5	51.6 63.1	51.6 61.3	51.6 73.1	62.0



3. 年次目標(令和2年次)

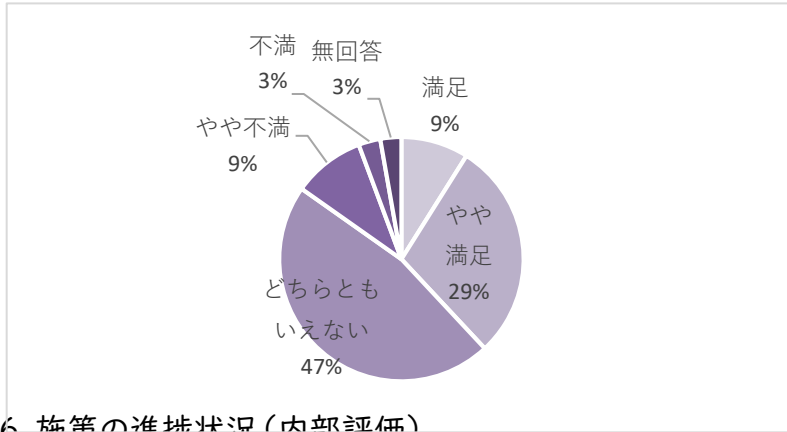
目標	実績	評価区分	評価内容
景観条例の制定 景観行政団体への移行 景観計画案のパブリックコメントの実施	達成・実施済	A 良好	概ね計画どおりのスケジュールで進捗することができた。 景観計画については、パブリックコメントによる市民意見の反映、及び都市計画審議会における意見聴取を行い、6月に公表する予定である。

4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
景観まちづくり事業	本市独自の景観条例及び景観計画を策定・運用により、市民や事業者とともに本市の恵まれた景観を活かしたまちづくりを推進することで、ふるさとへの愛着を深めながら地域の潤いや魅力の向上及びにぎわいの創出を図る。		0	0	0	0	2,943
	【景観が良いと感じる割合(%)】	51.6 平成28年度	51.6 59.5	51.6 63.1	51.6 61.3	51.6 73.1	62.0

5. 総合経営計画に関する調査結果（市民アンケート）



評価	割合
満足	8.94%
やや満足	29.11%
どちらともいえない	46.74%
やや不満	9.54%
不満	2.90%
無回答	2.78%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	28位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている		A
令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)		A	【今後の取組の方向性(10月)】
			【今後の取組の方向性(1月)】

7. 施策の進捗状況（外部評価）

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない		A	A	
	B	B	36.4%		
	C	C	4.5%		
	D	D	0.0%		
	-	-	4.5%		

施策評価調書(令和3年度)

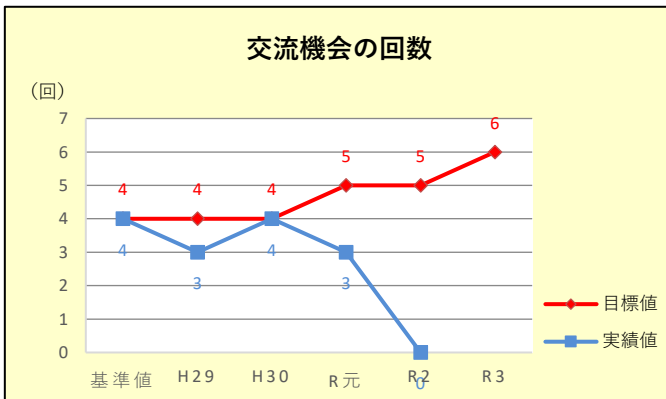
1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	5. 魅力の向上	関係部局
施策項目	(4)国際・都市間交流	企画政策部
施策内容	①諸地域との親善・友好	

2. 基本計画における指標(KPI)

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
交流機会の回数	4 H27年度	4 3	4 4	5 3	5 0	6



3. 年次目標(令和2年次)

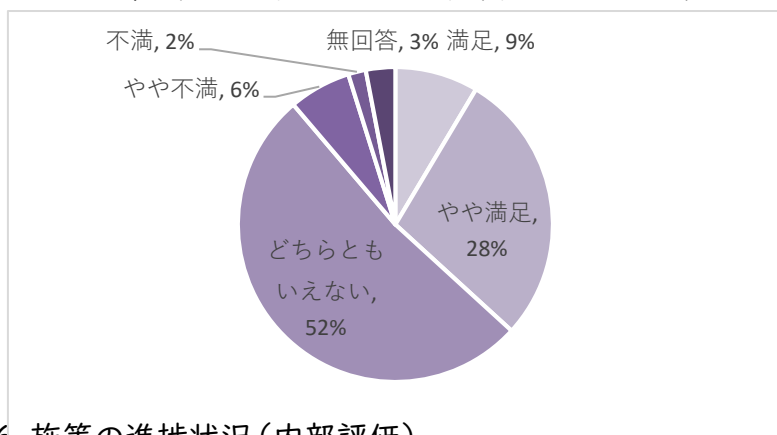
目標	実績	評価区分	評価内容
ムチュリンガル教室実施施設数 15施設	18施設	B 概ね良好	新型コロナウイルスの影響による中止等、計画どおりとはいかない場面もあったが、下半期は継続して事業を実施できていたため、概ね良好とする。 新型コロナウイルス収束までは安全に国際交流事業を行うことを心掛け、市内で感染者が発生した場合は延期や中止等柔軟に対応する。
ムチュリーディング(英語での読み聞かせ)プログラム実施回数 3回	8回		

4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		
			決算額	決算額	決算額	予算額	予算額		
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		
国際交流事業	市の国際交流事業推進のため、国際交流推進員の活動により、市民への国際理解啓発活動を行うとともに、地域の国際化を推進する一環として、令和2年度からの次期学習指導要領による英語教科化を見据え、平成28年度から国際交流推進員が市内の幼稚園・保育園に訪問しての「幼児向け英語推進プログラム(英語で遊ぼうムチュリンガル教室)」を開始している。また、米国ワシントン州ポート・エンジェルス市との姉妹都市交流を促進するとともに、民間レベルでの国際交流活動の推進とともに、総務省が提示している「地域における多文化共生推進プランについて」(平成18年3月27日付け総行第79号総務省自治行政局国際室長通知)を踏まえ、地域の在住外国人と地域住民との多文化共生を推進する。		7,281	7,693	8,209	8,570	8,707		
			【国際交流イベント開催回数(回)】		47	50	50	50	50
			【ムチュリンガル教室実施施設数(施設)】		19.0	10	19	19	19
			平成29年度	19	17	20	18		

5. 総合経営計画に関する調査結果（市民アンケート）



回答内容	割合
満足	8.56%
やや満足	28.23%
どちらともいえない	51.99%
やや不満	6.39%
不満	1.81%
無回答	3.02%

55施策中 ※アンケート重複項目含む	26位
-----------------------	-----

6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(10月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている		B

令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	選択区分	【評価の理由(1月)】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている		B

7. 施策の進捗状況（外部評価）

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)	区分	選択区分	評価割合		【主な意見】
			A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない	B	
	B	B	59.1%		
	B	C	18.2%		
	B	D	0.0%		
	B	-	22.7%		

施策評価調書（令和3年度）

1. 施策体系と施策関係部局

基本方針	5. 魅力の向上	関係部局
施策項目	(5)海洋科学研究拠点	企画政策部
施策内容	①研究活動環境の充実	

2. 基本計画における指標（KPI）

【上段:目標値 下段:実績値】

指標名	基準値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
むつ海洋・科学シンポジウム参加者数	- -	170 174	180 174	190 196	200 173	210

3. 年次目標（令和2年次）

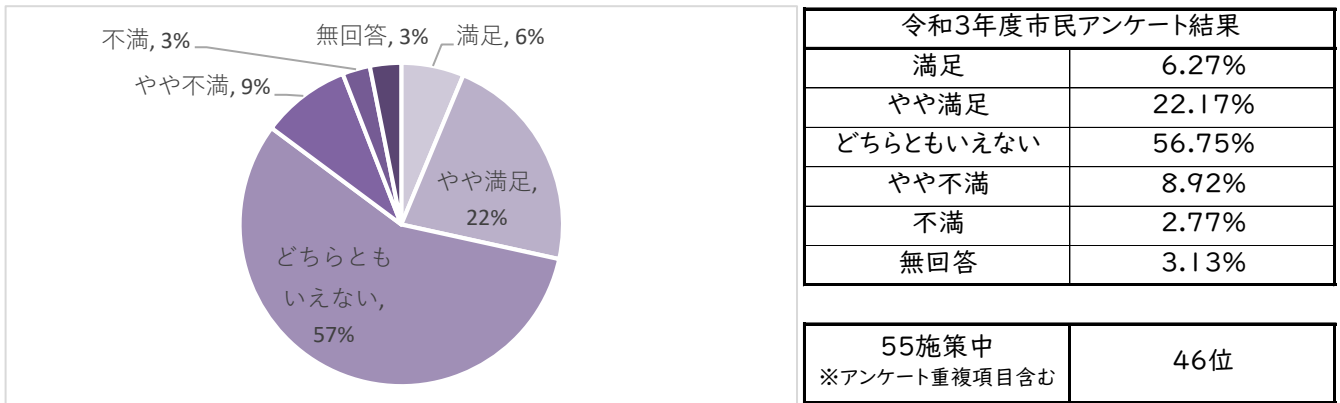
目標	実績	評価区分	評価内容
イベント来客数1,500人(イベント合計)	173人	B 概ね 良好	今年度は新型コロナウイルスの影響により、イベント開催が1回のみとなり、年次目標は達成できなかったものの、各研究機関と密に連携し、コロナ禍であっても地域住民への啓発活動に努めたことから、概ね良好とする。

4. 主要事業

【単位:千円】

事業名	事業内容		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
	業績評価指標	基準値	決算額	決算額	決算額	予算額	予算額
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
市内4研究機関シンポジウムに係る支援事業	海洋研究に関わる国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人日本海洋科学振興財団、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構青森研究開発センター及び公益財団法人日本分析センターの4機関が、地球環境の保全等に向けた世界レベルの活動と情報発信を行っており、毎年11月に同研究機関、青森県及びむつ市主催で海洋・環境科学シンポジウムを開催し、研究成果を発表する。		144	64	67	141	141
	【シンポジウム参加者数(人)】	235	235	235	235	235	235
		平成27年度	324	174	196	173	

5. 総合経営計画に関する調査結果（市民アンケート）



6. 施策の進捗状況（内部評価）

令和3年度施策の進捗状況(10月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	B	【評価の理由(10月)】 新型コロナウイルス感染症の影響により上半期のイベントは中止となったものの、科学技術館イベントは10月、シンポジウムは11月に開催予定である。順調に準備を進めていることから事業の目的を一定程度、達成できる見込みであり、概ね良好とする。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている		【今後の取組の方向性(10月)】 今後開催予定のイベント等を通じ、科学についての関心喚起、研究事業への理解促進に引き続き取り組む。
令和3年度施策の進捗状況(1月報告) (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての事務事業の業績評価指標等から総合的に評価)	区分	B	【評価の理由(1月)】 新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、人数制限等の感染症対策を行ったため参加者数は達成できなかったものの、7月の科学技術館イベント及び11月のむつ海洋・環境シンポジウムを予定通り開催することができたため、概ね良好とする。
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている		【今後の取組の方向性(1月)】 今後も引き続き科学についての関心喚起、研究事業への理解促進に取り組む。

7. 施策の進捗状況（外部評価）

施策の進捗状況 (基本計画の指標(KPI)の目標達成に向けての進捗状況について総合的に評価)	区分	B	評価割合		【主な意見】
	A 順調に推移 B 一定の進捗がある C 進捗は遅れている D 進捗は大幅に遅れている - わからない		A	4.5%	
			B	63.6%	
			C	18.2%	
			D	0.0%	
			-	13.6%	